

犬山市障害者支援に関するアンケート 調査結果報告書

平成29年3月

犬 山 市

目 次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 回収状況	2
4 調査結果の表示方法	2

II 調査結果（身体・知的・精神障害者）

1 調査の回答者について	3
1-1 回答ができない理由	3
1-2 記入者	4
2 ご自身（障害のある方）のことについて	6
2-1 性別	6
2-2 障害者（児）の年齢	7
2-3 居住地区	9
2-4 居住形態	10
2-5 障害手帳の種類	16
2-6 障害の種類	19
3 日常生活について	21
3-1 医療機関にかかる頻度	21
3-2 健康診断の受診状況	23
3-3 健康診断を受けていない理由	25
3-4 主な介助者	27
3-5 相談機関	31
4 入院について	35
4-1 病院・診療所への入院歴	35
4-2 入院する際に困った事	35
5 住まい・暮らし・生計について	37
5-1 住居の形態	37
5-2 暮らしに対する考え	39
5-3 主な収入源	41
6 外出状況について	44
6-1 外出回数	44
6-2 外出の目的	47

6-3	外出時に困ること	49
7	余暇・社会参加について	52
7-1	1年以内にした活動	52
7-2	今後したい活動	55
7-3	就労や就学について	58
8	地域社会との関わりについて	63
8-1	地域社会での障害者に対する配慮	63
8-2	地域社会での障害者に対する差別	65
8-3	地域社会での障害者に対する差別	67
8-4	障害に対する理解のために力を入れるべきこと	69
9	災害発生時の対応について	74
9-1	災害時の避難について	74
9-2	災害時の避難について	76
9-3	避難所で困ること	78
9-4	普段の災害に対する備え	80
9-5	災害情報配信サービスについて	82
10	情報収集や通信機器の利用について	84
10-1	福祉サービスに関する情報の入手先	84
10-2	インターネットの利用について	90
10-3	パソコン等を使う際に困ること	93
11	障害福祉サービス・地域生活支援事業について	96
11-1	障害者サービスの利用について	96
11-2	障害者サービスに対する満足度	102
11-3	地域生活支援事業の利用について	104
11-4	地域生活支援事業に対する満足度	110
12	障害児のサービスについて	112
12-1	障害児サービスの利用	112
12-2	障害児サービスに対する満足度	116
12-3	平日の日中の過ごし方	117
12-4	将来暮らしたいところ	118
12-5	障害児に対する充実させてほしい支援	119
13	将来の生活について	120
13-1	障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと	120
14	主な介助者について	125
14-1	性別	125
14-2	年齢	127

14-3	現在の仕事状況	129
14-4	介助年数	131
14-5	介助で大変なこと	133

Ⅲ 調査結果（こすもす園）

1	調査の回答者について	135
1-1	回答者（子どもからみた続柄）	135
2	お子様について	136
2-1	年齢	136
2-2	性別	136
2-3	居住地区	137
2-4	こすもす園以外の通園施設	137
2-5	こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由	139
2-6	児童発達支援の利用開始年齢	139
2-7	児童発達支援の利用期間	140
2-8	現在の子どもで気になること	141
2-9	子どもの発達で専門機関等に相談した経験	143
2-10	子どもの発達に関する相談先	144
3	児童発達支援(こすもす園など)について	146
3-1	児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだこと	146
3-2	児童発達支援に対する満足度	148
3-3	児童発達支援に通園して良かったこと	149
3-4	児童発達支援に通園して困ったこと	151
3-5	療育や支援で充実してほしいこと	153
3-6	子どもの進路についての相談経験	155
3-7	子どもの進路についての相談機関	156
3-8	子どもの進路についての相談内容	158
3-9	子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況	159

Ⅳ 調査結果（一般）

1	ご自身のことについて	160
1-1	性別	160
1-2	年齢	160
1-3	居住地区	161
1-4	居住形態	161
1-5	職業	162
1-6	障害者との接点	163
1-7	障害者福祉に対する関心	165
1-8	障害者福祉に関心がある理由	166

1-9	健康診断の受診状況	168
2	障害のある方への意識について	171
2-1	地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え	171
2-2	地域社会の障害者に対する差別	173
2-3	差別を感じる時	174
2-4	障害者に対する支援の考え	176
3	障害のある方との関わりについて	178
3-1	障害者を手助けした経験	178
3-2	手助けの内容	179
3-3	障害者に関わるボランティア活動への参加意向	181
3-4	参加したいボランティア活動	183
4	情報収集や通信機器の利用について	185
4-1	福祉サービスに関する情報の入手先	185
5	障害のある方を取り巻く環境について	189
5-1	障害に関する言葉の認知	189
5-2	発達障害の認知	193
5-3	障害福祉サービスの認知	194
5-4	地域生活支援事業の認知	198
5-5	障害児サービスの認知	200
5-6	サービスや支援事業の利用意向	202
5-7	子どもの発達に関する不安	204
5-8	子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援	205
5-9	「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知	206
5-10	障害者の法定雇用率の引き上げについての認知	206
5-11	障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ	207
5-12	障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと	208

V 参考資料

調査票（身体・知的・精神障害者）	212
調査票（こすもす園）	221
調査票（一般）	224

VI 自由記述

身体障害者	229
知的障害者	242
精神障害者	249
こすもす園	255
一般	259

I 調査概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、犬山市の障害者等に対して、障害者の現状、障害福祉サービス等の利用状況、周知度及び今後の利用意向、現状での問題点や課題事項等を把握し、障害者施策の推進と障害者基本計画策定のための基本資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

【身体障害者手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の身体障害者手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【療育手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の療育手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【精神障害者保健福祉手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【こすもす園通所者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住のこすもす園通所者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【一般市民調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の 20 歳以上の一般市民の中から無作為抽出した 1,000 名
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

3 回収状況

調査対象者	配布数 (件)	回収票数 (件)	回収率	回答票数 (件)	有効 回収率
身体障害者手帳所持者	2,398	1,664	69.4%	1,538	64.1%
療育手帳所持者	426	263	61.7%	234	54.9%
精神障害者保健福祉手帳所持者	520	303	58.3%	260	50.0%
小計	3,344	2,230	66.7%	2,032	60.8%
こすもす園通所者	103	60	58.3%	60	58.3%
一般市民	1,000	556	55.6%	551	55.1%
合計	4,447	2,846	63.9%	2,643	59.4%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数 (N) を基準とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- ・ クロス集計表において、回答がなかった部分は、件数・割合ともに「-」と表記しています。
- ・ クロス集計上、人数が極めて少ないカテゴリー層については、誤差が大きくなると考えられるため、分析から除外している場合があります。

Ⅱ 調査結果（身体・知的・精神障害者）

1 調査の回答者について

1-1 回答ができない理由

回答ができない理由については、身体障害者では「施設入所中」が56.3%、知的障害者では「施設入所中」が58.6%、精神障害者では「入院中」が62.8%となっています。

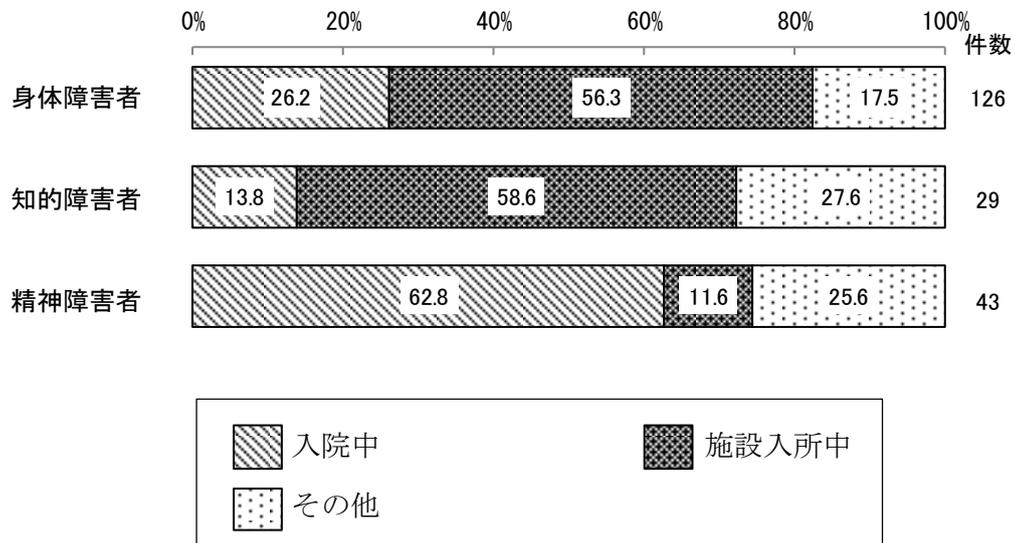


図 1-1 回答ができない理由

1-2 記入者

問1 この調査に答えていただく方はどなたですか。(1つだけ)

調査の回答者については、身体障害者では「本人」が79.4%、精神障害者では「本人」が76.9%となっています。知的障害者では「父母」が45.7%で最も高く、次いで「本人」が38.5%となっています。

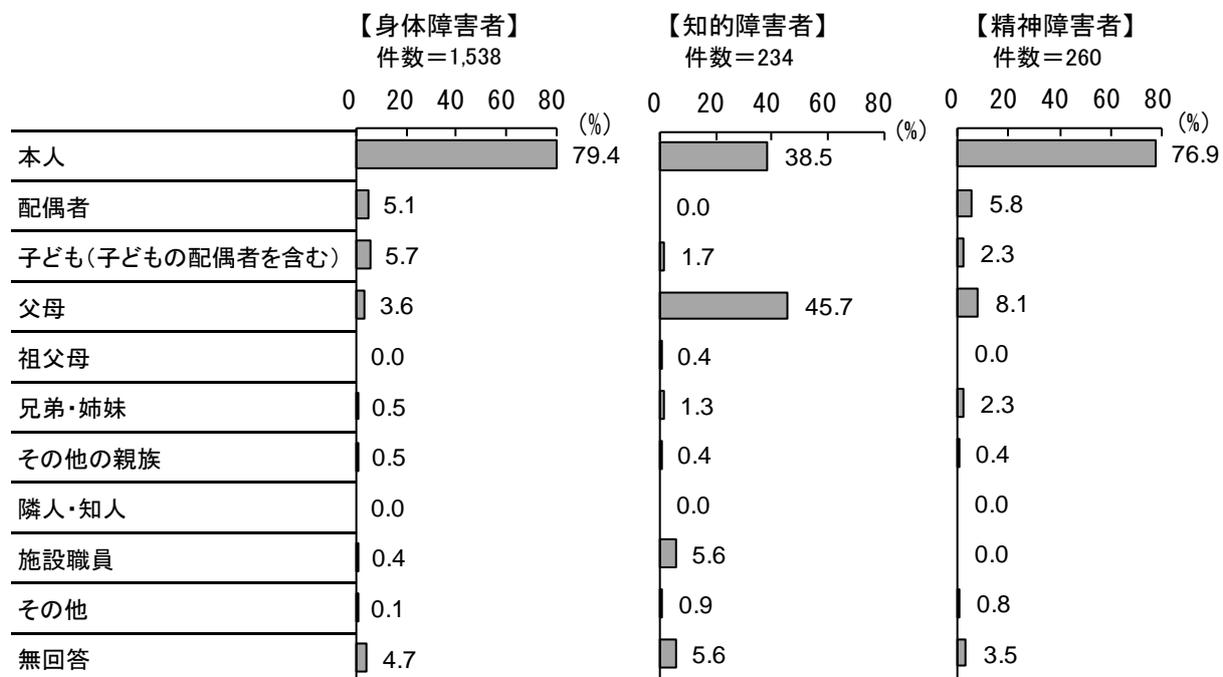


図 1-2 記入者

年齢別でみると、身体障害者では「父母」が18歳未満で80.0%と最も高くなっています。精神障害者では「本人」が40～64歳で85.3%と高くなっています。

表 1-2 記入者(年齢別・障害種別)

	件数	本人	配偶者	子ども(子どもを 含む)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他の親族	隣人・知人	施設職員	その他	無回答	
(件、%)													
身体障害者	1,538	79.4	5.1	5.7	3.6	-	0.5	0.5	-	0.4	0.1	4.7	
年齢別	18歳未満	30	6.7	3.3	6.7	80.0	-	-	-	-	-	3.3	
	18～39歳	45	66.7	2.2	-	31.1	-	-	-	-	-	-	
	40～64歳	299	89.0	2.7	-	5.4	-	0.7	-	1.3	-	1.0	
	65～74歳	459	88.5	6.3	2.4	-	-	0.9	0.2	-	-	1.7	
	75歳以上	653	78.6	6.1	11.3	0.3	-	0.2	0.9	-	0.3	2.0	
障害種別	視覚障害	109	71.6	7.3	8.3	5.5	-	0.9	0.9	-	-	0.9	4.6
	聴覚・平衡機能障害	100	67.0	2.0	11.0	8.0	-	3.0	1.0	-	-	-	8.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	49.2	18.0	11.5	18.0	-	-	1.6	-	-	-	1.6
	内部障害	474	84.8	3.4	5.5	2.3	-	0.2	0.2	-	-	-	3.6
	肢体不自由	748	77.4	6.4	5.7	4.9	-	0.3	0.3	-	0.8	0.1	4.0
知的障害者	234	38.5	-	1.7	45.7	0.4	1.3	0.4	-	5.6	0.9	5.6	
年齢別	18歳未満	55	5.5	-	5.5	85.5	-	-	-	-	-	-	3.6
	18～39歳	80	53.8	-	1.3	42.5	-	-	-	1.3	-	1.3	
	40～64歳	76	48.7	-	-	30.3	1.3	2.6	-	13.2	1.3	2.6	
	65歳以上	13	46.2	-	-	15.4	-	7.7	7.7	-	15.4	7.7	-
精神障害者	260	76.9	5.8	2.3	8.1	-	2.3	0.4	-	-	0.8	3.5	
年齢別	18歳未満	12	58.3	-	-	41.7	-	-	-	-	-	-	
	18～39歳	55	87.3	1.8	-	9.1	-	-	-	-	-	1.8	
	40～64歳	143	85.3	4.9	0.7	7.0	-	1.4	0.7	-	-	-	
	65歳以上	40	50.0	17.5	12.5	-	-	10.0	-	-	-	5.0	5.0

2 ご自身（障害のある方）のことについて

2-1 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。（いずれかに○）

対象者の性別については、知的障害者で男性（63.2%）が女性（32.5%）より割合が高くなっています。

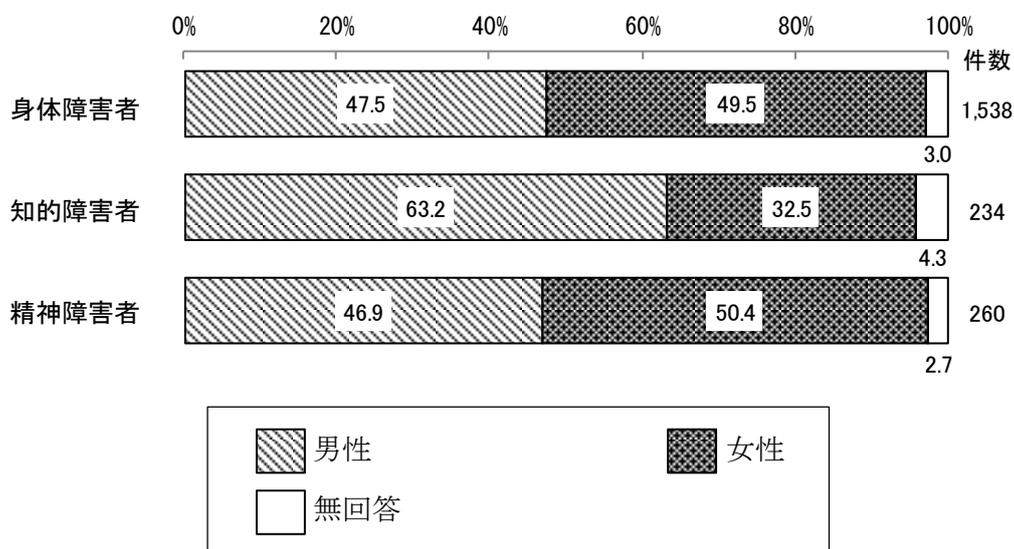


図 2-1 性別

2-2 障害者（児）の年齢

問3 あなたの年齢はおいくつですか。（平成28年9月1日現在）

【身体障害者（児）の年齢】

身体障害者（児）の年齢については、「75歳以上」は女性（46.0%）が男性（41.2%）より4.8ポイント高くなっています。

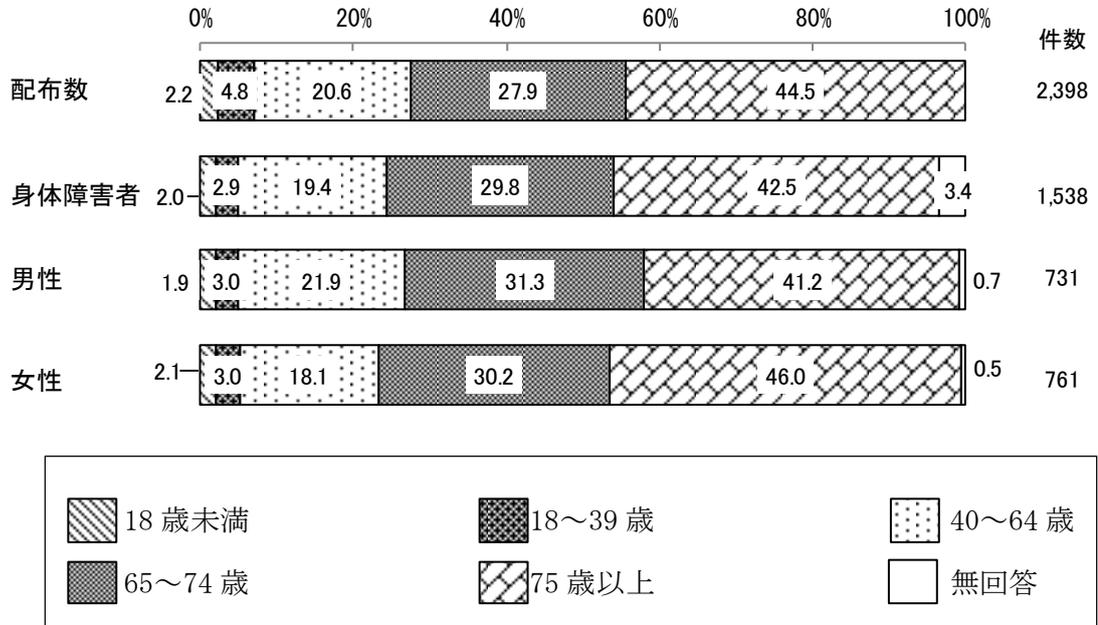


図 2-2-1 身体障害者（児）の年齢

【知的障害者（児）の年齢】

知的障害者（児）の年齢については、「65～74歳」は女性（9.2%）が男性（1.4%）より7.8ポイント高くなっています。

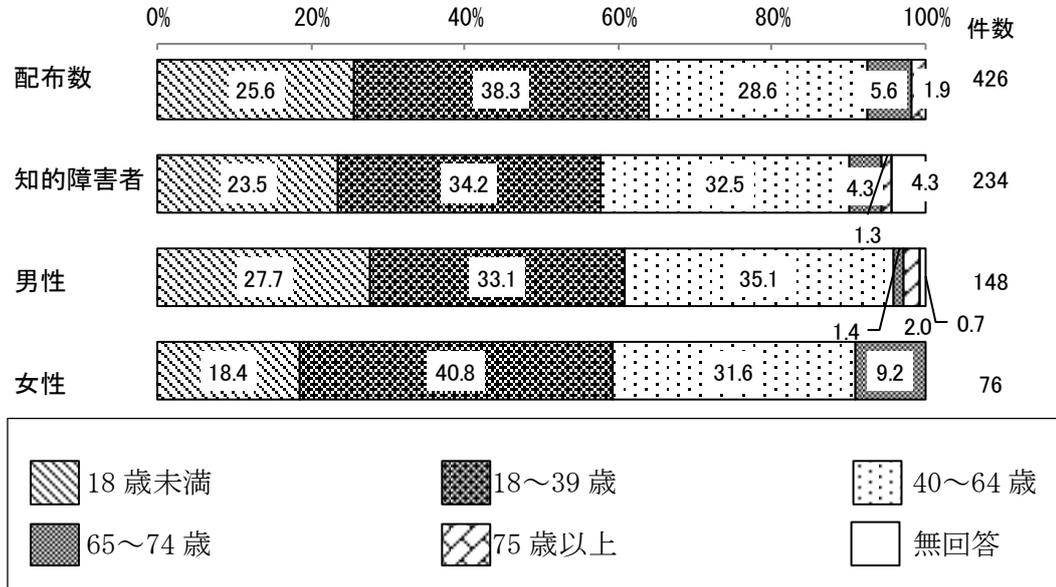


図 2-2-2 知的障害者(児)の年齢

【精神障害者（児）の年齢】

精神障害者（児）の年齢については、「18歳未満」は男性（6.6%）が女性（3.1%）より3.5ポイント高くなっています。

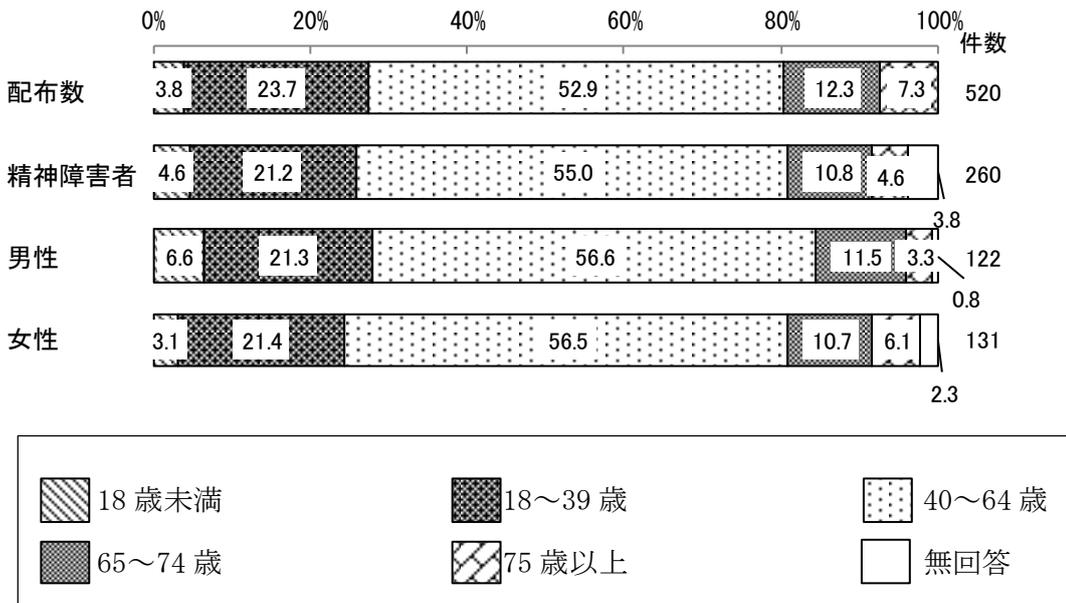


図 2-2-3 精神障害者(児)の年齢

2-3 居住地区

問4 あなたの住んでいる地区をお答えください。(1つだけ)

居住地区については、身体障害者では「犬山地区」が41.4%で最も高く、次いで「羽黒地区」が20.1%、「城東地区」が16.8%などとなっています。

知的障害者では「犬山地区」が47.0%で最も高く、次いで「羽黒地区」が16.7%、「楽田地区」が12.8%などとなっています。

精神障害者では「犬山地区」が50.0%で最も高く、次いで「羽黒地区」が16.5%、「城東地区」が13.8%などとなっています。

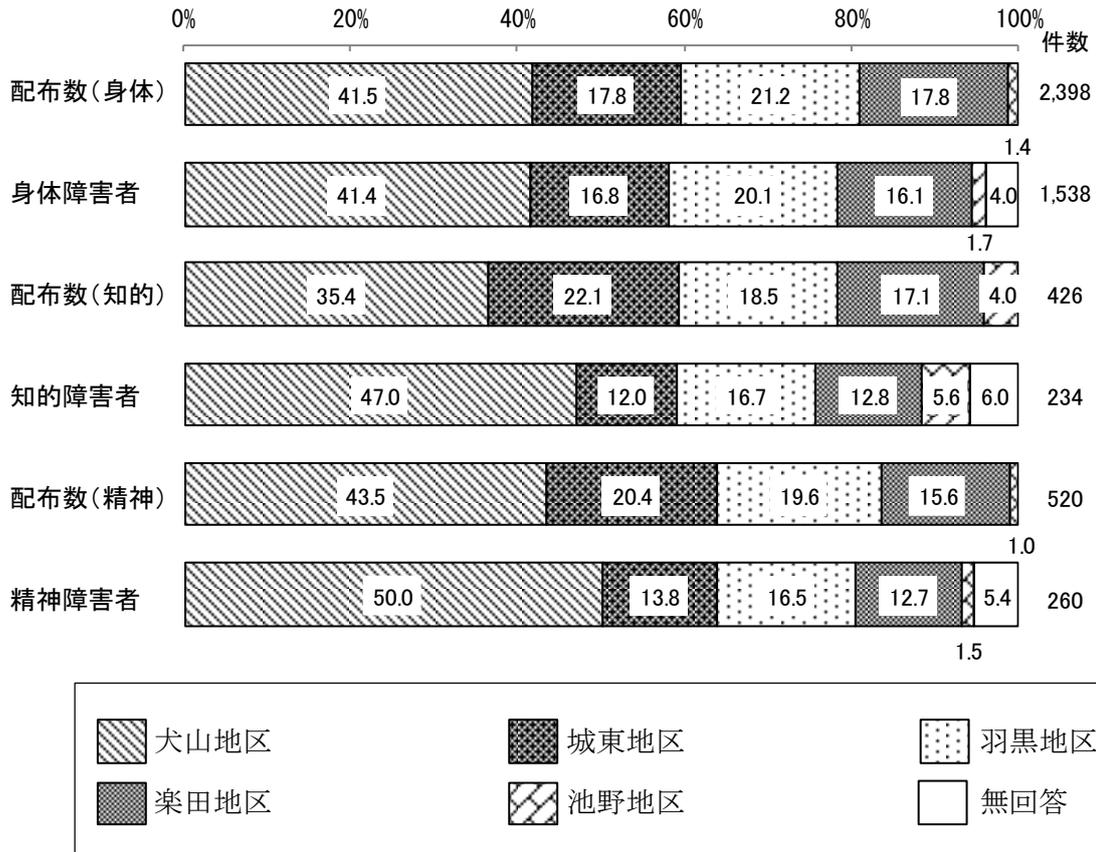


図 2-3 居住地区

2-4 居住形態

問5 あなたは今どなたと暮らしていますか。

居住形態については、身体障害者では「家族と暮らしている」が81.3%で最も高く、次いで「一人で暮らしている」が10.8%などとなっています。

知的障害者では「家族と暮らしている」が77.8%で最も高く、次いで「施設などに入所している」が13.7%などとなっています。

精神障害者では「家族と暮らしている」が70.0%で最も高く、次いで「一人で暮らしている」が15.4%などとなっています。

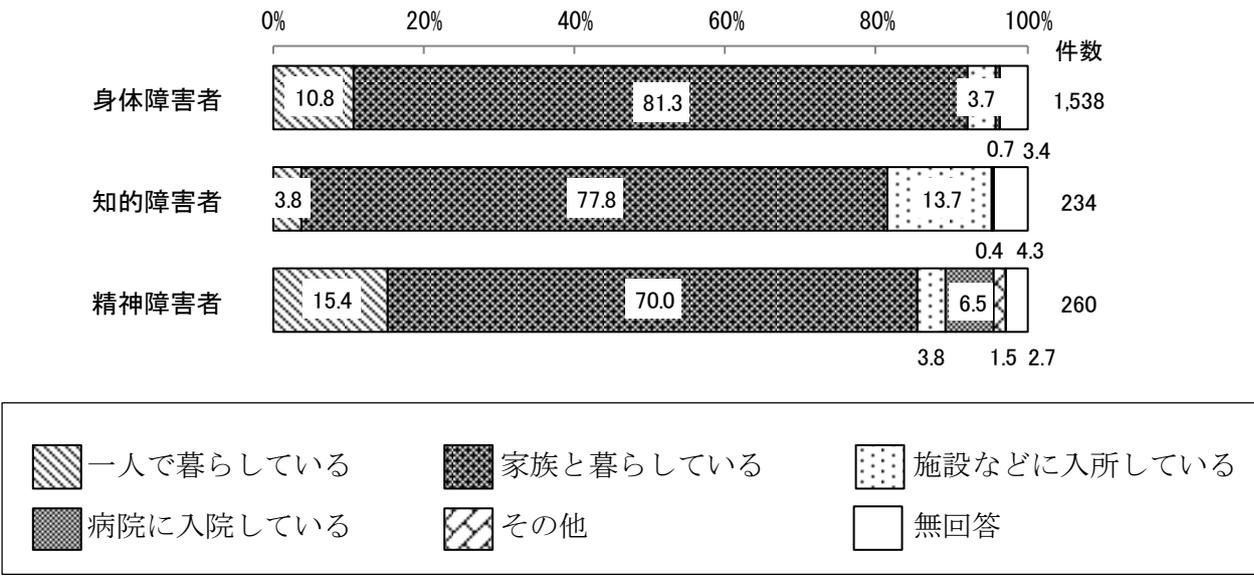


図 2-4-1 居住形態

年齢別・障害種別でみると、知的障害者では、「施設などに入所している」は40歳以上で高くなっています。

精神障害者では、「一人で暮らしている」は40歳以上で高くなっています。

表 2-4-1 居住形態(年齢別・障害種別)

		件数	一人で暮らしている	家族と暮らしている	施設などに入所している	病院に入院している	その他	無回答
(件、%)								
身体障害者		1,538	10.8	81.3	3.7	0.7	-	3.4
年齢別	18歳未満	30	-	100.0	-	-	-	-
	18～39歳	45	4.4	88.9	6.7	-	-	-
	40～64歳	299	12.4	81.6	5.0	0.3	-	0.7
	65～74歳	459	9.6	88.2	1.5	0.2	-	0.4
	75歳以上	653	12.6	80.2	4.9	1.4	-	0.9
障害種別	視覚障害	109	11.9	80.7	3.7	-	-	3.7
	聴覚・平衡機能障害	100	16.0	75.0	5.0	2.0	-	2.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	6.6	78.7	6.6	4.9	-	3.3
	内部障害	474	9.5	85.0	1.5	0.8	-	3.2
	肢体不自由	748	9.0	82.9	4.8	0.5	-	2.8
知的障害者		234	3.8	77.8	13.7	0.4	-	4.3
年齢別	18歳未満	55	-	98.2	1.8	-	-	-
	18～39歳	80	3.8	90.0	6.3	-	-	-
	40～64歳	76	5.3	67.1	26.3	1.3	-	-
	65歳以上	13	15.4	30.8	46.2	-	-	7.7
精神障害者		260	15.4	70.0	3.8	6.5	1.5	2.7
年齢別	39歳以下	67	1.5	89.6	4.5	1.5	3.0	-
	40～64歳	143	21.0	67.8	2.8	6.3	1.4	0.7
	65歳以上	40	20.0	55.0	7.5	17.5	-	-

【同居者（家族）】

同居者（家族）については、身体障害者では「配偶者」が68.4%で最も高く、次いで「子ども」が45.9%、「父母」が12.3%などとなっています。

知的障害者では、父母」が84.6%で最も高く、次いで「兄弟・姉妹」が56.0%、「祖父母」が14.3%などとなっています。

精神障害者では「父母」が53.3%で最も高く、次いで「配偶者」が39.6%、「子ども」が27.5%などとなっています。

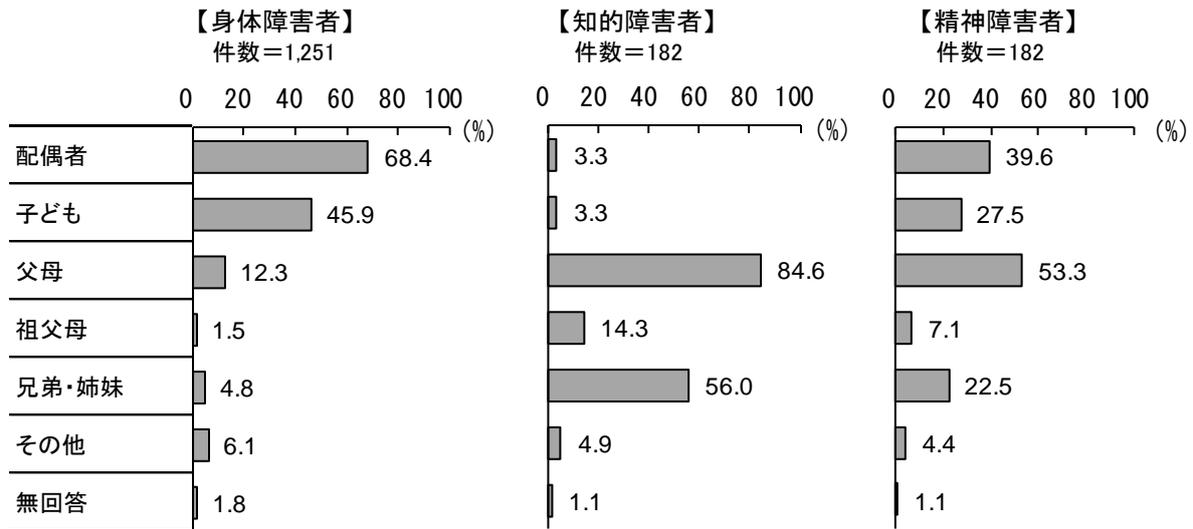


図 2-4-2 同居者(家族)

年齢別・障害種別でみると、身体障害者では、「父母」は音声・言語・そしゃく障害で高くなっています。

精神障害者では、「兄弟・姉妹」は39歳以下で高くなっています。

表 2-4-2 同居者(年齢別・障害種別)

		件数	配偶者	子ども	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,251	68.4	45.9	12.3	1.5	4.8	6.1	1.8
年齢別	18歳未満	30	3.3	-	93.3	20.0	60.0	-	-
	18~39歳	40	27.5	27.5	72.5	22.5	35.0	2.5	-
	40~64歳	244	65.6	50.8	33.2	0.8	7.8	4.9	0.8
	65~74歳	405	83.0	41.7	3.5	0.2	1.5	5.7	1.2
	75歳以上	524	65.5	50.8	0.2	0.2	0.4	7.6	2.9
障害種別	視覚障害	88	59.1	39.8	12.5	2.3	5.7	6.8	1.1
	聴覚・平衡機能障害	75	53.3	44.0	21.3	1.3	14.7	9.3	1.3
	音声・言語・そしゃく障害	48	62.5	33.3	25.0	6.3	8.3	2.1	-
	内部障害	403	70.2	49.4	11.4	1.5	3.7	5.0	1.7
	肢体不自由	620	71.5	46.1	13.1	1.6	5.2	6.3	1.0
知的障害者		182	3.3	3.3	84.6	14.3	56.0	4.9	1.1
年齢別	18歳未満	54	-	1.9	94.4	22.2	74.1	5.6	-
	18~39歳	72	2.8	2.8	87.5	19.4	61.1	2.8	-
	40~64歳	51	5.9	3.9	78.4	-	27.5	7.8	3.9
	65歳以上	4	25.0	25.0	-	-	75.0	-	-
精神障害者		182	39.6	27.5	53.3	7.1	22.5	4.4	1.1
年齢別	39歳以下	60	16.7	8.3	76.7	20.0	40.0	1.7	3.3
	40~64歳	97	47.4	33.0	49.5	1.0	15.5	5.2	-
	65歳以上	22	72.7	59.1	-	-	4.5	9.1	-

【入所施設】

暮らしているところについては、身体障害者では「入所施設で暮らしている」(73.7%)で高くなっています。知的障害者と精神障害者では「グループホームで暮らしている」が高くなっています。

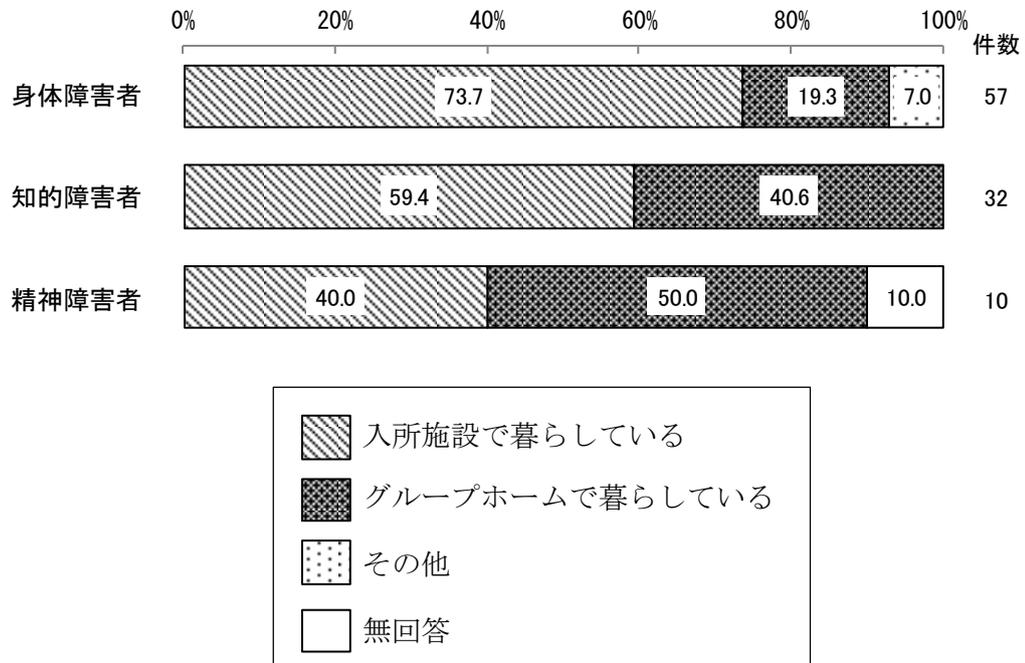


図 2-4-3 入所施設

表 2-4-2 入所施設(年齢別・障害種別)

		件数	入所施設で暮らしている	グループホームで暮らしている	その他	無回答
(件、%)						
身体障害者		57	73.7	19.3	7.0	-
年齢別	18歳未満	-	-	-	-	-
	18～39歳	3	66.7	33.3	-	-
	40～64歳	15	73.3	26.7	-	-
	65～74歳	7	71.4	28.6	-	-
	75歳以上	32	75.0	12.5	12.5	-
障害種別	視覚障害	4	25.0	75.0	-	-
	聴覚・平衡機能障害	5	100.0	-	-	-
	音声・言語・そしゃく障害	4	75.0	25.0	-	-
	内部障害	7	71.4	-	28.6	-
	肢体不自由	36	77.8	19.4	2.8	-
知的障害者		32	59.4	40.6	-	-
年齢別	18歳未満	1	100.0	-	-	-
	18～39歳	5	60.0	40.0	-	-
	40～64歳	20	60.0	40.0	-	-
	65歳以上	6	50.0	50.0	-	-
精神障害者		10	40.0	50.0	-	10.0
年齢別	39歳以下	3	66.7	-	-	33.3
	40～64歳	4	-	100.0	-	-
	65歳以上	3	66.7	33.3	-	-

2-5 障害手帳の種類

問6 あなたは次の障害に関わる手帳を所持していますか。(すべて)
また、それぞれの手帳について、その判定・等級もお答えください。

【身体障害者手帳の等級】

身体障害者手帳の等級については、「1級」は18歳未満(46.7%)で割合が高くなっています。

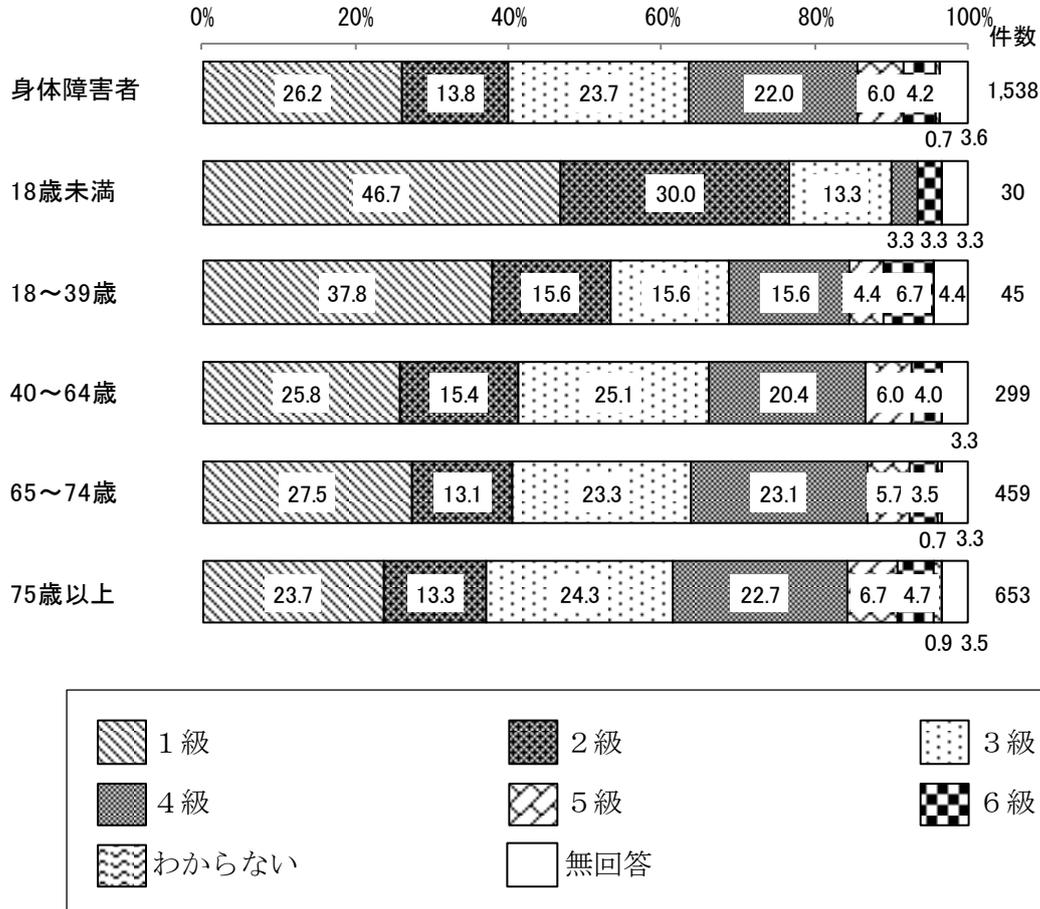


図 2-5-1 身体障害者手帳の等級(年齢別)

【療育手帳の判定】

療育手帳の判定については、「C判定」は18歳未満(49.1%)で割合が高くなっています。

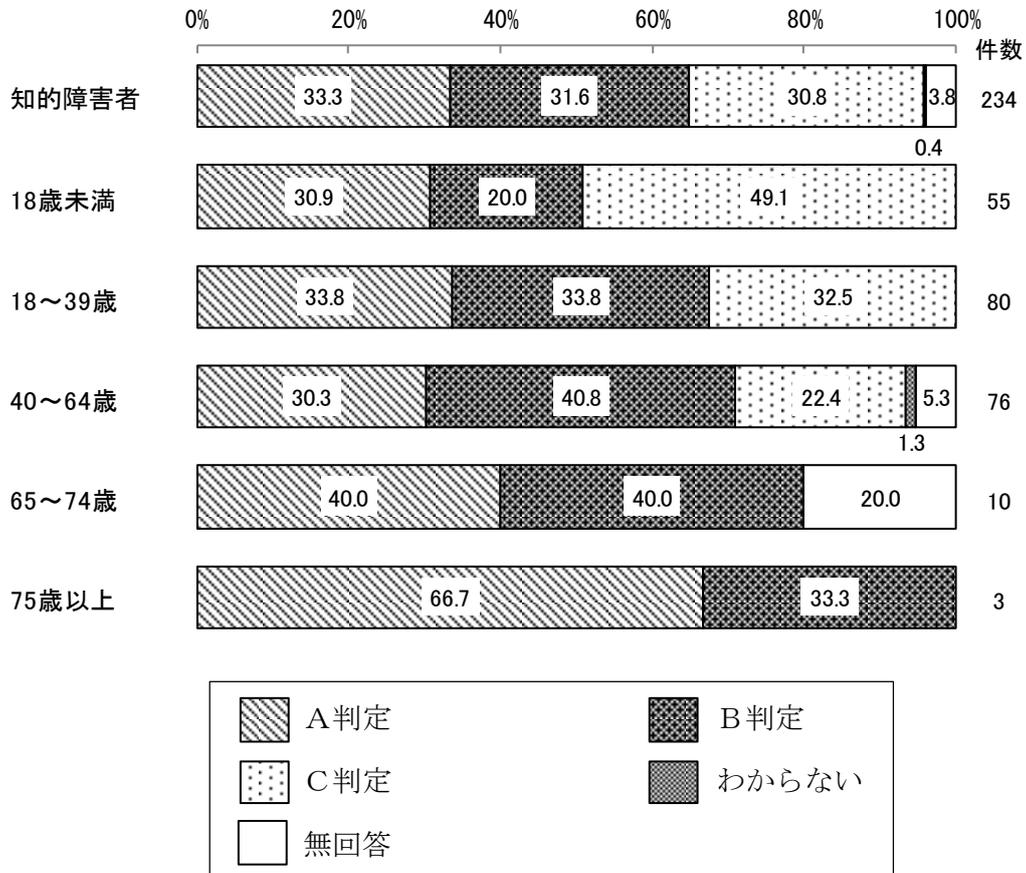


図 2-5-2 療育手帳の判定(年齢別)

【精神障害者保健福祉手帳の等級】

精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」は65～74歳（21.4%）で、「3級」は18～39歳（20.0%）でそれぞれ割合が高くなっています。

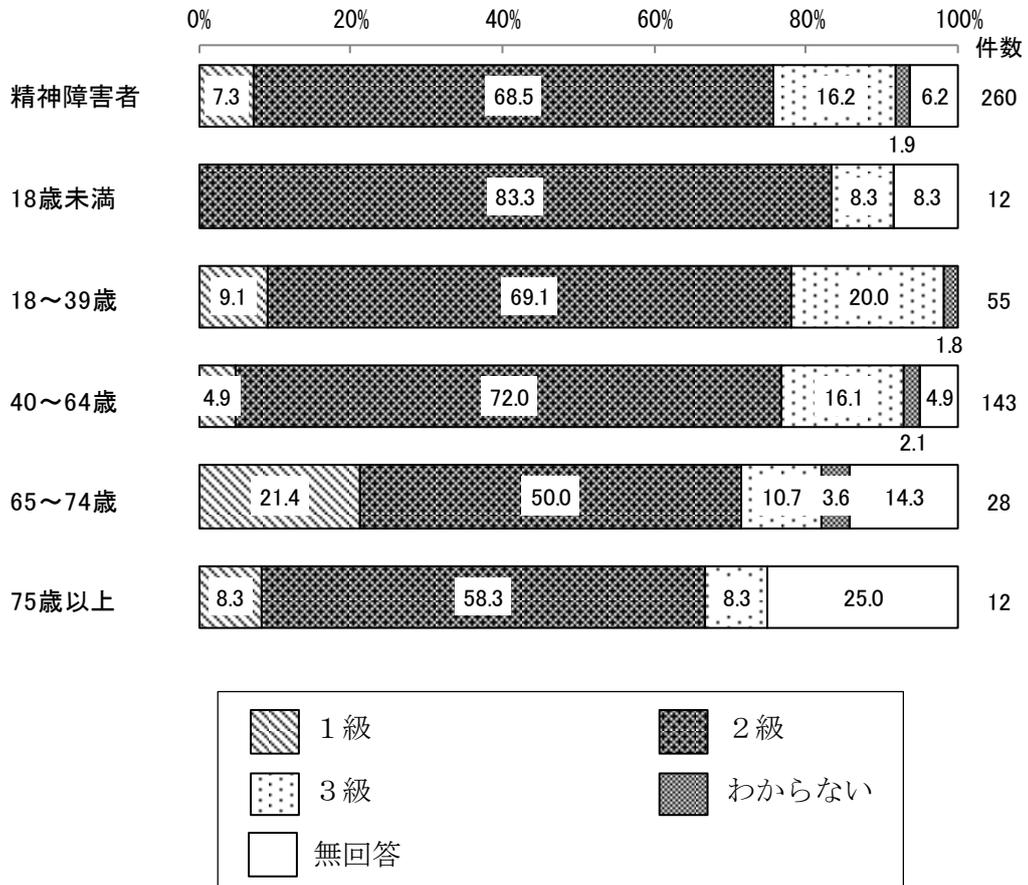


図 2-5-3 精神障害者保健福祉手帳の等級(年齢別)

2-6 障害の種類

問7 あなたの障害の種類をお答えください。(すべて)

障害の種類については、身体障害者では「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、脳原性運動機能など）」が48.6%で最も高く、次いで「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が30.8%などとなっています。

知的障害者では「知的障害」が79.5%で、次いで「発達障害（アスペルガー症候群など）」が27.4%などとなっています。

精神障害者では「精神障害」が85.0%で、次いで「発達障害（アスペルガー症候群など）」が12.3%などとなっています。

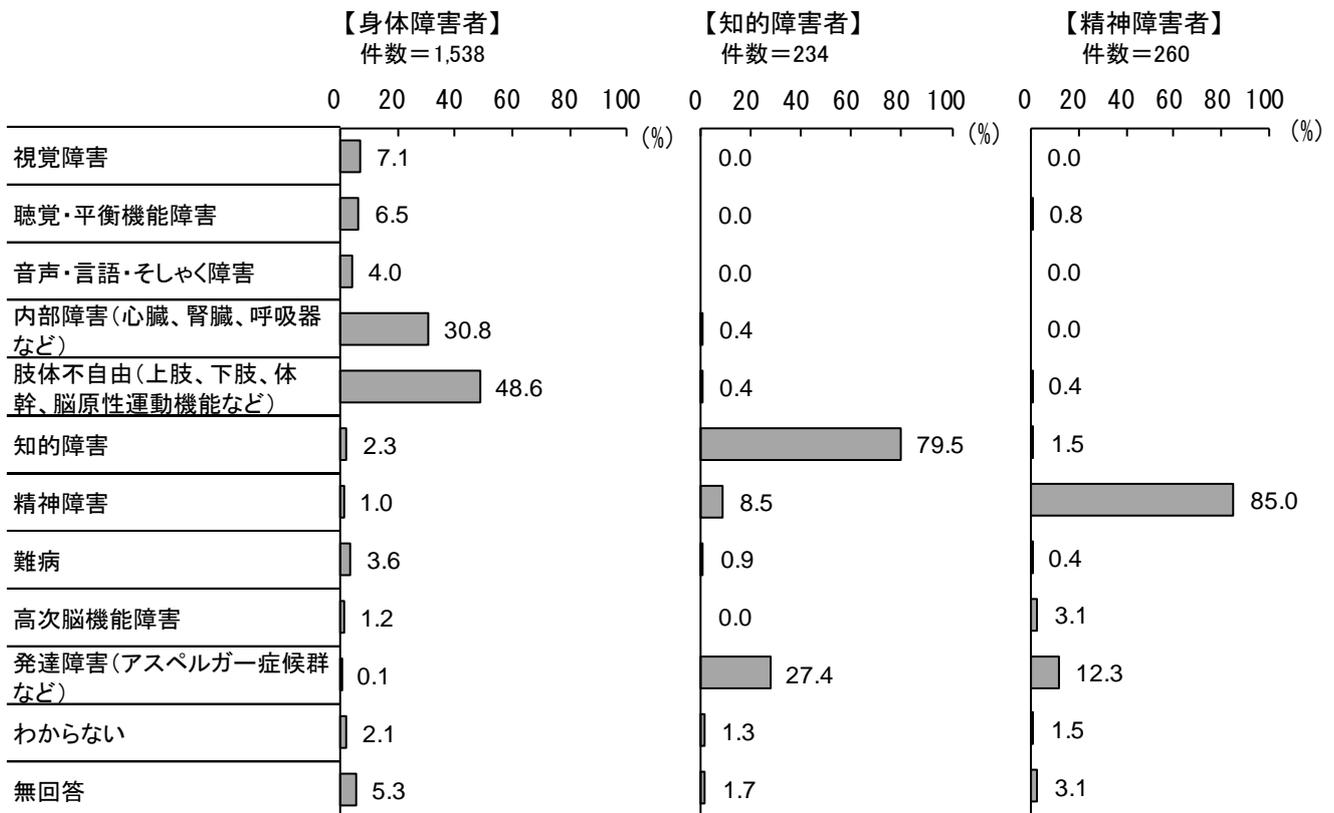


図 2-6 障害の種類

年齢別・性別・等級別でみると、年齢別では「聴覚・平衡機能障害」は18歳未満が26.7%で高くなっています。

性別では「内部障害」は男性（38.3%）が女性（23.9%）より14.4ポイント高く、「肢体不自由」は女性（54.8%）が男性（42.4%）より12.4ポイント高くなっています。

等級別では「聴覚・平衡機能障害」は6級（45.3%）で、「内部障害」は1級（68.7%）で、「肢体不自由」は5級（72.8%）でそれぞれ最も高くなっています。

表 2-6 障害の種類(年齢別・性別・等級別)

		件数	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	く音声・言語・そしゃ	臓、内部障害（心臓、腎、呼吸器など）	運動機能など）	下肢、不自由（上肢、脳原性）
		(件、%)						
身体障害者		1,538	7.1	6.5	4.0	30.8	48.6	
年齢別	18歳未満	30	6.7	26.7	6.7	30.0	60.0	
	18～39歳	45	6.7	13.3	15.6	28.9	51.1	
	40～64歳	299	8.0	3.7	3.3	26.4	54.5	
	65～74歳	459	6.8	5.0	3.5	32.0	49.5	
	75歳以上	653	7.0	7.7	3.8	32.6	44.7	
性別	男性	731	7.1	5.3	4.2	38.3	42.4	
	女性	761	7.1	7.8	3.8	23.9	54.8	
等級別	1級	403	7.7	4.5	3.7	68.7	24.1	
	2級	212	17.0	11.3	3.8	5.7	66.0	
	3級	364	3.3	3.0	4.7	26.6	55.2	
	4級	338	2.4	3.8	3.3	24.3	60.4	
	5級	92	14.1	2.2	6.5	4.3	72.8	
	6級	64	9.4	45.3	1.6	-	39.1	
	わからない	10	-	30.0	10.0	10.0	20.0	

3 日常生活について

3-1 医療機関にかかる頻度

問8 あなたはどの程度、医療機関にかかっていますか。(1つだけ)

医療機関にかかる頻度については、身体障害者では「月に1回程度」が37.5%で最も高く、『月1回以上』（「月に1回程度」「月に2～3回」「週に1回程度」「週に2～4回程度」「週5回以上」の合計）は74.4%となっています。

知的障害者は、「年に数回」が32.9%で最も高く、『月1回以上』は49.6%となっています。

精神障害者は、「月に1回程度」が43.5%で最も高く、『月1回以上』は85.0%となっています。

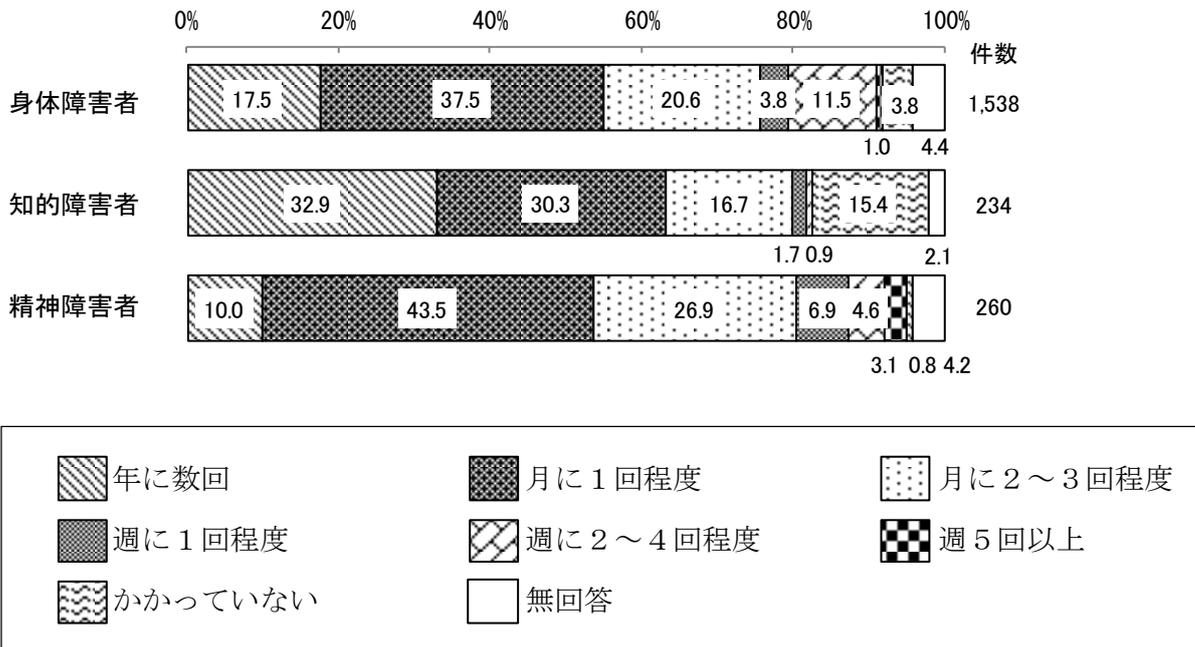


図 3-1 医療機関にかかる頻度

障害種別・等級別でみると、身体障害者では内部障害は『月1回以上』で84.9%、1級は『月1回以上』で85.8%となっています。

知的障害者では、「月に1回程度」はA判定で37.2%とやや高くなっています。

精神障害者では、3級より2級の方が医療機関にかかる頻度が高くなっています。

表 3-1 医療機関にかかる頻度(障害種別・等級別)

		件数	年に数回	月に1回程度	月に2〜3回程度	週に1回程度	週に2〜4回程度	週5回以上	かかっていない	無回答
(件、%)										
身体障害者		1,538	17.5	37.5	20.6	3.8	11.5	1.0	3.8	4.4
障害種別	視覚障害	109	18.3	42.2	25.7	4.6	5.5	0.9	1.8	0.9
	聴覚・平衡機能障害	100	22.0	31.0	29.0	4.0	3.0	5.0	5.0	1.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	21.3	42.6	16.4	1.6	6.6	1.6	4.9	4.9
	内部障害	474	11.4	38.8	20.5	3.2	21.1	1.3	0.8	3.0
	肢体不自由	748	20.1	36.4	21.4	4.3	9.0	0.7	5.3	2.9
等級別	1級	403	11.2	35.0	21.3	4.0	23.8	1.7	0.5	2.5
	2級	212	19.8	31.6	24.5	6.1	11.3	1.9	2.4	2.4
	3級	364	16.8	46.4	19.8	4.1	7.1	0.5	2.5	2.7
	4級	338	22.5	38.8	19.8	3.0	3.8	-	8.0	4.1
	5級	92	26.1	32.6	23.9	1.1	5.4	-	6.5	4.3
	6級	64	23.4	37.5	15.6	3.1	7.8	1.6	9.4	1.6
	わからない	10	-	30.0	20.0	10.0	-	10.0	30.0	-
知的障害者		234	32.9	30.3	16.7	1.7	0.9	-	15.4	2.1
判定別	A判定	78	34.6	37.2	20.5	1.3	-	-	5.1	1.3
	B判定	74	29.7	32.4	14.9	4.1	1.4	-	16.2	1.4
	C判定	72	36.1	20.8	12.5	-	1.4	-	26.4	2.8
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	10.0	43.5	26.9	6.9	4.6	3.1	0.8	4.2
等級別	1級	19	21.1	42.1	31.6	-	-	5.3	-	-
	2級	178	7.3	42.7	29.2	7.9	5.6	2.8	0.6	3.9
	3級	42	19.0	47.6	21.4	4.8	2.4	2.4	-	2.4
	わからない	5	-	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-

3-2 健康診断の受診状況

問9 あなたは毎年、健康診断を受けていますか。(1つだけ)
また、受けていないと答えた方は、その理由は何ですか。(すべて)

健康診断の受診状況については、健康診断の受診状況については、身体障害者では「受けている」が55.3%、知的障害者では「受けている」が71.4%となっています。精神障害者では「受けていない」が56.5%となっています。

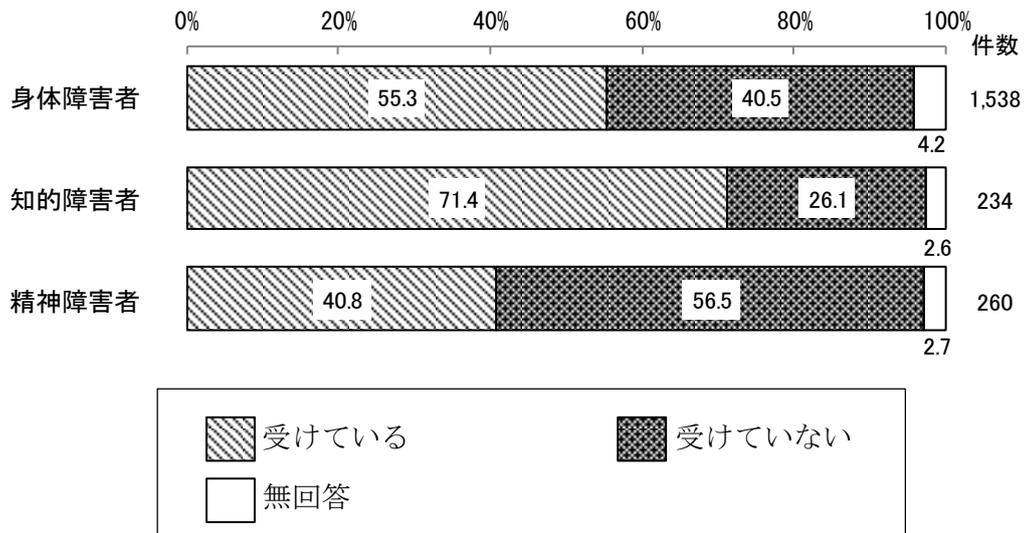


図 3-2 健康診断の受診状況

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「受けている」は聴覚・平衡機能障害が68.0%と高くなっています。また、等級が下がるほど「受けている」は高くなっています。

知的障害者では「受けている」は判定が上がるほど高く、A判定が83.3%と高くなっています。

精神障害者では「受けている」は等級が下がるほど高く、3級が52.4%と高くなっています。

表 3-2 健康診断の受診状況(障害種別・等級別)

		件数	受けている	受けていない	無回答
(件、%)					
身体障害者		1,538	55.3	40.5	4.2
障害種別	視覚障害	109	54.1	43.1	2.8
	聴覚・平衡機能障害	100	68.0	31.0	1.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	44.3	52.5	3.3
	内部障害	474	49.4	47.3	3.4
	肢体不自由	748	58.7	39.2	2.1
等級別	1級	403	49.9	46.9	3.2
	2級	212	50.9	48.6	0.5
	3級	364	53.3	43.1	3.6
	4級	338	63.3	34.3	2.4
	5級	92	71.7	25.0	3.3
	6級	64	70.3	28.1	1.6
	わからない	10	40.0	50.0	10.0
知的障害者		234	71.4	26.1	2.6
判定別	A判定	78	83.3	14.1	2.6
	B判定	74	73.0	25.7	1.4
	C判定	72	59.7	38.9	1.4
	わからない	1	100.0	-	-
精神障害者		260	40.8	56.5	2.7
等級別	1級	19	26.3	73.7	-
	2級	178	40.4	57.3	2.2
	3級	42	52.4	45.2	2.4
	わからない	5	20.0	80.0	-

3—3 健康診断を受けていない理由

健康診断を受けていない理由については、身体障害者では「既に病院にかかっているため」が67.7%で最も高く、次いで「自覚症状がないため」が8.8%などとなっています。

知的障害者は「自覚症状がないため」が23.0%、「既に病院にかかっているため」が14.8%などとなっています。

精神障害者は、「既に病院にかかっているため」が32.7%で最も高く、「自覚症状がないため」が23.8%などとなっています。

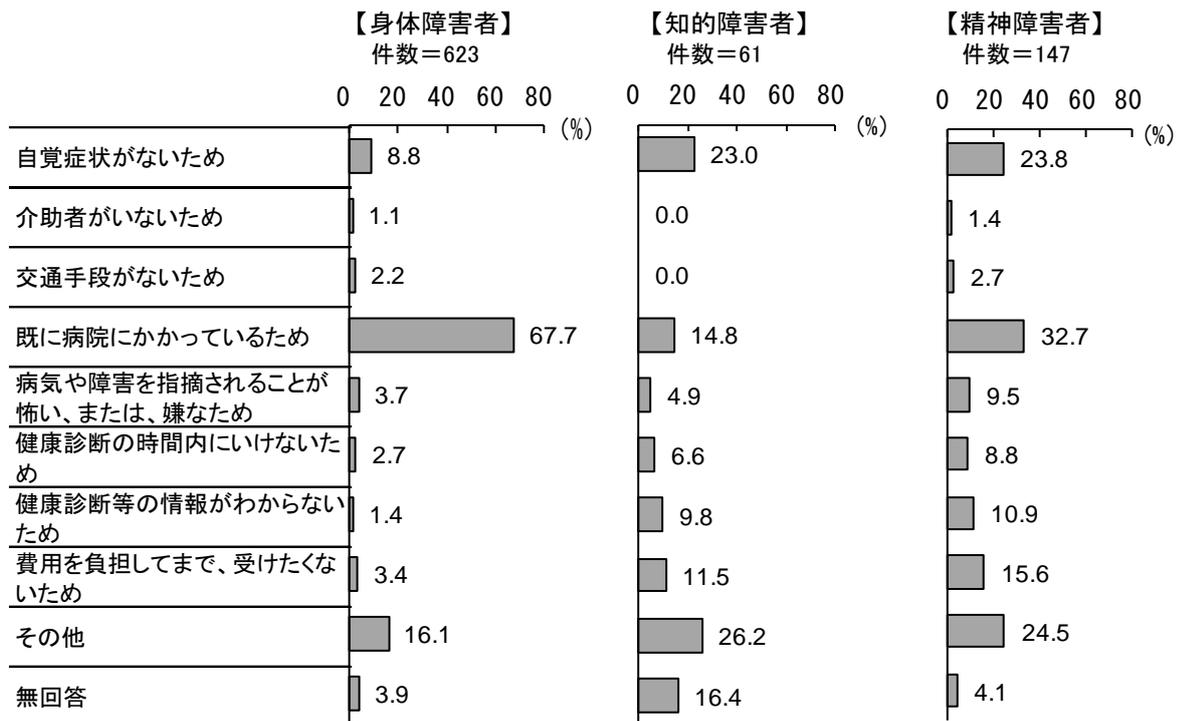


図 3-3 健康診断を受けていない理由

障害種別・等級別で見ると、身体障害者では、「既に病院にかかっているため」は内部障害が77.7%で高くなっています。

表 3-3 健康診断を受けていない理由(障害種別・等級別)

(件、%)		件数	自覚症状がないため	介助者がいないため	交通手段がないため	既に病院にかかっているため	病気や障害を指摘されたことが怖い、または、嫌なため	健康診断の時間内にいけないため	健康診断等の情報がわからないため	費用を負担してまいで、受けたくないため	その他	無回答
身体障害者		623	8.8	1.1	2.2	67.7	3.7	2.7	1.4	3.4	16.1	3.9
障害種別	視覚障害	47	12.8	2.1	2.1	59.6	6.4	6.4	2.1	-	21.3	2.1
	聴覚・平衡機能障害	31	19.4	-	6.5	41.9	-	6.5	6.5	9.7	29.0	3.2
	音声・言語・そしゃく障害	32	6.3	3.1	6.3	75.0	6.3	-	3.1	-	18.8	-
	内部障害	224	3.6	-	0.9	77.7	3.6	0.4	1.3	1.8	15.2	1.8
	肢体不自由	293	12.3	2.0	3.4	64.2	3.8	3.4	1.7	4.8	15.0	3.4
等級別	1級	189	3.2	0.5	2.6	73.5	2.6	3.7	1.1	2.1	17.5	2.1
	2級	103	7.8	1.9	1.9	68.0	4.9	-	1.9	1.9	18.4	3.9
	3級	157	9.6	0.6	0.6	70.7	2.5	2.5	-	1.3	14.0	5.1
	4級	116	14.7	1.7	3.4	61.2	6.0	5.2	1.7	6.9	12.1	2.6
	5級	23	13.0	-	4.3	52.2	8.7	-	-	17.4	26.1	4.3
	6級	18	27.8	-	-	55.6	-	-	5.6	5.6	22.2	5.6
	わからない	5	-	-	-	60.0	-	-	-	-	20.0	20.0
知的障害者		61	23.0	-	-	14.8	4.9	6.6	9.8	11.5	26.2	16.4
判定別	A判定	11	45.5	-	-	9.1	-	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2
	B判定	19	21.1	-	-	21.1	-	5.3	15.8	5.3	15.8	15.8
	C判定	28	14.3	-	-	14.3	10.7	7.1	7.1	14.3	35.7	14.3
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		147	23.8	1.4	2.7	32.7	9.5	8.8	10.9	15.6	24.5	4.1
等級別	1級	14	21.4	7.1	-	42.9	-	-	-	-	21.4	14.3
	2級	102	23.5	1.0	2.0	37.3	12.7	7.8	14.7	15.7	28.4	-
	3級	19	36.8	-	5.3	5.3	5.3	26.3	5.3	26.3	10.5	5.3
	わからない	4	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0

3-4 主な介助者

問 10 あなたを主に介助する人はどなたですか。(1つだけ)

主な介助者については、身体障害者では「同居の家族」が63.1%で最も高くなっています。

知的障害者では「同居の家族」が65.4%で最も高く、次いで「施設・病院の職員」が13.7%などとなっています。

精神障害者では、「同居の家族」が52.7%で最も高くなっています。

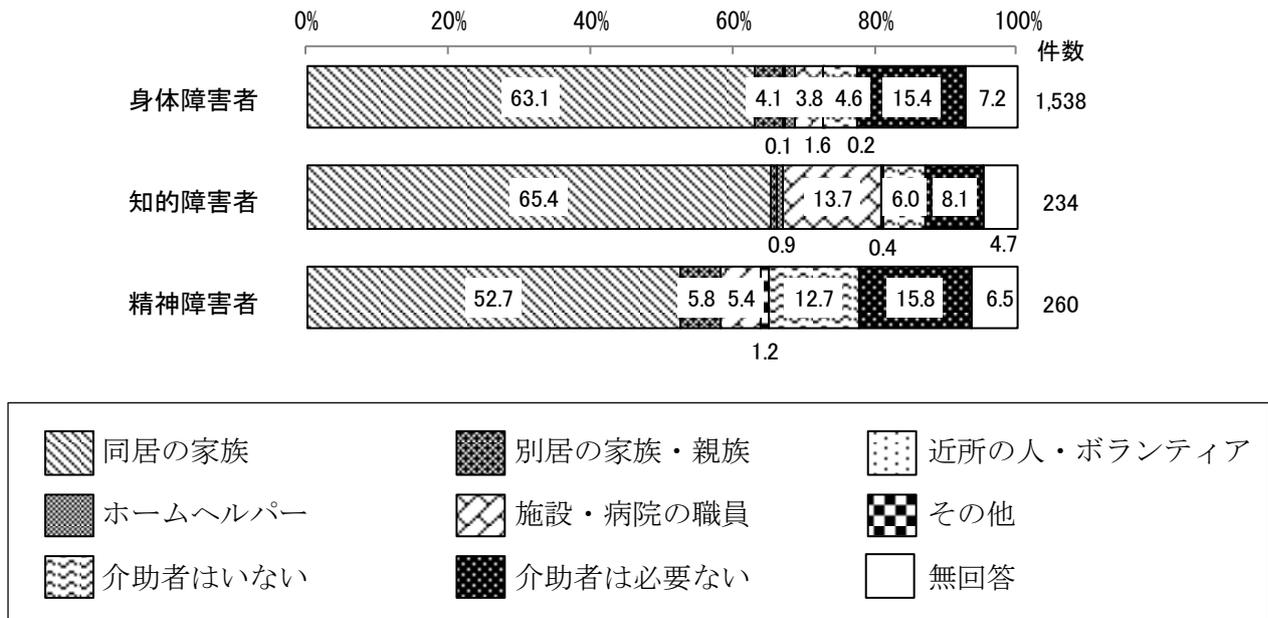


図 3-4-1 主な介助者

障害種別・等級別で見ると、身体障害者では「同居の家族」は音声・言語・そしゃく障害（80.3%）で8割以上、2級（73.1%）で7割以上と高くなっています。

知的障害者では「施設・病院の職員」はA判定が29.5%で約3割と高くなっています。

表 3-4-1 主な介助者(障害種別・等級別)

		件数	同居の家族	別居の家族・親族	近所の人・ボランティア	ホームヘルパー	施設・病院の職員	その他	介助者はいない	介助者は必要ない	無回答
(件、%)											
身体障害者		1,538	63.1	4.1	0.1	1.6	3.8	0.2	4.6	15.4	7.2
障害種別	視覚障害	109	67.9	2.8	-	4.6	4.6	-	4.6	11.0	4.6
	聴覚・平衡機能障害	100	58.0	5.0	-	2.0	7.0	-	6.0	14.0	8.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	80.3	-	-	-	8.2	-	4.9	3.3	3.3
	内部障害	474	68.8	3.8	-	0.6	1.7	0.4	4.9	15.2	4.6
	肢体不自由	748	64.6	4.3	0.1	1.2	4.4	0.1	4.0	16.7	4.5
等級別	1級	403	69.5	4.2	-	1.2	4.5	0.2	3.7	11.4	5.2
	2級	212	73.1	3.8	-	2.4	5.7	-	4.7	6.6	3.8
	3級	364	65.7	4.4	-	1.4	3.0	0.3	4.1	14.8	6.3
	4級	338	56.5	3.3	0.3	1.5	2.1	0.3	6.2	23.1	6.8
	5級	92	55.4	3.3	-	1.1	4.3	-	4.3	27.2	4.3
	6級	64	53.1	7.8	-	-	3.1	-	4.7	26.6	4.7
	わからない	10	20.0	10.0	-	20.0	20.0	-	10.0	-	20.0
知的障害者		234	65.4	0.9	-	0.9	13.7	0.4	6.0	8.1	4.7
判定別	A判定	78	66.7	-	-	-	29.5	-	-	1.3	2.6
	B判定	74	66.2	-	-	2.7	5.4	1.4	2.7	16.2	5.4
	C判定	72	68.1	1.4	-	-	2.8	-	15.3	8.3	4.2
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	52.7	5.8	-	-	5.4	1.2	12.7	15.8	6.5
等級別	1級	19	63.2	5.3	-	-	21.1	-	-	-	10.5
	2級	178	55.1	5.6	-	-	4.5	1.7	11.8	15.7	5.6
	3級	42	40.5	4.8	-	-	-	-	21.4	28.6	4.8
	わからない	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-

【主な介助者（同居家族）】

主な介助者（同居家族）については、身体障害者では「配偶者」が47.3%で最も高く、次いで「子ども」が16.6%などとなっています。

知的障害者では、「父母」が68.6%で最も高くなっています。

精神障害者では「父母」が39.4%で最も高く、次いで「配偶者」が31.4%などとなっています。

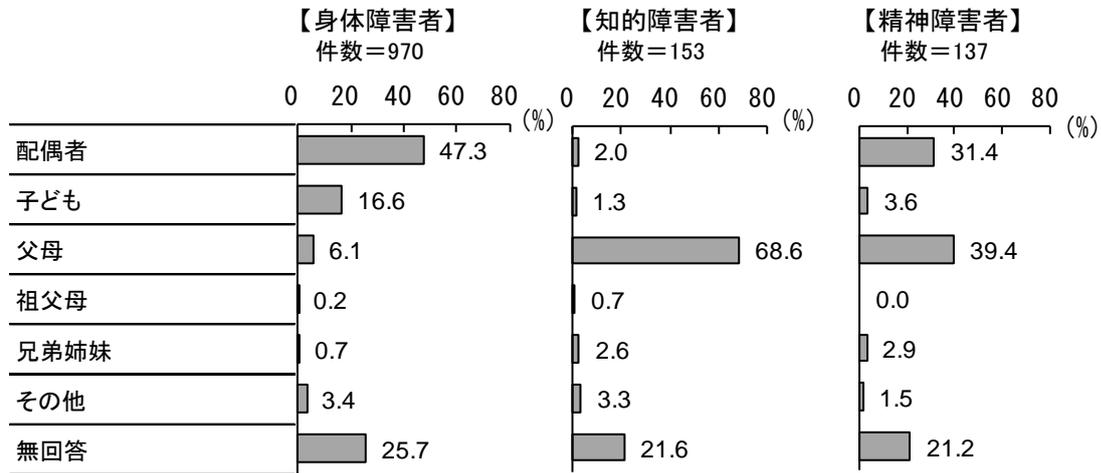


図 3-4-2 主な介助者(同居家族)

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「子ども」は6級が26.5%で高くなっています。

表 3-4-2 主な介助者(同居家族)(障害種別・等級別)

		件数	配偶者	子ども	父母	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
(件、%)									
身体障害者		970	47.3	16.6	6.1	0.2	0.7	3.4	25.7
障害種別	視覚障害	74	44.6	18.9	8.1	-	-	6.8	21.6
	聴覚・平衡機能障害	58	34.5	20.7	6.9	-	3.4	8.6	25.9
	音声・言語・そしゃく障害	49	49.0	12.2	12.2	2.0	-	2.0	22.4
	内部障害	326	46.6	17.2	5.2	0.3	0.9	3.4	26.4
	肢体不自由	483	49.7	15.7	7.0	0.2	0.4	2.1	24.8
等級別	1級	280	44.6	16.4	10.4	0.7	1.4	2.9	23.6
	2級	155	45.2	15.5	11.0	-	0.6	3.9	23.9
	3級	239	48.1	16.7	3.8	-	-	3.8	27.6
	4級	191	53.9	16.2	0.5	-	-	2.6	26.7
	5級	51	43.1	17.6	2.0	-	-	3.9	33.3
	6級	34	41.2	26.5	2.9	-	2.9	5.9	20.6
	わからない	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	知的障害者	153	2.0	1.3	68.6	0.7	2.6	3.3	21.6
判定別	A判定	52	3.8	1.9	75.0	1.9	-	-	17.3
	B判定	49	-	2.0	73.5	-	6.1	6.1	12.2
	C判定	49	2.0	-	61.2	-	2.0	4.1	30.6
	わからない	1	-	-	-	-	-	-	100.0
精神障害者		137	31.4	3.6	39.4	-	2.9	1.5	21.2
等級別	1級	12	41.7	8.3	25.0	-	-	-	25.0
	2級	98	27.6	2.0	44.9	-	3.1	1.0	21.4
	3級	17	41.2	11.8	17.6	-	5.9	5.9	17.6
	わからない	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3

3-5 相談機関

問11 あなたが困った時に相談している（したことがある）機関はどこですか。（すべて）

困った時に相談する機関については、身体障害者では「病院・診療所・クリニック」が40.8%で最も高く、次いで「市役所・保健センター等の窓口」が20.4%、「介護保険事業所・ケアマネージャー」が19.8%などとなっています。

知的障害者では「市役所・保健センター等の窓口」が35.9%で最も高く、次いで「病院・診療所・クリニック」が33.3%、「障害福祉サービス事業所」が27.4%などとなっています。

精神障害者では「病院・診療所・クリニック」が64.6%で最も高く、次いで「市役所・保健センター等の窓口」が27.7%などとなっています。

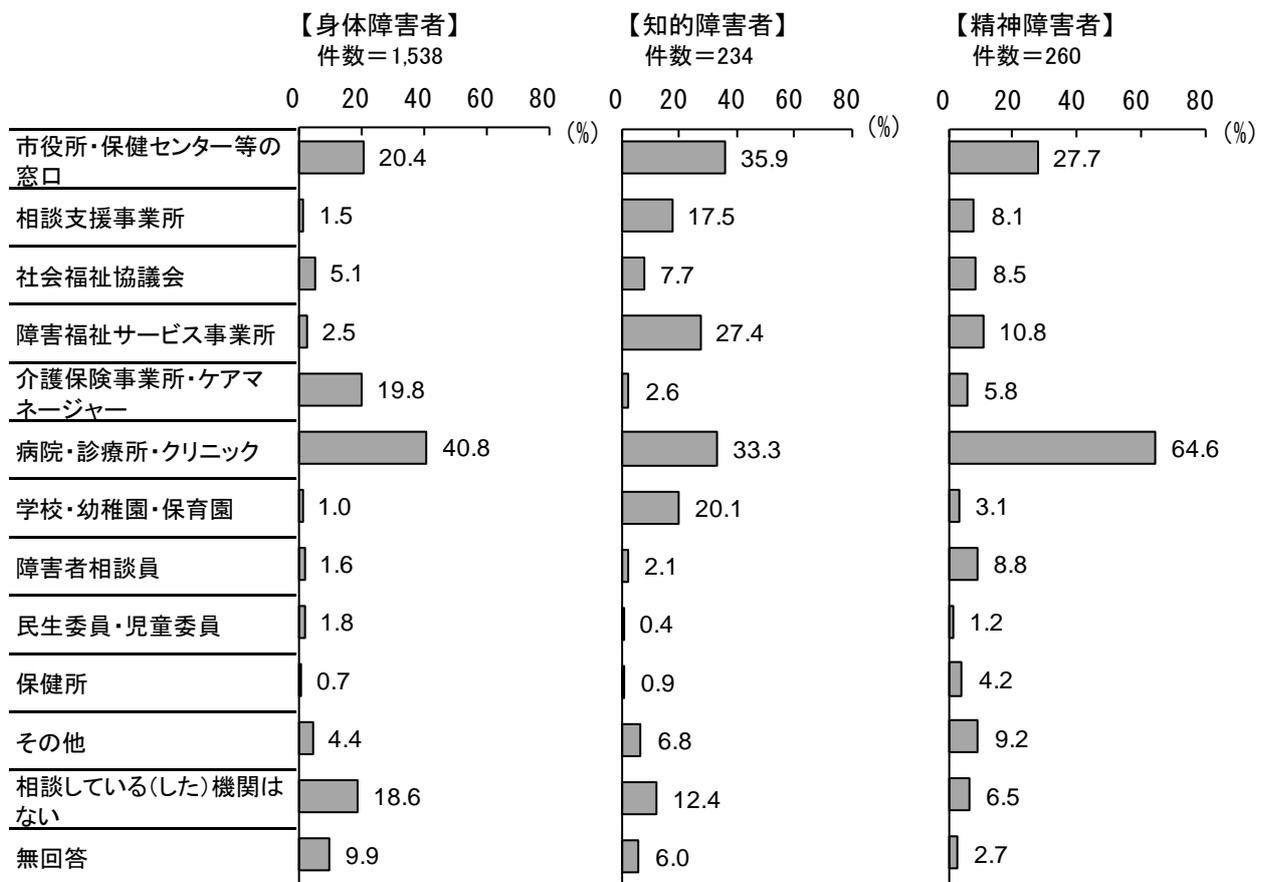


図 3-5 相談機関

身体障害者

年齢別・障害種別でみると、「市役所・保健センター等の窓口」は聴覚・平衡機能障害が31.0%、「介護保険事業所・ケアマネージャー」は75歳以上で30.0%、「病院・診療所・クリニック」は内部障害が53.6%でそれぞれ高くなっています。

表 3-5-1 身体障害者の相談機関(年齢別・障害種別)

	件数	市役所・保健センター等の窓口	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	介護保険事業所・ケアマネージャー	病院・診療所・クリニック	学校・幼稚園・保育園	障害者相談員	民生委員・児童委員	保健所	その他	相談していない(した)機関	無回答	
(件、%)															
身体障害者	1,538	20.4	1.5	5.1	2.5	19.8	40.8	1.0	1.6	1.8	0.7	4.4	18.6	9.9	
年齢別	18歳未満	30	53.3	6.7	6.7	10.0	3.3	76.7	43.3	-	3.3	6.7	3.3	3.3	
	18～39歳	45	24.4	6.7	8.9	8.9	-	37.8	2.2	2.2	2.2	4.4	22.2	6.7	
	40～64歳	299	24.1	3.0	5.4	3.3	8.4	40.1	0.3	3.3	0.7	1.7	4.3	28.4	4.0
	65～74歳	459	18.7	0.9	5.4	2.0	14.8	42.0	-	1.3	0.9	0.9	3.5	24.4	9.4
	75歳以上	653	19.0	0.8	4.6	1.5	30.0	39.8	-	1.1	3.1	0.2	4.1	11.2	12.9
障害種別	視覚障害	109	26.6	2.8	11.0	4.6	23.9	32.1	-	3.7	4.6	-	7.3	15.6	8.3
	聴覚・平衡機能障害	100	31.0	1.0	14.0	11.0	19.0	34.0	5.0	2.0	4.0	1.0	5.0	15.0	9.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	27.9	1.6	9.8	4.9	29.5	34.4	-	-	1.6	1.6	9.8	13.1	8.2
	内部障害	474	20.5	1.3	2.5	1.1	14.8	53.6	0.4	0.6	1.9	0.4	1.7	18.1	8.9
	肢体不自由	748	20.1	1.5	5.7	2.8	24.2	39.2	1.3	2.0	1.3	0.7	5.1	20.5	7.0
等級別	1級	403	20.6	1.5	7.2	2.2	23.8	43.9	1.2	2.2	1.7	0.2	3.2	16.4	8.2
	2級	212	24.5	2.8	8.0	5.2	33.5	39.2	3.3	1.4	1.9	0.5	6.6	14.6	3.8
	3級	364	19.2	1.4	3.3	1.6	19.8	43.4	0.5	1.9	2.5	1.6	3.6	20.3	8.8
	4級	338	20.4	0.9	3.3	0.9	10.4	43.2	-	0.3	-	0.9	4.4	22.5	9.8
	5級	92	19.6	1.1	3.3	2.2	16.3	32.6	-	4.3	3.3	-	4.3	25.0	6.5
	6級	64	21.9	-	6.3	6.3	10.9	34.4	1.6	1.6	3.1	-	7.8	17.2	20.3
	わからない	10	10.0	-	-	10.0	30.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	-	30.0

知的障害者

年齢別・等級別でみると、「市役所・保健センター等の窓口」はA判定が46.2%、「障害福祉サービス事業所」は18歳未満が49.1%、「病院・診療所・クリニック」は18歳未満が50.9%、「学校・幼稚園・保育園」は18歳未満が69.1%でそれぞれ高くなっています。

表 3-5-2 知的障害者の相談機関(年齢別・等級別)

(件、%)		件数	窓 口	セ ン タ ー	市 役 所 ・ 保 健	所 相 談 支 援 事 業	会 社 会 福 祉 協 議	ビ 障 害 福 祉 サ ー ス 事 業 所	ネ ー ジ ヤ ー	所 ・ 介 護 保 険 事 業	ク 所 ・ 病 院 ・ 診 療 所	園 学 校 ・ 保 育 園 ・ 幼 稚
知的障害者		234	35.9	17.5	7.7	27.4	2.6	33.3	20.1			
年齢別	18歳未満	55	41.8	25.5	7.3	49.1	1.8	50.9	69.1			
	18～39歳	80	35.0	13.8	13.8	27.5	1.3	32.5	10.0			
	40～64歳	76	34.2	14.5	2.6	15.8	2.6	26.3	1.3			
	65歳以上	13	23.1	15.4	-	15.4	15.4	23.1	-			
判定別	A判定	78	46.2	26.9	11.5	32.1	5.1	41.0	20.5			
	B判定	74	33.8	14.9	6.8	28.4	2.7	27.0	16.2			
	C判定	72	30.6	12.5	5.6	22.2	-	33.3	26.4			
	わからない	1	-	-	-	100.0	-	-	-			
		件数	障 害 者 相 談 員	童 民 委 員 ・ 児	保 健 所	そ の 他	は な い (相 談 し て い る 機 関	無 回 答				
知的障害者		234	2.1	0.4	0.9	6.8	12.4	6.0				
年齢別	18歳未満	55	-	-	3.6	3.6	3.6	1.8				
	18～39歳	80	3.8	-	-	5.0	16.3	2.5				
	40～64歳	76	2.6	1.3	-	9.2	15.8	10.5				
	65歳以上	13	-	-	-	15.4	7.7	15.4				
判定別	A判定	78	-	-	-	7.7	9.0	2.6				
	B判定	74	2.7	1.4	-	5.4	16.2	4.1				
	C判定	72	2.8	-	2.8	5.6	11.1	9.7				
	わからない	1	-	-	-	-	-	-				

精神障害者

年齢別・等級別で見ると、「介護保険事業所・ケアマネージャー」は65歳以上が25.0%で高くなっています。

表 3-5-3 精神障害者の相談機関(年齢別・等級別)

		件数	窓口 センター 等	市役所・ 保健 の健	所 相談 支援 事業	会 社 福 祉 協 議	ビ 障 害 福 祉 サ ー 	ネ 所 ・ 介 護 保 険 事 業 所 ・ ケ ア マ ネ ー ジ ャ ー	ク 所 病 院 ・ ク リ ニ ク 	園 学 校 ・ 保 育 園 ・ 幼 稚
(件、%)										
精神障害者		260	27.7	8.1	8.5	10.8	5.8	64.6	3.1	
年齢別	39歳以下	67	25.4	4.5	9.0	17.9	3.0	64.2	11.9	
	40～64歳	143	32.2	10.5	9.8	10.5	2.1	66.4	-	
	65歳以上	40	22.5	5.0	2.5	2.5	25.0	60.0	-	
等級別	1級	19	47.4	10.5	10.5	5.3	26.3	47.4	-	
	2級	178	25.8	7.9	9.6	11.2	3.4	68.5	3.4	
	3級	42	23.8	7.1	-	11.9	2.4	64.3	2.4	
	わからない	5	60.0	20.0	40.0	20.0	-	100.0	-	
		件数	障 害 者 相 談 員	童 民 生 委 員 ・ 児	保 健 所	そ の 他	は （ 相 談 し て い る 機 関 ） な い	無 回 答		
精神障害者		260	8.8	1.2	4.2	9.2	6.5	2.7		
年齢別	39歳以下	67	9.0	1.5	3.0	11.9	6.0	1.5		
	40～64歳	143	10.5	-	6.3	8.4	5.6	1.4		
	65歳以上	40	5.0	2.5	-	7.5	7.5	5.0		
等級別	1級	19	21.1	-	10.5	10.5	5.3	-		
	2級	178	7.9	1.7	4.5	9.6	5.6	2.2		
	3級	42	9.5	-	-	11.9	11.9	-		
	わからない	5	20.0	-	20.0	-	-	-		

4 入院について

4-1 病院・診療所への入院歴

問12 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方のみお答えください。あなたは病院・診療所に入院したことがありますか。(いずれかに○)

病院・診療所への入院歴については、「ある」が61.2%、「ない」が33.1%となっています。

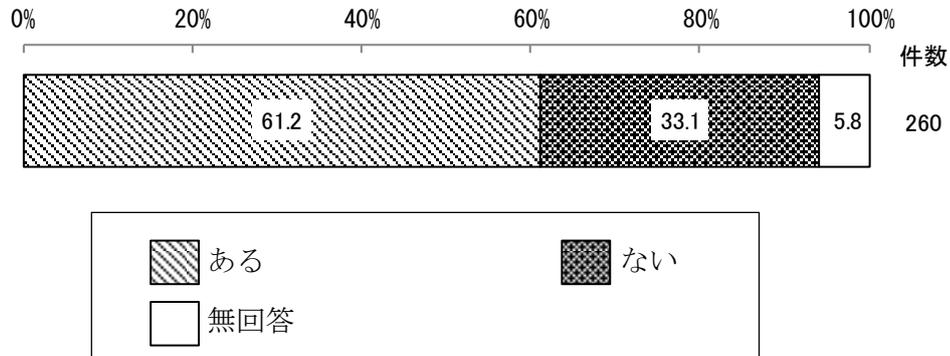


図 4-1 病院・診療所への入院歴

4-2 入院する際に困った事

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお聞きします。入院に関して何か困ったことはありますか。(すべて)

入院で困ったことについては、「入院生活が苦痛である」が45.9%で最も高く、次いで「入院費の自己負担が大変である」が34.6%、「入退院を繰り返してしまう」が22.6%などとなっています。

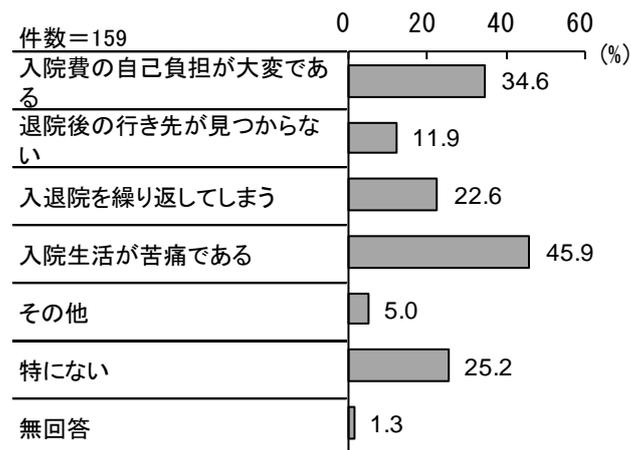


図 4-2 入院する際に困った事

表 4-2 精神障害者の入院する際に困った事(等級別)

(件、%)		件数	入院費の変である	入院後の行き先が見つからない	もう入院を繰り返してしま	入院生活が苦痛である	その他	特にな	無回答
精神障害者		159	34.6	11.9	22.6	45.9	5.0	25.2	1.3
等級別	1級	14	28.6	7.1	7.1	42.9	7.1	21.4	7.1
	2級	122	33.6	14.8	25.4	49.2	5.7	22.1	0.8
	3級	13	61.5	-	23.1	30.8	-	30.8	-
	わからない	2	-	-	-	-	-	100.0	-

5 住まい・暮らし・生計について

5-1 住居の形態

問13 あなたの住まいは次のどれにあたりますか。(1つだけ)

居住形態については、身体障害者では「持ち家(家族名義を含む)」が82.7%で最も高くなっています。

知的障害者では「持ち家(家族名義を含む)」が65.8%で最も高く、次いで「施設」が14.5%などとなっています。

精神障害者では「持ち家(家族名義を含む)」が69.2%で最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」が15.4%などとなっています。

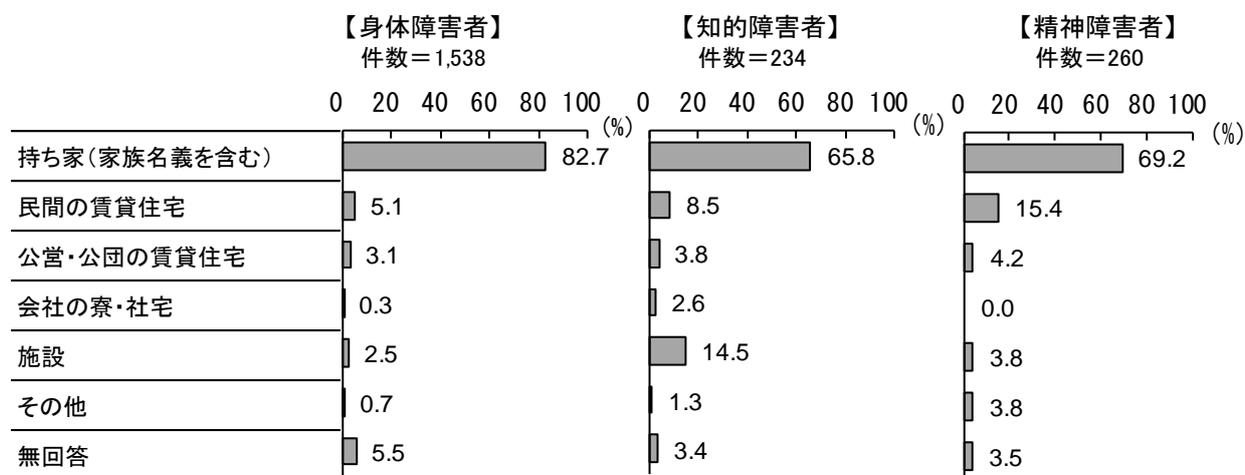


図 5-1 住居の形態

障害種別・等級別で見ると知的障害者では「施設」はA判定が29.5%で約3割と高くなっています。

表 5-1 住居の形態(障害種別・等級別)

		件数	含持ち家 (家族名義を 含む)	民間の 賃貸住宅	宅公営・公団の 賃貸住	会社の寮・社宅	施設	その他	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	82.7	5.1	3.1	0.3	2.5	0.7	5.5
障害種別	視覚障害	109	74.3	7.3	6.4	0.9	3.7	0.9	6.4
	聴覚・平衡機能障害	100	78.0	8.0	4.0	-	3.0	4.0	3.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	83.6	1.6	6.6	1.6	3.3	-	3.3
	内部障害	474	88.4	3.8	1.5	0.4	1.1	0.8	4.0
	肢体不自由	748	82.9	4.5	3.2	0.1	3.3	0.4	5.5
等級別	1級	403	83.1	4.2	2.2	0.5	2.2	1.0	6.7
	2級	212	79.2	6.6	5.7	-	4.2	1.4	2.8
	3級	364	84.9	4.7	2.5	0.3	1.6	0.3	5.8
	4級	338	87.6	3.8	1.8	0.3	2.1	0.3	4.1
	5級	92	78.3	8.7	5.4	1.1	2.2	-	4.3
	6級	64	81.3	4.7	3.1	-	1.6	3.1	6.3
	わからない	10	60.0	20.0	-	-	10.0	-	10.0
知的障害者		234	65.8	8.5	3.8	2.6	14.5	1.3	3.4
判定別	A判定	78	53.8	3.8	5.1	1.3	29.5	-	6.4
	B判定	74	74.3	12.2	1.4	2.7	9.5	-	-
	C判定	72	72.2	11.1	4.2	4.2	1.4	4.2	2.8
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	69.2	15.4	4.2	-	3.8	3.8	3.5
等級別	1級	19	68.4	-	5.3	-	10.5	10.5	5.3
	2級	178	69.1	16.9	4.5	-	3.9	3.4	2.2
	3級	42	71.4	19.0	2.4	-	2.4	-	4.8
	わからない	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-

5-2 暮らしに対する考え

問14 あなたはこれからの暮らしについてどのように考えていますか。(1つだけ)

今後の暮らしについての考えについては、身体障害者では「今の暮らしのままでよい」が71.3%で最も高く、次いで「在宅で暮らしたい」が11.6%などとなっています。

知的障害者では「今の暮らしのままでよい」が60.3%で最も高く、次いで「施設やグループホームなどに入所したい」が14.1%などとなっています。

精神障害者では「今の暮らしのままでよい」が55.8%で最も高くなっています。

障害種別・性別でみると、「施設やグループホームなどに入所したい」が知的障害者、精神障害者で男性より女性の割合が高くなっています。

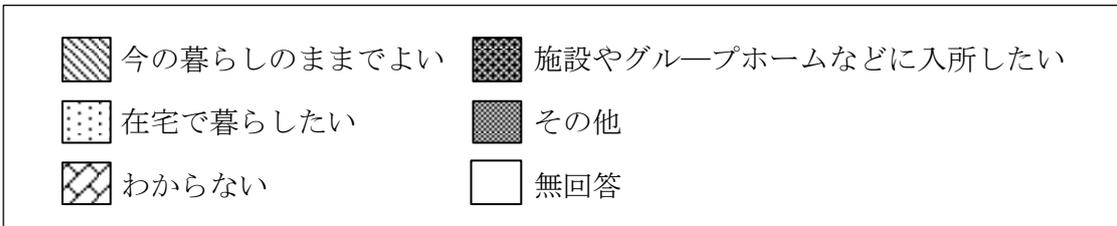
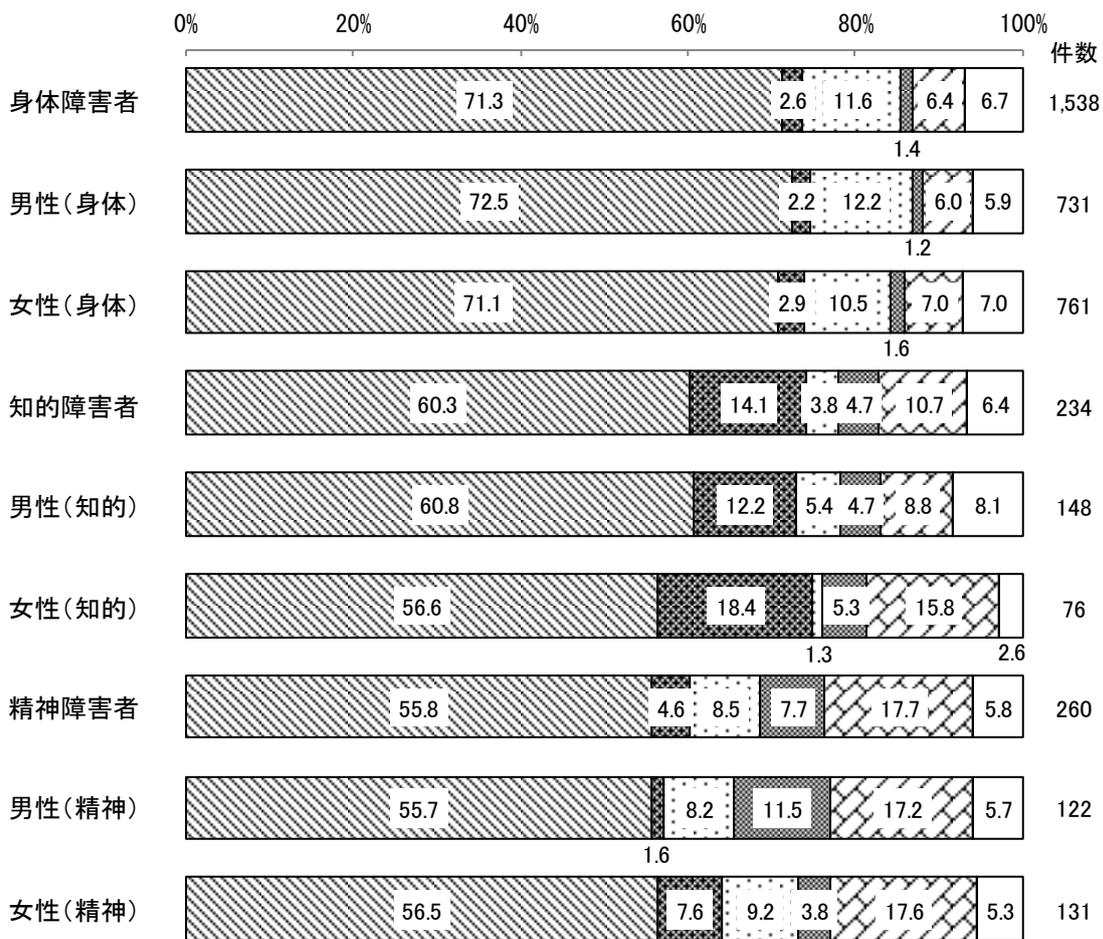


図 5-2 暮らしに対する考え

表 5-2 暮らしに対する考え(障害種別・等級別)

		件数	今の暮らしのままでもいい	施設やグループホームなどに入所したい	在宅で暮らしたい	その他	わからない	無回答
(件、%)								
身体障害者		1,538	71.3	2.6	11.6	1.4	6.4	6.7
障害種別	視覚障害	109	64.2	3.7	12.8	1.8	11.0	6.4
	聴覚・平衡機能障害	100	69.0	3.0	11.0	2.0	10.0	5.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	57.4	3.3	18.0	1.6	14.8	4.9
	内部障害	474	73.4	1.9	13.3	1.3	4.4	5.7
	肢体不自由	748	71.0	2.5	13.0	1.3	5.6	6.6
等級別	1級	403	70.2	3.0	12.9	1.0	5.7	7.2
	2級	212	72.2	2.4	12.3	1.9	7.5	3.8
	3級	364	72.3	1.6	11.8	1.4	6.3	6.6
	4級	338	74.6	2.7	10.7	1.2	5.3	5.6
	5級	92	75.0	1.1	12.0	2.2	3.3	6.5
	6級	64	62.5	7.8	10.9	1.6	6.3	10.9
	わからない	10	40.0	-	20.0	-	30.0	10.0
知的障害者		234	60.3	14.1	3.8	4.7	10.7	6.4
判定別	A判定	78	59.0	17.9	2.6	6.4	7.7	6.4
	B判定	74	60.8	17.6	4.1	4.1	12.2	1.4
	C判定	72	62.5	5.6	5.6	4.2	13.9	8.3
	わからない	1	-	100.0	-	-	-	-
精神障害者		260	55.8	4.6	8.5	7.7	17.7	5.8
等級別	1級	19	52.6	10.5	5.3	10.5	15.8	5.3
	2級	178	55.1	5.1	10.7	7.9	16.9	4.5
	3級	42	54.8	-	4.8	9.5	21.4	9.5
	わからない	5	40.0	-	-	-	60.0	-

5-3 主な収入源

問15 あなたの収入で最も多いものは何ですか。(1つだけ)

最も多い収入源については、身体障害者では「公的年金等」が59.7%で最も高く、次いで「障害年金・障害者手当等」が12.7%などとなっています。

知的障害者では「障害年金・障害者手当等」が50.9%で最も高く、次いで「給料・自営収入・農業収入等」が18.8%などとなっています。

精神障害者では「障害年金・障害者手当等」が40.4%、次いで「給料・自営収入・農業収入等」が16.9%などとなっています。

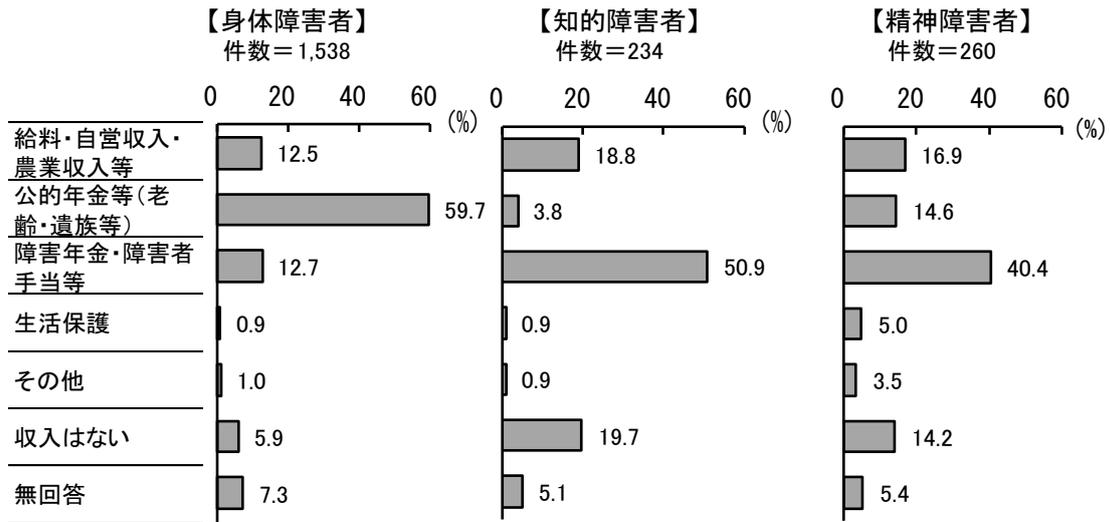


図 5-3 主な収入源

身体障害者

年齢別・障害種別・等級別でみると、「公的年金等」は65～74歳（72.5%）、「障害年金・障害者手当等」は視覚障害（23.9%）、音声・言語・そしゃく障害（24.6%）2級（23.6%）がそれぞれ高くなっています。

表 5-3-1 主な収入源（年齢別・障害種別・等級別）

(件、%)		件数	業給 収入料 ・自 営収入 ・農	遺公 族的年 金等 (老 齢・	当障 害年 金・ 障 害者 手	生 活保 護	そ の 他	収 入 は な い	無 回 答
身体障害者		1,538	12.5	59.7	12.7	0.9	1.0	5.9	7.3
年齢別	18歳未満	30	10.0	-	16.7	-	-	70.0	3.3
	18～39歳	45	40.0	-	44.4	-	2.2	8.9	4.4
	40～64歳	299	41.1	13.0	26.1	2.3	1.7	11.0	4.7
	65～74歳	459	6.1	72.5	13.1	0.2	0.9	1.7	5.4
	75歳以上	653	2.5	79.0	4.3	0.9	0.6	3.2	9.5
障害種別	視覚障害	109	6.4	54.1	23.9	2.8	0.9	4.6	7.3
	聴覚・平衡機能障害	100	10.0	53.0	20.0	1.0	-	9.0	7.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	8.2	52.5	24.6	-	1.6	4.9	8.2
	内部障害	474	14.8	65.4	9.1	0.2	0.6	3.8	6.1
	肢体不自由	748	12.3	59.2	14.3	0.7	0.8	6.1	6.6
等級別	1級	403	11.7	53.6	21.1	0.5	0.7	5.0	7.4
	2級	212	9.4	53.8	23.6	1.4	1.4	6.1	4.2
	3級	364	13.7	62.9	8.2	0.5	0.8	6.6	7.1
	4級	338	12.7	66.9	4.4	-	1.2	7.1	7.7
	5級	92	16.3	67.4	3.3	2.2	1.1	4.3	5.4
	6級	64	20.3	62.5	1.6	1.6	1.6	1.6	10.9
	わからない	10	-	70.0	10.0	-	-	-	20.0

知的障害者・精神障害者

年齢別・等級別でみると、知的障害者では「障害年金・障害者手当等」は40～64歳(64.5%)、「給料・自営収入・農業収入等」はC判定(33.3%)、「障害年金・障害者手当等」はA判定(74.4%)がそれぞれ高くなっています。

精神障害者では「公的年金等」は65歳以上(60.0%)、「給料・自営収入・農業収入等」は3級(33.3%)でそれぞれ高くなっています。

表 5-3-2 主な収入源(年齢別・等級別)

		件数	業給 収入料 等・自 営収入 ・農	遺公 族的年 金等金 等(老 齢・	当障 害年 金・ 障害 者手 当	生 活保 護	そ の他	収 入は ない	無 回 答
(件、%)									
知的障害者		234	18.8	3.8	50.9	0.9	0.9	19.7	5.1
年齢別	18歳未満	55	3.6	-	20.0	-	-	69.1	7.3
	18～39歳	80	32.5	5.0	51.3	-	1.3	6.3	3.8
	40～64歳	76	18.4	3.9	64.5	2.6	1.3	3.9	5.3
	65歳以上	13	-	15.4	84.6	-	-	-	-
判定別	A判定	78	3.8	3.8	74.4	-	-	11.5	6.4
	B判定	74	23.0	4.1	58.1	-	-	13.5	1.4
	C判定	72	33.3	2.8	16.7	1.4	2.8	36.1	6.9
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-
精神障害者		260	16.9	14.6	40.4	5.0	3.5	14.2	5.4
年齢別	18歳未満	12	-	-	-	-	-	100.0	-
	18～39歳	55	25.5	-	49.1	3.6	3.6	14.5	3.6
	40～64歳	143	19.6	7.7	45.5	7.0	4.2	11.2	4.9
	65歳以上	40	-	60.0	27.5	2.5	2.5	2.5	5.0
等級別	1級	19	26.3	26.3	26.3	-	15.8	-	5.3
	2級	178	13.5	11.2	49.4	5.6	2.2	13.5	4.5
	3級	42	33.3	14.3	16.7	2.4	2.4	23.8	7.1
	わからない	5	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-

6 外出状況について

6-1 外出回数

問16 あなたの外出回数はどのくらいですか。(1つだけ)

外出の頻度については、身体障害者では「ほぼ毎日」が37.1%で最も高く、次いで「週に数回」が35.9%、「月に数回」が13.3%などとなっています。

知的障害者では「ほぼ毎日」が67.5%で最も高く、次いで「月に数回」が15.0%、「週に数回」が9.4%などとなっています。

精神障害者では「ほぼ毎日」が38.5%で最も高く、次いで「週に数回」が36.5%、「月に数回」が10.4%などとなっています。

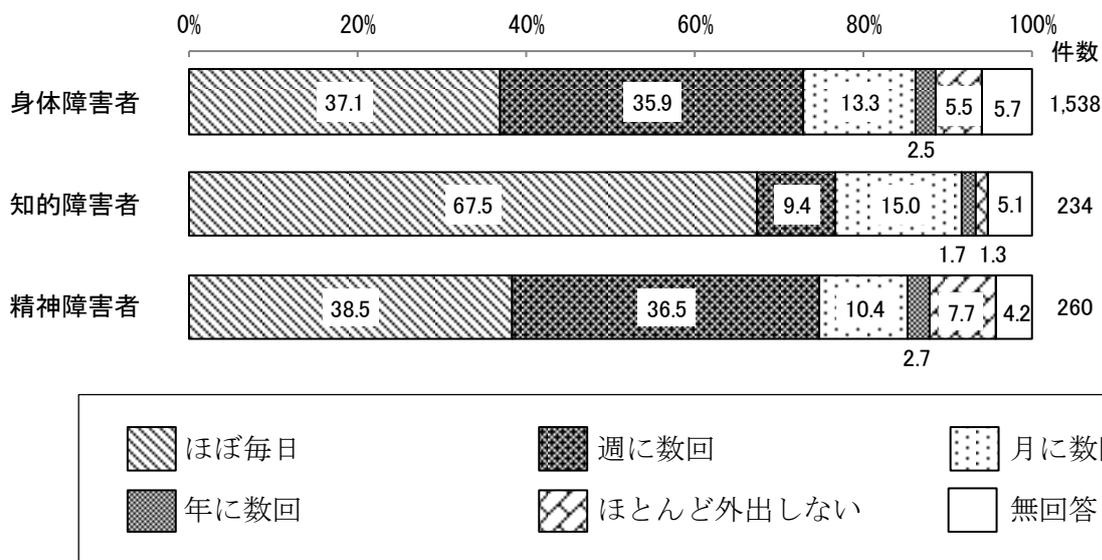


図 6-1 外出回数

身体障害者

年齢別・障害種別・等級別で見ると、「ほぼ毎日」は年齢が低いほど高く、等級が低いほど概ね高くなっています。また、「ほぼ毎日」は聴覚・平衡機能障害（50.0%）、「月に数回」は視覚障害（23.9%）がそれぞれ高くなっています。

表 6-1-1 身体障害者の外出回数(年齢別・障害種別・等級別)

		件数	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど外出しない	無回答
(件、%)								
身体障害者		1,538	37.1	35.9	13.3	2.5	5.5	5.7
年齢別	18歳未満	30	76.7	13.3	3.3	-	3.3	3.3
	18～39歳	45	68.9	22.2	-	-	4.4	4.4
	40～64歳	299	56.9	26.4	7.7	3.7	2.0	3.3
	65～74歳	459	40.3	40.1	12.0	1.1	2.6	3.9
	75歳以上	653	22.5	39.5	18.2	2.9	9.2	7.7
障害種別	視覚障害	109	30.3	32.1	23.9	7.3	0.9	5.5
	聴覚・平衡機能障害	100	50.0	26.0	11.0	1.0	7.0	5.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	21.3	39.3	16.4	3.3	14.8	4.9
	内部障害	474	39.2	35.7	12.0	1.5	5.9	5.7
	肢体不自由	748	36.0	38.1	11.9	2.9	5.7	5.3
等級別	1級	403	30.8	39.0	12.4	3.2	6.7	7.9
	2級	212	30.2	34.9	18.4	3.8	8.0	4.7
	3級	364	38.7	35.7	14.3	1.6	5.5	4.1
	4級	338	42.6	35.2	11.8	1.8	3.0	5.6
	5級	92	47.8	31.5	10.9	-	6.5	3.3
	6級	64	51.6	29.7	7.8	4.7	1.6	4.7
	わからない	10	20.0	20.0	10.0	10.0	30.0	10.0

知的障害者・精神障害者

年齢別・等級別でみると、知的障害者では「ほぼ毎日」は18歳未満が89.1%で約9割と高くなっています。

精神障害者では「ほぼ毎日」は3級が61.9%で高くなっています。

表 6-1-2 知的障害者・精神障害者の外出回数(年齢別・等級別)

		件数	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど外出しない	無回答
(件、%)								
知的障害者		234	67.5	9.4	15.0	1.7	1.3	5.1
年齢別	18歳未満	55	89.1	9.1	-	-	-	1.8
	18～39歳	80	72.5	7.5	15.0	-	1.3	3.8
	40～64歳	76	52.6	13.2	21.1	2.6	2.6	7.9
	65歳以上	13	53.8	-	30.8	7.7	-	7.7
判定別	A判定	78	64.1	3.8	24.4	2.6	-	5.1
	B判定	74	70.3	6.8	21.6	-	1.4	-
	C判定	72	75.0	16.7	-	-	1.4	6.9
	わからない	1	-	-	-	-	100.0	-
精神障害者		260	38.5	36.5	10.4	2.7	7.7	4.2
年齢別	39歳以下	67	44.8	37.3	11.9	1.5	1.5	3.0
	40～64歳	143	41.3	33.6	9.8	0.7	11.9	2.8
	65歳以上	40	17.5	45.0	10.0	12.5	5.0	10.0
等級別	1級	19	36.8	31.6	-	5.3	21.1	5.3
	2級	178	35.4	39.3	11.8	2.8	7.3	3.4
	3級	42	61.9	21.4	11.9	-	-	4.8
	わからない	5	-	60.0	20.0	-	20.0	-

6-2 外出の目的

問17 問16で「1. ほぼ毎日」～「4. 年に数回」のいずれかと答えた方にお聞きます。あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（すべて）

外出の目的については、身体障害者では「買い物をする」が55.7%で最も高く、次いで「医療機関へ行く」が53.1%、「散歩をする」が27.3%などとなっています。

知的障害者では「通勤・通学・通所」が70.8%で最も高く、次いで「買い物をする」が51.6%、「医療機関へ行く」が32.4%などとなっています。

精神障害者では「買い物をする」が69.0%で最も高く、次いで「医療機関へ行く」が59.8%、「通勤・通学・通所」が38.0%などとなっています。

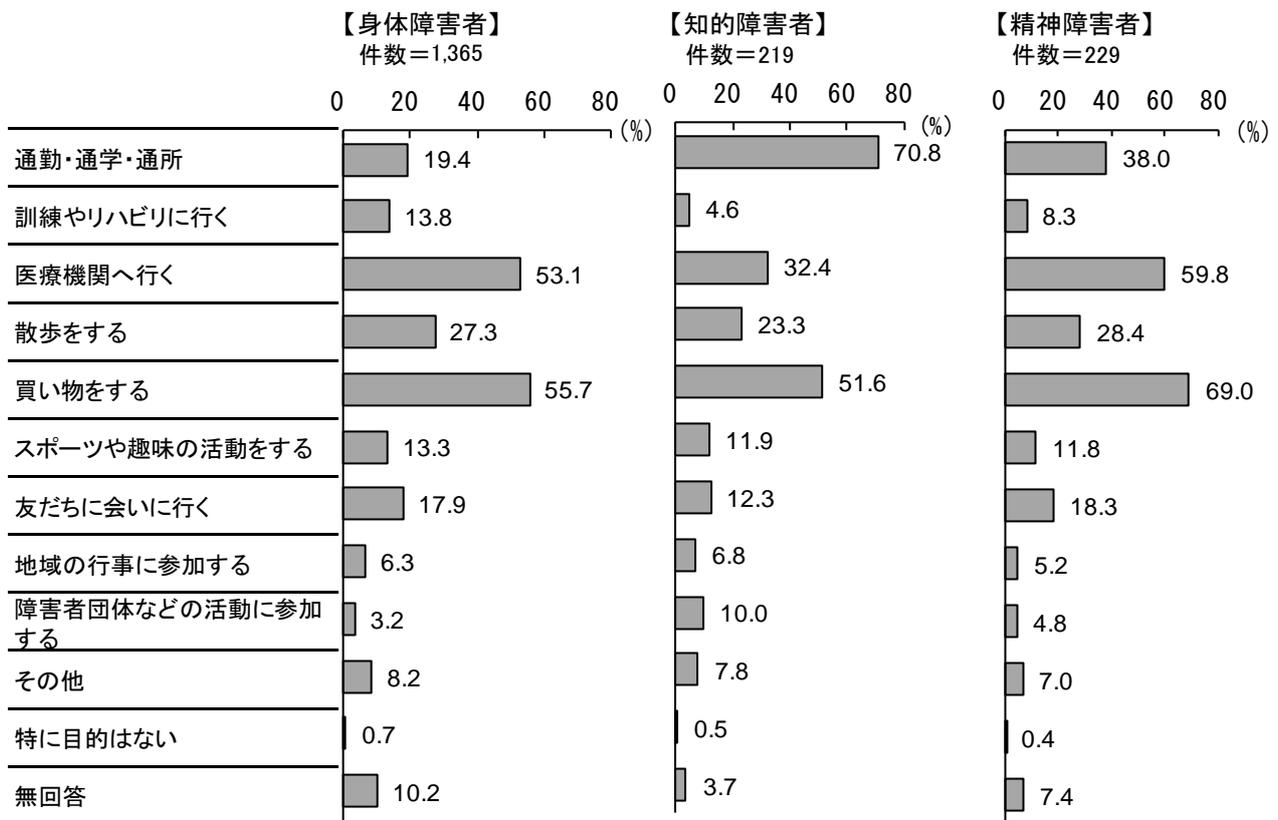


図 6-2 外出の目的

年齢別・障害種別・等級別でみると、身体障害者では「通勤・通学・通所」は18歳未満が92.9%、6級が31.7%、「訓練やリハビリに行く」は2級が27.0%、「医療機関へ行く」は1級が63.1%でそれぞれ高くなっています。

知的障害者では「通勤・通学・通所」は18歳未満が96.3%、C判定が81.8%、「医療機関へ行く」はA判定が47.3%でそれぞれ高くなっています。

精神障害者では「買い物をする」が最も高くなっています。

表 6-2 外出の目的(年齢別・障害種別・等級別)

	件数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関へ行く	散歩をする	買い物をする	スポーツや趣味の活動をする	友だちに会いに行く	地域の行事に参加する	障害者団体などの活動に参加する	その他	特に目的はない	無回答
(件、%)													
身体障害者	1,365	19.4	13.8	53.1	27.3	55.7	13.3	17.9	6.3	3.2	8.2	0.7	10.2
年齢別													
18歳未満	28	92.9	46.4	64.3	17.9	25.0	7.1	14.3	7.1	7.1	-	-	-
18～39歳	41	80.5	7.3	31.7	17.1	48.8	12.2	14.6	2.4	2.4	7.3	-	4.9
40～64歳	283	46.6	8.8	53.4	18.7	62.5	15.5	21.2	4.9	3.9	8.5	-	3.5
65～74歳	429	12.6	12.6	53.1	33.3	59.2	16.3	21.0	6.8	4.0	7.0	1.2	11.4
75歳以上	543	3.3	15.7	54.3	28.2	52.5	10.5	14.4	7.2	1.7	8.8	0.7	13.8
障害種別													
視覚障害	102	14.7	11.8	55.9	22.5	49.0	10.8	15.7	3.9	4.9	6.9	-	11.8
聴覚・平衡機能障害	88	27.3	12.5	40.9	28.4	58.0	14.8	14.8	6.8	9.1	10.2	-	3.4
音声・言語・そしゃく障害	49	28.6	20.4	55.1	20.4	55.1	2.0	8.2	-	2.0	12.2	2.0	10.2
内部障害	419	16.7	8.8	60.9	34.6	57.5	16.2	18.9	7.4	0.5	7.6	1.4	10.5
肢体不自由	665	22.9	20.3	53.4	23.3	54.9	12.9	17.9	6.5	3.5	8.7	0.2	9.5
等級別													
1級	344	21.2	14.5	63.1	27.6	55.8	14.5	16.3	5.5	3.5	9.3	0.6	9.3
2級	185	16.2	27.0	52.4	20.5	44.9	10.3	16.8	2.7	3.2	9.7	0.5	11.4
3級	329	17.9	14.0	52.6	25.8	56.5	11.9	16.1	7.3	2.7	8.2	0.9	9.4
4級	309	18.1	8.7	51.8	30.1	62.5	16.5	24.3	8.4	2.6	5.2	1.0	9.7
5級	83	25.3	12.0	37.3	31.3	57.8	12.0	14.5	4.8	2.4	12.0	-	13.3
6級	60	31.7	-	46.7	35.0	60.0	16.7	21.7	8.3	1.7	8.3	-	8.3
わからない	6	-	16.7	66.7	16.7	33.3	-	-	-	16.7	-	-	-
知的障害者	219	70.8	4.6	32.4	23.3	51.6	11.9	12.3	6.8	10.0	7.8	0.5	3.7
年齢別													
18歳未満	54	96.3	14.8	25.9	31.5	51.9	14.8	16.7	9.3	5.6	3.7	-	1.9
18～39歳	76	72.4	-	34.2	18.4	55.3	19.7	17.1	9.2	17.1	7.9	-	2.6
40～64歳	68	57.4	2.9	32.4	17.6	48.5	4.4	5.9	2.9	5.9	11.8	-	7.4
65歳以上	12	33.3	-	50.0	41.7	50.0	-	-	-	8.3	8.3	8.3	-
判定別													
A判定	74	68.9	5.4	47.3	25.7	54.1	9.5	5.4	5.4	18.9	14.9	-	4.1
B判定	73	64.4	4.1	28.8	19.2	49.3	12.3	15.1	6.8	9.6	2.7	1.4	5.5
C判定	66	81.8	4.5	22.7	24.2	53.0	15.2	18.2	9.1	1.5	6.1	-	1.5
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者	229	38.0	8.3	59.8	28.4	69.0	11.8	18.3	5.2	4.8	7.0	0.4	7.4
年齢別													
18歳未満	12	91.7	-	16.7	33.3	58.3	-	25.0	16.7	8.3	-	-	-
18～39歳	52	44.2	5.8	65.4	23.1	73.1	15.4	32.7	3.8	7.7	11.5	-	5.8
40～64歳	122	38.5	8.2	66.4	32.0	73.8	13.1	15.6	5.7	3.3	6.6	-	6.6
65歳以上	34	8.8	17.6	41.2	20.6	44.1	8.8	5.9	2.9	5.9	2.9	2.9	17.6
等級別													
1級	14	50.0	21.4	57.1	35.7	57.1	14.3	14.3	-	7.1	14.3	-	-
2級	159	34.0	8.2	65.4	32.1	74.2	10.1	18.2	5.0	5.0	7.5	0.6	5.7
3級	40	50.0	5.0	55.0	12.5	70.0	22.5	27.5	7.5	5.0	5.0	-	10.0
わからない	4	25.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0

6-3 外出時に困ること

問18 あなたが外出したいと思うときに、困ることは何ですか。(すべて)

外出時に困ることについては、身体障害者では「交通手段がない」が14.8%、「障害者用のトイレが整備されていない」が10.4%、「交通費などの費用がかかる」が10.1%などとなっています。

知的障害者では「自分の意思を理解してもらえない」が16.7%、「交通費などの費用がかかる」が12.8%、「人の目が気になる」が10.3%などとなっています。

精神障害者では「交通費などの費用がかかる」が28.5%、「人の目が気になる」が25.8%、「交通手段がない」が18.8%などとなっています。

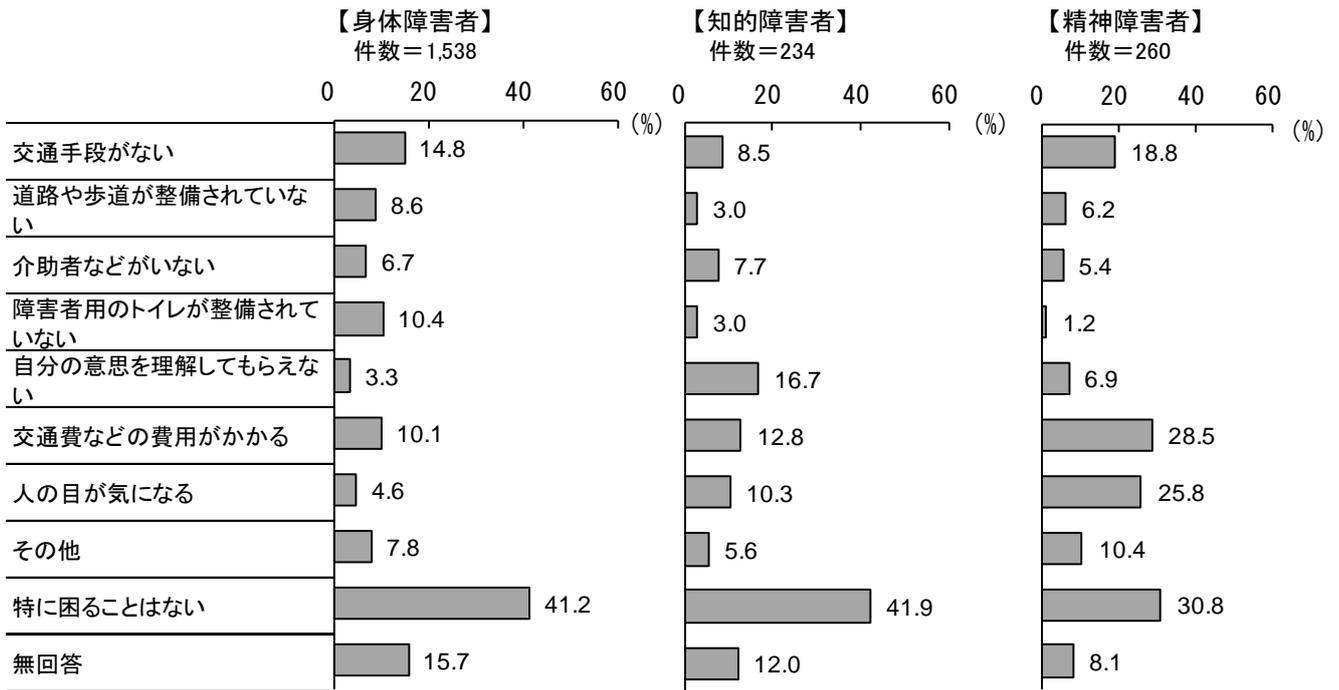


図 6-3 外出時に困ること

身体障害者

年齢別では、「交通手段がない」「自分の意見を理解してもらえない」を除くすべての項目で18歳未満の割合が最も高くなっています。

障害種別では、「交通手段がない」「道路や歩道が整備されていない」「介助者などがいない」「交通費などの費用がかかる」では視覚障害が最も高く、「自分の意思を理解してもらえない」では音声・言語・そしゃく障害が最も高くなっています。

等級別では、「道路や歩道が整備されていない」「障害者用のトイレが整備されていない」は2級が高くなっています。また、「特に困ることはない」は4級が51.8%で高くなっています。

地区別でみると、「特に困ることはない」は池野地区で53.8%と高くなっています。

表 6-3-1 身体障害者の外出時に困ること(年齢別・障害種別・等級別・地区別)

		件数	交通手段がない	道路や歩道が整備されていない	介助者などがいない	障害者用のトイレが整備されていない	自分の意思を理解してもらえない	交通費などの費用がかかる	人の目が気になる	その他	特に困ることはない	無回答
(件、%)												
身体障害者		1,538	14.8	8.6	6.7	10.4	3.3	10.1	4.6	7.8	41.2	15.7
年齢別	18歳未満	30	6.7	26.7	13.3	33.3	10.0	20.0	16.7	26.7	26.7	3.3
	18～39歳	45	15.6	11.1	8.9	17.8	11.1	8.9	11.1	15.6	44.4	11.1
	40～64歳	299	10.7	12.4	6.4	13.0	4.0	11.7	9.0	6.0	46.5	9.7
	65～74歳	459	9.4	7.2	4.8	10.9	3.1	9.4	3.3	6.3	51.6	12.2
	75歳以上	653	19.9	7.2	8.1	7.4	2.1	9.3	2.5	8.6	32.9	21.0
障害種別	視覚障害	109	29.4	22.9	17.4	9.2	5.5	23.9	4.6	16.5	22.0	7.3
	聴覚・平衡機能障害	100	19.0	6.0	10.0	4.0	7.0	10.0	5.0	12.0	39.0	15.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	14.8	6.6	8.2	23.0	19.7	4.9	6.6	14.8	27.9	18.0
	内部障害	474	11.8	4.2	4.0	3.4	1.9	8.9	3.0	7.0	52.3	15.2
	肢体不自由	748	15.6	11.1	7.8	17.5	3.6	9.4	6.4	8.3	36.5	15.1
等級別	1級	403	15.6	9.7	8.9	10.9	4.0	8.4	3.2	9.7	41.4	14.6
	2級	212	17.5	19.3	12.3	21.7	4.7	11.8	8.5	14.6	24.5	8.5
	3級	364	17.3	6.6	6.9	8.2	1.9	11.5	5.2	6.0	39.3	17.9
	4級	338	11.5	5.0	3.0	7.4	2.4	7.4	3.0	5.0	51.8	17.5
	5級	92	10.9	6.5	-	9.8	5.4	16.3	5.4	5.4	44.6	16.3
	6級	64	15.6	4.7	4.7	6.3	-	12.5	3.1	1.6	46.9	18.8
	わからない	10	-	-	20.0	-	10.0	10.0	-	10.0	40.0	20.0
地区別	犬山地区	637	15.1	9.4	7.8	10.5	2.8	8.6	4.1	8.3	42.7	13.7
	城東地区	258	14.7	5.8	7.4	11.2	3.9	8.9	7.0	7.4	40.7	15.9
	羽黒地区	309	14.6	9.4	4.5	9.1	2.9	12.9	3.2	7.4	40.8	16.2
	楽田地区	247	13.0	9.3	5.7	11.3	4.0	9.3	5.3	8.5	40.9	17.8
	池野地区	26	3.8	3.8	7.7	7.7	-	15.4	3.8	7.7	53.8	7.7

知的障害者・精神障害者

年齢別・等級別・地区別でみると、知的障害者では「自分の意思を理解してもらえない」は18歳未満（30.9%）、城東地区（28.6%）で約3割と高くなっています。

精神障害者では「人の目が気になる」は39歳以下が32.8%とやや高くなっています。

表 6-3-2 知的障害者・精神障害者の外出時に困ること(年齢別・等級別・地区別)

		件数	交通手段がない	道路や歩道が整備されていない	介助者などがいない	障害者用のトイレが整備されていない	自分の意思を理解してもらえない	かかる交通費などの費用が	人の目が気になる	その他	特に困ることはない	無回答
(件、%)												
知的障害者		234	8.5	3.0	7.7	3.0	16.7	12.8	10.3	5.6	41.9	12.0
年齢別	18歳未満	55	9.1	5.5	5.5	5.5	30.9	7.3	12.7	-	43.6	9.1
	18～39歳	80	8.8	3.8	10.0	1.3	13.8	16.3	11.3	5.0	43.8	12.5
	40～64歳	76	7.9	1.3	7.9	3.9	14.5	15.8	9.2	7.9	36.8	11.8
	65歳以上	13	7.7	-	-	-	-	7.7	-	7.7	61.5	15.4
判定別	A判定	78	7.7	2.6	16.7	2.6	25.6	6.4	12.8	6.4	33.3	16.7
	B判定	74	6.8	2.7	4.1	4.1	13.5	13.5	5.4	8.1	48.6	5.4
	C判定	72	9.7	4.2	2.8	2.8	12.5	15.3	12.5	2.8	48.6	11.1
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
地区別	犬山地区	110	8.2	2.7	8.2	3.6	14.5	12.7	9.1	3.6	46.4	12.7
	城東地区	28	17.9	7.1	10.7	-	28.6	17.9	7.1	7.1	32.1	17.9
	羽黒地区	39	2.6	-	2.6	2.6	25.6	15.4	20.5	2.6	30.8	12.8
	楽田地区	30	13.3	3.3	3.3	6.7	13.3	16.7	6.7	10.0	43.3	6.7
	池野地区	13	-	-	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7	69.2	-
精神障害者		260	18.8	6.2	5.4	1.2	6.9	28.5	25.8	10.4	30.8	8.1
年齢別	39歳以下	67	17.9	6.0	4.5	3.0	3.0	31.3	32.8	9.0	32.8	4.5
	40～64歳	143	18.2	5.6	6.3	-	9.1	31.5	28.0	13.3	31.5	4.9
	65歳以上	40	22.5	7.5	5.0	2.5	7.5	12.5	7.5	5.0	25.0	22.5
等級別	1級	19	31.6	10.5	5.3	-	21.1	10.5	10.5	21.1	31.6	10.5
	2級	178	18.5	6.2	6.7	1.1	6.7	32.6	29.8	9.6	29.8	6.7
	3級	42	19.0	4.8	-	2.4	4.8	28.6	16.7	14.3	35.7	4.8
	わからない	5	20.0	20.0	-	-	-	-	80.0	-	-	-
地区別	犬山地区	130	17.7	5.4	4.6	0.8	6.2	31.5	25.4	9.2	30.0	8.5
	城東地区	36	25.0	-	8.3	-	11.1	27.8	27.8	13.9	25.0	2.8
	羽黒地区	43	14.0	4.7	4.7	-	7.0	18.6	23.3	7.0	37.2	14.0
	楽田地区	33	21.2	15.2	3.0	3.0	6.1	33.3	27.3	18.2	27.3	3.0
	池野地区	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	75.0	-

7 余暇・社会参加について

7-1 1年以内にした活動

問19 あなたは1年以内にどのような活動をしましたか。介助者・援助者が一緒の場合も含みます。(すべて)

1年以内実施した活動については、身体障害者では「買い物」が60.3%で最も高く、次いで「旅行」が30.1%、「地域の行事やお祭」が15.6%などとなっています。

知的障害者では、「買い物」が70.9%で最も高く、次いで「旅行」が49.6%、「スポーツやレクリエーション」が34.6%などとなっています。

精神障害者では「買い物」が67.7%で最も高く、次いで「旅行」が23.1%、「スポーツやレクリエーション」が19.6%などとなっています。

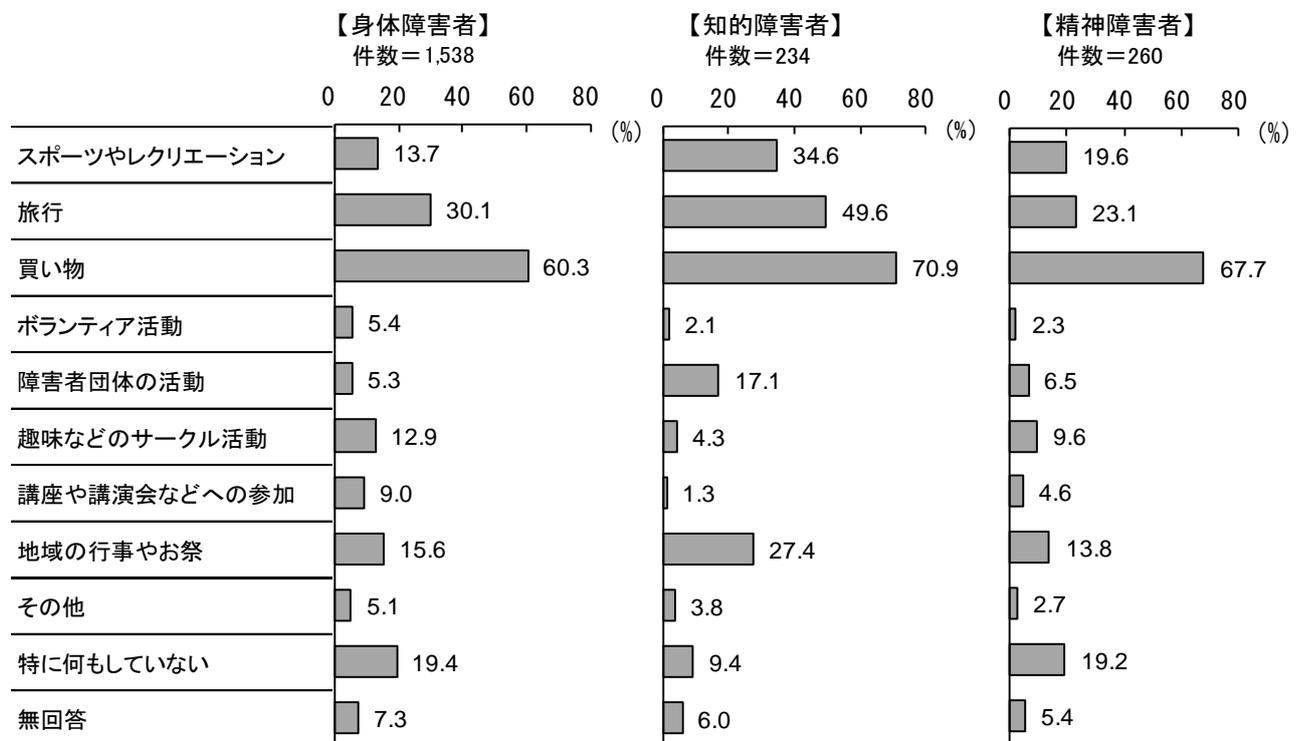


図 7-1 1年以内にした活動

身体障害者

年齢別でみると「スポーツやレクリエーション」「旅行」「地域の行事やお祭」は18歳未満で最も高くなっています。また、「買い物」は40～64歳（75.6%）、「障害者団体の活動」は18～39歳（15.6%）でそれぞれ高くなっています。

等級別でみると「地域の行事やお祭」は6級（29.7%）で約3割と高くなっています。

表 7-1-1 身体障害者の1年以内にした活動(年齢別・障害種別・等級別)

		件数	スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭	その他	特に何もしていない	無回答
(件、%)													
身体障害者		1,538	13.7	30.1	60.3	5.4	5.3	12.9	9.0	15.6	5.1	19.4	7.3
年齢別	18歳未満	30	26.7	60.0	60.0	3.3	10.0	-	3.3	43.3	-	26.7	-
	18～39歳	45	17.8	48.9	48.9	2.2	15.6	8.9	4.4	24.4	-	17.8	6.7
	40～64歳	299	22.4	36.5	75.6	6.7	6.4	11.0	9.0	20.4	4.0	11.0	4.3
	65～74歳	459	12.6	36.6	66.0	8.7	5.4	17.6	12.2	15.9	5.7	17.4	3.7
	75歳以上	653	9.6	20.7	50.7	3.1	3.2	11.5	7.5	12.1	6.1	24.8	10.9
障害種別	視覚障害	109	14.7	30.3	62.4	3.7	10.1	11.0	6.4	13.8	7.3	19.3	5.5
	聴覚・平衡機能障害	100	15.0	31.0	60.0	5.0	8.0	13.0	3.0	19.0	5.0	21.0	4.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	6.6	21.3	55.7	3.3	4.9	3.3	3.3	14.8	8.2	24.6	11.5
	内部障害	474	13.5	32.3	62.9	5.7	1.3	13.5	9.3	18.4	4.4	18.1	7.0
	肢体不自由	748	13.9	31.4	59.9	5.9	6.6	13.9	11.0	15.2	5.5	20.1	6.6
等級別	1級	403	13.9	28.8	60.0	4.2	4.2	13.4	9.2	16.9	3.5	19.4	8.2
	2級	212	12.7	27.8	54.7	4.2	7.1	7.5	5.7	9.4	8.0	24.1	5.7
	3級	364	10.2	27.5	62.1	6.6	4.7	13.5	7.4	15.1	5.8	20.1	7.1
	4級	338	17.8	37.6	64.2	7.4	5.9	15.4	13.0	16.3	4.7	13.9	8.3
	5級	92	14.1	30.4	57.6	6.5	5.4	15.2	13.0	17.4	3.3	23.9	5.4
	6級	64	20.3	32.8	65.6	1.6	3.1	12.5	4.7	29.7	9.4	15.6	4.7
	わからない	10	-	10.0	20.0	-	10.0	10.0	-	10.0	-	30.0	10.0

知的障害者・精神障害者

年齢別・等級別でみると、知的障害者では「地域の行事やお祭」は18歳未満（41.8%）で、「スポーツやレクリエーション」と「障害者団体の活動」はA判定でそれぞれ高くなっています。

精神障害者では「旅行」は39歳以下で41.8%と高くなっています。

表 7-1-2 知的障害者・精神障害者の1年以内にした活動(年齢別・等級別)

		件数	エ ス ポ ー ツ や レ ク リ エ ー シ ョ ン	旅 行	買 い 物	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	障 害 者 団 体 の 活 動	活 動 趣 味 な ど の サ ー ク ル	講 座 や 講 演 会 な ど へ の 参 加	地 域 の 行 事 や お 祭	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
(件、%)													
知的障害者		234	34.6	49.6	70.9	2.1	17.1	4.3	1.3	27.4	3.8	9.4	6.0
年齢別	18歳未満	55	38.2	56.4	76.4	3.6	14.5	9.1	-	41.8	5.5	9.1	3.6
	18～39歳	80	33.8	48.8	68.8	2.5	23.8	3.8	-	25.0	5.0	13.8	3.8
	40～64歳	76	34.2	46.1	75.0	1.3	13.2	2.6	3.9	22.4	2.6	6.6	6.6
	65歳以上	13	38.5	53.8	53.8	-	15.4	-	-	15.4	-	-	15.4
判定別	A判定	78	50.0	57.7	78.2	-	30.8	6.4	1.3	29.5	2.6	1.3	9.0
	B判定	74	32.4	50.0	73.0	2.7	18.9	1.4	-	28.4	4.1	12.2	-
	C判定	72	22.2	45.8	63.9	4.2	2.8	5.6	-	25.0	5.6	15.3	5.6
	わからない	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	19.6	23.1	67.7	2.3	6.5	9.6	4.6	13.8	2.7	19.2	5.4
年齢別	39歳以下	67	26.9	41.8	71.6	3.0	9.0	11.9	4.5	17.9	1.5	14.9	3.0
	40～64歳	143	19.6	19.6	72.0	2.8	6.3	9.8	4.2	13.3	2.1	19.6	3.5
	65歳以上	40	12.5	7.5	47.5	-	2.5	7.5	7.5	10.0	5.0	25.0	12.5
等級別	1級	19	15.8	21.1	31.6	5.3	5.3	-	10.5	15.8	-	31.6	15.8
	2級	178	19.7	24.2	73.6	1.7	7.9	10.7	4.5	12.9	3.4	16.3	3.9
	3級	42	21.4	23.8	69.0	4.8	4.8	14.3	4.8	21.4	-	21.4	4.8
	わからない	5	40.0	20.0	80.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-

7-2 今後したい活動

問20 あなたは今後、どのような活動をしたいと思いますか。(すべて)

今後実施したい活動については、身体障害者では「旅行」が44.0%で最も高く、次いで「買い物」が42.7%、「趣味などのサークル活動」が19.4%などとなっています。

知的障害者では、「旅行」が56.0%、「買い物」が54.7%、「スポーツやレクリエーション」が33.3%などとなっています。

精神障害者では「買い物」が45.8%で最も高く、次いで「旅行」が37.7%、「スポーツやレクリエーション」が23.8%などとなっています。

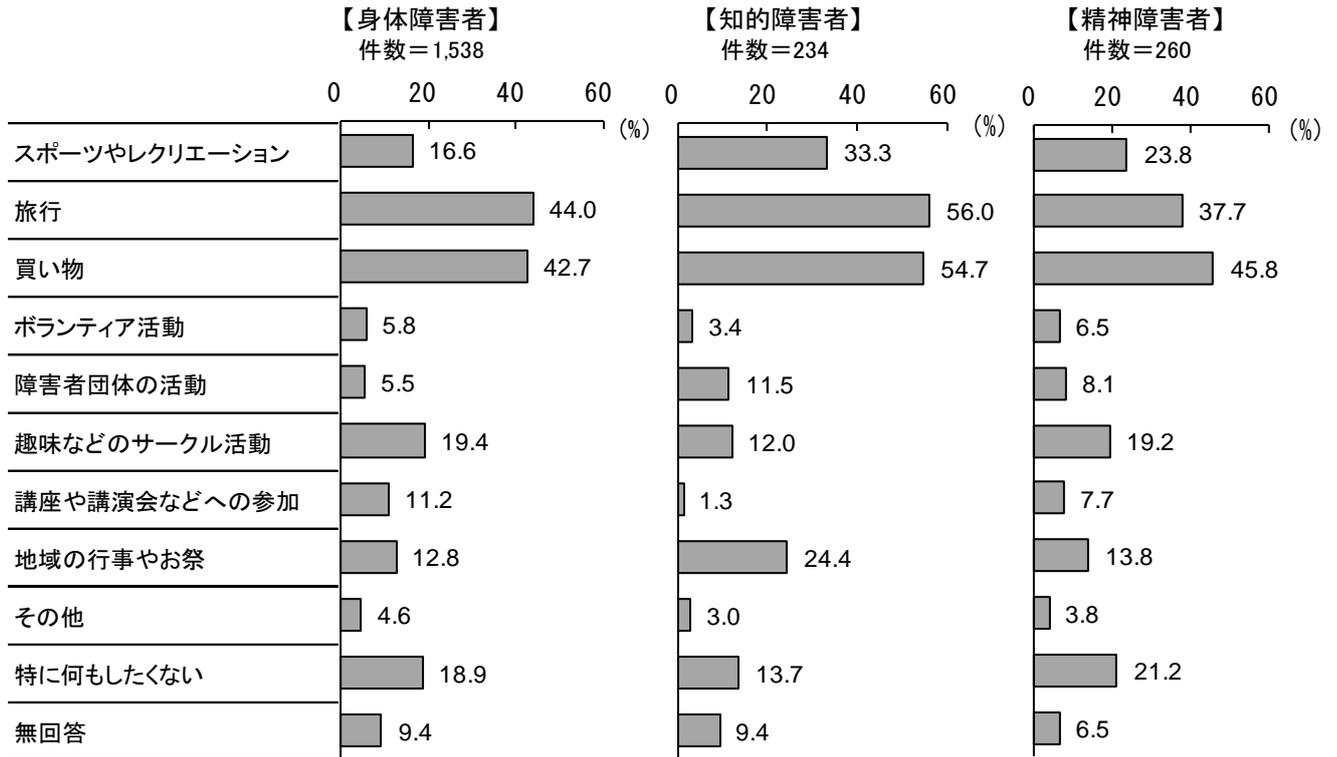


図 7-2 今後したい活動

身体障害者

年齢別でみると、「スポーツやレクリエーション」「旅行」「買い物」「地域の行事やお祭」は18歳未満で最も高くなっています。

等級別でみると「スポーツやレクリエーション」は6級(26.6%)で高くなっています。

表 7-2-1 身体障害者の今後したい活動(年齢別・障害種別・等級別)

(件、%)		件数	スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭	その他	特に何もしたくない	無回答
身体障害者		1,538	16.6	44.0	42.7	5.8	5.5	19.4	11.2	12.8	4.6	18.9	9.4
年齢別	18歳未満	30	43.3	80.0	56.7	-	10.0	16.7	-	43.3	3.3	10.0	-
	18～39歳	45	24.4	57.8	40.0	4.4	11.1	17.8	6.7	17.8	2.2	8.9	8.9
	40～64歳	299	27.4	59.5	50.2	7.7	7.0	24.7	13.4	16.1	2.7	13.4	5.0
	65～74歳	459	16.8	50.3	42.3	9.2	6.1	24.2	14.8	13.1	3.9	17.4	7.2
	75歳以上	653	10.1	31.5	39.1	3.1	3.2	14.2	8.7	10.0	6.6	23.4	13.0
障害種別	視覚障害	109	18.3	43.1	50.5	6.4	10.1	11.9	11.0	17.4	3.7	19.3	10.1
	聴覚・平衡機能障害	100	19.0	51.0	43.0	7.0	7.0	20.0	5.0	15.0	3.0	20.0	5.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	9.8	39.3	39.3	1.6	8.2	18.0	1.6	13.1	8.2	31.1	6.6
	内部障害	474	18.4	43.0	43.2	7.2	2.3	18.4	12.9	16.0	3.8	19.8	8.9
	肢体不自由	748	15.1	47.5	43.2	5.6	7.1	21.9	12.6	12.4	5.9	17.9	8.3
等級別	1級	403	16.4	41.4	41.7	5.2	5.0	17.1	12.2	14.4	5.5	18.4	10.4
	2級	212	13.7	42.0	44.3	4.2	6.1	12.7	8.0	7.5	5.2	22.2	8.0
	3級	364	15.7	41.8	40.4	6.0	5.8	22.3	9.3	11.8	4.7	21.2	8.2
	4級	338	19.8	49.7	46.7	7.7	6.5	23.7	14.5	14.8	3.6	15.7	8.9
	5級	92	12.0	52.2	47.8	6.5	5.4	23.9	17.4	14.1	6.5	16.3	6.5
	6級	64	26.6	43.8	40.6	6.3	1.6	17.2	6.3	20.3	4.7	14.1	12.5
	わからない	10	-	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-	-	30.0

知的障害者・精神障害者

知的障害者では、年齢別でみると「旅行」「地域の行事やお祭」は18歳未満で最も高くなっています。

等級別でみると「スポーツやレクリエーション」「旅行」「買い物」はA判定で高くなっています。

精神障害者では、年齢別でみると「スポーツやレクリエーション」「旅行」「買い物」は39歳以下で最も高くなっています。

表 7-2-2 知的障害者・精神障害者の今後したい活動(年齢別・等級別)

		件数	スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭	その他	特に何もしたくない	無回答
(件、%)													
知的障害者		234	33.3	56.0	54.7	3.4	11.5	12.0	1.3	24.4	3.0	13.7	9.4
年齢別	18歳未満	55	41.8	70.9	61.8	5.5	9.1	21.8	-	36.4	1.8	7.3	7.3
	18～39歳	80	35.0	52.5	51.3	3.8	17.5	11.3	2.5	22.5	5.0	16.3	8.8
	40～64歳	76	30.3	55.3	56.6	2.6	7.9	7.9	-	17.1	1.3	13.2	9.2
	65歳以上	13	7.7	38.5	46.2	-	7.7	-	-	30.8	-	15.4	15.4
判定別	A判定	78	47.4	69.2	65.4	1.3	17.9	10.3	3.8	20.5	1.3	5.1	11.5
	B判定	74	27.0	54.1	54.1	4.1	13.5	13.5	-	29.7	2.7	17.6	4.1
	C判定	72	29.2	45.8	48.6	5.6	4.2	13.9	-	23.6	4.2	19.4	9.7
	わからない	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	23.8	37.7	45.8	6.5	8.1	19.2	7.7	13.8	3.8	21.2	6.5
年齢別	39歳以下	67	35.8	59.7	61.2	7.5	9.0	25.4	11.9	17.9	1.5	10.4	6.0
	40～64歳	143	22.4	33.6	42.0	7.0	10.5	20.3	6.3	12.6	5.6	21.7	4.9
	65歳以上	40	15.0	22.5	32.5	5.0	-	7.5	7.5	10.0	-	37.5	12.5
等級別	1級	19	31.6	31.6	31.6	15.8	5.3	15.8	10.5	10.5	15.8	10.5	26.3
	2級	178	23.6	38.8	51.1	5.6	8.4	21.9	9.0	15.7	3.4	19.7	3.9
	3級	42	23.8	42.9	35.7	7.1	9.5	16.7	4.8	11.9	2.4	21.4	7.1
	わからない	5	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	40.0	-

7-3 就労や就学について

問21 あなたは就労（作業所も含む）もしくは就学をしていますか。（1つだけ）
 「1.仕事をしている」に○をつけた方は、その仕事について、【 】内のあてはまるものをさらに1つ○をつけてください。

就労・就学状況については、身体障害者では「いずれにも該当せず自宅にいる」が55.5%、「仕事をしている」が19.0%などとなっています。

知的障害者では「障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している」が28.2%で最も高く、次いで「学校・幼稚園・保育園に通学・通園している」が22.6%、「仕事をしている」が21.8%などとなっています。

精神障害者では「いずれにも該当せず自宅にいる」が47.7%で最も高く、次いで「仕事をしている」が21.5%、「障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している」が12.3%などとなっています。

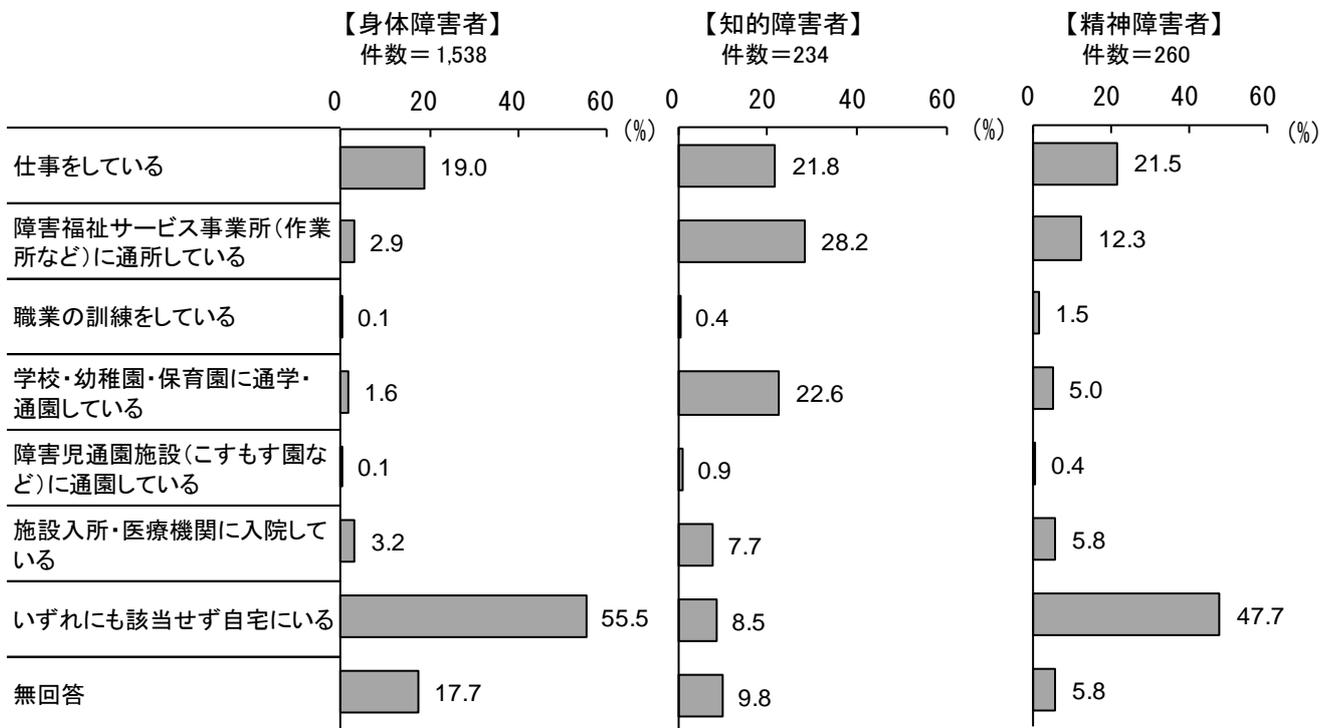


図 7-3-1 就労や就学について

身体障害者

年齢別でみると「仕事をしている」は40～64歳（46.2%）で、「障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している」は18～39歳（26.7%）で「学校・幼稚園・保育園に通学・通園している」は18歳未満（73.3%）でそれぞれ最も高くなっています。

等級別でみると「仕事をしている」は6級（29.7%）が最も高くなっています。

表 7-3-1 身体障害者の就労や就学について(年齢別・障害種別・等級別)

		件数	仕事をしている	障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している	職業の訓練をしている	学校・幼稚園・保育園に通学・通園している	障害児通園施設（こすもす園など）に通園している	施設入所・医療機関に入院している	自宅にいても該当せず	無回答
(件、%)										
身体障害者		1,538	292	44	2	24	2	49	853	272
		100.0	19.0	2.9	0.1	1.6	0.1	3.2	55.5	17.7
年齢別	18歳未満	30	-	-	-	22	1	-	5	2
		100.0	-	-	-	73.3	3.3	-	16.7	6.7
	18～39歳	45	20	12	1	2	-	1	7	2
		100.0	44.4	26.7	2.2	4.4	-	2.2	15.6	4.4
	40～64歳	299	138	18	-	-	-	9	117	17
		100.0	46.2	6.0	-	-	-	3.0	39.1	5.7
65～74歳	459	84	5	-	-	1	7	283	79	
	100.0	18.3	1.1	-	-	0.2	1.5	61.7	17.2	
75歳以上	653	40	7	1	-	-	32	411	162	
	100.0	6.1	1.1	0.2	-	-	4.9	62.9	24.8	
障害種別	視覚障害	109	14	6	-	-	1	1	60	27
		100.0	12.8	5.5	-	-	0.9	0.9	55.0	24.8
	聴覚・平衡機能障害	100	17	5	-	8	-	6	51	13
		100.0	17.0	5.0	-	8.0	-	6.0	51.0	13.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	6	6	-	-	1	6	27	15
		100.0	9.8	9.8	-	-	1.6	9.8	44.3	24.6
内部障害	474	96	5	1	5	-	9	281	77	
	100.0	20.3	1.1	0.2	1.1	-	1.9	59.3	16.2	
肢体不自由	748	141	26	1	14	1	31	411	123	
	100.0	18.9	3.5	0.1	1.9	0.1	4.1	54.9	16.4	
等級別	1級	403	63	13	1	9	1	16	235	65
		100.0	15.6	3.2	0.2	2.2	0.2	4.0	58.3	16.1
	2級	212	29	11	-	8	-	10	113	41
		100.0	13.7	5.2	-	3.8	-	4.7	53.3	19.3
	3級	364	66	8	-	4	-	9	208	69
		100.0	18.1	2.2	-	1.1	-	2.5	57.1	19.0
	4級	338	83	4	-	1	-	6	189	55
		100.0	24.6	1.2	-	0.3	-	1.8	55.9	16.3
5級	92	25	1	1	-	-	3	51	11	
	100.0	27.2	1.1	1.1	-	-	3.3	55.4	12.0	
6級	64	19	2	-	1	-	-	29	13	
	100.0	29.7	3.1	-	1.6	-	-	45.3	20.3	
わからない	10	-	1	-	-	-	3	2	4	
	100.0	-	10.0	-	-	-	30.0	20.0	40.0	

知的障害者・精神障害者

年齢別・等級別でみると、知的障害者では「学校・幼稚園・保育園に通学・通園している」は18歳未満（90.9%）で最も高くなっています。また、「障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している」はA判定（46.2%）で最も高くなっています。

精神障害者では、「いずれも該当せず自宅にいる」が最も高くなっています。

表 7-3-2 知的障害者・精神障害者の就労や就学について（年齢別・等級別）

		件数	仕事を している	障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している	職業の訓練をしている	園・学校・幼稚園・保育園に通学・通園・保育している	障害児通園施設（こすもす園など）に通学している	施設入所・医療機関に入所している	自宅にいても該当せず	無回答
		(件、%)								
知的障害者		234 100.0	51 21.8	66 28.2	1 0.4	53 22.6	2 0.9	18 7.7	20 8.5	23 9.8
年齢別	18歳未満	55 100.0	-	-	-	50 90.9	2 3.6	-	-	3 5.5
	18～39歳	80 100.0	30 37.5	30 37.5	-	3 3.8	-	3 3.8	8 10.0	6 7.5
	40～64歳	76 100.0	18 23.7	26 34.2	-	-	-	12 15.8	9 11.8	11 14.5
	65歳以上	13 100.0	1 7.7	6 46.2	1 7.7	-	-	2 15.4	1 7.7	2 15.4
判定別	A判定	78 100.0	1 1.3	36 46.2	-	15 19.2	2 2.6	15 19.2	4 5.1	5 6.4
	B判定	74 100.0	24 32.4	20 27.0	-	12 16.2	-	2 2.7	7 9.5	9 12.2
	C判定	72 100.0	24 33.3	8 11.1	-	26 36.1	-	-	8 11.1	6 8.3
	わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260 100.0	56 21.5	32 12.3	4 1.5	13 5.0	1 0.4	15 5.8	124 47.7	15 5.8
年齢別	18歳未満	12 100.0	-	-	-	12 100.0	-	-	-	-
	18～39歳	55 100.0	16 29.1	9 16.4	2 3.6	1 1.8	-	1 1.8	26 47.3	-
	40～64歳	143 100.0	37 25.9	21 14.7	2 1.4	-	-	9 6.3	67 46.9	7 4.9
	65歳以上	40 100.0	1 2.5	1 2.5	-	-	1 2.5	5 12.5	25 62.5	7 17.5
等級別	1級	19 100.0	4 21.1	2 10.5	-	-	-	3 15.8	8 42.1	2 10.5
	2級	178 100.0	34 19.1	21 11.8	3 1.7	10 5.6	1 0.6	11 6.2	88 49.4	10 5.6
	3級	42 100.0	16 38.1	6 14.3	-	2 4.8	-	-	18 42.9	-
	わからない	5 100.0	-	2 40.0	-	-	-	-	3 60.0	-

<仕事をしている人の職業>

職業については、身体障害者では「パート・アルバイト・内職・派遣」が29.5%で最も高く、次いで「会社員」が24.3%、「自営業」が14.0%などとなっています。

知的障害者では、「会社員」「パート・アルバイト・内職・派遣」がそれぞれ23.5%で最も高くなっています。

精神障害者では「パート・アルバイト・内職・派遣」が37.5%で最も高く、次いで「会社員」が28.6%などとなっています。

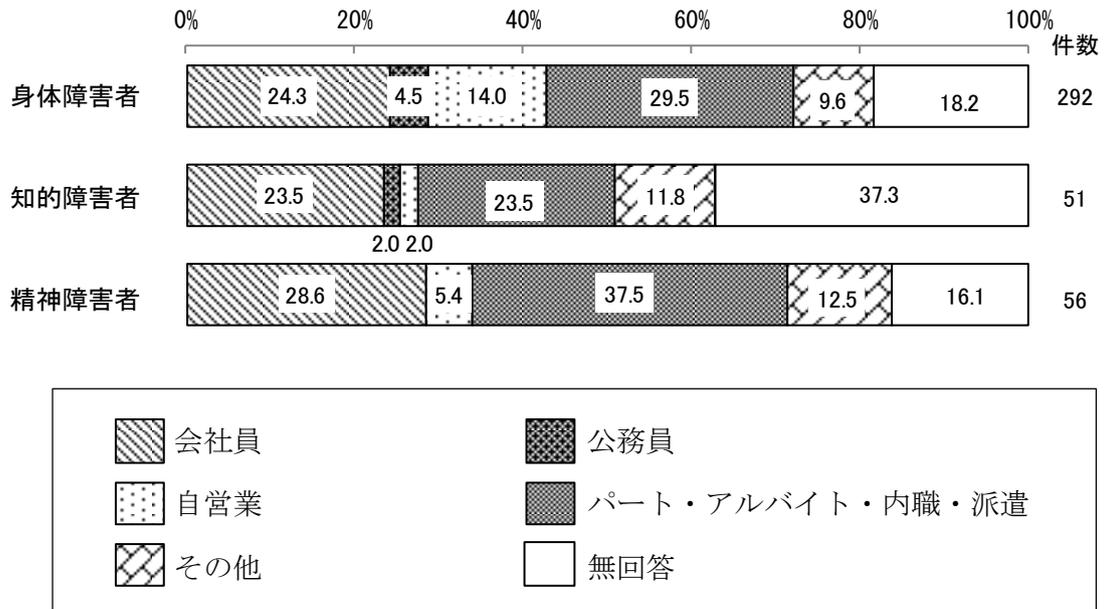


図 7-3-2 仕事をしている人の職業

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「パート・アルバイト・内職・派遣」は6級が57.9%で最も高くなっています。

知的障害者では「パート・アルバイト・内職・派遣」はB判定が33.3%となっています。

表 7-3-3 仕事をしている人の職業(障害種別・等級別)

		件数	会社員	公務員	自営業	内職・パート・アルバイト・派遣	その他	無回答
(件、%)								
身体障害者		292	24.3	4.5	14.0	29.5	9.6	18.2
障害種別	視覚障害	14	28.6	-	21.4	14.3	14.3	21.4
	聴覚・平衡機能障害	17	5.9	-	17.6	47.1	5.9	23.5
	音声・言語・そしゃく障害	6	50.0	-	16.7	33.3	-	-
	内部障害	96	26.0	6.3	19.8	21.9	8.3	17.7
	肢体不自由	141	25.5	4.3	9.9	31.2	12.1	17.0
等級別	1級	63	30.2	7.9	14.3	20.6	7.9	19.0
	2級	29	27.6	-	20.7	17.2	10.3	24.1
	3級	66	19.7	6.1	15.2	28.8	10.6	19.7
	4級	83	22.9	3.6	15.7	38.6	7.2	12.0
	5級	25	32.0	-	8.0	12.0	16.0	32.0
	6級	19	21.1	-	5.3	57.9	10.5	5.3
	わからない	-	-	-	-	-	-	-
知的障害者		51	23.5	2.0	2.0	23.5	11.8	37.3
判定別	A判定	1	-	-	100.0	-	-	-
	B判定	24	29.2	-	-	33.3	20.8	16.7
	C判定	24	16.7	4.2	-	16.7	4.2	58.3
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0
精神障害者		56	28.6	-	5.4	37.5	12.5	16.1
等級別	1級	4	-	-	-	75.0	-	25.0
	2級	34	26.5	-	8.8	44.1	8.8	11.8
	3級	16	43.8	-	-	18.8	18.8	18.8
	わからない	-	-	-	-	-	-	-

8 地域社会との関わりについて

8-1 地域社会での障害者に対する配慮

問22 あなたは地域社会の中で障害のある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。
(1つだけ)

地域社会での障害者に対する配慮については、身体障害者では「どちらかといえば進んできた」が25.8%で、これに「かなり進んできた」(6.2%)を合わせた『進んできた』が32.0%となっています。一方、「どちらかといえば後退している」が1.7%で、これに「後退している」(1.2%)を合わせた『後退している』が2.9%となっています。

知的障害者では、『進んできた』が31.2%、『後退している』が1.8%となっています。精神障害者では、『進んできた』が30.4%、『後退している』が3.8%となっています。

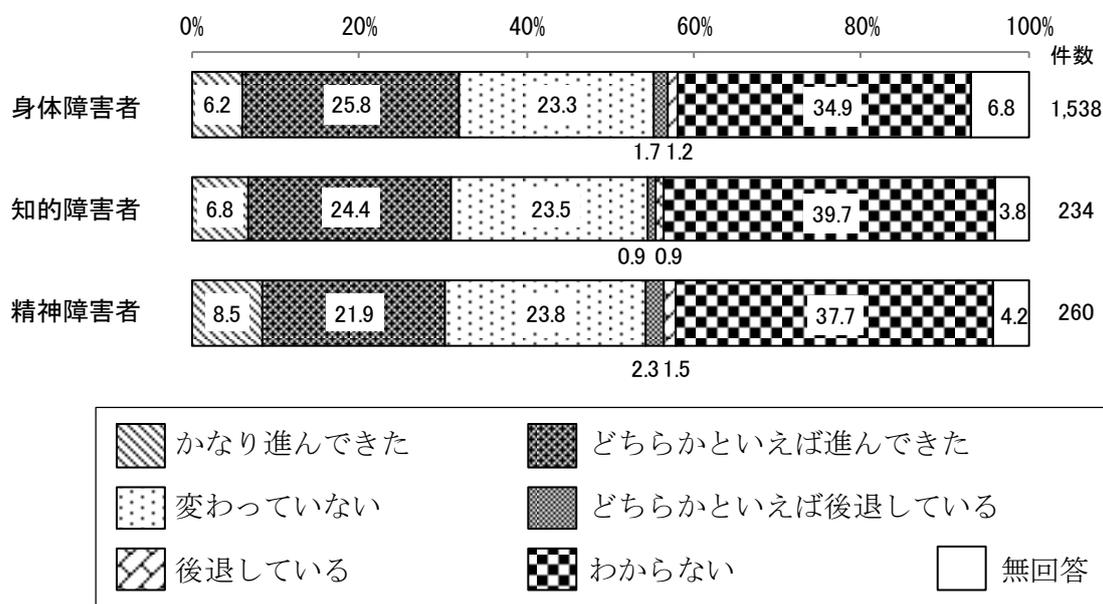


図 8-1 地域社会での障害者に対する配慮

障害種別・等級別でみると、身体障害者では『進んできた』は2級が36.3%で最も高くなっています。

知的障害者では『進んできた』はA判定が35.9%で最も高くなっています。

精神障害者では『進んできた』は2級が34.3%となっています。

表 8-1 地域社会での障害者に対する配慮(障害種別・等級別)

		件数	かなり進んできた	進んできたといえ	変わっていない	後退しているといえ	後退している	わからない	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	6.2	25.8	23.3	1.7	1.2	34.9	6.8
障害種別	視覚障害	109	3.7	26.6	26.6	3.7	3.7	28.4	7.3
	聴覚・平衡機能障害	100	5.0	21.0	29.0	2.0	1.0	35.0	7.0
	音声・言語・そしやく障害	61	4.9	24.6	24.6	3.3	3.3	32.8	6.6
	内部障害	474	6.5	23.6	23.8	1.3	1.5	36.3	7.0
	肢体不自由	748	5.7	28.3	24.2	1.9	0.7	34.6	4.5
等級別	1級	403	6.2	26.1	24.3	1.5	2.2	32.0	7.7
	2級	212	5.2	31.1	30.2	0.5	0.9	28.3	3.8
	3級	364	6.0	23.1	22.0	3.0	0.5	37.9	7.4
	4級	338	7.4	27.2	20.1	0.9	1.2	38.8	4.4
	5級	92	5.4	23.9	22.8	4.3	1.1	35.9	6.5
	6級	64	6.3	21.9	26.6	1.6	-	34.4	9.4
	わからない	10	-	20.0	10.0	-	-	60.0	10.0
知的障害者		234	6.8	24.4	23.5	0.9	0.9	39.7	3.8
判定別	A判定	78	6.4	29.5	26.9	-	-	35.9	1.3
	B判定	74	9.5	24.3	20.3	2.7	1.4	40.5	1.4
	C判定	72	2.8	22.2	22.2	-	1.4	44.4	6.9
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-
精神障害者		260	8.5	21.9	23.8	2.3	1.5	37.7	4.2
等級別	1級	19	10.5	10.5	15.8	-	5.3	42.1	15.8
	2級	178	9.6	24.7	24.7	2.2	1.1	34.3	3.4
	3級	42	2.4	21.4	23.8	4.8	2.4	45.2	-
	わからない	5	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-

8-2 地域社会での障害者に対する差別

問23 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由とする差別を受けたと感じることはありますか。(1つだけ)

地域社会の中での障害者に起因する差別の有無については、身体障害者では「常にある」が1.4%となっています。これに「時々ある」(11.8%)を合わせた『ある』は13.2%となっています。一方、「ほとんどない」は64.1%となっています。

知的障害者では『ある』が38.9%で4割弱となっています。一方、「ほとんどない」は30.3%となっています。

精神障害者では『ある』が36.9%で4割弱となっています。一方、「ほとんどない」は31.9%となっています。

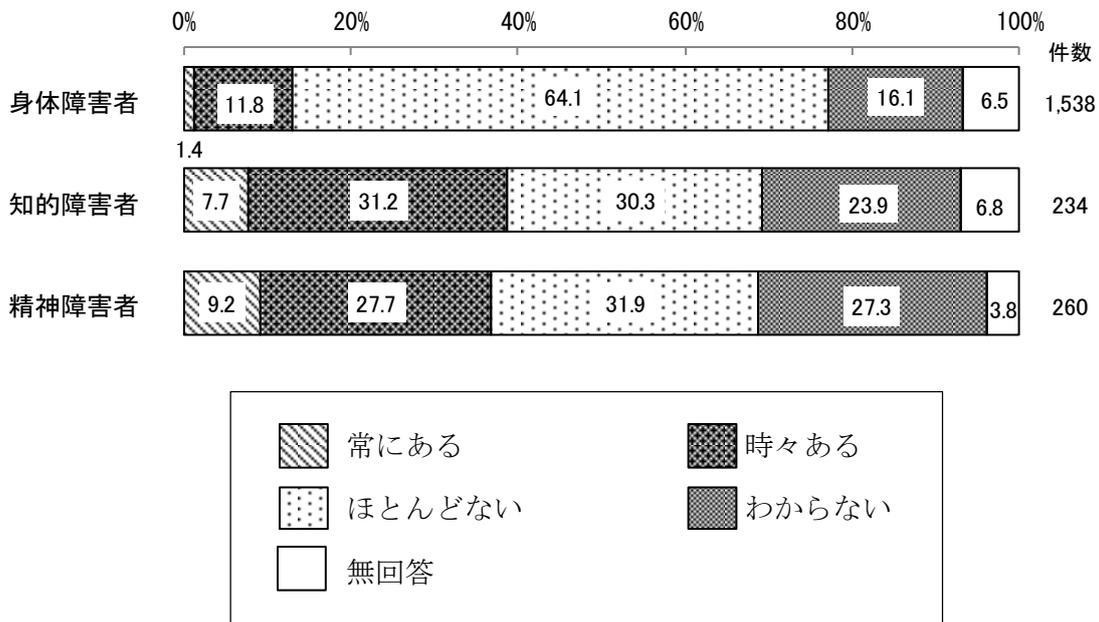


図 8-2 地域社会での障害者に対する差別

障害種別・等級別でみると、身体障害者では『ある』は聴覚・平衡機能障害（25.0%）、音声・言語・そしゃく障害（24.6%）で高くなっています。

精神障害者では『ある』は2級が42.7%で最も高くなっています。

表 8-2 地域社会での障害者に対する差別(障害種別・等級別)

		件数	常にある	時々ある	ほとんどない	わからない	無回答
(件、%)							
身体障害者		1,538	1.4	11.8	64.1	16.1	6.5
障害種別	視覚障害	109	0.9	21.1	50.5	19.3	8.3
	聴覚・平衡機能障害	100	4.0	21.0	51.0	18.0	6.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	4.9	19.7	42.6	27.9	4.9
	内部障害	474	0.2	7.2	69.2	16.9	6.5
	肢体不自由	748	1.7	14.2	63.1	15.8	5.2
等級別	1級	403	1.2	12.9	61.0	17.6	7.2
	2級	212	2.8	21.2	50.0	20.3	5.7
	3級	364	1.1	9.3	67.9	15.1	6.6
	4級	338	1.5	6.8	72.8	15.1	3.8
	5級	92	-	13.0	68.5	10.9	7.6
	6級	64	-	15.6	65.6	9.4	9.4
	わからない	10	-	30.0	40.0	20.0	10.0
知的障害者		234	7.7	31.2	30.3	23.9	6.8
判定別	A判定	78	6.4	33.3	28.2	26.9	5.1
	B判定	74	8.1	31.1	35.1	23.0	2.7
	C判定	72	9.7	30.6	27.8	22.2	9.7
	わからない	1	-	-	-	100.0	-
精神障害者		260	9.2	27.7	31.9	27.3	3.8
等級別	1級	19	5.3	31.6	26.3	26.3	10.5
	2級	178	10.1	32.6	28.7	25.3	3.4
	3級	42	11.9	14.3	42.9	31.0	-
	わからない	5	-	-	60.0	40.0	-

8-3 地域社会での障害者に対する差別

問23-1 問23で「1. 常にある」「2. 時々ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。(すべて)

差別を感じる際には、身体障害者では「人間関係」が40.2%で最も高く、次いで「まちなかでの視線」が36.8%、「店などでの対応・態度」が24.0%などとなっています。

知的障害者では、「人間関係」が50.5%で最も高く、次いで「まちなかでの視線」が48.4%、「仕事や収入」「教育の場」「店などでの対応・態度」がそれぞれ25.3%などとなっています。

精神障害者では「人間関係」が70.8%で最も高く、次いで「仕事や収入」が51.0%、「まちなかでの視線」が31.3%などとなっています。

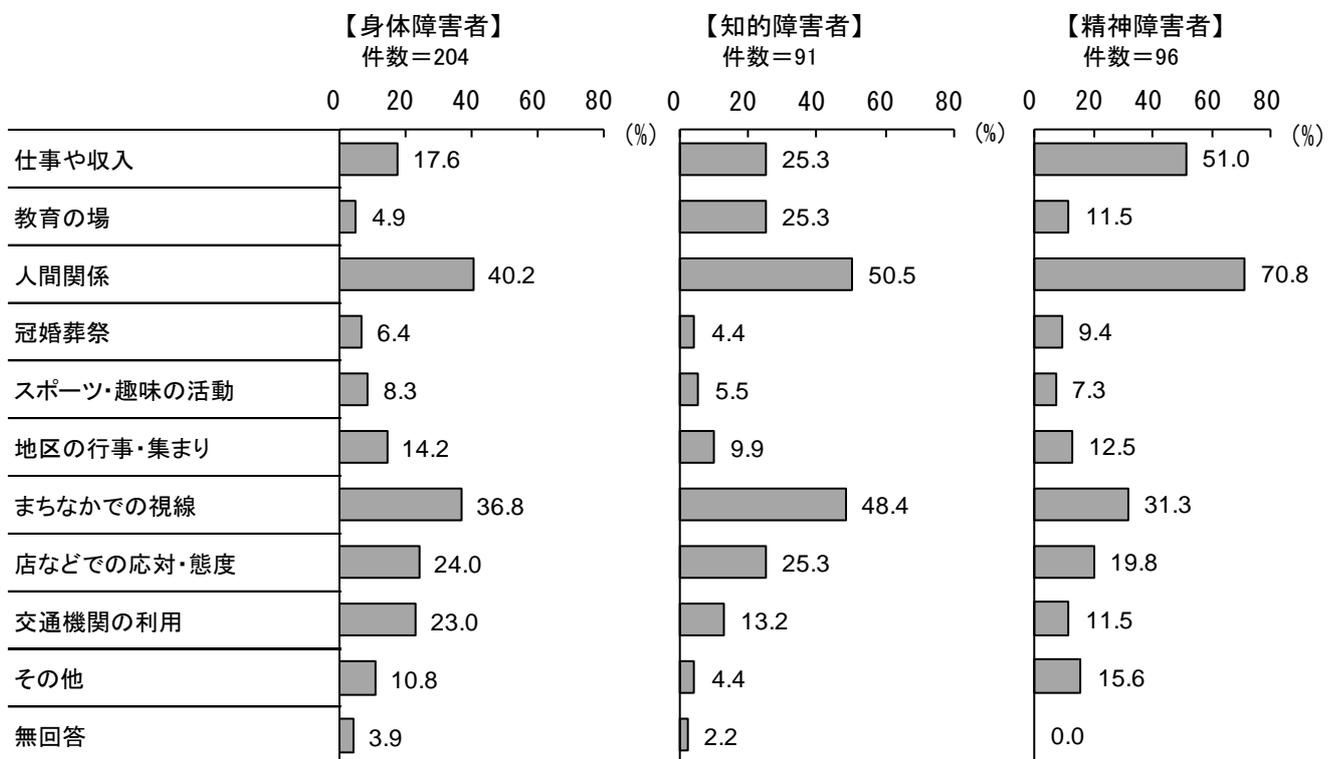


図 8-3 地域社会での障害者に対する差別

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「仕事や収入」(31.4%)が内部障害で高くなっています。また、「まちなかでの視線」(47.4%)は3級で高くなっています。

知的障害者では、「まちなかでの視線」(74.2%)、「店などでの対応・態度」(41.9%)はA判定で高くなっています。

表 8-3 地域社会での障害者に対する差別(障害種別・等級別)

		件数	仕事や収入	教育の場	人間関係	冠婚葬祭	スポーツ・趣味の活動	地区の行事・集まり	まちなかでの視線	店などでの対応・態度	交通機関の利用	その他	無回答
(件、%)													
身体障害者		204	17.6	4.9	40.2	6.4	8.3	14.2	36.8	24.0	23.0	10.8	3.9
障害種別	視覚障害	24	8.3	4.2	45.8	4.2	8.3	12.5	37.5	29.2	33.3	4.2	8.3
	聴覚・平衡機能障害	25	-	28.0	52.0	4.0	4.0	24.0	28.0	28.0	20.0	16.0	4.0
	音声・言語・そしゃく障害	15	13.3	13.3	73.3	6.7	-	20.0	46.7	60.0	20.0	6.7	-
	内部障害	35	31.4	2.9	42.9	5.7	8.6	11.4	25.7	17.1	5.7	20.0	-
	肢体不自由	119	17.6	4.2	36.1	5.0	10.9	16.0	44.5	22.7	26.9	10.9	4.2
等級別	1級	57	17.5	3.5	33.3	3.5	7.0	10.5	28.1	26.3	17.5	12.3	7.0
	2級	51	7.8	11.8	49.0	5.9	3.9	13.7	43.1	27.5	29.4	13.7	3.9
	3級	38	21.1	2.6	44.7	10.5	10.5	13.2	47.4	15.8	15.8	13.2	-
	4級	28	17.9	-	32.1	7.1	14.3	17.9	39.3	17.9	21.4	3.6	-
	5級	12	33.3	-	41.7	8.3	16.7	25.0	25.0	16.7	41.7	8.3	8.3
	6級	10	40.0	10.0	40.0	-	-	10.0	40.0	40.0	10.0	10.0	-
	わからない	3	33.3	-	66.7	-	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-
知的障害者		91	25.3	25.3	50.5	4.4	5.5	9.9	48.4	25.3	13.2	4.4	2.2
判定別	A判定	31	16.1	25.8	35.5	9.7	9.7	16.1	74.2	41.9	22.6	-	3.2
	B判定	29	27.6	17.2	51.7	3.4	6.9	13.8	44.8	24.1	13.8	3.4	3.4
	C判定	29	31.0	34.5	65.5	-	-	-	24.1	10.3	-	6.9	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		96	51.0	11.5	70.8	9.4	7.3	12.5	31.3	19.8	11.5	15.6	-
等級別	1級	7	42.9	14.3	42.9	-	28.6	-	28.6	42.9	14.3	28.6	-
	2級	76	48.7	11.8	73.7	10.5	5.3	11.8	35.5	18.4	10.5	14.5	-
	3級	11	72.7	9.1	81.8	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

8-4 障害に対する理解のために力を入れるべきこと

問24 障害に対する理解を深めるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(すべて)

障害に対する理解を深めるために今後注力すべきことについては、身体障害者では「障害のある方も利用しやすい施設をつくる」「障害のある方が出かけやすい整備を進める」がそれぞれ28.5%で最も高く、次いで「障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する」が21.4%、「障害のある方自身が積極性を持つ」が18.9%などとなっています。

知的障害者では「障害のある方も利用しやすい施設をつくる」が38.0%で最も高く、次いで「障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する」が31.2%、「障害のある方が出かけやすい整備を進める」が29.9%などとなっています。

精神障害者では「障害のある方も利用しやすい施設をつくる」が28.5%で最も高く、「障害のある方が出かけやすい整備を進める」が25.4%、「障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する」が23.1%などとなっています。

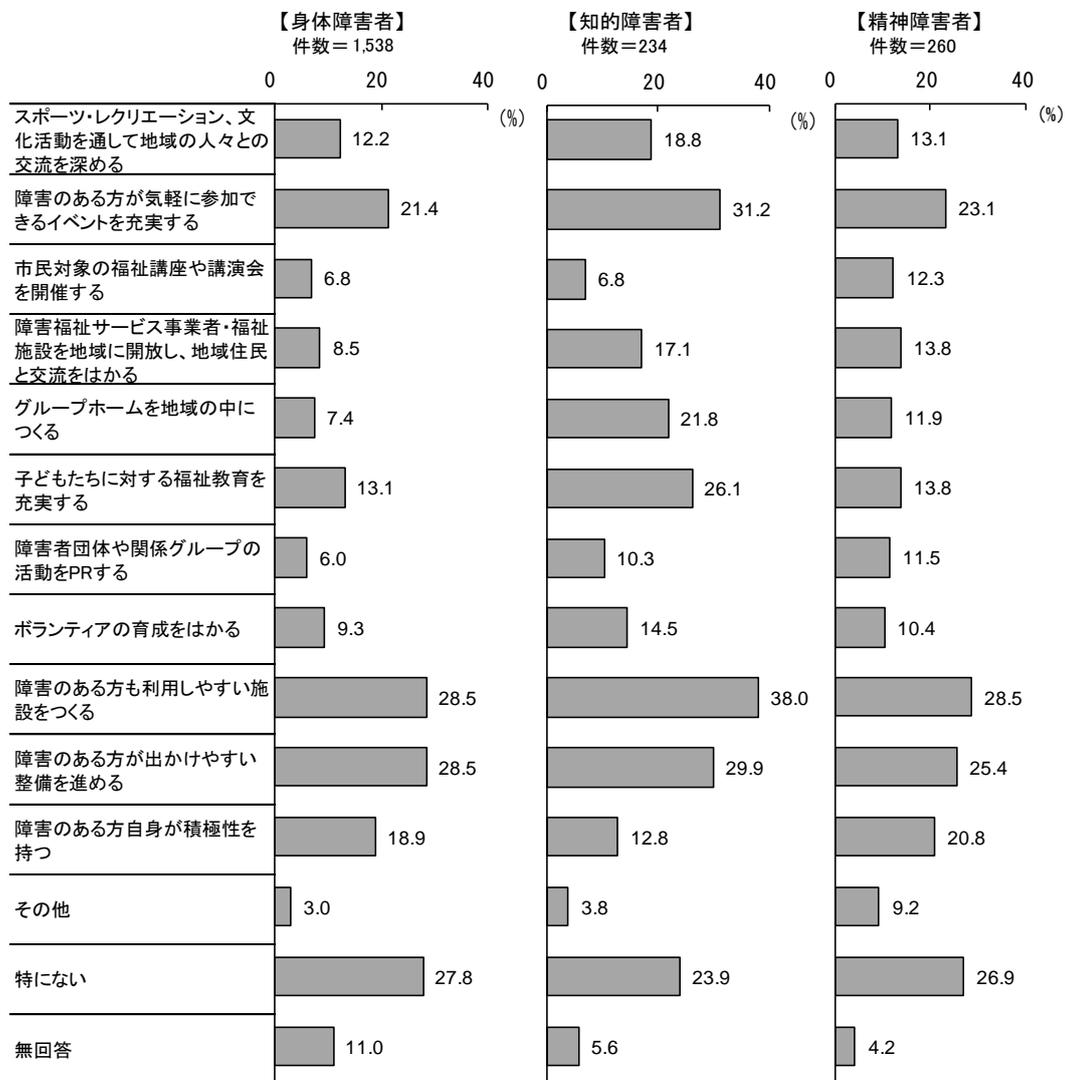


図 8-4 障害に対する理解のために力を入れるべきこと

身体障害者

障害種別でみると、「子どもたちに対する福祉教育を充実する」は聴覚・平衡機能障害が21.0%、「障害のある方も利用しやすい施設をつくる」は音声・言語・そしゃく障害が37.7%でそれぞれやや高くなっています。

表 8-4-1 身体障害者の障害に対する理解のために力を入れるべきこと(障害種別)

		件数	スポーツ・レクリエーション、文化活動を通して地域の人の交流を深める	障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し、地域住民と交流をはかる	障害福祉サービス事業者・福祉施設を地域の中に	グループホームを地域の中に	子どもたちに対する福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする
(件、%)										
身体障害者		1,538	12.2	21.4	6.8	8.5	7.4	13.1	6.0	
障害種別	視覚障害	109	11.9	27.5	8.3	11.0	12.8	16.5	9.2	
	聴覚・平衡機能障害	100	15.0	27.0	7.0	12.0	10.0	21.0	12.0	
	音声・言語・そしゃく障害	61	11.5	14.8	4.9	11.5	6.6	6.6	8.2	
	内部障害	474	12.9	17.7	7.6	8.6	7.4	13.9	6.1	
	肢体不自由	748	11.6	24.2	7.2	9.5	7.8	13.6	6.1	
身体障害者		件数	ボランティアの育成をはかる	障害のある方も利用しやすい施設をつくる	障害のある方が出かけやすい整備を進める	障害のある方が自身が積極性を	持	その他	特にな	無回答
身体障害者		1,538	9.3	28.5	28.5	18.9	3.0	27.8	11.0	
障害種別	視覚障害	109	10.1	27.5	29.4	23.9	1.8	24.8	11.0	
	聴覚・平衡機能障害	100	8.0	29.0	27.0	17.0	6.0	24.0	10.0	
	音声・言語・そしゃく障害	61	11.5	37.7	31.1	23.0	3.3	27.9	8.2	
	内部障害	474	10.1	22.8	24.3	17.9	2.7	32.9	10.3	
	肢体不自由	748	10.4	33.8	34.2	20.2	3.5	24.9	9.4	

身体障害者

等級別でみると、「障害のある方が出かけやすい整備を進める」は2級が41.0%で4割以上と高くなっています。

表 8-4-2 身体障害者の障害に対する理解のために力を入れるべきこと(等級別)

		件数	人々との交流を深める	スポーツ・レクリエーションの活動を通して地域の活性化を深める	障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実させる	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し、地域住民と交流をはかる	障害福祉サービス事業者・福祉施設を地域に開放し、地域住民と交流をはかる	グループホームを地域の中につくる	子どもたちに対する福祉教育を充実させる	障害者団体や関係グループの活動をPRする
(件、%)											
身体障害者		1,538	12.2	21.4	6.8	8.5	7.4	13.1	6.0		
等級別	1級	403	14.4	19.4	7.2	8.2	8.2	16.1	6.5		
	2級	212	9.9	23.1	7.5	8.5	10.8	16.5	7.5		
	3級	364	11.8	23.1	5.5	7.4	5.2	9.9	4.9		
	4級	338	14.2	22.8	7.4	10.4	7.7	10.9	7.1		
	5級	92	9.8	19.6	8.7	9.8	6.5	10.9	2.2		
	6級	64	9.4	20.3	6.3	7.8	7.8	23.4	7.8		
	わからない	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
		件数	ボランティアの育成をはかる	施設のある方も利用しやすい	障害のある方が出かけやすい整備を進める	障害のある方が自身が積極性を	持つ	その他	特にな	無回答	
身体障害者		1,538	9.3	28.5	28.5	18.9	3.0	27.8	11.0		
等級別	1級	403	11.7	29.0	30.5	17.1	3.5	29.0	10.2		
	2級	212	11.3	34.9	41.0	20.8	2.8	23.6	9.0		
	3級	364	7.4	28.6	24.2	20.1	2.7	27.5	12.4		
	4級	338	8.3	25.7	26.6	19.2	2.7	29.3	8.6		
	5級	92	10.9	27.2	25.0	23.9	3.3	26.1	10.9		
	6級	64	6.3	29.7	23.4	18.8	6.3	21.9	18.8		
	わからない	10	-	40.0	30.0	10.0	-	30.0	10.0		

知的障害者

等級別でみると、「障害のある方も利用しやすい施設をつくる」(55.1%)、「障害のある方が出かけやすい整備を進める」(42.3%)はA判定が高くなっています。

表 8-4-3 知的障害者の障害に対する理解のために力を入れるべきこと(等級別)

(件、%)		件数	人々との交流を深める	スポーツ・レクリエーション、文化活動を通して地域の	障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し、地域住民と交流をはかる	障害福祉サービス事業者・福祉施設を地域の中に	子どもたちに対する福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする
知的障害者		234	18.8	31.2	6.8	17.1	21.8	26.1	10.3	
判定別	A判定	78	19.2	32.1	6.4	24.4	30.8	35.9	15.4	
	B判定	74	20.3	27.0	5.4	14.9	20.3	18.9	9.5	
	C判定	72	16.7	36.1	6.9	11.1	15.3	26.4	6.9	
	わからない	1	-	-	-	-	100.0	-	-	
		件数	ボランティアの育成をはかる	障害のある方も利用しやすい施設をつくる	整備を進める	障害のある方が出かけやすい	持った障害のある方が積極性を	その他	特にな	無回答
知的障害者		234	14.5	38.0	29.9	12.8	3.8	23.9	5.6	
判定別	A判定	78	23.1	55.1	42.3	12.8	2.6	12.8	3.8	
	B判定	74	10.8	32.4	21.6	12.2	4.1	33.8	5.4	
	C判定	72	11.1	26.4	27.8	15.3	5.6	26.4	4.2	
	わからない	1	-	-	-	-	-	-	-	

精神障害者

等級別でみると、「障害のある方自身が積極性を持つ」は1級が36.8%で高くなっています。

表 8-4-4 知的障害者の障害に対する理解のために力を入れるべきこと(等級別)

		件数	スポーツ・レクリエーション、文化活動をを通して地域の人々との交流を深める	障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し、地域・住民と交流をはかる	障害福祉サービス事業者・福祉グループホームを地域の中につくる	子どもたちに対する福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする
(件、%)									
精神障害者		260	13.1	23.1	12.3	13.8	11.9	13.8	11.5
等級別	1級	19	21.1	21.1	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3
	2級	178	10.7	24.7	14.0	15.7	14.0	18.0	13.5
	3級	42	14.3	16.7	7.1	7.1	2.4	-	7.1
	わからない	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
		件数	ボランティアの育成をはかる	障害のある方も利用しやすい施設をつくる	障害のある方が出かけやすい整備を進める	障害のある方自身が積極性を持つ	その他	特にない	無回答
精神障害者		260	10.4	28.5	25.4	20.8	9.2	26.9	4.2
等級別	1級	19	5.3	31.6	5.3	36.8	26.3	10.5	15.8
	2級	178	12.4	29.2	28.1	20.2	7.9	25.8	2.2
	3級	42	7.1	21.4	21.4	19.0	9.5	42.9	-
	わからない	5	20.0	60.0	40.0	60.0	-	20.0	-

9 災害発生時の対応について

9-1 災害時の避難について

問25 あなたは災害が発生した時に、ひとりで避難できると思いますか。(1つだけ)

災害発生時にひとりで避難できるかどうかについては、知的障害者では「ひとりでは避難できない」が53.4%で5割以上と高くなっています。

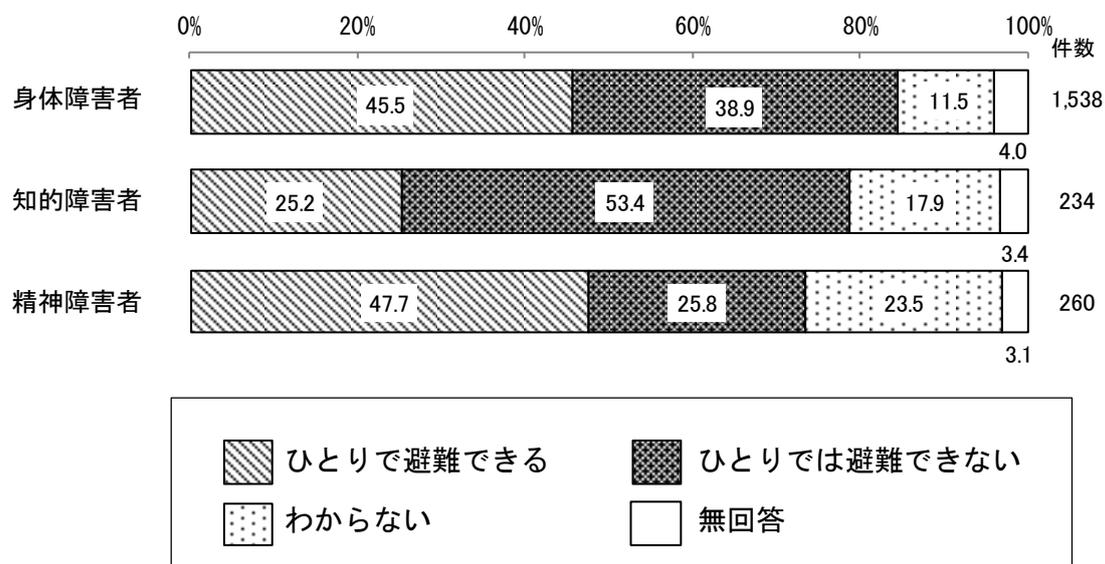


図 9-1 災害時の避難について

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「ひとりでは避難できない」は視覚障害（53.2%）、音声・言語・そしゃく障害（67.2%）、2級（63.2%）でそれぞれ高くなっています。

知的障害者では「ひとりでは避難できない」はA判定が78.2%で8割弱と高くなっています。

精神障害者では「ひとりでは避難できない」は1級が52.6%で5割以上と高くなっています。

表 9-1 災害時の避難について(障害種別・等級別)

		件数	ひとりでは避難できる	ひとりでは避難できない	わからない	無回答
(件、%)						
身体障害者		1,538	45.5	38.9	11.5	4.0
障害種別	視覚障害	109	30.3	53.2	14.7	1.8
	聴覚・平衡機能障害	100	38.0	43.0	14.0	5.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	21.3	67.2	9.8	1.6
	内部障害	474	58.2	29.7	8.0	4.0
	肢体不自由	748	38.6	46.8	11.4	3.2
等級別	1級	403	42.7	45.2	7.9	4.2
	2級	212	21.7	63.2	11.8	3.3
	3級	364	42.6	37.6	15.9	3.8
	4級	338	62.4	24.6	9.8	3.3
	5級	92	60.9	28.3	8.7	2.2
	6級	64	59.4	23.4	14.1	3.1
	わからない	10	10.0	60.0	10.0	20.0
知的障害者		234	25.2	53.4	17.9	3.4
判定別	A判定	78	6.4	78.2	15.4	-
	B判定	74	32.4	44.6	20.3	2.7
	C判定	72	37.5	40.3	18.1	4.2
	わからない	1	100.0	-	-	-
精神障害者		260	47.7	25.8	23.5	3.1
等級別	1級	19	31.6	52.6	10.5	5.3
	2級	178	44.9	26.4	25.8	2.8
	3級	42	71.4	9.5	19.0	-
	わからない	5	40.0	20.0	40.0	-

9-2 災害時の避難について

問25-1 問25で「2. ひとりでは避難できない」「3. わからない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(すべて)

ひとりで避難できない理由については、身体障害者では「避難を手助けしてくれる人が必要」が69.8%で最も高く、次いで「避難場所が遠い」が23.1%、「避難場所がわからない」が14.2%などとなっています。

知的障害者では「避難を手助けしてくれる人が必要」が65.3%で最も高く、次いで「避難場所がわからない」が29.3%、「緊急時の情報が入らない」が15.6%などとなっています。

精神障害者では「避難を手助けしてくれる人が必要」が46.9%で最も高く、次いで「避難場所がわからない」が44.5%、「緊急時の情報が入らない」が28.1%などとなっています。

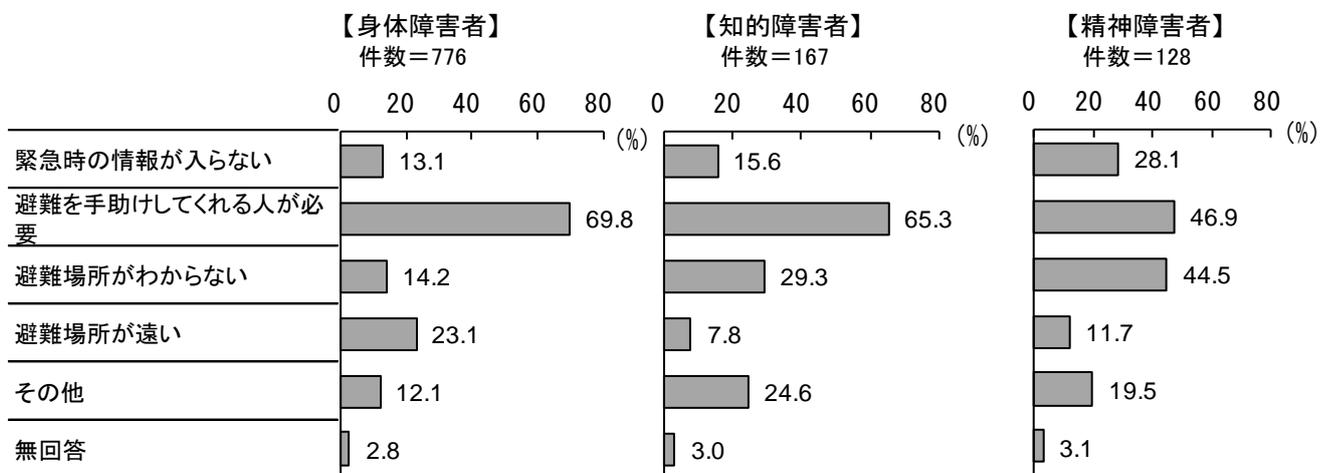


図 9-2 災害時の避難について

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「緊急時の情報が入らない」は聴覚・平衡機能障害(35.1%)で3割以上と高く、「避難を手助けしてくれる人が必要」は2級(82.4%)で8割以上と高くなっています。

表 9-2 災害時の避難について(障害種別・等級別)

		件数	緊急時の情報が入らない	避難を手助けしてくれる人が必要	避難場所がわからない	避難場所が遠い	その他	無回答
(件、%)								
身体障害者		776	13.1	69.8	14.2	23.1	12.1	2.8
障害種別	視覚障害	74	14.9	78.4	18.9	20.3	9.5	1.4
	聴覚・平衡機能障害	57	35.1	66.7	17.5	17.5	19.3	1.8
	音声・言語・そしゃく障害	47	12.8	76.6	21.3	21.3	10.6	8.5
	内部障害	179	14.0	67.0	16.2	19.6	10.6	2.8
	肢体不自由	435	10.8	73.8	12.4	25.7	12.6	2.5
等級別	1級	214	14.5	76.6	18.7	22.0	12.1	2.3
	2級	159	12.6	82.4	11.3	18.2	10.7	0.6
	3級	195	11.3	61.5	12.3	28.2	11.8	3.6
	4級	116	13.8	65.5	12.9	19.8	12.9	4.3
	5級	34	17.6	61.8	14.7	20.6	14.7	2.9
	6級	24	20.8	50.0	20.8	25.0	25.0	-
	わからない	7	14.3	42.9	-	28.6	14.3	14.3
知的障害者		167	15.6	65.3	29.3	7.8	24.6	3.0
判定別	A判定	73	13.7	68.5	32.9	6.8	32.9	1.4
	B判定	48	18.8	62.5	29.2	8.3	14.6	4.2
	C判定	42	16.7	61.9	26.2	7.1	23.8	4.8
	わからない	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		128	28.1	46.9	44.5	11.7	19.5	3.1
等級別	1級	12	8.3	75.0	16.7	25.0	25.0	-
	2級	93	31.2	44.1	49.5	11.8	22.6	2.2
	3級	12	33.3	25.0	50.0	8.3	8.3	8.3
	わからない	3	66.7	66.7	33.3	-	-	-

9-3 避難所で困ること

問26 あなたが避難所で困ると思うことは何ですか。(すべて)

避難所で困ることについては、身体障害者では「投薬や治療を受けることが難しい」が38.5%で最も高く、次いで「障害者用トイレなど障害者が生活できる環境が整っていない」が35.8%、「被害状況や食糧の配給などの情報が入手できない」が16.0%などとなっています。

知的障害者では「周りとのコミュニケーションが取れない」が58.1%で最も高く、次いで「被害状況や食糧の配給などの情報が入手できない」が35.0%、「投薬や治療を受けることが難しい」が19.2%などとなっています。

精神障害者では「投薬や治療を受けることが難しい」が51.2%で最も高く、次いで「周りとのコミュニケーションが取れない」が45.4%、「被害状況や食糧の配給などの情報が入手できない」が22.3%などとなっています。

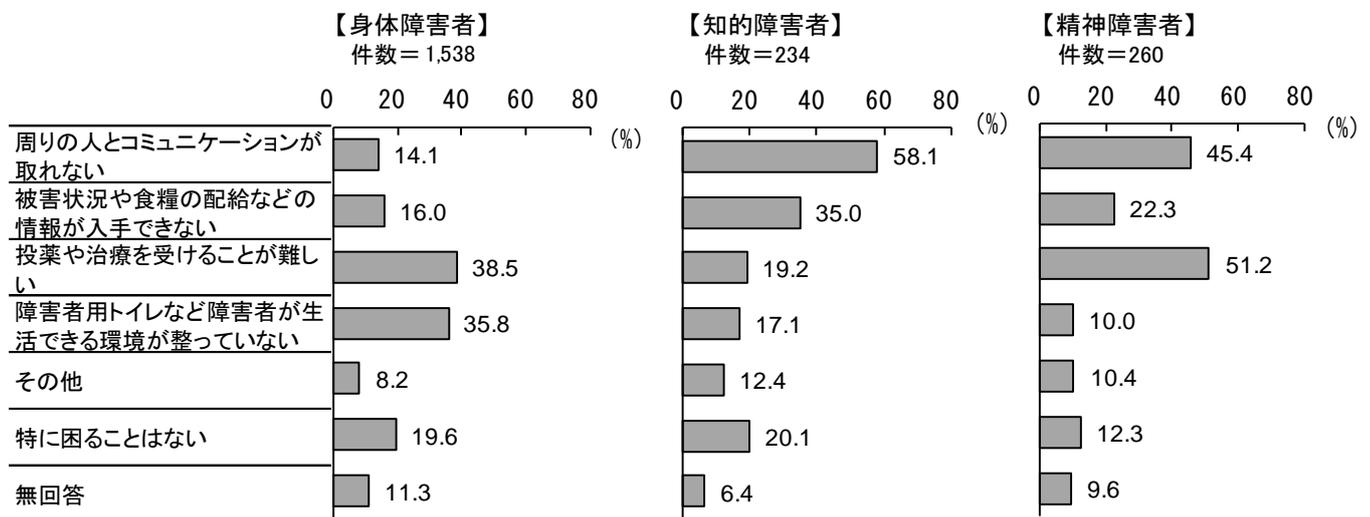


図 9-3 避難所で困ること

障害種別・等級別でみると、身体障害者では、身体障害者では、「周りの人とコミュニケーションが取れない」は聴覚・平衡機能障害(49.0%)、音声・言語・そしゃく障害(42.6%)と高くなっています。また、「投薬や治療を受けることが難しい」は内部障害(53.0%)で、「障害者用トイレなど障害者が生活できる環境が整っていない」は肢体不自由(50.3%)でそれぞれ高くなっています。

等級別でみると、「投薬や治療を受けることが難しい」は1級(51.1%)で、「障害者用トイレなど障害者が生活できる環境が整っていない」は2級(53.8%)でそれぞれ高くなっています。

知的障害者では「周りの人とコミュニケーションが取れない」はA判定(71.8%)で最も高くなっています。

表 9-3 避難所で困ること(障害種別・等級別)

		件数	周りの人とコミュニケーションが取れない	被害者の状況や食糧の配給	投薬や治療を受けることが難しい	障害者が生活できない環境	その他	特に困ることはない	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	14.1	16.0	38.5	35.8	8.2	19.6	11.3
障害種別	視覚障害	109	24.8	30.3	39.4	30.3	14.7	20.2	11.0
	聴覚・平衡機能障害	100	49.0	40.0	26.0	23.0	7.0	14.0	5.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	42.6	29.5	32.8	39.3	13.1	11.5	18.0
	内部障害	474	7.4	11.4	53.0	20.3	7.8	18.4	12.9
	肢体不自由	748	12.8	16.4	35.3	50.3	8.6	20.6	8.6
等級別	1級	403	15.4	15.9	51.1	31.8	8.2	14.1	12.7
	2級	212	25.9	21.2	40.1	53.8	9.4	9.4	9.9
	3級	364	9.1	14.0	38.2	37.1	8.2	22.0	10.4
	4級	338	9.5	15.4	32.2	33.4	6.2	26.9	11.5
	5級	92	9.8	13.0	22.8	33.7	14.1	26.1	8.7
	6級	64	18.8	20.3	23.4	23.4	7.8	28.1	6.3
	わからない	10	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0
知的障害者		234	58.1	35.0	19.2	17.1	12.4	20.1	6.4
判定別	A判定	78	71.8	42.3	12.8	32.1	21.8	19.2	2.6
	B判定	74	51.4	31.1	28.4	14.9	5.4	23.0	5.4
	C判定	72	51.4	33.3	16.7	4.2	11.1	19.4	8.3
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	45.4	22.3	51.2	10.0	10.4	12.3	9.6
等級別	1級	19	52.6	31.6	52.6	10.5	10.5	5.3	10.5
	2級	178	48.9	23.6	55.1	9.0	12.4	11.2	7.9
	3級	42	33.3	16.7	45.2	11.9	7.1	19.0	9.5
	わからない	5	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0

9-4 普段の災害に対する備え

問27 あなたは普段から災害に備えてどのような対応をしていますか。(すべて)

災害に備えた普段の対応については、身体障害者では「医師から処方されている薬の予備などの確保」が26.7%、「災害時の避難方法や場所の確認」が26.1%、「家具の転倒防止」が25.2%などとなっています。一方、「特に何もしていない」は32.2%となっています。

知的障害者では「災害時の避難方法や場所の確認」が23.9%、「家具の転倒防止」が16.2%、「消火器や非常持出袋などの準備」が15.8%などとなっています。一方、「特に何もしていない」は39.7%となっています。

精神障害者では「災害時の避難方法や場所の確認」が23.8%、「医師から処方されている薬の予備などの確保」が17.7%、「家具の転倒防止」が14.2%などとなっています。一方、「特に何もしていない」は45.0%となっています。

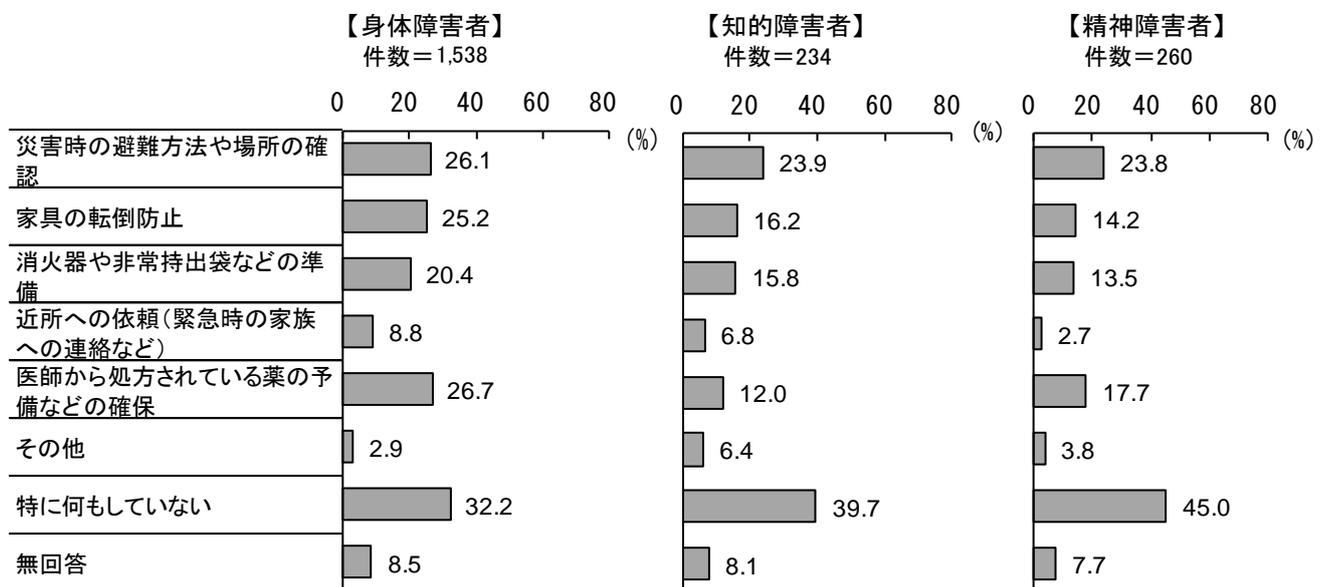


図 9-4 普段の災害に対する備え

障害種別・等級別で見ると、身体障害者では「医師から処方されている薬の予備などの確保」は内部障害が33.5%で3割以上と高くなっています。

知的障害者、精神障害者では「特に何もしていない」が最も高くなっています。

表 9-4 普段の災害に対する備え(障害種別・等級別)

		件数	災害時の確認	家具の転倒防止	消火器や非常持出袋などの準備	近所への依頼(緊急連絡など)	確保している薬の予備など	医師から処方されている薬の予備など	その他	特に何もしていない	無回答
(件、%)											
身体障害者		1,538	26.1	25.2	20.4	8.8	26.7	2.9	32.2	8.5	
障害種別	視覚障害	109	24.8	22.0	16.5	13.8	22.0	3.7	37.6	6.4	
	聴覚・平衡機能障害	100	28.0	23.0	20.0	8.0	22.0	4.0	36.0	3.0	
	音声・言語・そしゃく障害	61	19.7	23.0	19.7	13.1	29.5	4.9	36.1	14.8	
	内部障害	474	30.0	25.5	23.4	8.9	33.5	3.2	26.4	9.5	
	肢体不自由	748	25.1	27.9	21.1	9.8	25.1	2.8	34.0	6.6	
等級別	1級	403	27.0	24.8	20.8	9.9	28.0	4.2	30.5	7.9	
	2級	212	24.5	24.1	14.6	11.8	28.8	4.7	34.0	7.1	
	3級	364	25.5	25.5	20.6	8.0	26.1	2.5	34.1	7.7	
	4級	338	27.2	27.5	23.1	5.9	25.4	2.4	32.5	10.1	
	5級	92	29.3	29.3	22.8	12.0	25.0	-	26.1	8.7	
	6級	64	28.1	28.1	25.0	7.8	25.0	-	28.1	4.7	
	わからない	10	10.0	-	-	10.0	20.0	-	40.0	30.0	
知的障害者		234	23.9	16.2	15.8	6.8	12.0	6.4	39.7	8.1	
判定別	A判定	78	23.1	20.5	16.7	6.4	14.1	16.7	26.9	7.7	
	B判定	74	23.0	14.9	14.9	12.2	14.9	2.7	43.2	6.8	
	C判定	72	23.6	15.3	16.7	1.4	8.3	-	52.8	6.9	
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
精神障害者		260	23.8	14.2	13.5	2.7	17.7	3.8	45.0	7.7	
等級別	1級	19	26.3	21.1	21.1	10.5	21.1	10.5	31.6	10.5	
	2級	178	24.2	16.3	14.6	2.8	20.2	4.5	43.3	5.6	
	3級	42	28.6	7.1	9.5	-	14.3	-	47.6	7.1	
	わからない	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	60.0	20.0	

9-5 災害情報配信サービスについて

問28 あなたは災害の情報を携帯電話やパソコンのメールで受け取ることができる、「犬山市安心情報メール」の配信サービスに登録をしていますか。(1つだけ)

犬山市安心情報メールの配信サービスへの登録状況については、身体障害者では「メール配信サービスを知らなかった」が27.9%で最も高く、次いで「必要がないため登録していない」が19.6%、「すでに登録している」が17.4%などとなっています。

知的障害者では「必要がないため登録していない」が23.9%で最も高く、次いで「すでに登録している」が23.5%、「登録したいが携帯やパソコンが利用できない」が17.1%などとなっています。

精神障害者で「メール配信サービスを知らなかった」が35.8%で最も高く、次いで「必要がないため登録していない」が17.7%、「登録したいが携帯やパソコンが利用できない」が15.4%などとなっています。

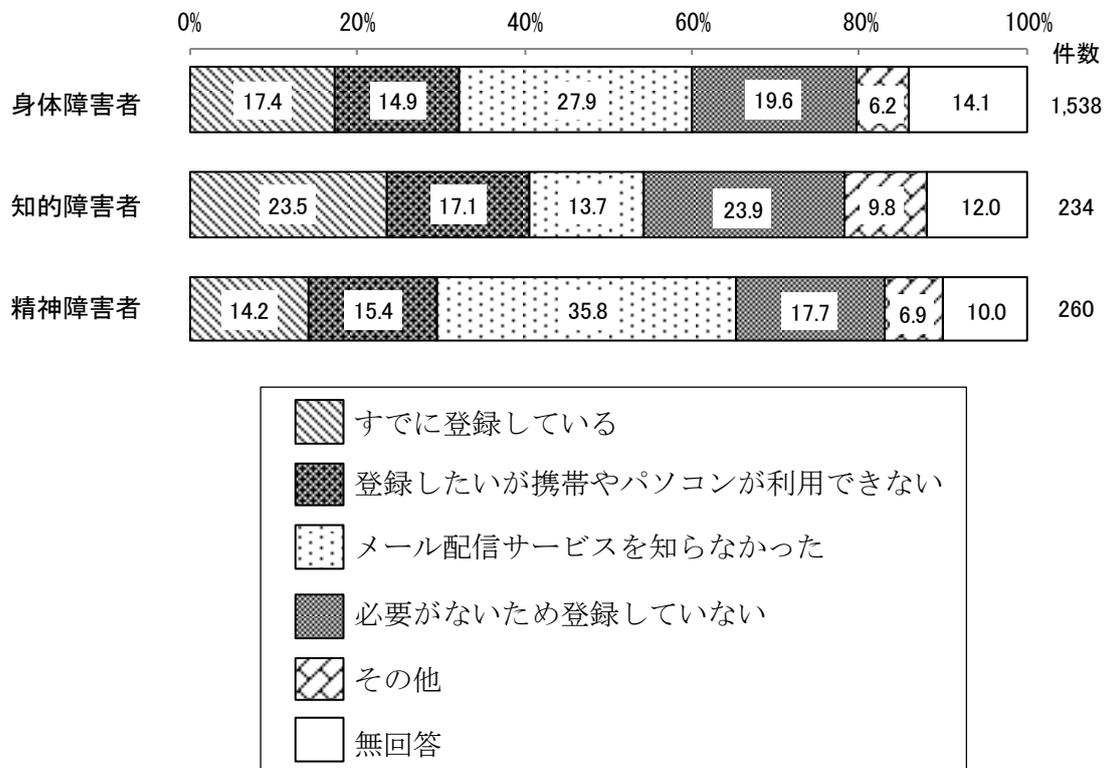


図 9-5 災害情報配信サービスについて

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「すでに登録している」は聴覚・平衡機能障害（24.0%）、「登録したいが携帯やパソコンが利用できない」は音声・言語・そしゃく障害（21.3%）でそれぞれやや高くなっています。

知的障害者では「犬山市安心情報メールの配信サービスを知らなかった」はB判定が20.3%で2割以上と高くなっています。

精神障害者では「すでに登録している」は3級（35.7%）で3割以上と高くなっています。

表 9-5 災害情報配信サービスについて(障害種別・等級別)

		件数	すでに登録している	ないが登録したいが携帯やパソコンが利用できない	知らなかつた	犬山市安心情報メール	し必要がないため登録	その他	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	17.4	14.9	27.9	19.6	6.2	14.1	
障害種別	視覚障害	109	12.8	21.1	19.3	22.9	6.4	17.4	
	聴覚・平衡機能障害	100	24.0	21.0	19.0	16.0	13.0	7.0	
	音声・言語・そしゃく障害	61	18.0	21.3	21.3	18.0	6.6	14.8	
	内部障害	474	16.9	14.1	30.6	20.0	5.5	12.9	
	肢体不自由	748	19.1	14.4	28.9	19.0	5.7	12.8	
等級別	1級	403	18.6	15.4	26.8	20.1	6.5	12.7	
	2級	212	15.6	17.5	28.8	17.0	7.5	13.7	
	3級	364	21.2	13.7	28.8	18.7	5.2	12.4	
	4級	338	14.8	12.7	29.0	22.2	5.6	15.7	
	5級	92	9.8	17.4	30.4	17.4	9.8	15.2	
	6級	64	20.3	18.8	29.7	14.1	6.3	10.9	
	わからない	10	-	-	10.0	30.0	10.0	50.0	
知的障害者		234	23.5	17.1	13.7	23.9	9.8	12.0	
判定別	A判定	78	30.8	21.8	7.7	19.2	11.5	9.0	
	B判定	74	13.5	21.6	20.3	23.0	8.1	13.5	
	C判定	72	29.2	6.9	12.5	29.2	11.1	11.1	
	わからない	1	-	-	-	100.0	-	-	
精神障害者		260	14.2	15.4	35.8	17.7	6.9	10.0	
等級別	1級	19	26.3	15.8	15.8	26.3	5.3	10.5	
	2級	178	9.0	17.4	41.0	15.2	8.4	9.0	
	3級	42	35.7	9.5	28.6	16.7	2.4	7.1	
	わからない	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	

10 情報収集や通信機器の利用について

10-1 福祉サービスに関する情報の入手先

問29 福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか。(すべて)

福祉サービスに関する情報の入手先については、身体障害者では「市や県の広報・パンフレット」が47.9%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が29.5%、「新聞・雑誌・本」が25.8%などとなっています。

知的障害者では、「市や県の広報・パンフレット」が38.0%で最も高く、次いで「家族・友人・知人」が30.3%、「市役所などの窓口」が23.5%などとなっています。

精神障害者では「病院・診療所・クリニック」が36.5%で最も高く、次いで「市や県の広報・パンフレット」が33.8%、「市役所などの窓口」が20.8%などとなっています。

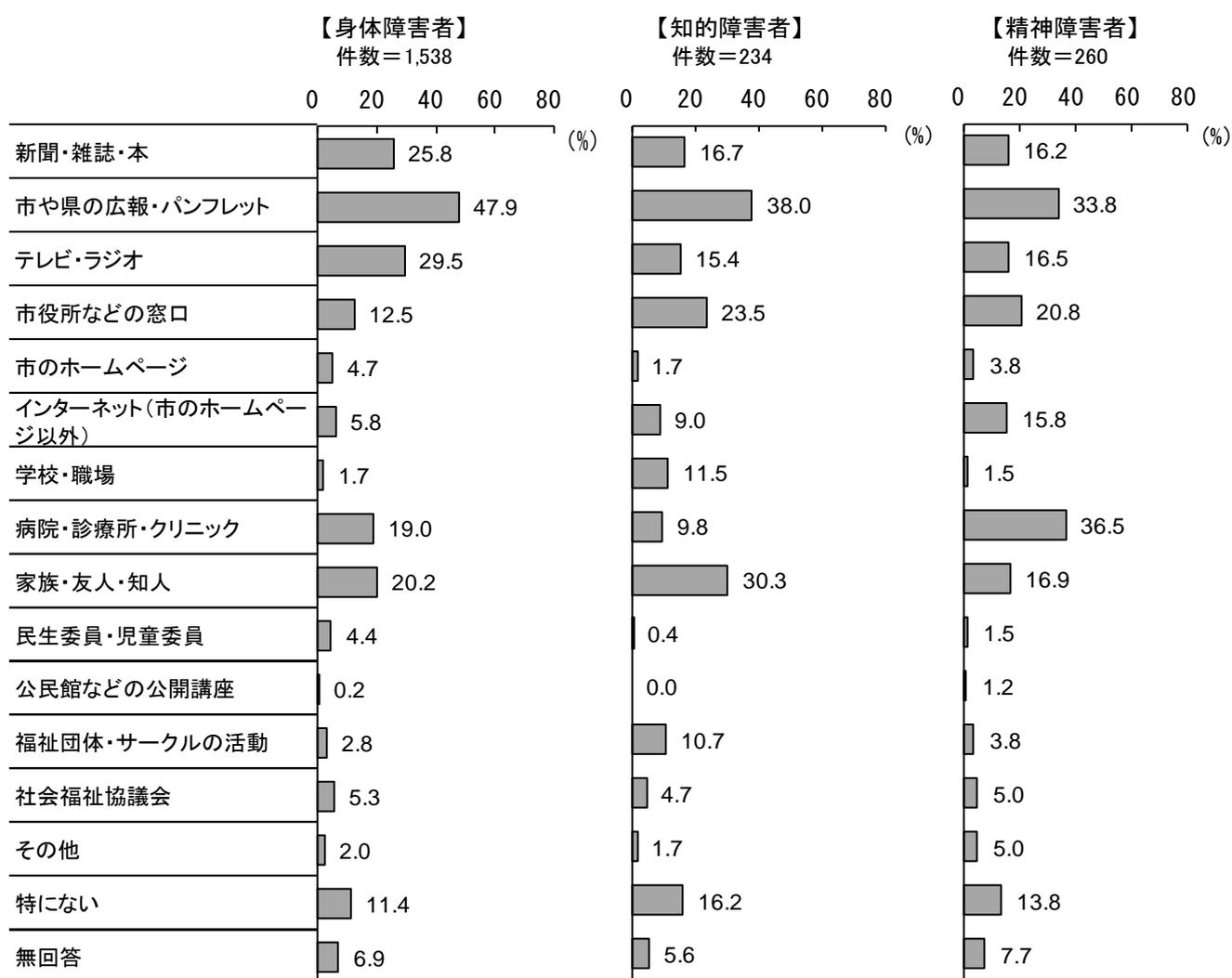


図 10-1 福祉サービスに関する情報の入手先

身体障害者

年齢別でみると、「市役所などの窓口」は18歳未満（53.3%）で最も高くなっています。その他の年齢では、「市や県の広報・パンフレット」が最も高くなっています。

表 10-1-1 身体障害者の福祉サービスに関する情報の入手先(年齢別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
身体障害者		1,538	25.8	47.9	29.5	12.5	4.7	5.8	1.7	19.0
年齢別	18歳未満	30	6.7	30.0	6.7	53.3	6.7	16.7	40.0	43.3
	18～39歳	45	13.3	35.6	13.3	15.6	4.4	17.8	6.7	15.6
	40～64歳	299	23.4	50.5	23.7	13.7	9.7	15.1	2.7	17.1
	65～74歳	459	30.3	55.3	29.8	12.2	3.1	3.9	0.2	19.2
	75歳以上	653	26.0	44.7	34.8	10.7	3.7	2.0	0.2	19.3
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	講座 公民館などの公開	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
身体障害者		1,538	20.2	4.4	0.2	2.8	5.3	2.0	11.4	6.9
年齢別	18歳未満	30	46.7	-	-	6.7	6.7	3.3	3.3	-
	18～39歳	45	26.7	-	-	11.1	8.9	4.4	11.1	-
	40～64歳	299	13.7	0.3	-	2.7	5.7	2.7	14.0	5.0
	65～74歳	459	20.0	3.7	-	2.6	5.7	0.9	10.7	5.2
	75歳以上	653	22.2	7.2	0.5	2.1	4.7	2.0	11.3	8.6

障害種別でみると、すべてにおいて「市や県の広報・パンフレット」が最も高くなっています。

表 10-1-2 身体障害者の福祉サービスに関する情報の入手先(障害種別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
身体障害者		1,538	25.8	47.9	29.5	12.5	4.7	5.8	1.7	19.0
障害種別	視覚障害	109	14.7	37.6	30.3	15.6	1.8	6.4	0.9	10.1
	聴覚・平衡機能障害	100	22.0	49.0	21.0	23.0	5.0	10.0	6.0	19.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	21.3	41.0	26.2	16.4	3.3	3.3	1.6	26.2
	内部障害	474	27.0	52.5	32.1	12.0	6.3	5.1	0.8	25.9
	肢体不自由	748	26.6	48.1	29.3	13.0	4.3	6.4	2.3	18.3
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉の団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
身体障害者		1,538	20.2	4.4	0.2	2.8	5.3	2.0	11.4	6.9
障害種別	視覚障害	109	26.6	3.7	-	5.5	11.9	0.9	16.5	5.5
	聴覚・平衡機能障害	100	28.0	7.0	1.0	7.0	8.0	4.0	9.0	1.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	31.1	1.6	1.6	3.3	6.6	1.6	9.8	8.2
	内部障害	474	18.8	4.6	0.2	1.1	2.5	1.3	8.6	7.4
	肢体不自由	748	19.7	4.0	0.1	3.2	6.3	2.8	13.0	5.6

等級別で見ると、「市や県の広報・パンフレット」は6級が56.3%と最も高くなっています。

表 10-1-3 身体障害者の福祉サービスに関する情報の入手先(等級別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
(件、%)										
身体障害者		1,538	25.8	47.9	29.5	12.5	4.7	5.8	1.7	19.0
等級別	1級	403	23.6	45.9	28.0	13.9	3.5	5.0	2.2	25.8
	2級	212	19.3	43.4	24.5	17.5	4.7	6.1	2.8	20.8
	3級	364	30.5	50.8	32.4	7.7	4.9	6.0	0.8	15.9
	4級	338	28.4	49.1	33.7	14.2	5.9	6.8	2.1	15.4
	5級	92	26.1	48.9	29.3	8.7	4.3	5.4	1.1	13.0
	6級	64	28.1	56.3	25.0	12.5	7.8	4.7	-	18.8
	わからない	10	10.0	40.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-
		件数	人家族・友人・知	委員民生委員・児童	開講座公民館などの公	ク福祉団体・サー	社会福祉協議会	その他	特にな	無回答
身体障害者		1,538	20.2	4.4	0.2	2.8	5.3	2.0	11.4	6.9
等級別	1級	403	24.6	3.7	0.2	3.2	6.2	2.2	9.4	6.9
	2級	212	18.4	4.2	-	2.8	8.0	3.8	11.8	6.6
	3級	364	18.7	3.8	0.3	2.7	2.7	1.9	12.6	6.6
	4級	338	18.6	4.4	-	1.8	4.7	0.9	11.2	8.3
	5級	92	17.4	5.4	-	2.2	3.3	1.1	13.0	3.3
	6級	64	26.6	9.4	-	3.1	6.3	3.1	12.5	3.1
	わからない	10	-	10.0	-	10.0	-	-	10.0	30.0

知的障害者

年齢別でみると、「市や県の広報・パンフレット」「インターネット（市のホームページ以外）」「学校・職場」「家族・友人・知人」は18歳未満で高くなっています。

等級別でみると、「家族・友人・知人」はA判定（43.6%）で4割以上と高くなっています。

表 10-1-4 知的障害者の福祉サービスに関する情報の入手先(年齢別)

	件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特になし	無回答	
																		(件、%)
知的障害者	234	16.7	38.0	15.4	23.5	1.7	9.0	11.5	9.8	30.3	0.4	-	10.7	4.7	1.7	16.2	5.6	
年齢別	18歳未満	55	18.2	49.1	16.4	30.9	3.6	23.6	38.2	12.7	50.9	1.8	-	10.9	1.8	-	9.1	1.8
	18～39歳	80	13.8	41.3	12.5	23.8	2.5	7.5	2.5	8.8	32.5	-	-	11.3	8.8	2.5	18.8	3.8
	40～64歳	76	23.7	31.6	19.7	19.7	-	2.6	2.6	10.5	15.8	-	-	11.8	2.6	2.6	18.4	6.6
	65歳以上	13	-	15.4	7.7	23.1	-	-	15.4	7.7	15.4	-	-	-	7.7	-	7.7	23.1
判定別	A判定	78	19.2	47.4	11.5	26.9	1.3	6.4	15.4	9.0	43.6	-	-	15.4	3.8	2.6	14.1	7.7
	B判定	74	16.2	36.5	16.2	24.3	-	6.8	8.1	8.1	24.3	-	-	12.2	6.8	2.7	14.9	4.1
	C判定	72	15.3	33.3	19.4	22.2	4.2	13.9	12.5	11.1	25.0	1.4	-	2.8	2.8	-	19.4	1.4
	わからない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

精神障害者

年齢別でみると、「病院・診療所・クリニック」は40～64歳（42.7%）で4割以上と高くなっています。

等級別でみると、「病院・診療所・クリニック」は2級（41.6%）が4割以上と高くなっています。

表 10-1-6 精神障害者の福祉サービスに関する情報の入手先(年齢別)

(件、%)		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
精神障害者		260	16.2	33.8	16.5	20.8	3.8	15.8	1.5	36.5	16.9	1.5	1.2	3.8	5.0	5.0	13.8	7.7
年齢別	39歳以下	67	17.9	31.3	14.9	22.4	7.5	20.9	3.0	31.3	22.4	1.5	-	6.0	7.5	6.0	17.9	3.0
	40～64歳	143	16.8	38.5	17.5	24.5	3.5	18.2	1.4	42.7	15.4	0.7	0.7	4.2	4.2	6.3	11.2	4.9
	65歳以上	40	10.0	27.5	15.0	10.0	-	-	-	25.0	15.0	5.0	5.0	-	5.0	-	12.5	22.5
等級別	1級	19	15.8	42.1	15.8	15.8	-	5.3	-	31.6	26.3	5.3	-	10.5	10.5	15.8	5.3	10.5
	2級	178	18.0	33.7	18.5	21.9	3.9	17.4	1.1	41.6	18.5	1.7	1.7	4.5	5.1	3.4	12.4	5.1
	3級	42	14.3	38.1	14.3	16.7	4.8	16.7	2.4	28.6	9.5	-	-	-	-	9.5	26.2	7.1
	わからない	5	20.0	40.0	-	40.0	20.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0

10-2 インターネットの利用について

問30 あなたは、インターネットを利用できるパソコンやその他の通信機器(スマートフォン(多機能携帯電話)など)を使っていますか。(いずれかに○)

インターネットの利用については、知的障害者では「使っている」が63.2%で6割以上と高くなっています。

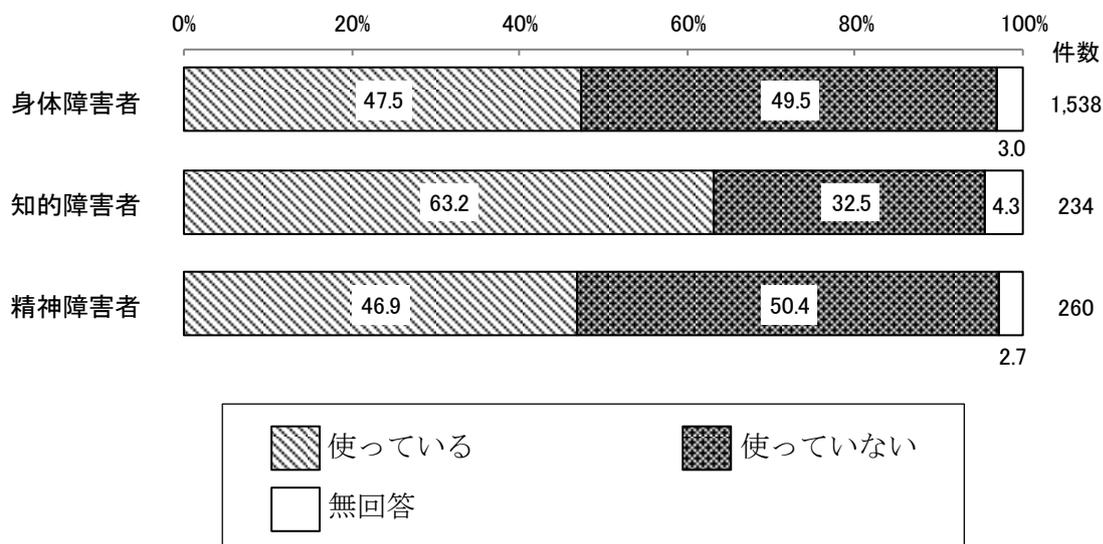


図 10-2 インターネットの利用について

身体障害者

年齢別でみると、「使っている」は18歳未満から40歳～64歳で高くなっています。一方、「使っていない」は65歳以上で高くなっています。

表 10-2-1 インターネットの利用について(年齢別・等級別)

(件、%)		件数	使っている	使っていない	無回答
身体障害者		1538	28.7	64.3	7.0
年齢別	18歳未満	30	56.7	43.3	-
	18～39歳	45	77.8	22.2	-
	40歳～64歳	299	61.2	33.8	5.0
	65歳～74歳	459	29.4	66.0	4.6
	75歳以上	653	9.5	81.9	8.6
障害種別	視覚障害	109	15.6	77.1	7.3
	聴覚・平衡機能障害	100	27.0	71.0	2.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	18.0	73.8	8.2
	内部障害	474	31.0	61.4	7.6
	肢体不自由	748	31.0	64.0	4.9
等級別	1級	403	29.5	64.0	6.5
	2級	212	24.5	69.8	5.7
	3級	364	28.0	64.6	7.4
	4級	338	32.5	58.9	8.6
	5級	92	31.5	66.3	2.2
	6級	64	29.7	68.8	1.6
	わからない	10	10.0	60.0	30.0

知的障害者・精神障害者

知的障害者では年齢別で見ると、「使っている」は18歳～39歳で最も高くなっています。また、等級別で見ると「使っている」はC判定で50.0%と高くなっています。

精神障害者では年齢別で見ると、「使っている」は39歳以下で最も高くなっています。

表 10-2-2 インターネットの利用について(年齢別・等級別)

		件数	使っている	使っていない	無回答
(件、%)					
知的障害者		234	29.5	65.0	5.6
年齢別	18歳未満	55	40.0	56.4	3.6
	18～39歳	80	46.3	47.5	6.3
	40～64歳	76	11.8	82.9	5.3
	65歳以上	13	-	92.3	7.7
判定別	A判定	78	16.7	78.2	5.1
	B判定	74	25.7	68.9	5.4
	C判定	72	50.0	47.2	2.8
	わからない	1	-	100.0	-
精神障害者		260	47.3	45.4	7.3
年齢別	39歳以下	67	70.1	26.9	3.0
	40～64歳	143	48.3	46.9	4.9
	65歳以上	40	5.0	75.0	20.0
等級別	1級	19	42.1	47.4	10.5
	2級	178	47.8	47.2	5.1
	3級	42	57.1	35.7	7.1
	わからない	5	60.0	20.0	20.0

10-3 パソコン等を使う際に困ること

問31 問30で「1. 使っている」と答えた方にお聞きします。パソコンなどを使う際に困ることや不安なことは何ですか。(すべて)

通信機器の使用の際に困ることについては、身体障害者では「個人情報の流出」が24.9%、「コンピュータウイルスへの感染」が21.3%、「ほしい情報を探すことが難しい」が16.3%などとなっています。一方、「特にない」は39.7%となっています。

知的障害者では「個人情報の流出」が27.5%、「ほしい情報を探すことが難しい」が26.1%、「コンピュータウイルスへの感染」が24.6%などとなっています。一方、「特にない」は39.1%となっています。

精神障害者では「個人情報の流出」が43.9%、「コンピュータウイルスへの感染」が29.3%、「機器や通信にかかる費用が高い」が27.6%などとなっています。一方、「特にない」は32.5%となっています。

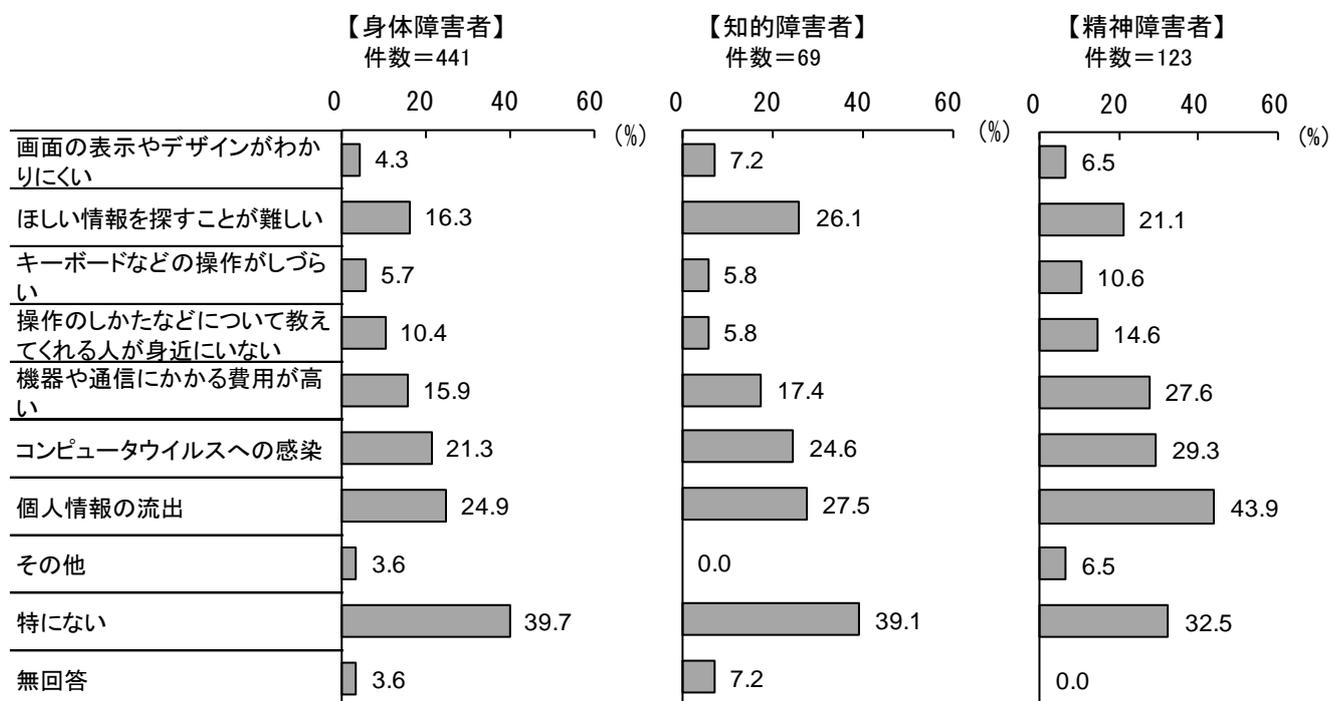


図 10-3 パソコン等を使う際に困ること

身体障害者

年齢別でみると、「ほしい情報を探すことが難しい」は75歳以上で高っています。等級別でみると、「画面の表示やデザインがわかりにくい」は視覚障害で最も高くなっています。

表 10-3-1 パソコン等を使う際に困ること(年齢別・等級別)

		件数	画面の表示やデザインがわかりにくい	ほしい情報を探すことが難しい	キーボードなどの操作がしづらい	ついでに教えてくれない	操作のしかたに慣れない	機器や通信にかかる費用が高い	コンピュータウイルスへの感染	個人情報の流出	その他	特にない	無回答
(件、%)													
身体障害者		441	4.3	16.3	5.7	10.4	15.9	21.3	24.9	3.6	39.7	3.6	
年齢別	18歳未満	17	-	35.3	11.8	5.9	11.8	23.5	17.6	-	47.1	-	
	18～39歳	35	5.7	20.0	2.9	2.9	20.0	22.9	25.7	2.9	45.7	-	
	40歳～64歳	183	2.2	9.8	5.5	8.7	16.9	29.0	33.3	4.9	38.8	1.1	
	65歳～74歳	135	5.2	17.0	5.2	11.9	17.0	16.3	23.7	1.5	40.0	4.4	
	75歳以上	62	9.7	25.8	6.5	17.7	11.3	9.7	8.1	4.8	38.7	8.1	
障害種別	視覚障害	17	35.3	23.5	17.6	17.6	11.8	17.6	5.9	23.5	17.6	5.9	
	聴覚・平衡機能障害	27	3.7	25.9	7.4	7.4	11.1	14.8	22.2	3.7	44.4	-	
	音声・言語・そしゃく障害	11	-	18.2	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	-	45.5	-	
	内部障害	147	4.8	12.9	3.4	7.5	17.7	21.1	22.4	2.7	42.2	4.1	
	肢体不自由	232	2.6	19.0	6.5	12.5	13.8	23.7	29.3	3.4	38.4	3.9	
等級別	1級	119	3.4	16.8	4.2	6.7	16.8	19.3	20.2	5.0	39.5	3.4	
	2級	52	5.8	23.1	11.5	13.5	21.2	28.8	25.0	7.7	34.6	-	
	3級	102	2.9	14.7	5.9	7.8	12.7	28.4	35.3	3.9	34.3	3.9	
	4級	110	3.6	14.5	5.5	16.4	13.6	13.6	21.8	0.9	48.2	5.5	
	5級	29	13.8	20.7	3.4	10.3	13.8	20.7	13.8	3.4	34.5	6.9	
	6級	19	5.3	10.5	5.3	5.3	15.8	21.1	42.1	-	47.4	-	
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	

知的障害者・精神障害者

知的障害者では年齢別でみると、「ほしい情報を探すことが難しい」は40歳～64歳で55.6%と最も高くなっています。

精神障害者では等級別でみると、「個人情報の流出」は2級・3級で割合が高くなっています。

表 10-3-2 パソコン等を使う際に困ること(年齢別・等級別)

		件数	画面の表示やデザインがわかりにくい	とほしい情報を探すことが難しい	キーボードなどの操作がしづらい	人が身近に教えてくれない	操作のしかたなどに	費用が高い	機器や通信にかかる	コンピュータウイルスへの感染	個人情報の流出	その他	特にな	無回答
(件、%)														
知的障害者		69	7.2	26.1	5.8	5.8	17.4	24.6	27.5	-	39.1	7.2		
年齢別	18歳未満	22	4.5	31.8	4.5	9.1	18.2	18.2	27.3	-	45.5	4.5		
	18～39歳	37	5.4	16.2	2.7	-	18.9	35.1	32.4	-	37.8	10.8		
	40～64歳	9	22.2	55.6	22.2	22.2	11.1	-	11.1	-	22.2	-		
	65歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
判定別	A判定	13	-	53.8	7.7	23.1	7.7	23.1	30.8	-	7.7	15.4		
	B判定	19	5.3	21.1	10.5	-	5.3	15.8	15.8	-	63.2	-		
	C判定	36	8.3	16.7	2.8	2.8	27.8	30.6	30.6	-	38.9	8.3		
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者		123	6.5	21.1	10.6	14.6	27.6	29.3	43.9	6.5	32.5	-		
年齢別	39歳以下	47	4.3	17.0	8.5	12.8	23.4	36.2	42.6	4.3	38.3	-		
	40～64歳	69	8.7	26.1	13.0	15.9	31.9	26.1	46.4	8.7	27.5	-		
	65歳以上	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-		
等級別	1級	8	12.5	12.5	37.5	12.5	-	37.5	25.0	12.5	37.5	-		
	2級	85	4.7	22.4	7.1	12.9	35.3	32.9	45.9	5.9	31.8	-		
	3級	24	12.5	20.8	16.7	20.8	16.7	20.8	50.0	8.3	29.2	-		
	わからない	3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-		

1 1 障害福祉サービス・地域生活支援事業について

11-1 障害者サービスの利用について

問32 あなたは、次にあげる障害福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(①②それぞれについて、いずれかに○)

【身体障害者の利用状況】

障害福祉サービスの利用状況については、各サービスともに1割未満となっています。

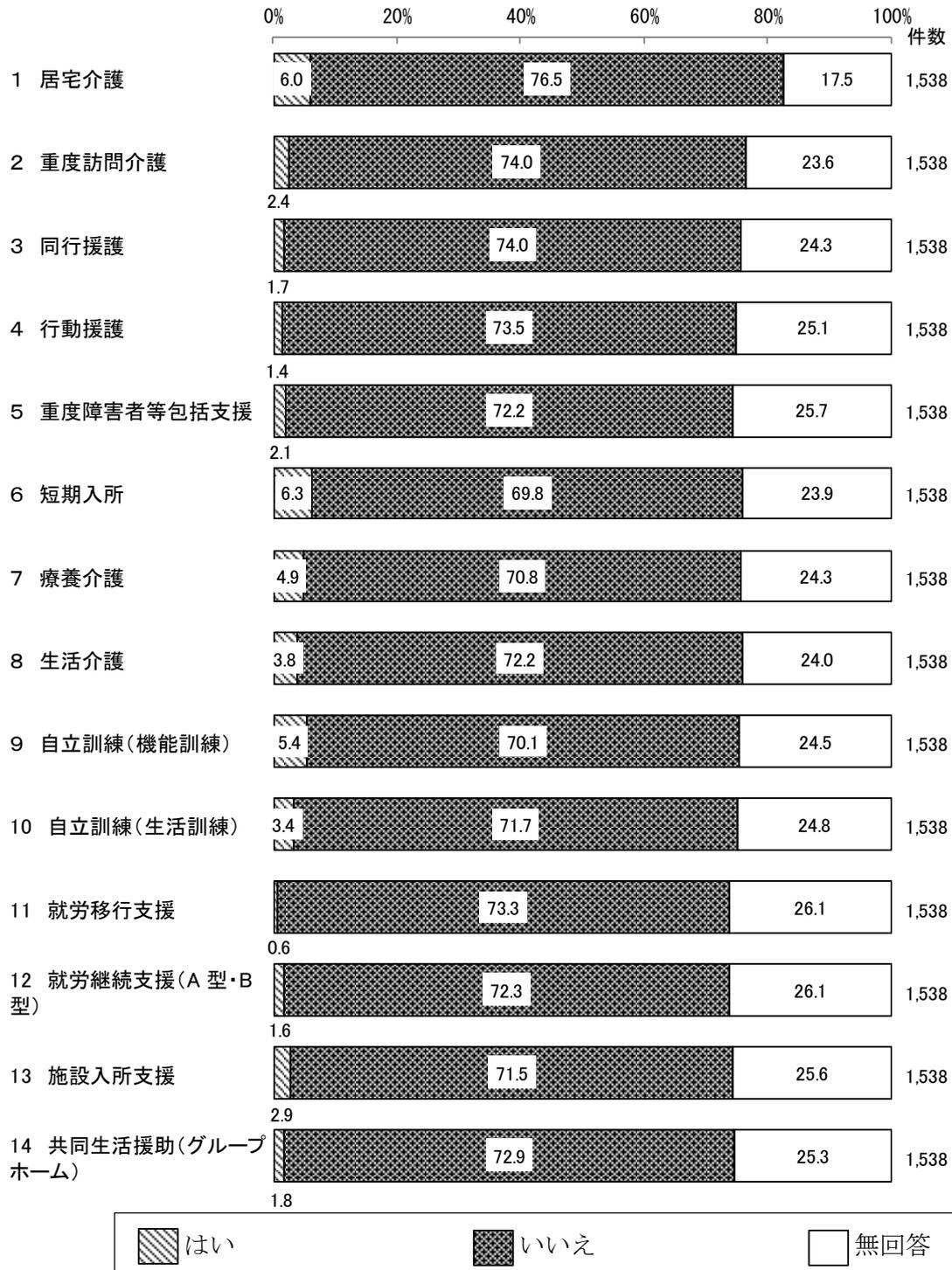


図 11-1-1 身体障害者の障害福祉サービスの利用状況

【身体障害者の今後の利用意向】

障害福祉サービスの今後の利用意向については、「短期入所」(31.4%)、「居宅介護」(29.6%)、「療養介護」(27.0%)が高くなっています。

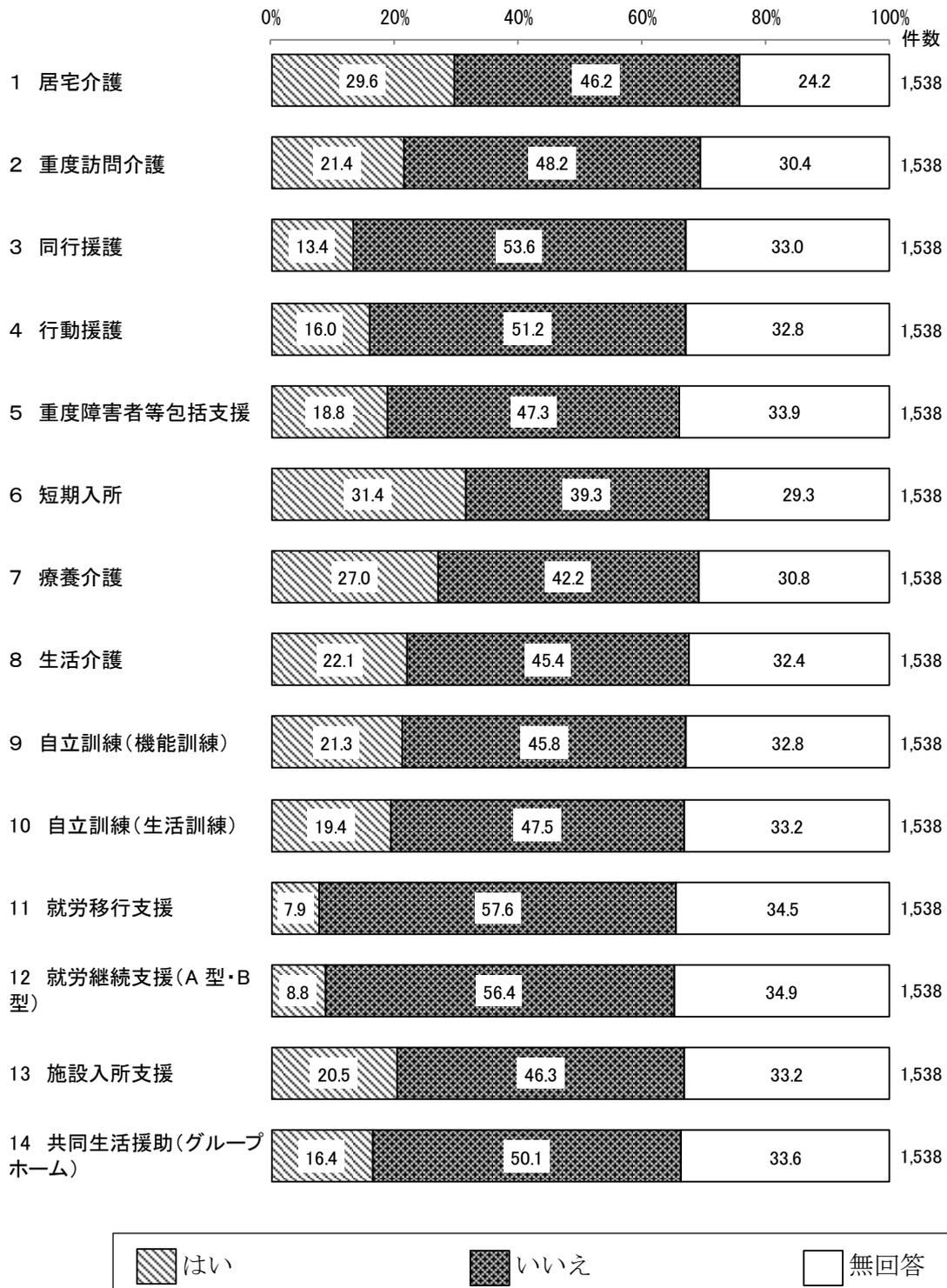


図 11-1-2 身体障害者の障害福祉サービスの今後の利用意向

【知的障害者の利用状況】

障害福祉サービスの利用状況については、「就労継続支援（A型・B型）」（21.8%）、「短期入所」（15.4%）、「生活介護」（10.7%）が高くなっています。

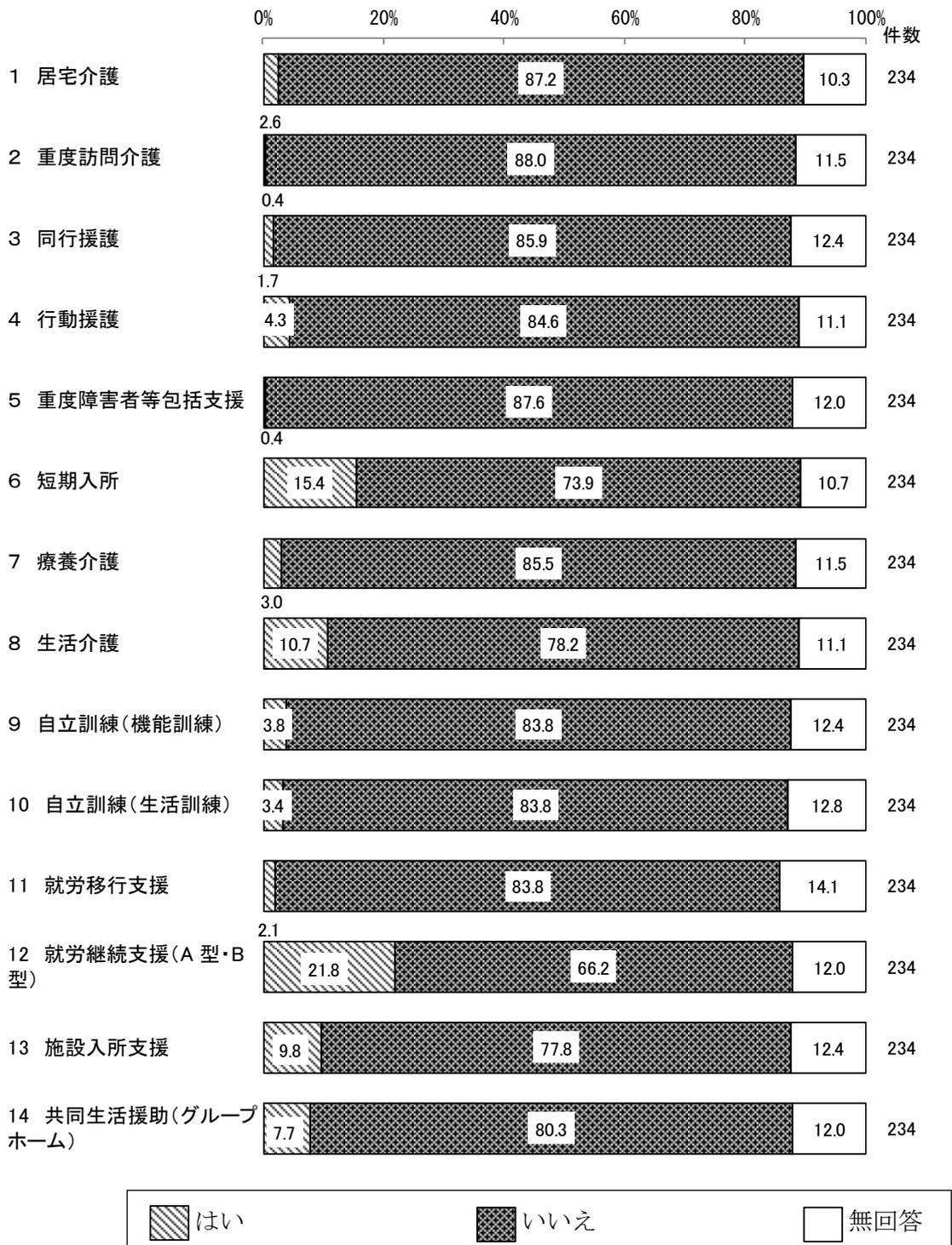


図 11-1-3 知的障害者の障害福祉サービスの利用状況

【知的障害者の今後の利用意向】

障害福祉サービスの今後の利用意向については、「就労継続支援（A型・B型）」（43.6%）、「共同生活援助（グループホーム）」（36.3%）、「短期入所」（34.2%）が高くなっています。

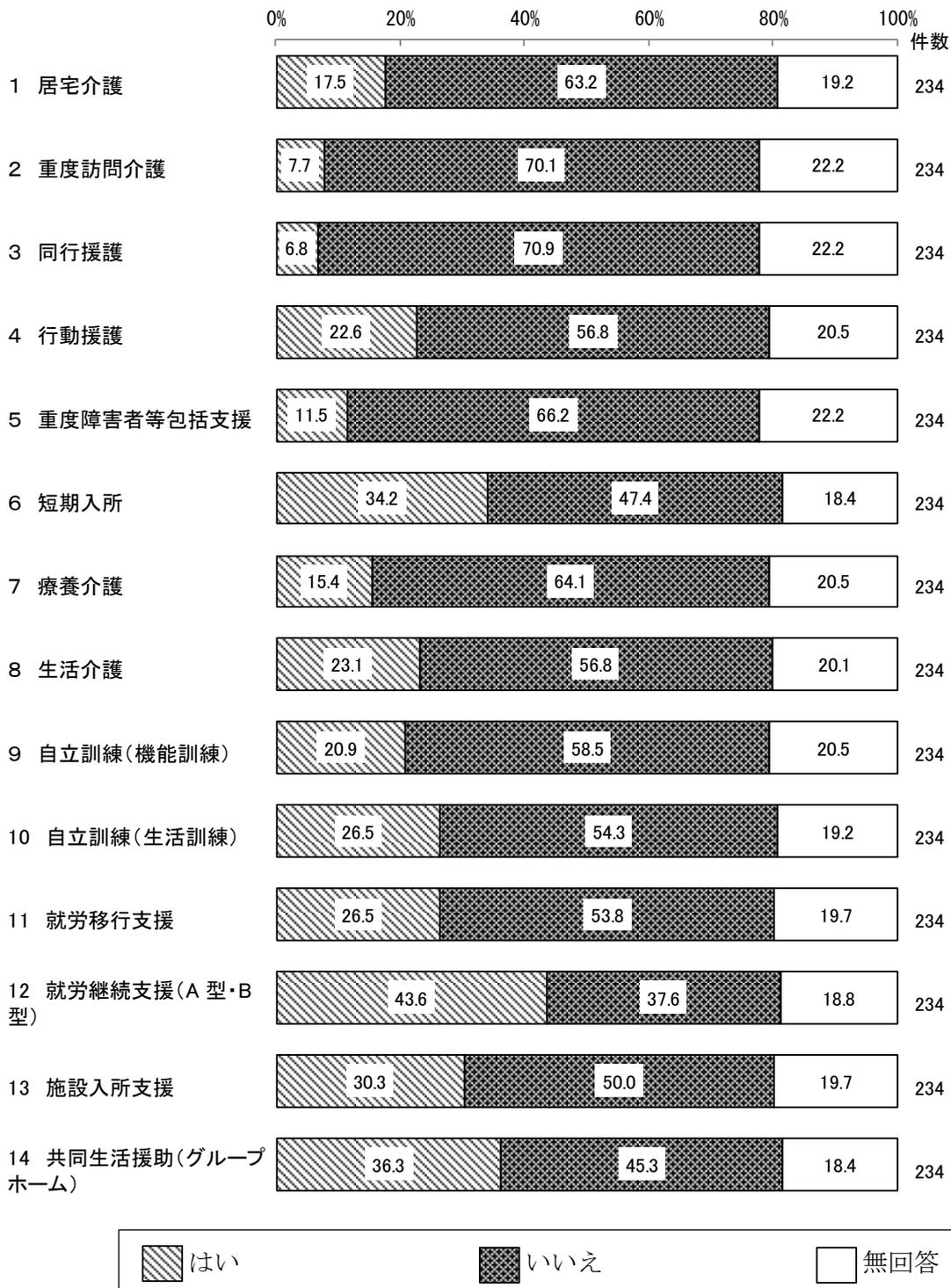


図 11-1-4 知的障害者の障害福祉サービスの今後の利用意向

【精神障害者の利用状況】

障害福祉サービスの利用状況については、「就労継続支援（A型・B型）」が12.3%となっています。

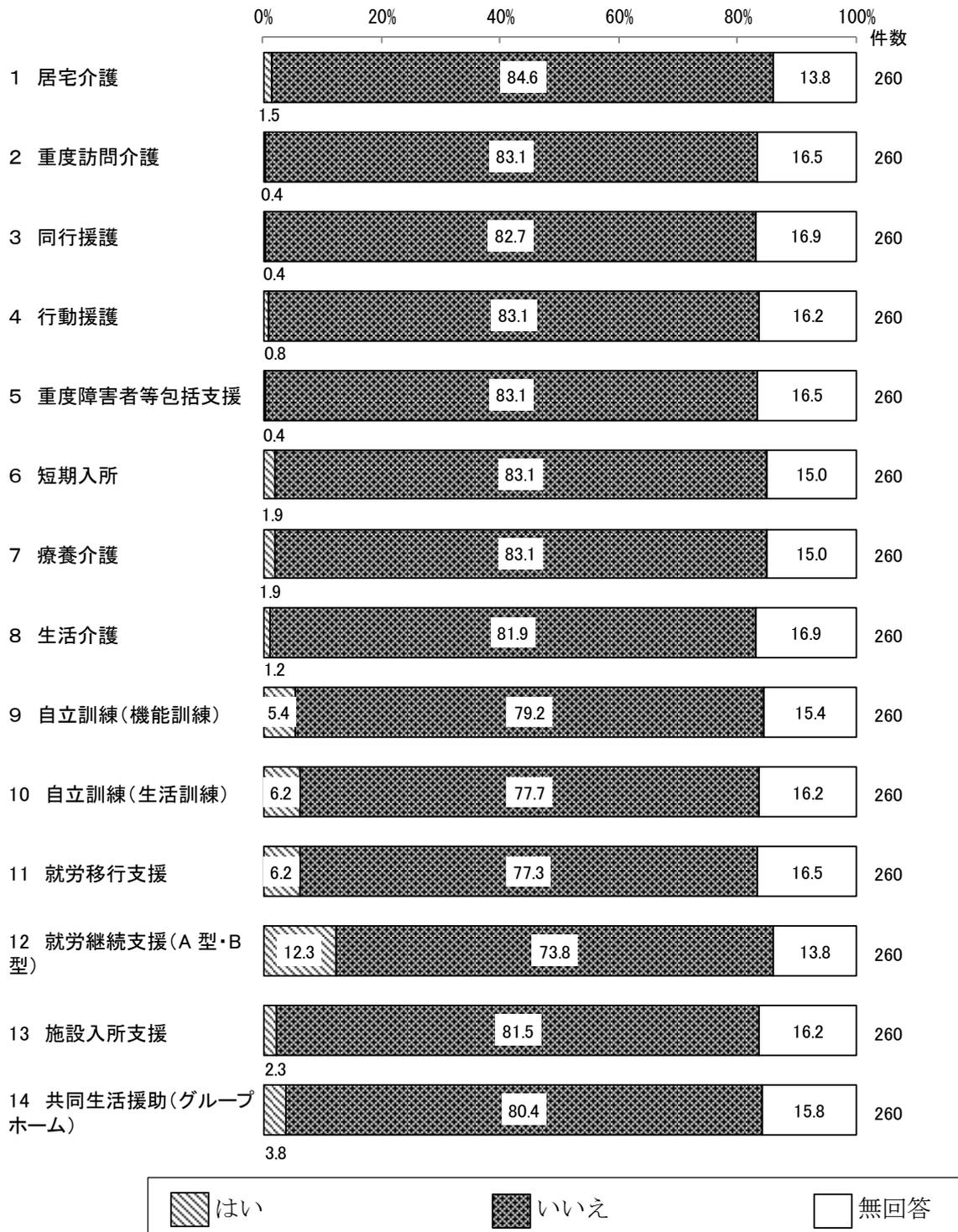


図 11-1-5 精神障害者の障害福祉サービスの利用状況

【精神障害者の今後の利用意向】

障害福祉サービスの今後の利用意向については、「就労継続支援（A型・B型）」（31.9%）、「自立訓練（生活訓練）」（27.7%）、「就労移行支援」（26.9%）がそれぞれ高くなっています。

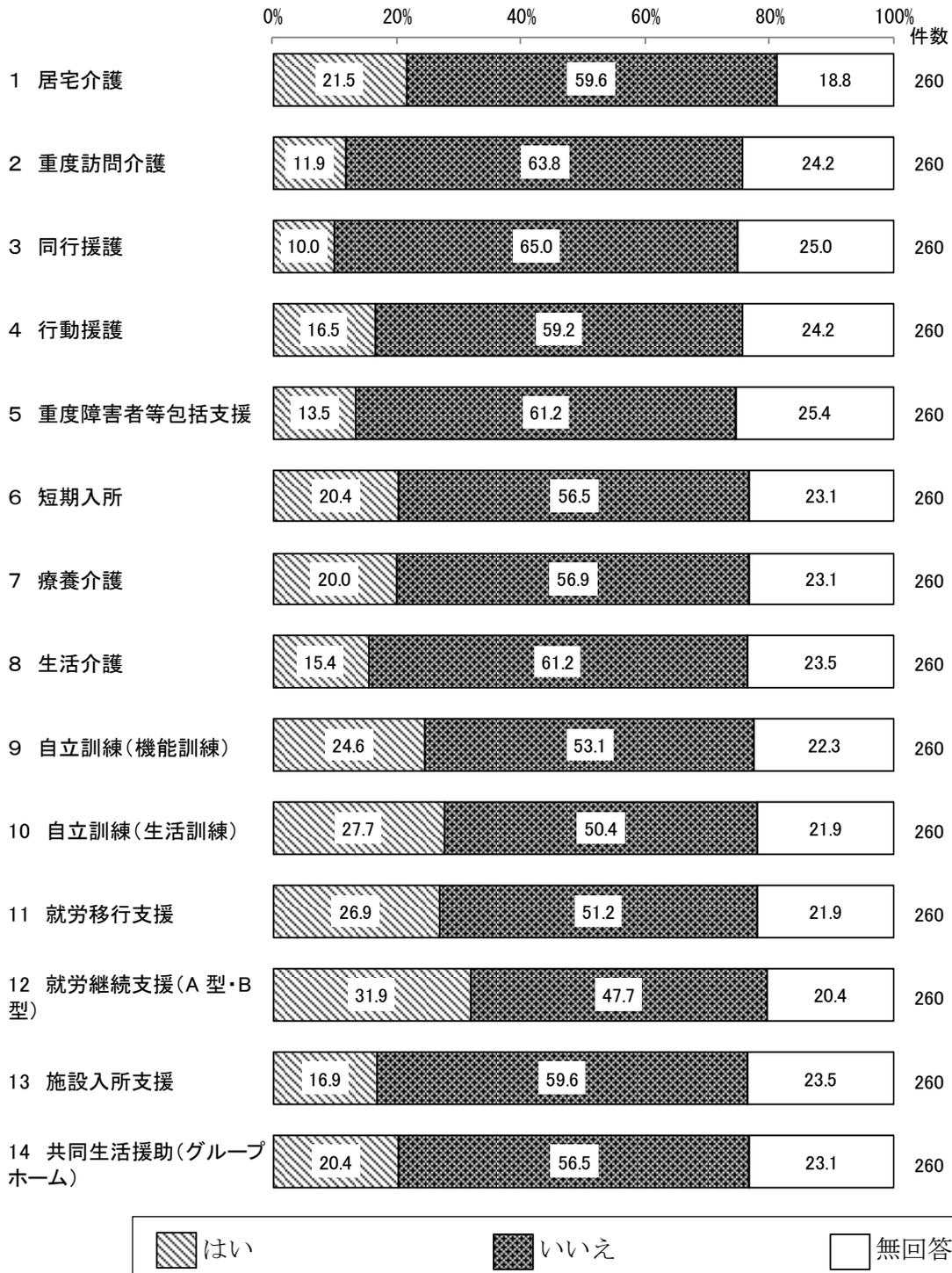


図 11-1-6 精神障害者の障害福祉サービスの今後の利用意向

11-2 障害者サービスに対する満足度

問33 あなたは障害福祉サービスに対して、どれくらい満足していますか。(1つだけ)

障害福祉サービスに対する満足度については、身体障害者では「満足している」が8.4%で、これに「どちらかといえば満足している」(17.0%)を合わせた『満足している』が25.4%となっています。一方、「満足していない」が3.6%で、これに「どちらかといえば満足していない」(4.2%)を合わせた『満足していない』が7.8%となっています。

知的障害者では『満足している』が36.7%、『満足していない』が10.3%となっています。精神障害者では『満足している』が25.4%、『満足していない』が19.3%となっています。

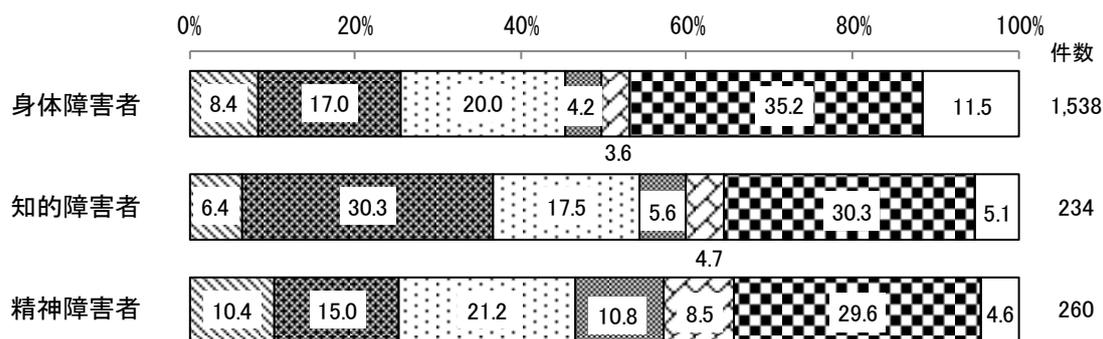


図 11-2 障害者サービスに対する満足度

障害種別・等級別でみると、身体障害者では『満足している』は内部障害が29.5%でやや高くなっています。

知的障害者では『満足している』はA判定が43.5%とやや高くなっています。また、「わからない」はC判定が40.3%で高くなっています。

精神障害者では『満足している』は1級が36.9%で高くなっています。

表 11-2 障害者サービスに対する満足度(障害種別・等級別)

		件数	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば満足	満足していない	わからない	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	8.4	17.0	20.0	4.2	3.6	35.2	11.5
障害種別	視覚障害	109	6.4	16.5	25.7	3.7	6.4	32.1	9.2
	聴覚・平衡機能障害	100	10.0	11.0	27.0	6.0	6.0	30.0	10.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	4.9	18.0	27.9	1.6	3.3	31.1	13.1
	内部障害	474	10.5	19.0	16.7	2.7	2.7	35.7	12.7
	肢体不自由	748	7.8	16.7	21.5	4.7	4.0	36.2	9.1
等級別	1級	403	8.4	19.9	21.1	3.7	5.2	28.8	12.9
	2級	212	9.0	18.9	21.2	4.2	4.7	32.5	9.4
	3級	364	10.4	16.8	21.7	3.8	1.9	36.3	9.1
	4級	338	6.8	13.9	18.9	4.4	1.8	43.5	10.7
	5級	92	6.5	13.0	15.2	6.5	6.5	37.0	15.2
	6級	64	7.8	17.2	12.5	7.8	6.3	37.5	10.9
	わからない	10	-	10.0	30.0	-	10.0	30.0	20.0
知的障害者		234	6.4	30.3	17.5	5.6	4.7	30.3	5.1
判定別	A判定	78	3.8	39.7	14.1	9.0	2.6	25.6	5.1
	B判定	74	12.2	27.0	20.3	5.4	5.4	28.4	1.4
	C判定	72	4.2	23.6	19.4	2.8	5.6	40.3	4.2
	わからない	1	-	100.0	-	-	-	-	-
精神障害者		260	10.4	15.0	21.2	10.8	8.5	29.6	4.6
等級別	1級	19	5.3	31.6	15.8	10.5	-	26.3	10.5
	2級	178	10.7	16.3	21.9	10.7	8.4	28.7	3.4
	3級	42	4.8	4.8	23.8	14.3	16.7	33.3	2.4
	わからない	5	40.0	20.0	-	-	-	40.0	-

11-3 地域生活支援事業の利用について

問34 あなたは、次にあげる地域生活支援事業を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(①②それぞれについて、いずれかに○)

【身体障害者の利用状況】

地域生活支援事業の利用状況については、「日常生活用具給付」が11.7%となっています。

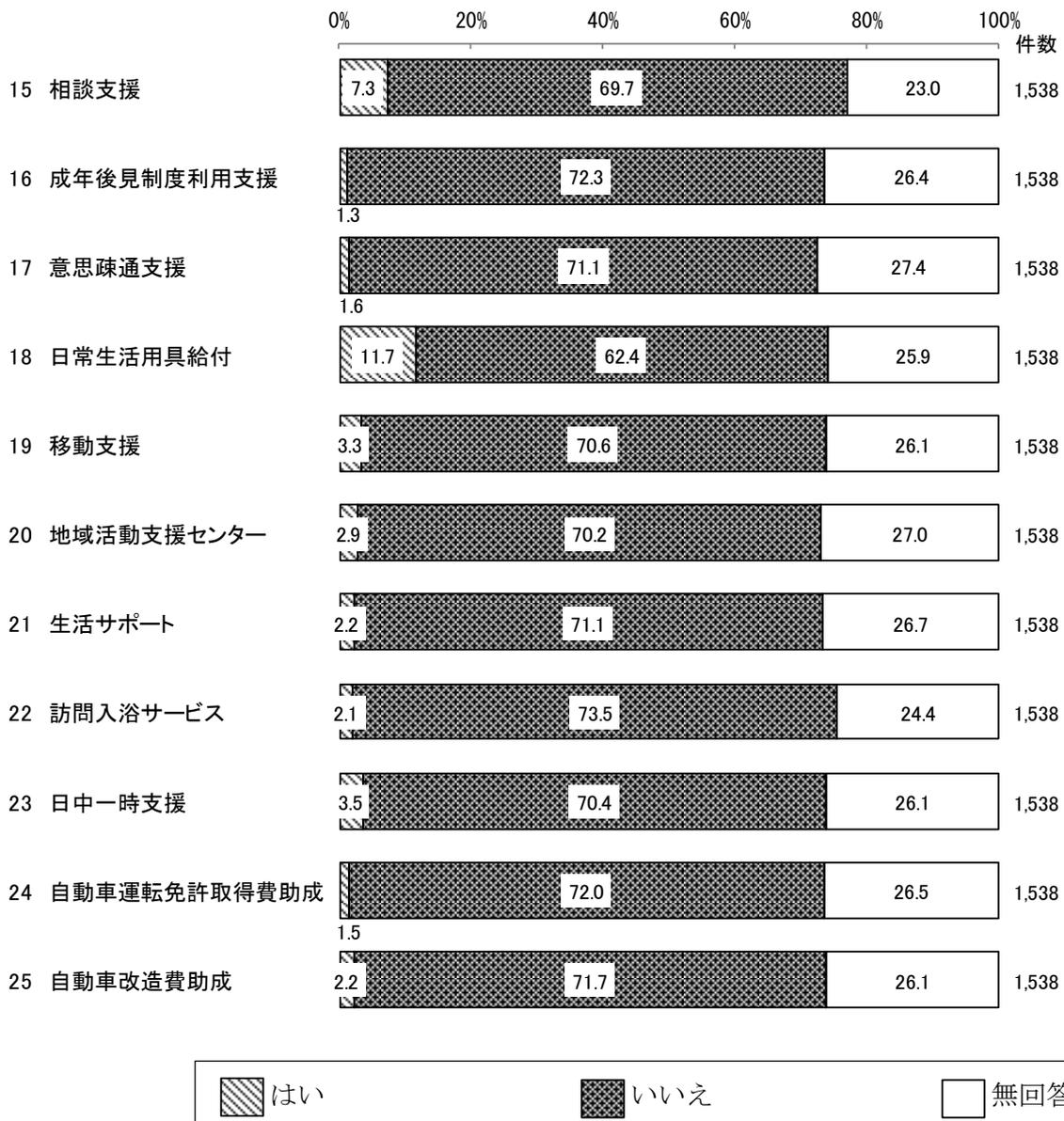


図 11-3-1 身体障害者の地域生活支援事業の利用状況

【身体障害者の今後の利用意向】

地域生活支援事業の今後の利用意向については、「相談支援」が31.3%、「日常生活用具給付」が29.1%、「移動支援」が27.3%などとなっています。

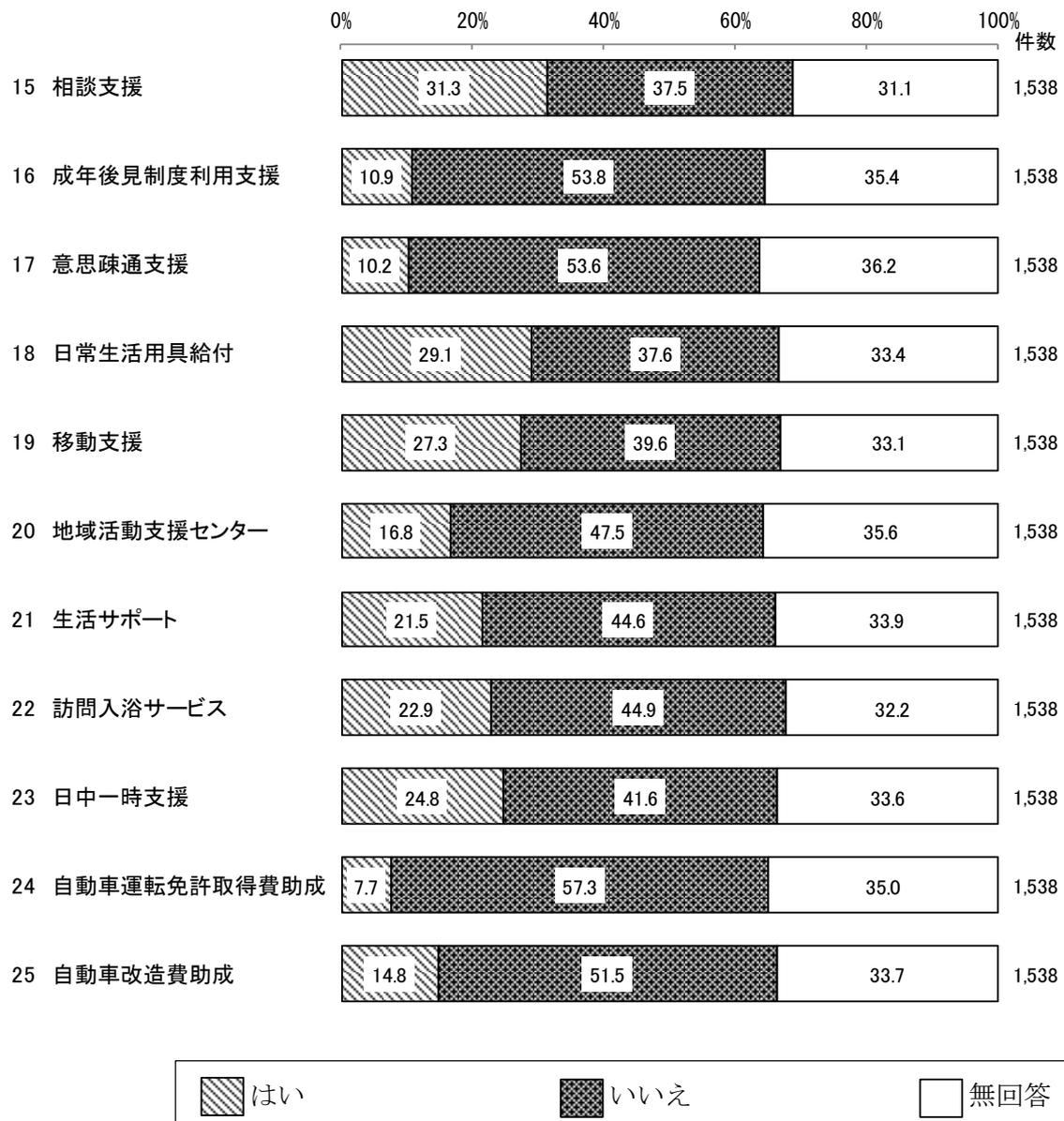


図 11-3-2 身体障害者の地域生活支援事業の今後の利用意向

【知的障害者の利用状況】

地域生活支援事業の利用状況については、「相談支援」が22.6%、「日中一時支援」が14.5%となっています。

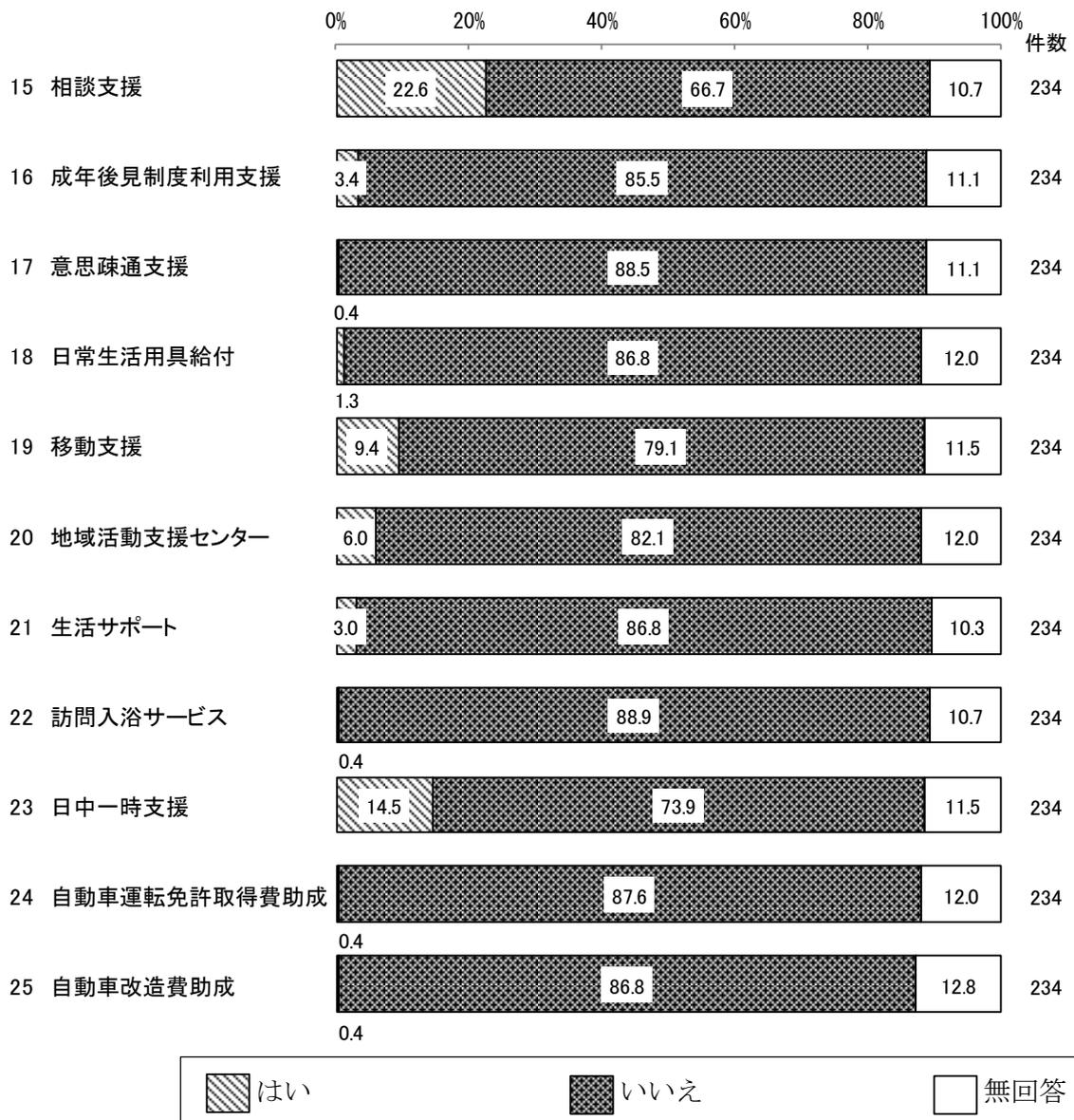


図 11-3-3 知的障害者の地域生活支援事業の利用状況

【知的障害者の今後の利用意向】

地域生活支援事業の今後の利用意向については、「相談支援」が43.6%、「成年後見制度利用支援」が31.2%、「地域活動支援センター」「日中一時支援」がそれぞれ26.5%などとなっています。

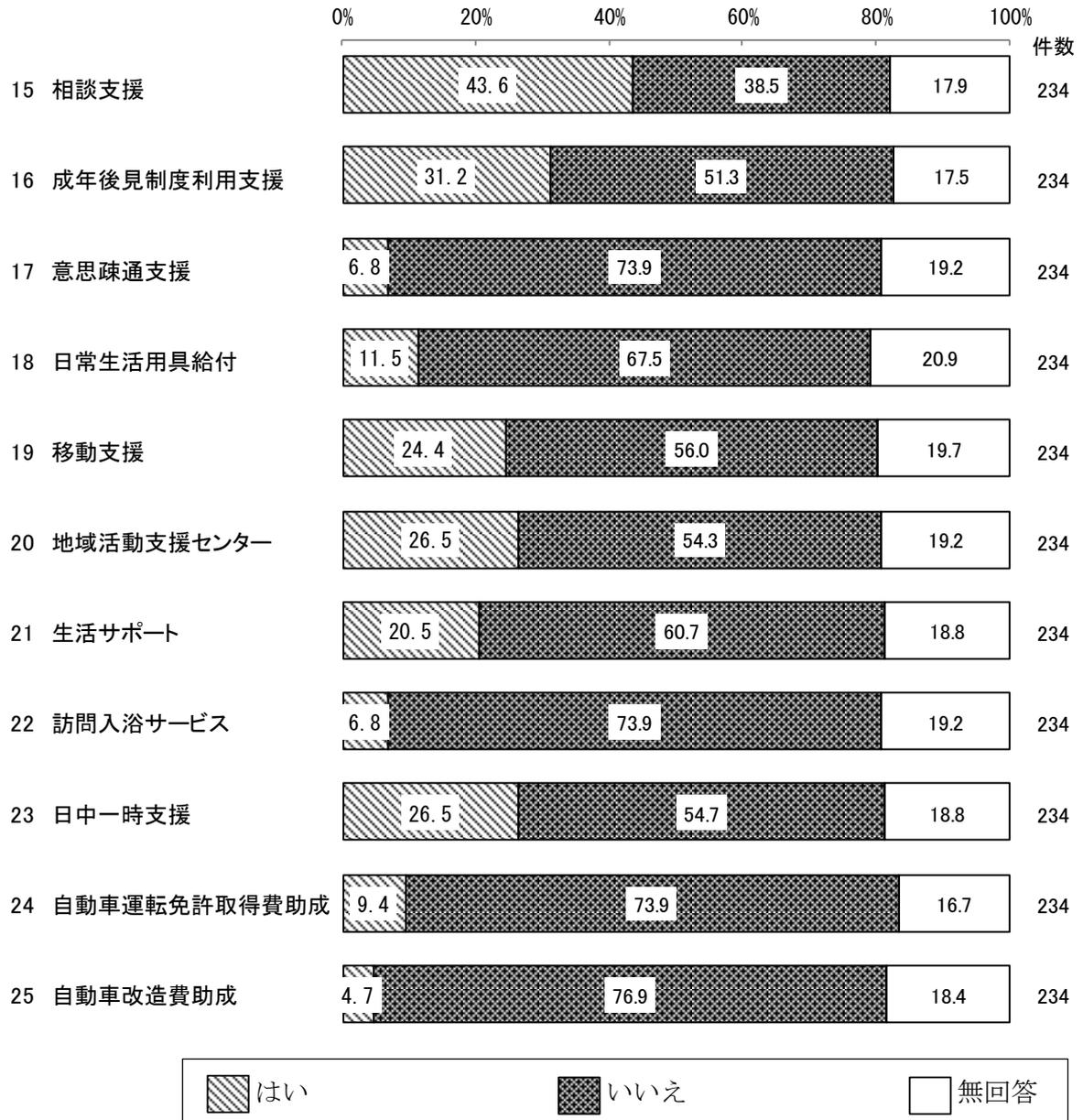


図 11-3-4 知的障害者の地域生活支援事業の今後の利用意向

【精神障害者の利用状況】

地域生活支援事業の利用状況については、「相談支援」が15.0%、「地域活動支援センター」が10.4%となっています。

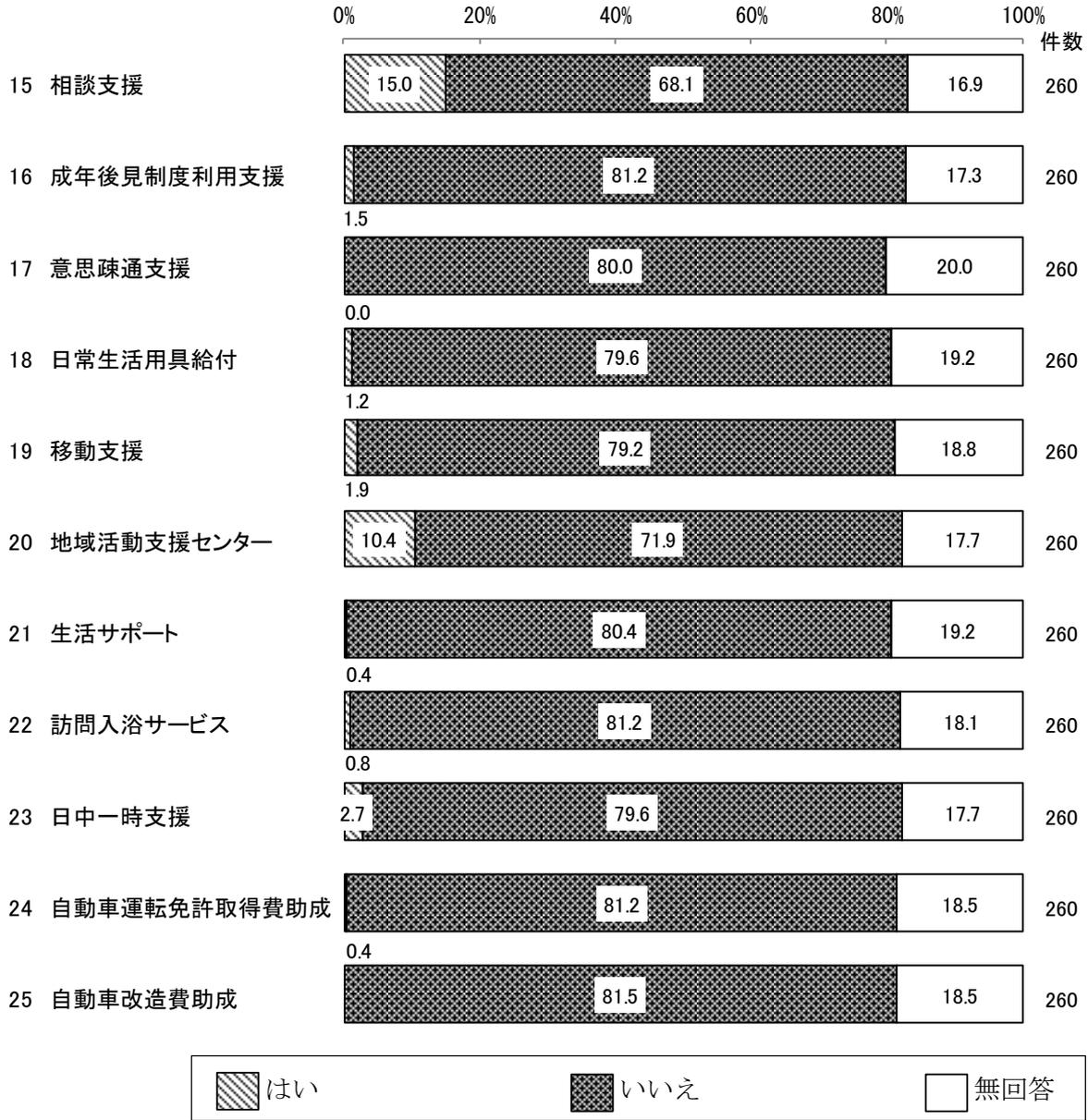


図 11-3-5 精神障害者の地域生活支援事業の利用状況

【精神障害者の今後の利用意向】

地域生活支援事業の今後の利用意向については、「相談支援」が41.2%、「地域活動支援センター」が25.4%、「生活サポート」が21.1%などとなっています。

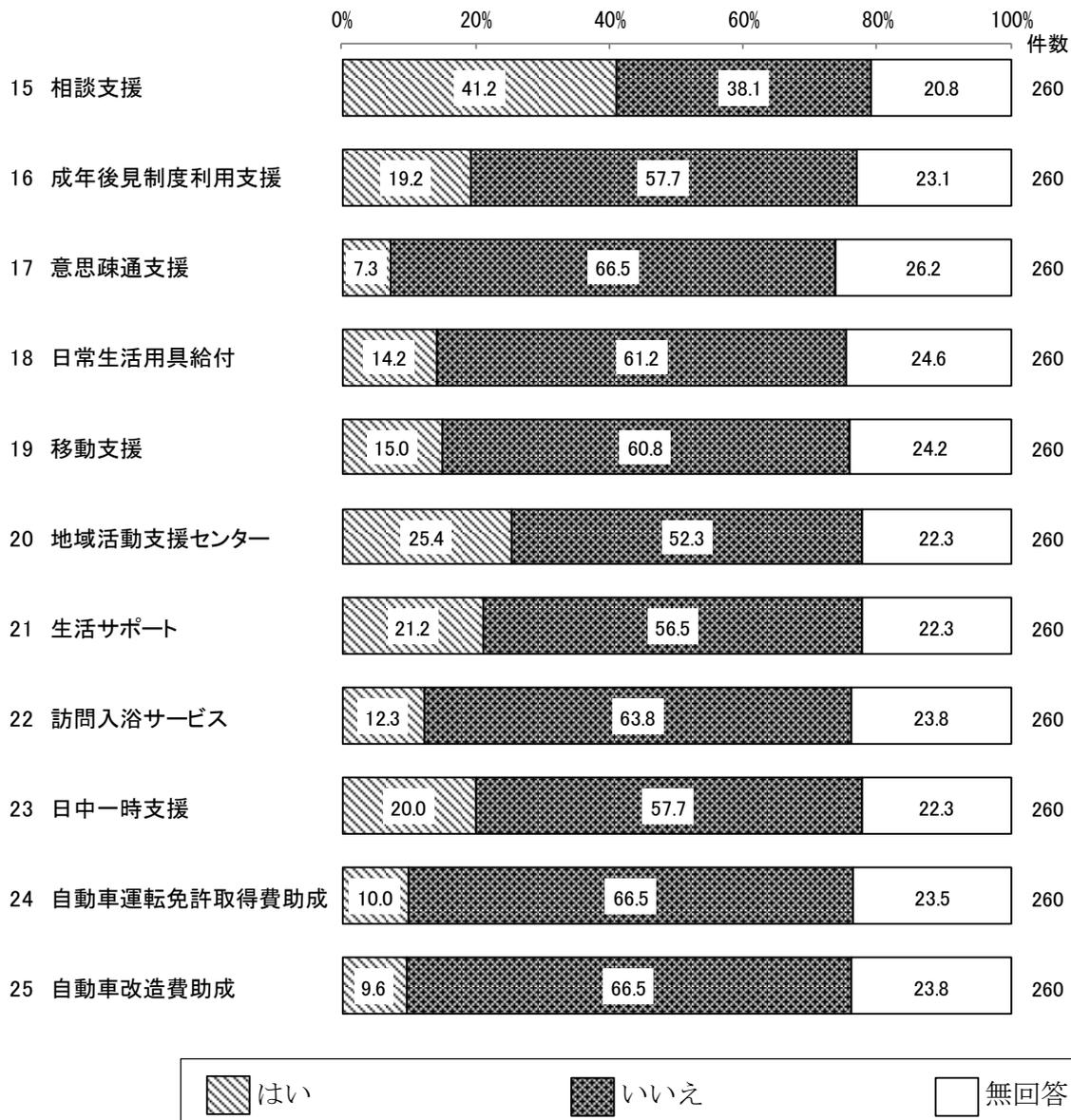


図 11-3-6 精神障害者の地域生活支援事業の今後の利用意向

11-4 地域生活支援事業に対する満足度

問35 あなたは犬山市の地域生活支援事業に対して、どれくらい満足していますか。(1つだけ)

犬山市の地域生活支援事業に対する満足度については、身体障害者では「満足している」が5.7%で、これに「どちらかといえば満足している」(15.3%)を合わせた『満足している』が21.0%となっています。一方、「満足していない」が3.8%で、これに「どちらかといえば満足していない」(3.9%)を合わせた『満足していない』が7.7%となっています。知的障害者では『満足している』が26.9%、『満足していない』が11.5%となっています。精神障害者では『満足している』が23.1%、『満足していない』が14.2%となっています。

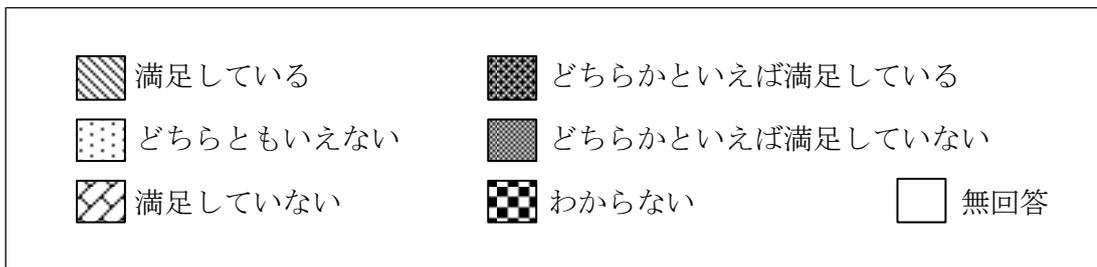
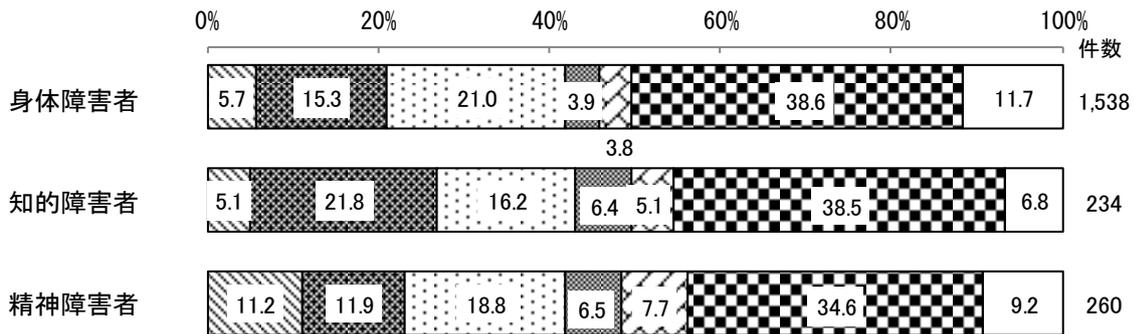


図 11-4 地域生活支援事業に対する満足度

障害種別・等級別で見ると、身体障害者では『満足している』は2級が25.9%となっています。また、「わからない」は5級が48.9%でやや高くなっています。知的障害者では『満足している』はB判定が32.5%となっています。精神障害者では『満足している』は1級が31.6%となっています。

表 11-4 地域生活支援事業に対する満足度(障害種別・等級別)

		件数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	無回答
(件、%)									
身体障害者		1,538	5.7	15.3	21.0	3.9	3.8	38.6	11.7
障害種別	視覚障害	109	5.5	15.6	23.9	5.5	4.6	35.8	9.2
	聴覚・平衡機能障害	100	6.0	8.0	26.0	9.0	5.0	35.0	11.0
	音声・言語・そしゃく障害	61	1.6	14.8	24.6	4.9	6.6	39.3	8.2
	内部障害	474	6.1	17.9	18.4	3.0	2.7	40.3	11.6
	肢体不自由	748	4.9	15.0	23.3	3.9	4.3	39.6	9.1
等級別	1級	403	5.0	17.1	19.4	4.7	5.2	37.2	11.4
	2級	212	6.6	19.3	20.3	2.8	4.2	38.2	8.5
	3級	364	5.5	12.6	26.6	4.9	2.7	34.1	13.5
	4級	338	5.3	15.4	18.6	2.4	3.0	45.6	9.8
	5級	92	1.1	13.0	18.5	2.2	3.3	48.9	13.0
	6級	64	6.3	10.9	21.9	7.8	6.3	34.4	12.5
	わからない	10	-	10.0	30.0	-	10.0	30.0	20.0
知的障害者		234	5.1	21.8	16.2	6.4	5.1	38.5	6.8
判定別	A判定	78	3.8	21.8	14.1	10.3	5.1	41.0	3.8
	B判定	74	6.8	25.7	16.2	2.7	6.8	36.5	5.4
	C判定	72	4.2	18.1	20.8	5.6	2.8	41.7	6.9
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
精神障害者		260	11.2	11.9	18.8	6.5	7.7	34.6	9.2
等級別	1級	19	5.3	26.3	26.3	10.5	-	21.1	10.5
	2級	178	10.7	12.9	18.0	6.7	8.4	35.4	7.9
	3級	42	11.9	4.8	21.4	7.1	11.9	33.3	9.5
	わからない	5	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-

12 障害児のサービスについて

12-1 障害児サービスの利用

問36 あなたは、次にあげる障害児のサービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(①②それぞれについて、いずれかに○)

【身体障害児の利用状況】

障害児サービスの利用状況については、「児童発達支援（療育）」（26.7%）と「放課後等デイサービス」（36.7%）の利用率が高くなっています。

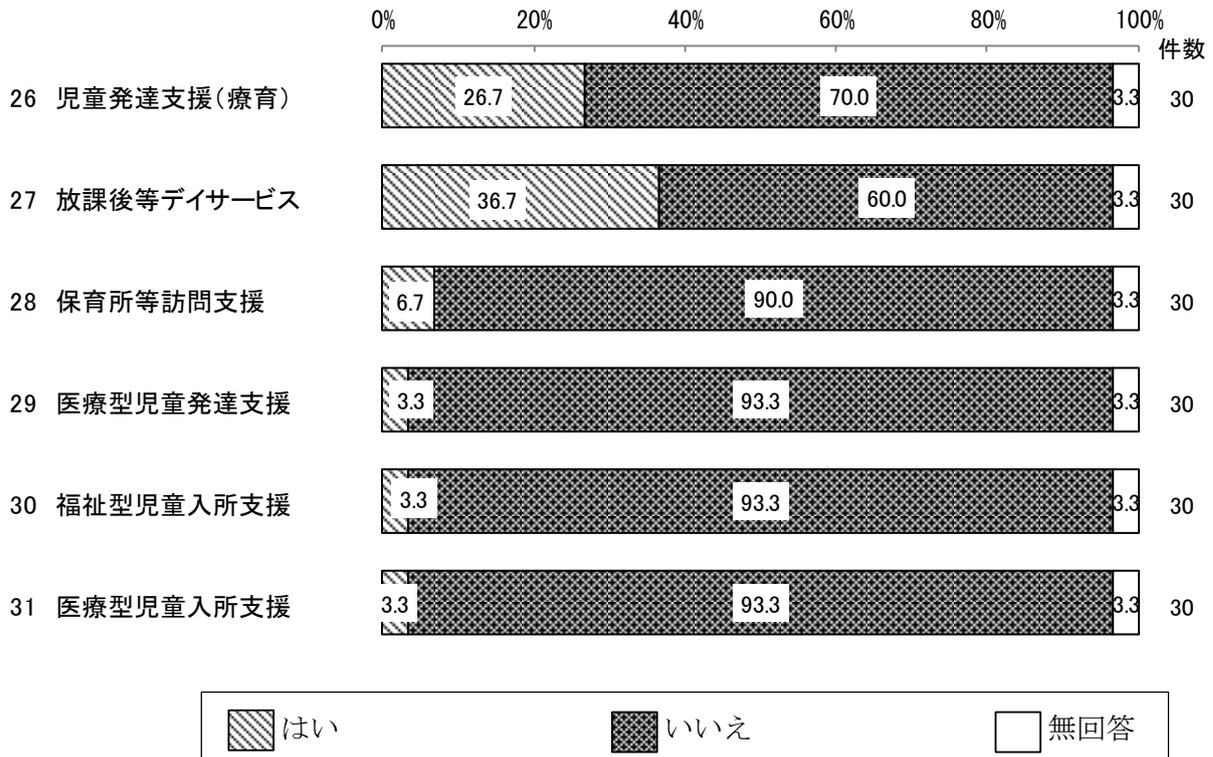


図 12-1-1 身体障害児の障害児サービスの利用状況

【身体障害児の今後の利用意向】

障害児サービスの今後の利用意向については、「放課後等デイサービス」が60.0%となっています。

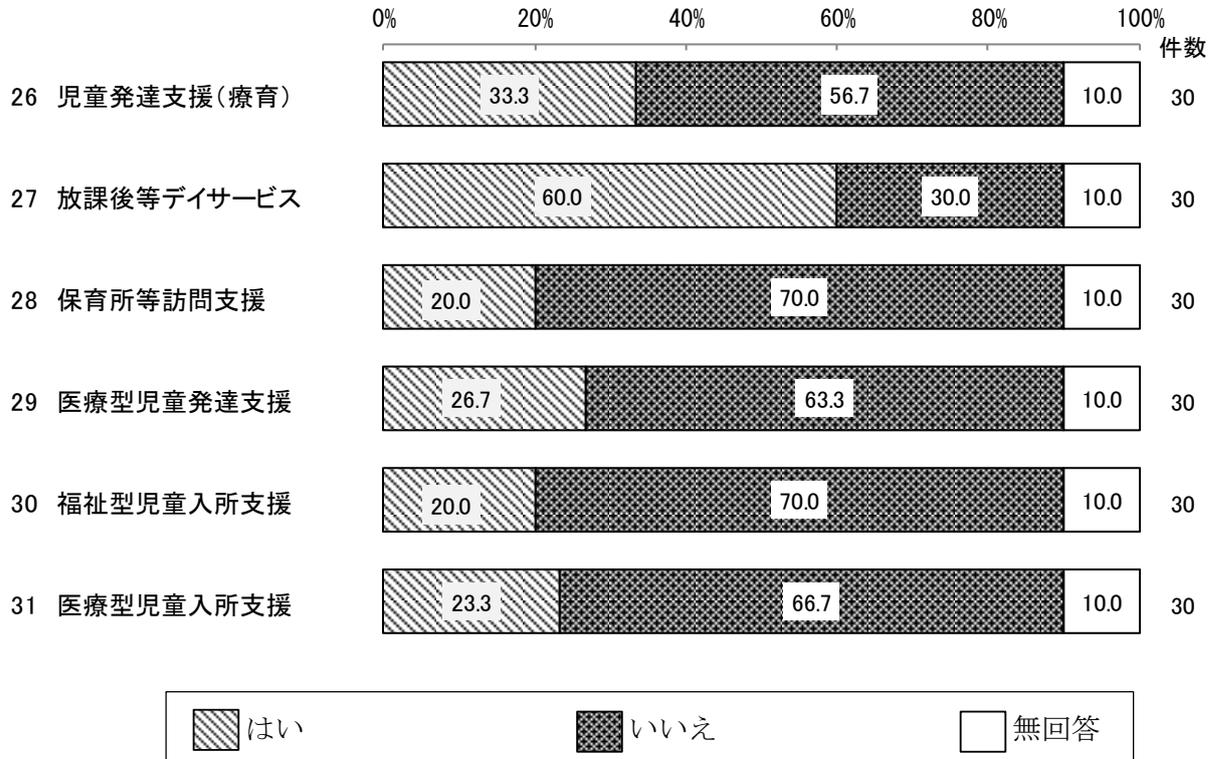


図 12-1-2 身体障害児の障害児サービスの利用状況

【知的障害児の利用状況】

障害児サービスの利用状況については、「児童発達支援（療育）」（58.2%）と「放課後等デイサービス」（65.5%）の利用率が高くなっています。

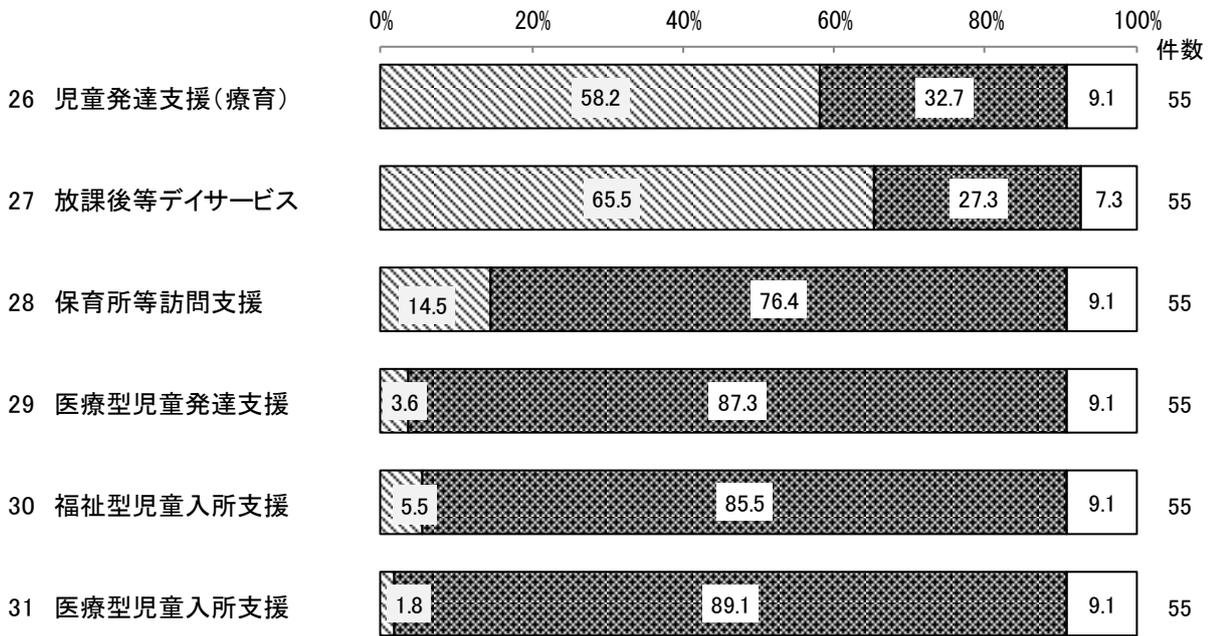


図 12-1-3 知的障害児の障害児サービスの利用状況

【知的障害児の今後の利用意向】

障害児サービスの今後の利用意向については、「放課後等デイサービス」が80.0%と高くなっています。

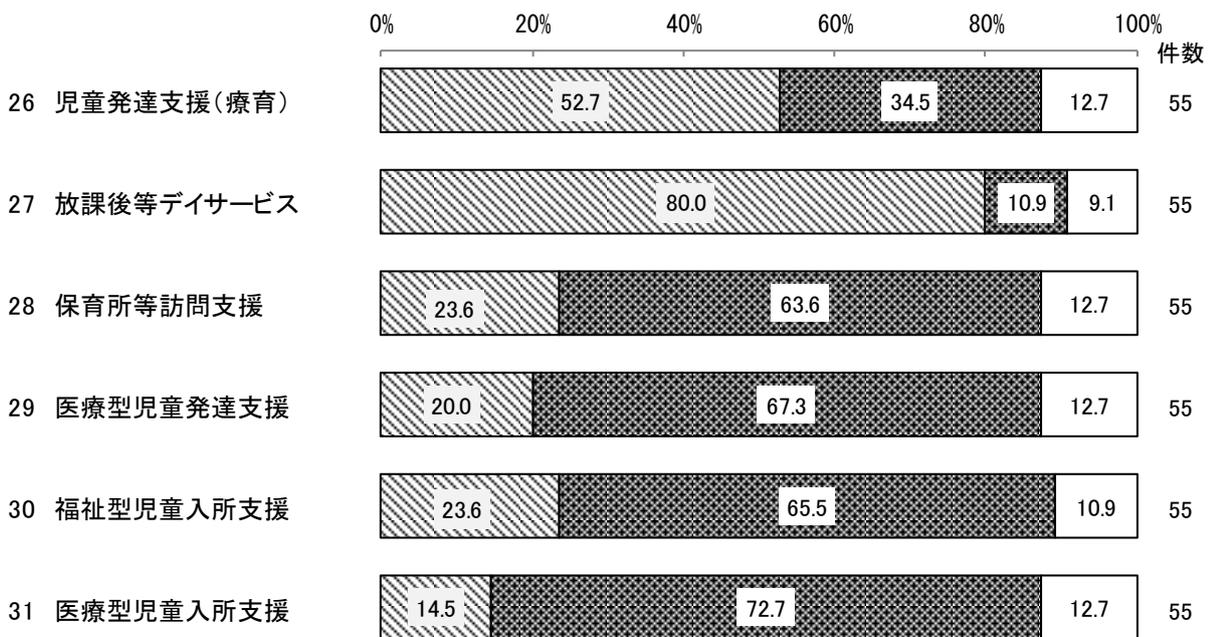
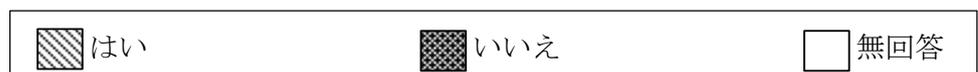


図 12-1-4 知的障害児の障害児サービスの今後の利用意向



【精神障害児の利用状況】

障害児サービスの利用状況については、「児童発達支援（療育）」（41.7%）と「放課後等デイサービス」（41.7%）と「保育所等訪問支援」（25.0%）が利用されています。

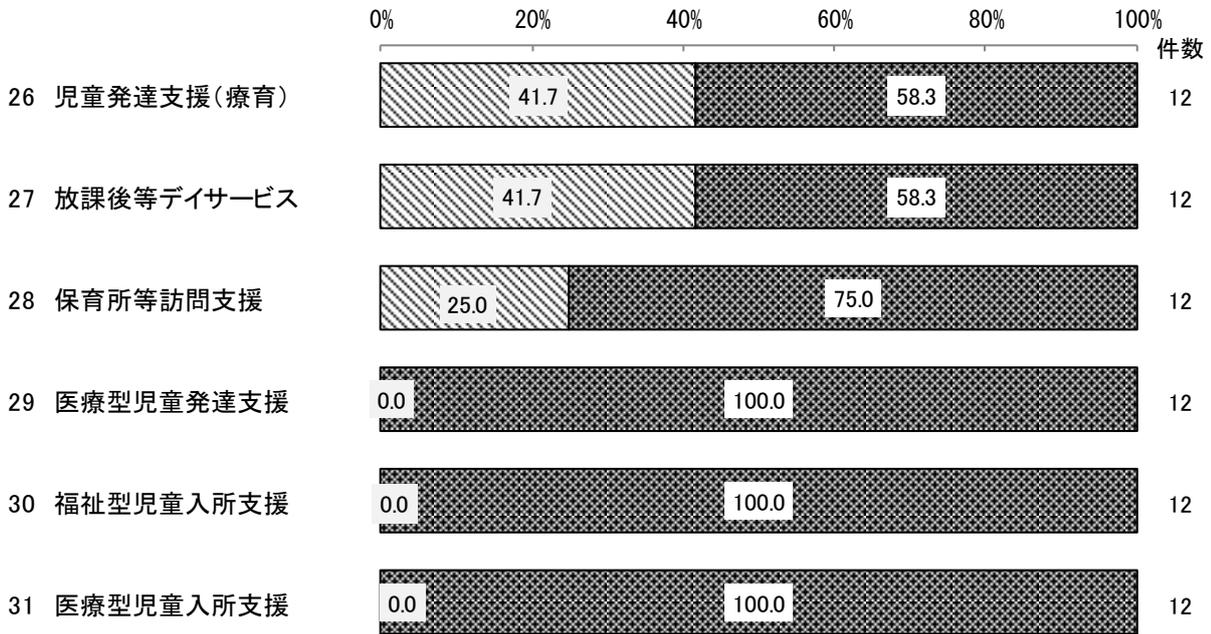


図 12-1-5 精神障害児の障害児サービスの利用状況

【精神障害児の今後の利用意向】

障害児サービスの今後の利用意向については、「放課後等デイサービス」が41.7%で最も高くなっています。

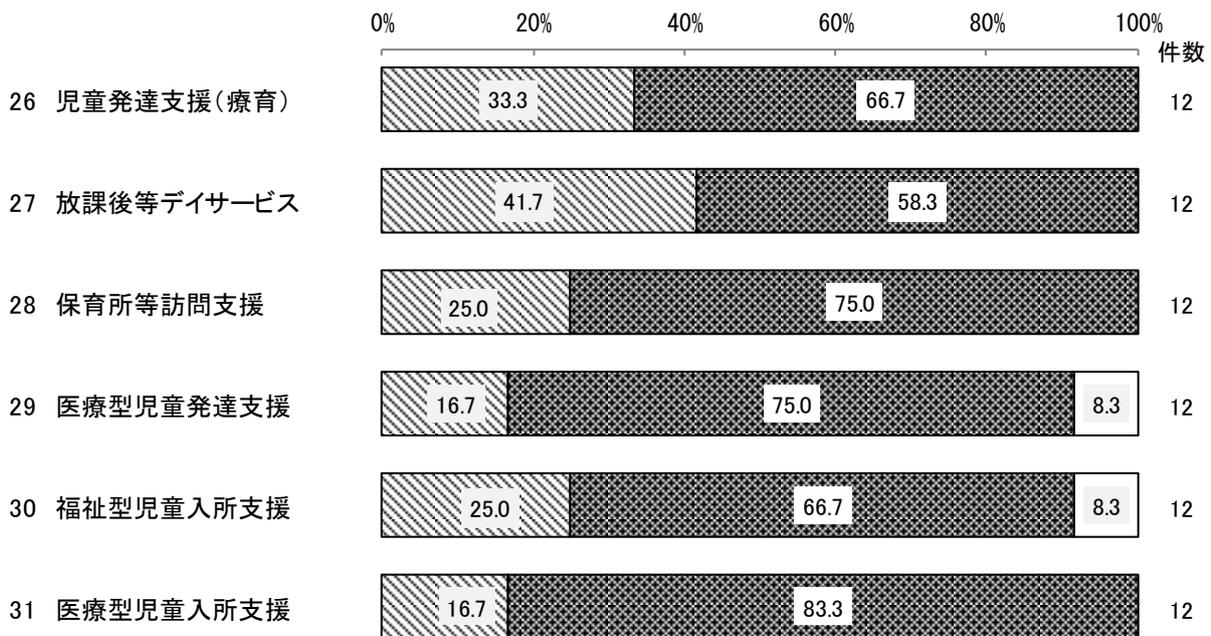
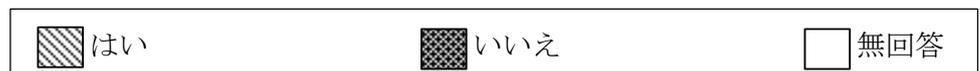


図 12-1-6 精神障害児の障害児サービスの今後の利用意向



12-2 障害児サービスに対する満足度

問37 あなたは犬山市の障害児のサービスに対して、どれくらい満足していますか。(1つだけ)

障害児のサービスに対する満足度については、知的障害児では「満足している」が5.5%で、これに「どちらかといえば満足している」(34.5%)を合わせた『満足している』が40.0%となっています。一方、「満足していない」が10.9%で、これに「どちらかといえば満足していない」(10.9%)を合わせた『満足していない』が21.8%となっています。

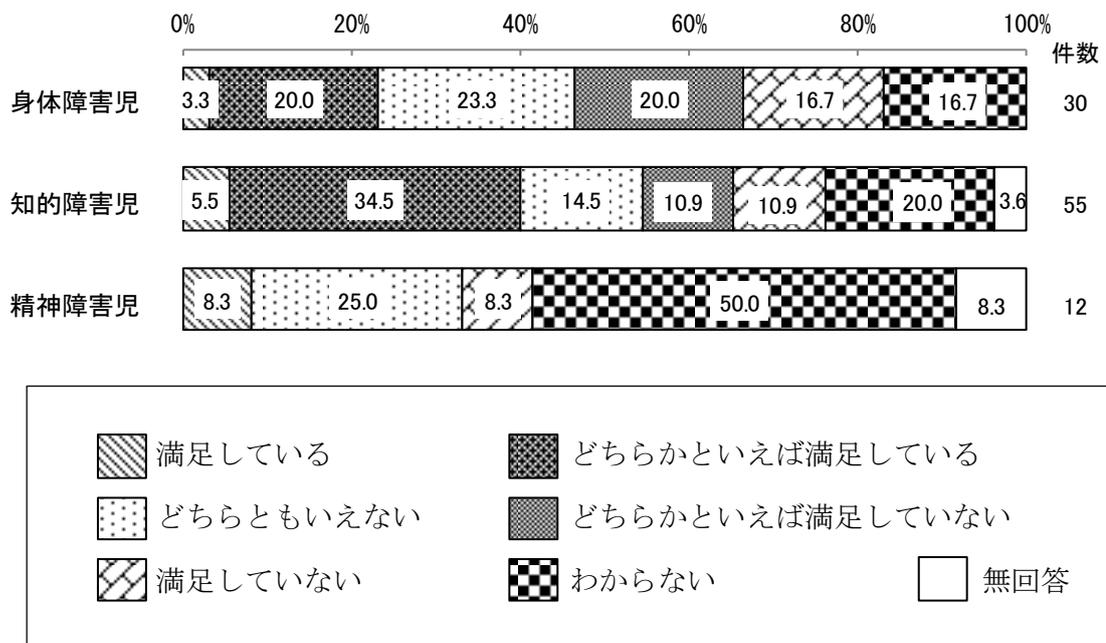


図 12-2 障害児サービスに対する満足度

12-3 平日の日中の過ごし方

問38 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(1つだけ)

平日の日中の過ごし方については、知的障害児では「小中学校の特別支援学級に通っている」が38.2%で最も高く、次いで「近隣市の特別支援学校に通っている」が30.9%、「幼稚園・保育園や市立小中学校の通常学級に通っている」が16.4%などとなっています。

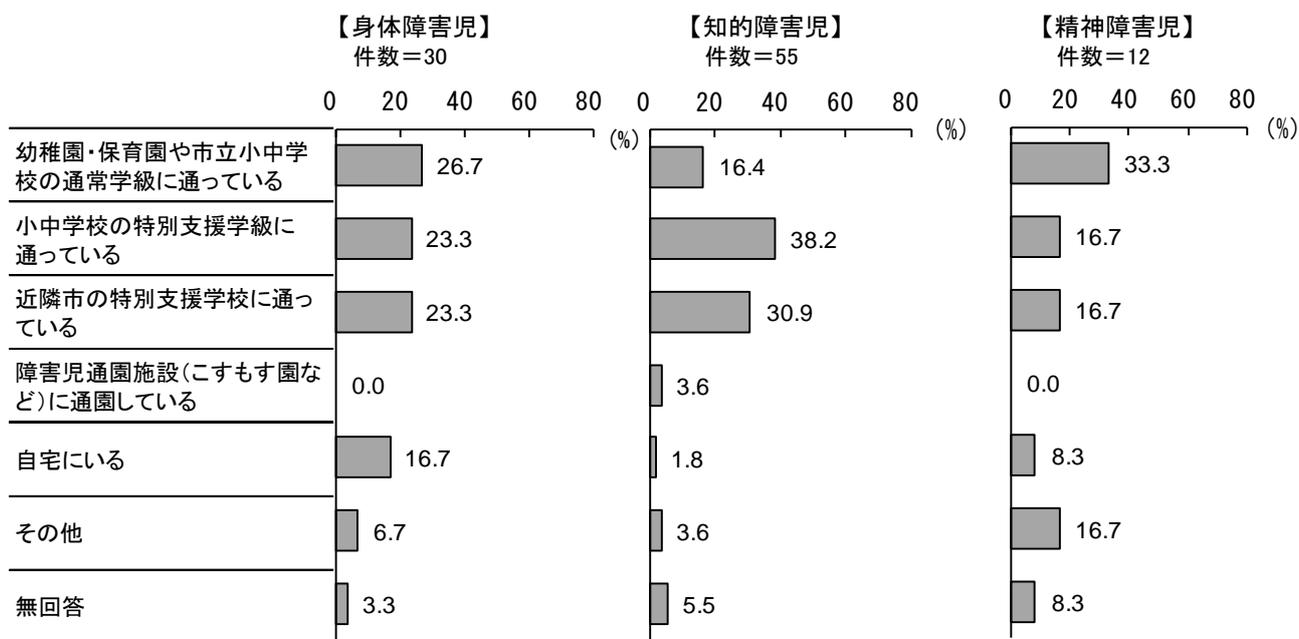


図 12-3 平日の日中の過ごし方

12-4 将来暮らしたいところ

問39 あなたは将来、どこで暮らしたいですか。(記入者が対象者ではない場合、対象者には将来どこで暮らしてほしいですか。)(1つだけ)

将来暮らしたい場所については、知的障害児では「自宅で家族と暮らしたい」が50.9%で最も高く、次いで「グループホームなどの共同生活の場で支援を受けて暮らしたい」が20.0%、「自立して、アパートやマンションを借りるなどして暮らしたい」が14.5%などとなっています。

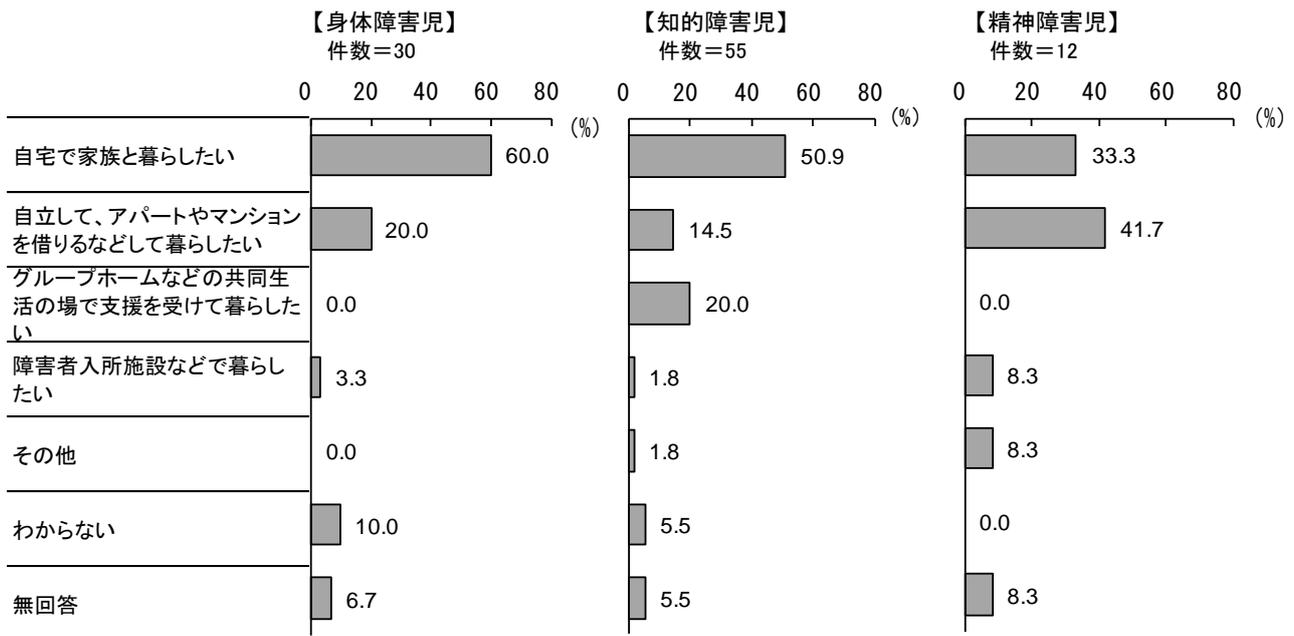


図 12-4 将来暮らしたいところ

12-5 障害児に対する充実させてほしい支援

問40 障害児に対する療育や支援について、さらに充実させてほしいと思うことはありますか。
(すべて)

障害児に対する療育や支援で充実してほしいことについては、身体障害児では「送迎など通園・通学に対する支援」が73.3%で最も高くなっています。

知的障害児では「学習に対する支援」が56.4%で最も高く、次いで「友達など人との関わり方に対する支援」が54.5%、「療育の内容や施設についての情報」が45.5%、「保護者に対する支援」「療育を行う施設の増設」がそれぞれ41.8%などとなっています。

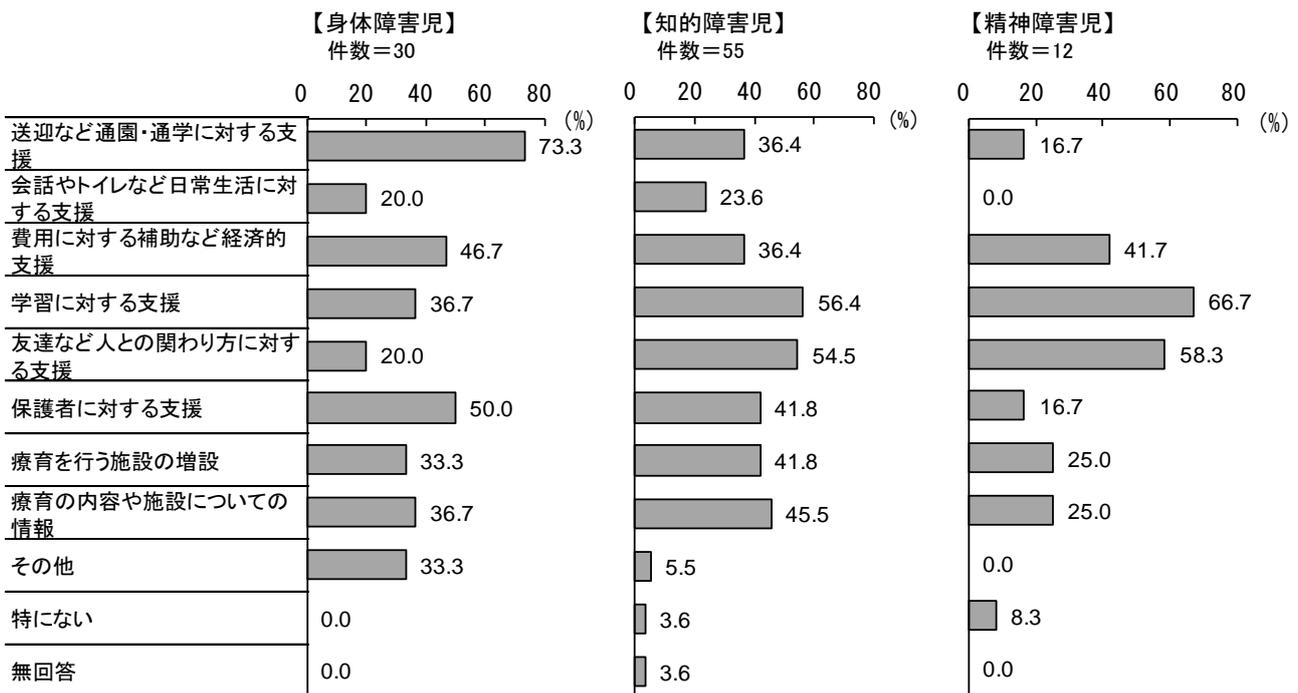


図 12-5 障害児に対する充実させてほしい支援

13 将来の生活について

13-1 障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと

問41 あなたは、障害のある方にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だとお考えですか。（すべて）

障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なことについては、身体障害者では「何でも相談できる窓口をつくる」が50.5%で最も高く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にする」が49.2%、「福祉に関する情報が入りやすいようにする」が34.9%などとなっています。

知的障害者では「何でも相談できる窓口をつくる」が54.7%で最も高く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にする」が43.6%、「福祉に関する情報が入りやすいようにする」が36.3%などとなっています。

精神障害者では「何でも相談できる窓口をつくる」が61.2%で最も高く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にする」が51.5%、「福祉に関する情報が入りやすいようにする」が41.5%などとなっています。

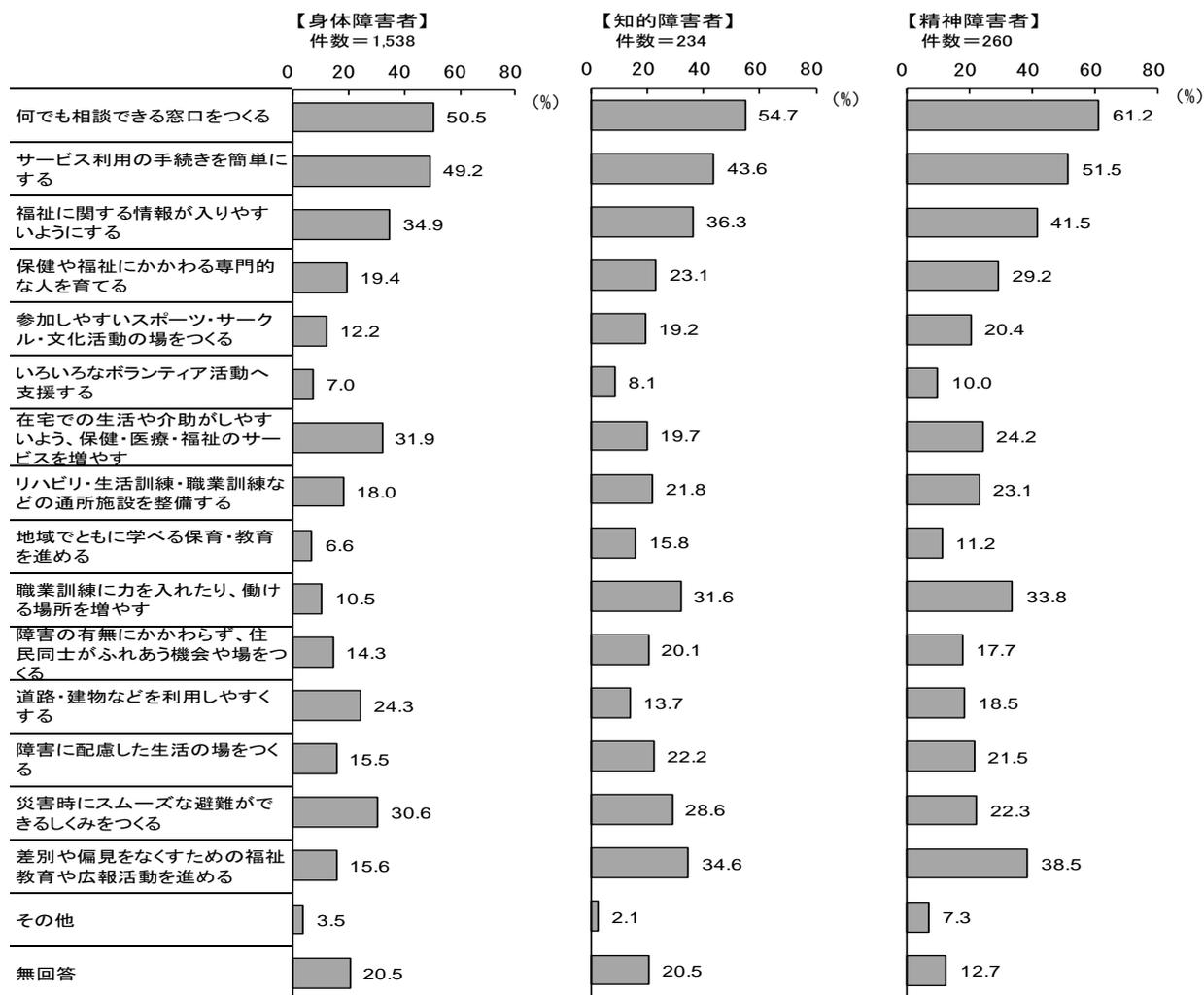


図 13-1 障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと

身体障害者

障害種別でみると、「福祉に関する情報が入りやすいようにする」は聴覚・平衡機能障害（49.0%）、「道路・建物などを利用しやすくする」「災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる」は音声・言語・そしゃく障害で高くなっています。

表 13-1-1 身体障害者の障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと(障害種別)

(件、%)	件数	何でも相談できる窓口	サービスを簡単に利用の手続き	福祉に関する情報が入りやすいようにする	保健や福祉にかかわる専門的な人を育てる	参加しやすいスポーツ・文化活動の場をつくる	いろいろなボランティア活動への支援	医療や福祉のサービスを増やす	在宅での生活や介護がしやすいよう、保健が	施設を整備するなどの通所施設	職業訓練などの通所施設	リハビリ・生活訓練	地域とともに学べる保育
身体障害者	1,538	50.5	49.2	34.9	19.4	12.2	7.0	31.9	18.0	6.6			
障害種別	視覚障害	109	50.5	51.4	44.0	22.0	11.0	5.5	33.9	17.4	7.3		
	聴覚・平衡機能障害	100	53.0	52.0	49.0	22.0	15.0	9.0	35.0	20.0	13.0		
	音声・言語・そしゃく障害	61	50.8	47.5	26.2	24.6	9.8	8.2	41.0	21.3	9.8		
	内部障害	474	49.8	49.2	34.2	18.8	11.4	5.7	30.8	14.6	5.7		
	肢体不自由	748	52.0	52.7	35.3	20.7	13.4	7.9	34.8	22.2	6.8		
身体障害者	1,538	10.5	14.3	24.3	15.5	30.6	15.6	3.5	20.5				
障害種別	視覚障害	109	10.1	20.2	31.2	24.8	34.9	23.9	4.6	23.9			
	聴覚・平衡機能障害	100	12.0	24.0	17.0	25.0	39.0	24.0	4.0	17.0			
	音声・言語・そしゃく障害	61	14.8	13.1	36.1	21.3	41.0	19.7	4.9	19.7			
	内部障害	474	9.3	14.1	17.7	12.2	24.7	13.5	3.0	22.6			
	肢体不自由	748	11.1	14.4	30.3	16.8	36.0	15.5	3.3	16.8			

等級別でみると、「リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する」「道路・建物などを利用しやすくする」は2級でやや高くなっています。

表 13-1-2 身体障害者の障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと(等級別)

	件数 (件、%)	何でも相談できる窓口	サービスを簡単に利用の手続き	福祉に関する情報が入りやすいようにする	保健や福祉にかかわる専門的な人を育てる	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	いろいろなボランティア活動への支援する	医療・福祉のサービスの増やす	在宅での生活や介護がしやすいよう、保健・	職業訓練などの通所施設を整備する	リハビリ・生活訓練	地域とともに学べる保育・教育を進める
身体障害者	1,538	50.5	49.2	34.9	19.4	12.2	7.0	31.9	18.0	6.6		
等級別	1級	403	50.6	51.1	40.9	21.3	13.9	7.4	35.0	17.1	7.4	
	2級	212	47.2	53.3	38.7	23.6	12.7	8.0	32.5	26.9	10.8	
	3級	364	52.7	50.0	30.5	19.0	9.3	5.2	31.9	16.8	3.8	
	4級	338	50.0	45.3	34.6	18.3	13.0	5.6	30.8	15.1	4.4	
	5級	92	53.3	47.8	28.3	10.9	16.3	9.8	26.1	16.3	7.6	
	6級	64	48.4	54.7	28.1	20.3	9.4	4.7	32.8	18.8	12.5	
	わからない	10	60.0	40.0	40.0	-	-	10.0	30.0	30.0	-	
身体障害者	1,538	10.5	14.3	24.3	15.5	30.6	15.6	3.5	20.5			
等級別	1級	403	11.9	16.6	24.1	18.6	35.7	19.6	3.2	19.9		
	2級	212	10.8	15.6	33.0	22.2	36.8	17.0	3.3	16.0		
	3級	364	8.0	11.3	22.3	11.8	29.1	12.4	2.5	21.2		
	4級	338	10.1	13.9	21.9	12.4	24.9	11.8	5.0	21.6		
	5級	92	12.0	12.0	26.1	15.2	27.2	17.4	2.2	21.7		
	6級	64	14.1	15.6	26.6	17.2	32.8	20.3	3.1	18.8		
	わからない	10	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0		

知的障害者

等級別でみると、「職業訓練に力を入れたり、働ける場所を増やす」はC判定が43.1%で4割以上と高くなっています。

表 13-1-3 知的障害者の障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと(等級別)

		件数	を何でも相談できる窓口	をサービス利用の手続き	り福祉に関する情報が入りやすいようにする	専門的や福祉にかかわる人を育てる	動の場をつくる	参加しやすいスポーツ・文化活動	ア活動へ支援する	を医療・福祉のサービスを増やす	在宅での生活や介護がしやすいよう、保健・	職業訓練などの通所施設を整備する	リハビリ・生活訓練・	育・教育を進める保
		(件、%)												
知的障害者		234	54.7	43.6	36.3	23.1	19.2	8.1	19.7	21.8	15.8			
判定別	A判定	78	59.0	48.7	42.3	32.1	14.1	9.0	24.4	26.9	20.5			
	B判定	74	52.7	37.8	35.1	18.9	21.6	8.1	21.6	18.9	8.1			
	C判定	72	52.8	50.0	33.3	19.4	23.6	8.3	15.3	20.8	20.8			
	わからない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		件数	すり、職業訓練に力を入れた	うず、障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあ	しやすくなる	場障害に配慮した生活の	く難がでる	災害時にスムーズな避難	動を進める	め別の福祉教育や広く	差別や偏見をなくす	その他	無回答	
知的障害者		234	31.6	20.1	13.7	22.2	28.6	34.6	2.1	20.5				
判定別	A判定	78	23.1	20.5	11.5	26.9	34.6	42.3	5.1	21.8				
	B判定	74	31.1	24.3	18.9	20.3	21.6	23.0	1.4	23.0				
	C判定	72	43.1	18.1	12.5	19.4	30.6	40.3	-	13.9				
	わからない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

精神障害者

等級別でみると、「職業訓練に力を入れたり、働ける場所を増やす」は3級（45.2%）が4割以上で高くなっています。

表 13-1-4 精神障害者の障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと(等級別)

		件数	何でも相談できる窓口	サービス利用の手続きを簡単にする	福祉に関する情報が入手しやすいようにする	保健や福祉にかかわる専門的な人を育てる	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	いろいろなボランティア活動への支援する	医療・福祉のサービスを増やす	在宅での生活や介護がしやすいよう、保健師・医師や福祉のサービスが	職業訓練などの通所施設を整備する	リハビリ・生活訓練・	地域とともに学べる保育・教育を進める
(件、%)													
精神障害者		260	61.2	51.5	41.5	29.2	20.4	10.0	24.2	23.1	11.2		
等級別	1級	19	47.4	31.6	21.1	42.1	15.8	-	21.1	15.8	5.3		
	2級	178	66.3	57.9	46.6	31.5	22.5	11.2	27.5	25.8	13.5		
	3級	42	54.8	47.6	35.7	23.8	11.9	9.5	19.0	21.4	4.8		
	わからない	5	60.0	60.0	80.0	40.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0		
		件数	職業訓練に力を入れたり、働ける場所を増やす	障害者の有無にかかわらず、住みやすい場所をつくる	道路・建物などを利用しやすいようにする	障害者に配慮した生活の場をつくる	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答			
精神障害者		260	33.8	17.7	18.5	21.5	22.3	38.5	7.3	12.7			
等級別	1級	19	21.1	15.8	15.8	10.5	26.3	26.3	10.5	15.8			
	2級	178	33.7	19.1	19.7	24.2	25.8	41.0	8.4	10.7			
	3級	42	45.2	9.5	14.3	16.7	14.3	38.1	4.8	9.5			
	わからない	5	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	-	-			

14 主な介助者について

14-1 性別

問42 あなたの性別はどちらですか。(いずれかに○)

主な介助者の性別では、いずれの障害者も「女性」が「男性」より割合が高くなっています。

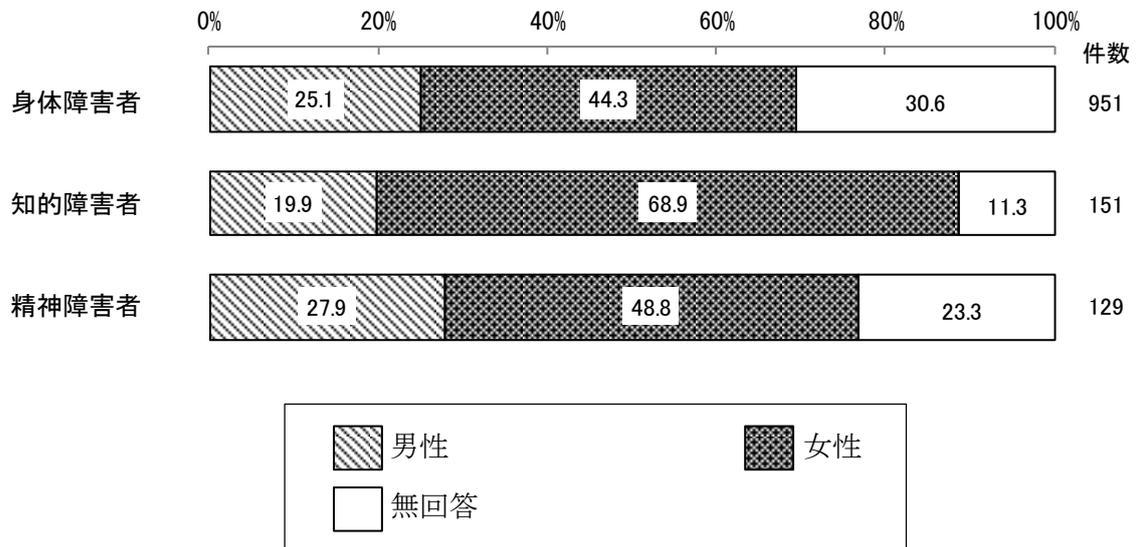


図 143-1 主な介助者の性別

障害種別・等級別でみると、「女性」は視覚障害（56.0%）、音声・言語・そしゃく障害（61.4%）で割合がやや高くなっています。

表 14-1 主な介助者の性別(障害種別・等級別)

		件数	男性	女性	無回答
(件、%)					
身体障害者		951	25.1	44.3	30.6
障害種別	視覚障害	75	18.7	56.0	25.3
	聴覚・平衡機能障害	55	18.2	41.8	40.0
	音声・言語・そしゃく障害	44	27.3	61.4	11.4
	内部障害	322	18.9	47.5	33.5
	肢体不自由	470	31.1	40.6	28.3
等級別	1級	276	20.7	53.6	25.7
	2級	155	32.9	47.7	19.4
	3級	233	27.5	40.3	32.2
	4級	186	24.7	37.1	38.2
	5級	49	18.4	36.7	44.9
	6級	33	18.2	36.4	45.5
	わからない	2	100.0	-	-
知的障害者		151	19.9	68.9	11.3
判定別	A判定	49	20.4	73.5	6.1
	B判定	50	24.0	66.0	10.0
	C判定	49	12.2	71.4	16.3
	わからない	1	100.0	-	-
精神障害者		129	27.9	48.8	23.3
等級別	1級	11	18.2	72.7	9.1
	2級	92	28.3	44.6	27.2
	3級	16	31.3	50.0	18.8
	わからない	3	-	100.0	-

14-2 年齢

問43 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年9月1日現在)

介助者の年齢については、身体障害者では「70歳以上」が31.7%で最も高く、次いで「60歳代」が19.0%などとなっています。

知的障害者では「40歳代」が21.9%で最も高く、次いで「50歳代」が19.2%、「60歳代」が16.6%、「70歳代」が15.2%、「30歳代」が12.7%などとなっています。

精神障害者では「70歳以上」が23.3%で最も高く、次いで「40歳代」が17.8%、「60歳代」が17.1%、「50歳代」が11.6%などとなっています。

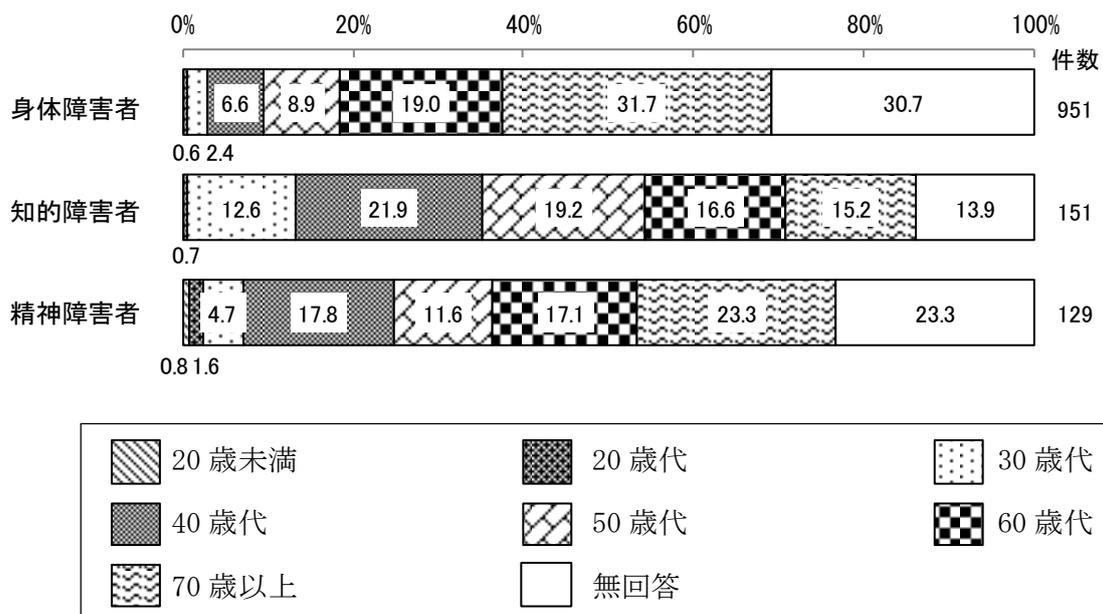


図 14-2 主な介助者の年齢

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「70歳以上」は音声・言語・そしゃく障害が43.2%で高くなっています。

知的障害者では「70歳以上」はB判定が28.0%とやや高くなっています。

表 14-2 主な介助者の年齢(障害種別・等級別)

		件数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
(件、%)										
身体障害者		951	-	0.6	2.4	6.6	8.9	19.0	31.7	30.7
障害種別	視覚障害	75	-	1.3	1.3	5.3	14.7	21.3	30.7	25.3
	聴覚・平衡機能障害	55	-	-	3.6	7.3	10.9	16.4	21.8	40.0
	音声・言語・そしゃく障害	44	-	-	-	9.1	11.4	25.0	43.2	11.4
	内部障害	322	-	0.9	3.1	4.7	8.4	18.6	30.4	33.9
	肢体不自由	470	-	0.4	1.9	8.5	7.9	20.0	32.8	28.5
等級別	1級	276	-	0.7	2.2	7.2	10.9	20.7	32.2	26.1
	2級	155	-	-	5.2	7.7	13.5	21.9	31.6	20.0
	3級	233	-	1.3	1.7	6.9	7.3	17.2	33.0	32.6
	4級	186	-	0.5	2.7	5.9	4.3	19.9	29.6	37.1
	5級	49	-	-	-	4.1	10.2	10.2	30.6	44.9
	6級	33	-	-	-	3.0	9.1	18.2	24.2	45.5
	わからない	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-
知的障害者		151	-	0.7	12.6	21.9	19.2	16.6	15.2	13.9
判定別	A判定	49	-	2.0	8.2	20.4	26.5	20.4	14.3	8.2
	B判定	50	-	-	8.0	20.0	14.0	14.0	28.0	16.0
	C判定	49	-	-	22.4	26.5	14.3	16.3	4.1	16.3
	わからない	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
精神障害者		129	0.8	1.6	4.7	17.8	11.6	17.1	23.3	23.3
等級別	1級	11	-	-	-	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1
	2級	92	-	2.2	3.3	16.3	9.8	19.6	21.7	27.2
	3級	16	6.3	-	18.8	37.5	6.3	-	12.5	18.8
	わからない	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-

14-3 現在の仕事状況

問44 現在、仕事をお持ちですか。(1つだけ)

主な介助者の職業については、身体障害者では「パート・アルバイト・内職・派遣」が12.9%、会社員が7.6%などとなっています。一方、「仕事をしていない」は45.6%となっています。

知的障害者では、「パート・アルバイト・内職・派遣」が27.2%、会社員が11.3%などとなっています。一方、「仕事をしていない」は43.0%となっています。

精神障害者では、「パート・アルバイト・内職・派遣」が16.3%、会社員が13.2%などとなっています。一方、「仕事をしていない」は40.3%となっています。

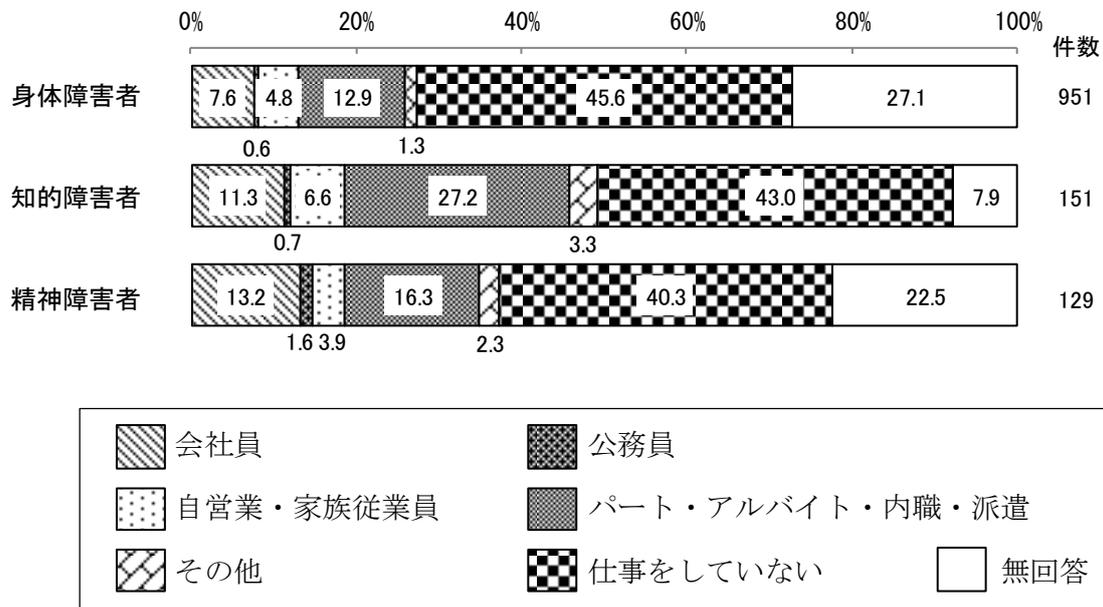


図 14-3 主な介助者の職業

障害種別・等級別で見ると、すべてにおいて「仕事をしていない」が高くなっています。

表 14-3 主な介助者の職業(障害種別・等級別)

		件数	会社員	公務員	自営業・家族従業員	パート・アルバイト・内職・派遣	その他	仕事をしていない	無回答
(件、%)									
身体障害者		951	7.6	0.6	4.8	12.9	1.3	45.6	27.1
障害種別	視覚障害	75	6.7	-	2.7	21.3	1.3	38.7	29.3
	聴覚・平衡機能障害	55	5.5	1.8	10.9	7.3	-	36.4	38.2
	音声・言語・そしゃく障害	44	2.3	-	2.3	11.4	-	75.0	9.1
	内部障害	322	8.4	0.9	5.6	12.4	1.2	42.5	28.9
	肢体不自由	470	8.5	0.4	3.8	12.3	1.7	47.9	25.3
等級別	1級	276	8.0	0.7	5.1	14.9	1.8	46.4	23.2
	2級	155	9.0	0.6	5.8	14.8	1.9	45.2	22.6
	3級	233	10.7	0.9	2.1	11.6	-	45.9	28.8
	4級	186	3.8	0.5	8.1	13.4	1.1	43.5	29.6
	5級	49	4.1	-	2.0	8.2	-	57.1	28.6
	6級	33	6.1	-	6.1	6.1	-	33.3	48.5
	わからない	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-
知的障害者		151	11.3	0.7	6.6	27.2	3.3	43.0	7.9
判定別	A判定	49	10.2	-	8.2	26.5	6.1	42.9	6.1
	B判定	50	12.0	-	4.0	24.0	4.0	48.0	8.0
	C判定	49	10.2	2.0	8.2	30.6	-	38.8	10.2
	わからない	1	-	-	-	100.0	-	-	-
精神障害者		129	13.2	1.6	3.9	16.3	2.3	40.3	22.5
等級別	1級	11	9.1	-	9.1	18.2	-	45.5	18.2
	2級	92	13.0	1.1	4.3	16.3	3.3	38.0	23.9
	3級	16	25.0	6.3	-	12.5	-	37.5	18.8
	わからない	3	-	-	-	33.3	-	66.7	-

14-4 介助年数

問45 介助をはじめてどのくらいですか（平成28年9月1日現在）

介助年数については、身体障害者では「5～10年未満」が13.5%、「10～15年未満」が10.4%、「1～3年未満」が9.1%などとなっています。

知的障害者では「20年以上」が33.1%、「10～15年未満」が12.6%、「5～10年未満」が10.6%などとなっています。

精神障害者では「10～15年未満」が17.1%、「5～10年未満」が14.0%、「15～20年未満」が12.4%などとなっています。

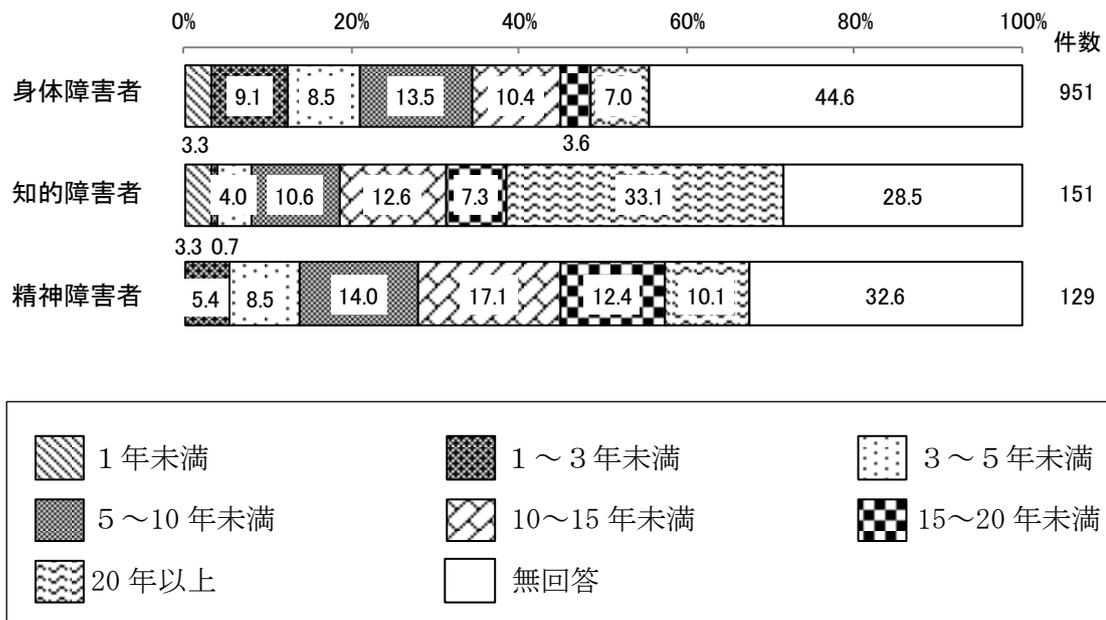


図 14-4 介助年数

障害種別・等級別で見ると、「5～10年未満」は音声・言語・そしゃく障害が22.7%で2割以上と高くなっています。

知的障害者では「20年以上」はA判定が44.9%で4割以上と高くなっています。

表 14-4 介助年数(障害種別・等級別)

		件数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
(件、%)										
身体障害者		951	3.3	9.1	8.5	13.5	10.4	3.6	7.0	44.6
障害種別	視覚障害	75	2.7	10.7	6.7	17.3	5.3	4.0	8.0	45.3
	聴覚・平衡機能障害	55	-	5.5	12.7	7.3	10.9	1.8	7.3	54.5
	音声・言語・そしゃく障害	44	-	11.4	6.8	22.7	11.4	9.1	22.7	15.9
	内部障害	322	5.3	11.5	8.7	10.6	8.1	3.4	5.0	47.5
	肢体不自由	470	1.7	6.8	8.9	16.0	13.2	4.5	9.6	39.4
等級別	1級	276	4.3	8.7	8.0	16.7	13.0	5.4	6.9	37.0
	2級	155	-	5.8	9.0	22.6	14.2	5.2	10.3	32.9
	3級	233	3.4	12.4	8.6	11.2	8.6	2.6	7.7	45.5
	4級	186	5.9	7.0	9.1	8.6	9.7	1.1	4.8	53.8
	5級	49	-	8.2	6.1	6.1	4.1	6.1	6.1	63.3
	6級	33	-	12.1	9.1	3.0	3.0	-	3.0	69.7
	わからない	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
知的障害者		151	3.3	0.7	4.0	10.6	12.6	7.3	33.1	28.5
判定別	A判定	49	2.0	-	4.1	8.2	6.1	14.3	44.9	20.4
	B判定	50	2.0	2.0	2.0	10.0	10.0	2.0	36.0	36.0
	C判定	49	6.1	-	6.1	14.3	20.4	4.1	20.4	28.6
	わからない	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
精神障害者		129	-	5.4	8.5	14.0	17.1	12.4	10.1	32.6
等級別	1級	11	-	9.1	-	27.3	18.2	9.1	18.2	18.2
	2級	92	-	6.5	9.8	12.0	17.4	12.0	9.8	32.6
	3級	16	-	-	6.3	18.8	12.5	6.3	-	56.3
	わからない	3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-

14-5 介助で大変なこと

問46 あなたが介助するときに大変だと思うことは何ですか。(すべて)

介助する時に大変なことについては、身体障害者では「介助者の心身が疲れる」が22.3%、「必要な時に他の人に介助を頼めない」が15.9%、「介助者が外出できない」が10.1%などとなっています。一方、「特にない」は26.7%となっています。

知的障害者では「介助者の心身が疲れる」が40.4%、「必要な時に他の人に介助を頼めない」が26.5%、「介助者が外出できない」が8.6%などとなっています。一方、「特にない」は28.5%となっています。

精神障害者では「介助者の心身が疲れる」が48.1%、「介助者の相談相手がいない」が22.5%、「必要な時に他の人に介助を頼めない」が19.4%などとなっています。

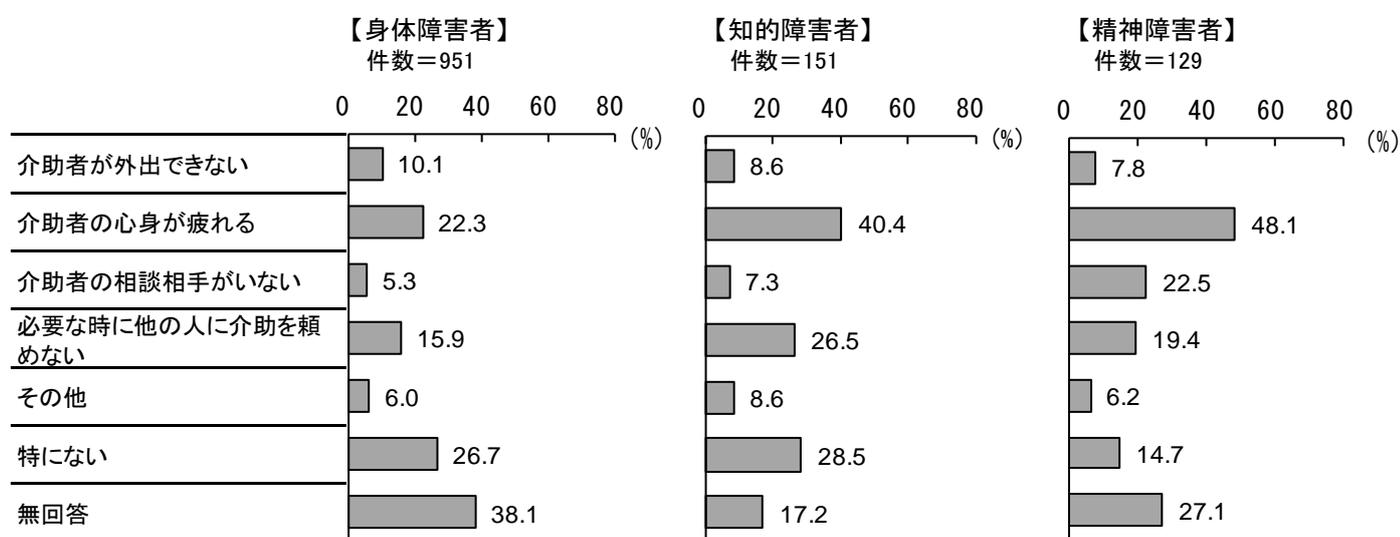


図 14-5 介助する時に大変なこと

障害種別・等級別でみると、身体障害者では「介助者の心身が疲れる」は音声・言語・そしゃく障害が52.3%で5割以上と高くなっています。

知的障害者では「介助者が外出できない」「介助者の心身が疲れる」「必要な時に他の人に介助を頼めない」はA判定で高くなっています。

表 14-5 介助する時に大変なこと(障害種別・等級別)

		件数	介助者が外出できない	介助者の心身が疲れる	介助者の相談相手がい	必要な時に他の人に介助を頼めない	その他	特にな	無回答
(件、%)									
身体障害者		951	10.1	22.3	5.3	15.9	6.0	26.7	38.1
障害種別	視覚障害	75	17.3	18.7	9.3	24.0	5.3	22.7	34.7
	聴覚・平衡機能障害	55	9.1	12.7	1.8	16.4	9.1	21.8	45.5
	音声・言語・そしゃく障害	44	25.0	52.3	4.5	27.3	11.4	13.6	15.9
	内部障害	322	6.5	15.8	4.0	10.9	4.7	31.7	40.1
	肢体不自由	470	12.3	28.5	7.0	19.6	6.8	23.8	35.3
等級別	1級	276	15.6	29.3	5.8	18.5	7.2	24.6	32.2
	2級	155	12.9	31.0	8.4	25.2	11.0	23.2	26.5
	3級	233	8.6	19.7	5.2	12.4	5.2	27.9	39.9
	4級	186	4.8	13.4	3.8	11.3	2.7	30.1	45.7
	5級	49	4.1	14.3	4.1	10.2	6.1	30.6	51.0
	6級	33	6.1	9.1	-	12.1	-	21.2	60.6
	わからない	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
知的障害者		151	8.6	40.4	7.3	26.5	8.6	28.5	17.2
判定別	A判定	49	18.4	57.1	8.2	46.9	12.2	14.3	12.2
	B判定	50	6.0	24.0	6.0	16.0	8.0	40.0	20.0
	C判定	49	2.0	40.8	8.2	16.3	6.1	30.6	20.4
	わからない	1	-	-	-	-	-	100.0	-
精神障害者		129	7.8	48.1	22.5	19.4	6.2	14.7	27.1
等級別	1級	11	27.3	63.6	36.4	27.3	-	18.2	18.2
	2級	92	4.3	47.8	23.9	19.6	8.7	10.9	30.4
	3級	16	6.3	37.5	6.3	6.3	-	25.0	25.0
	わからない	3	-	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-

Ⅲ 調査結果（こすもす園）

1 調査の回答者について

1-1 回答者（子どもからみた続柄）

問1 この調査に答えていただく方はどなたですか。（1つだけ）

回答者（子どもからみた続柄）については、「母」が98.3%、「父」が1.7%となっています。

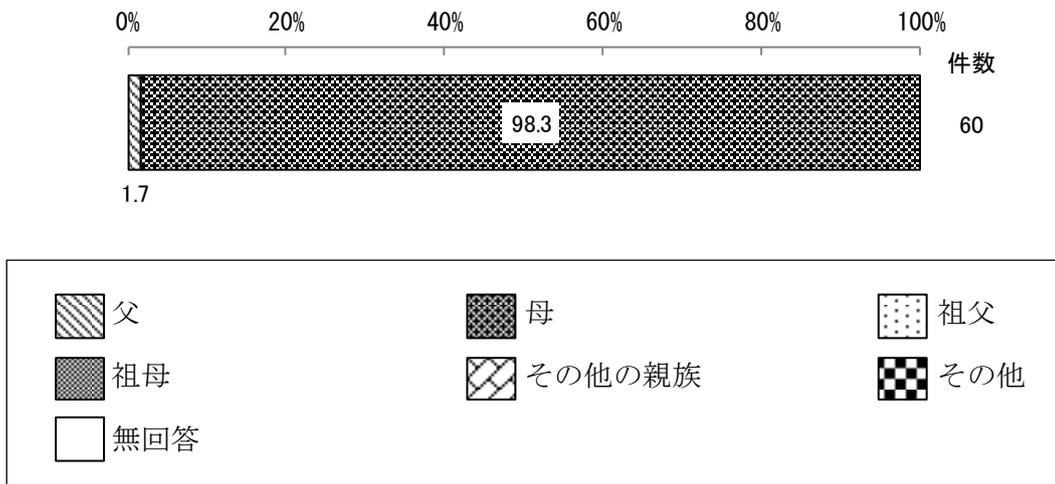


図 1-1 回答者(子どもからみた続柄)

2 お子様について

2-1 年齢

問2 お子様の年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在)

子どもの年齢については、「4歳」が33.3%で最も高く、次いで「5歳」が28.3%、「3歳」が18.3%などとなっています。

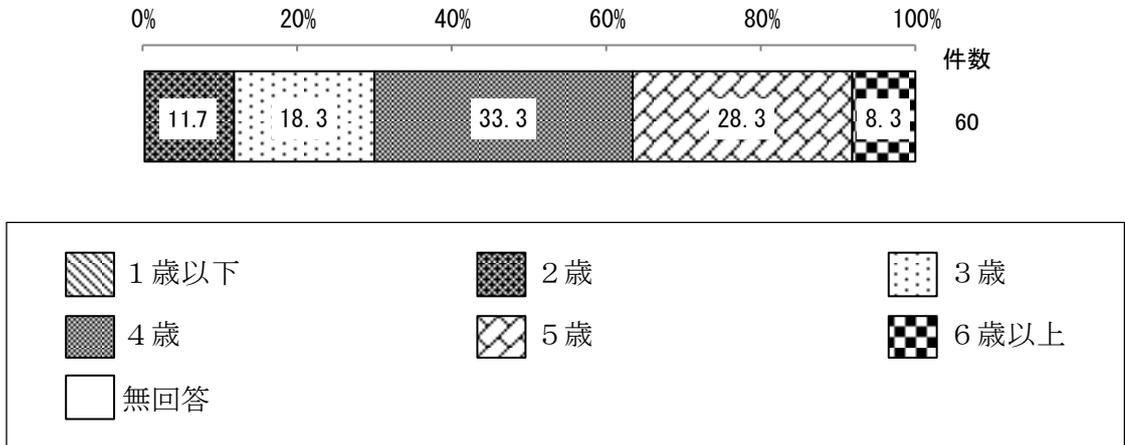


図 2-1 子どもの年齢

2-2 性別

問3 お子様の性別はどちらですか。(いずれかに○)

子どもの性別については、「男の子」が80.0%、「女の子」が20.0%となっています。

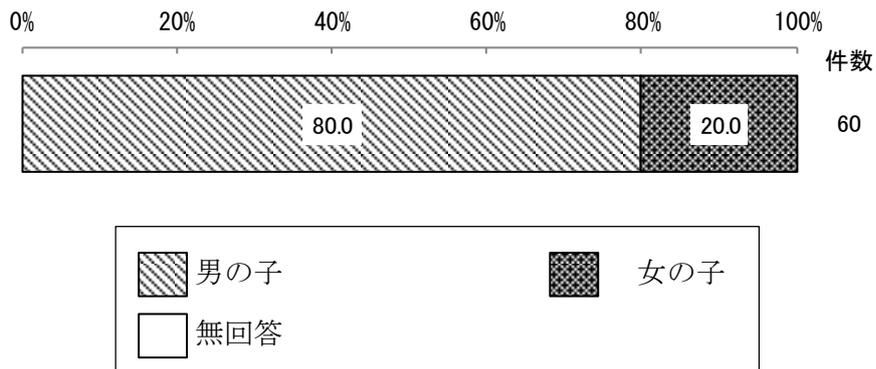


図 2-2 子どもの性別

2-3 居住地区

問4 お子様の住んでいる地区をお答えください。(1つだけ)

子どもの居住地区については、「犬山地区」が48.3%で最も高く、次いで「城東地区」が23.3%、「羽黒地区」が15.0%などとなっています。

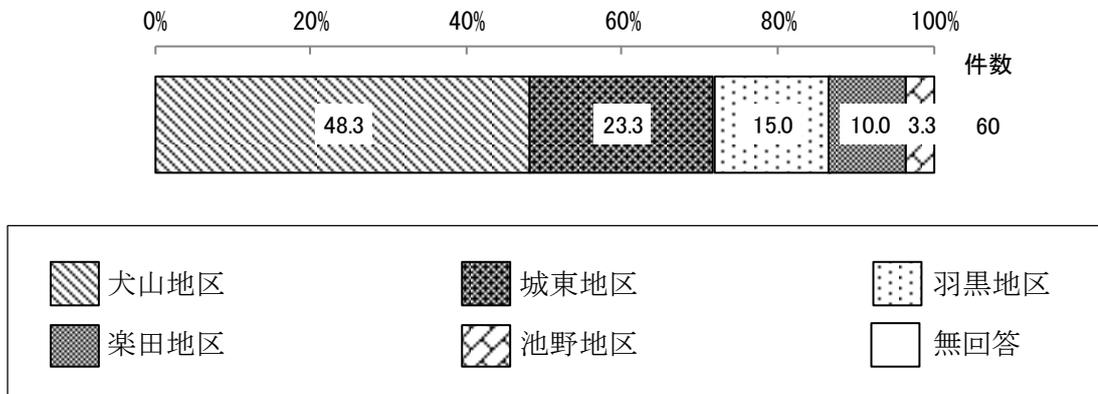


図 2-3 子どもの居住地区

2-4 こすもす園以外の通園施設

問5-1 こすもす園のほかにお子様が日中通われている施設はありますか。(すべて)

こすもす園以外の通園施設については、「犬山市立子ども未来園」が45.0%、次いで「私立の幼稚園」が16.7%、「犬山市内の児童発達支援事業所(のびハピ園等)」が13.3%などとなっています。一方、「通っていない」は28.3%となっています。

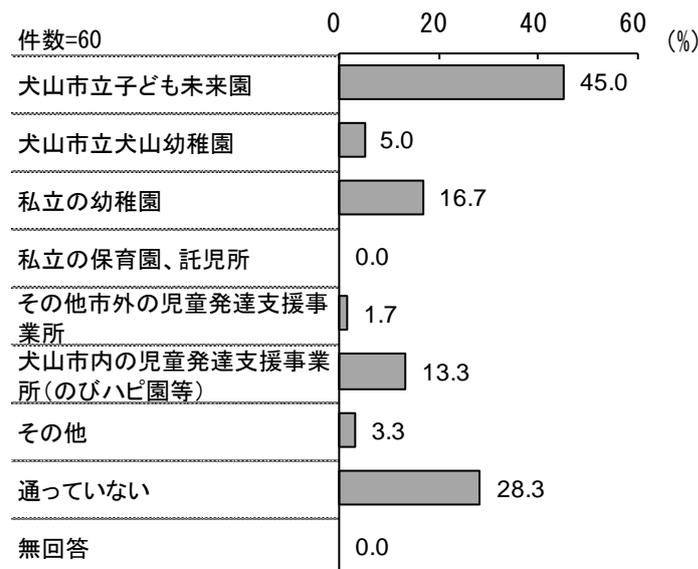


図 2-4 こすもす園以外の通園施設

表 2-4 こすもす園以外の通園施設(年齢別)

		件数	犬山市立子ども未来園	犬山市立犬山幼稚園	私立の幼稚園	私立の保育園、託児所	支 援 事 業 所 そ の 他 市 外 の 児 童 発 達	いぬやま等) 援 業 所 (の び ハ ビ 園 犬 山 市 内 の 児 童 発 達 支	そ の 他	通 っ て い な い
(件、%)										
全 体		60	45.0	5.0	16.7	-	1.7	13.3	3.3	28.3
年 齢 別	1 歳 以 下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 歳	7	14.3	-	-	-	14.3	-	-	71.4
	3 歳	11	36.4	-	9.1	-	-	-	9.1	45.5
	4 歳	20	20.0	5.0	40.0	-	-	-	-	35.0
	5 歳	17	76.5	11.8	5.9	-	-	41.2	5.9	-
	6 歳 以 上	5	100.0	-	-	-	-	20.0	-	-

2-5 こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由

問5-2 問5-1で「5・6」に○をされた方にお聞きします。

こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由は何ですか。(1つだけ)

こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由については、「療育の回数を増やしたいから」(33.3%)が最も高くなっています。

表 2-5 こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由

件数	療育の回数を増やした	子どもだけから預かって	送迎をしてもらえるか	お友達が行っているか	多様な療育プログラムがあるから	個別療育を受けられる	その他	無回答
9	3	1	0	1	2	1	0	1
100.0	33.3	11.1	-	11.1	22.2	11.1	-	11.1

2-6 児童発達支援の利用開始年齢

問6 児童発達支援(こすもす園など)の利用をはじめた時のお子様はいくつの時ですか。(1つだけ)

児童発達支援の利用開始年齢については、「2歳」が53.3%で最も高く、次いで「3歳」が31.7%、「1歳」が6.7%などとなっています。

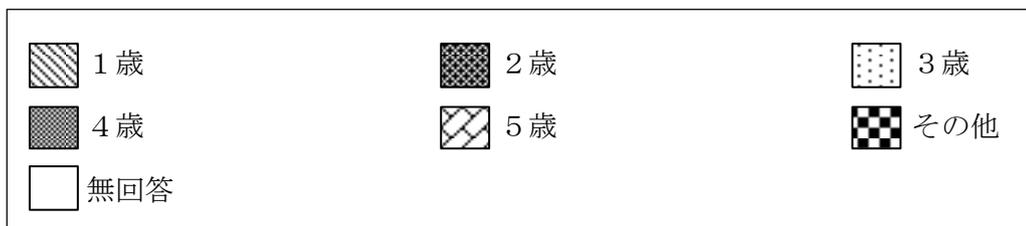
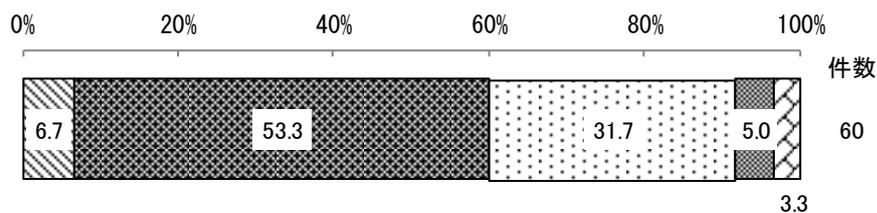


図 2-6 児童発達支援の利用開始年齢

2-7 児童発達支援の利用期間

問7 児童発達支援(こすもす園など)を利用している期間はどれだけですか。(平成28年10月1日現在)(1つだけ)

児童発達支援の利用期間については、「1年未満」が35.0%で最も高く、次いで「1～2年未満」が30.0%、「2～3年未満」が21.7%などとなっています。

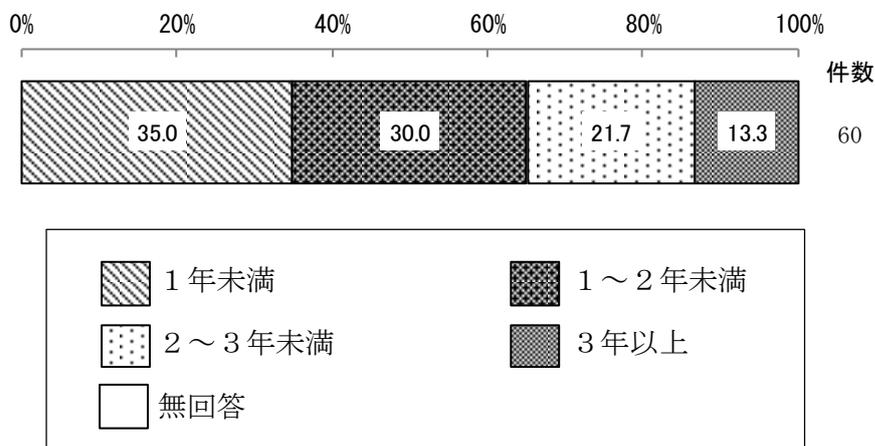


図 2-7 児童発達支援の利用期間

2-8 現在の子どもの状態で気になること

問8 現在(現在までに)のお子様の状態で、気になる(気になっていた)ことはどのようなことですか。(すべて)

現在の子どもの状態で気になることについては、「ことばのおくれ」が71.7%で最も高く、次いで「落ち着きがない」が51.7%、「興味、関心、態度、遊び、人間関係が同じ年頃の子どもと違っている」が38.3%などとなっています。

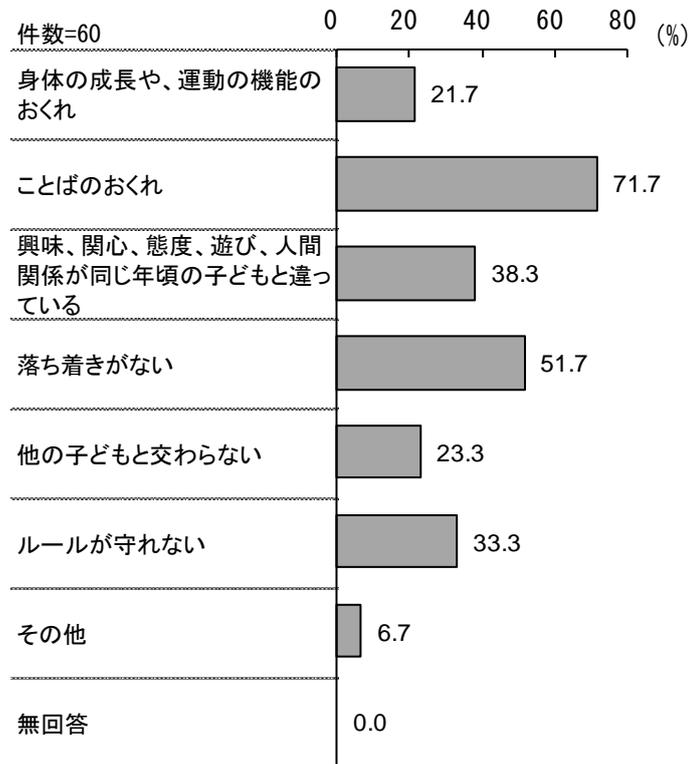


図 2-8 現在の子どもの状態で気になること

年齢別でみると、「興味、関心、態度、遊び、人間関係が同じ年頃の子どもと違っている」が5歳で（58.8%）と高くなっています。

表 2-8 現在の子どもの状態で気になること(年齢別)

		件数	身体 の成長や、 運動の機 能のおくれ	ことば のおくれ	興味、関心、 態度、遊 び、人間 関係が同 じ年頃 の子ども と違っ ている	落 ち着 き が な い	他 の 子 ど も と 交 わ ら な い	ル ー ル が 守 れ な い	そ の 他
(件、%)									
全	体	60	21.7	71.7	38.3	51.7	23.3	33.3	6.7
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	7	14.3	85.7	28.6	57.1	14.3	42.9	-
	3歳	11	18.2	90.9	9.1	45.5	27.3	36.4	18.2
	4歳	20	30.0	80.0	30.0	50.0	15.0	40.0	5.0
	5歳	17	23.5	52.9	58.8	52.9	35.3	11.8	5.9
	6歳以上	5	-	40.0	80.0	60.0	20.0	60.0	-

2-9 子どもの発達で専門機関等に相談した経験

問9-1 お子さんの成長や発達のことで病院や専門機関等に相談したことがありますか。
(1つだけ)

子どもの発達で専門機関等に相談した経験については、「ある」が78.3%、「ない」が15.0%となっています。

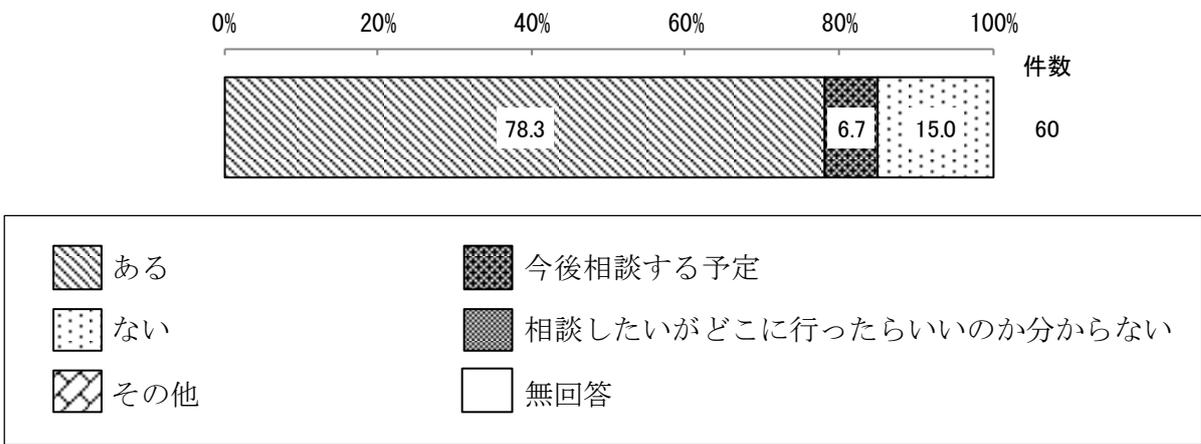


図 2-9 子どもの発達で専門機関等に相談した経験

2-10 子どもの発達に関する相談先

問9-2 問9-1で「1・2」に○をされた方にお聞きします。
どこに相談しましたか(相談する予定ですか)。(すべて)

子どもの発達に関する相談先については、「医療機関」が68.6%で最も高く、次いで「こすもす園」が62.7%、「保健センター（保健師）」が56.9%などとなっています。

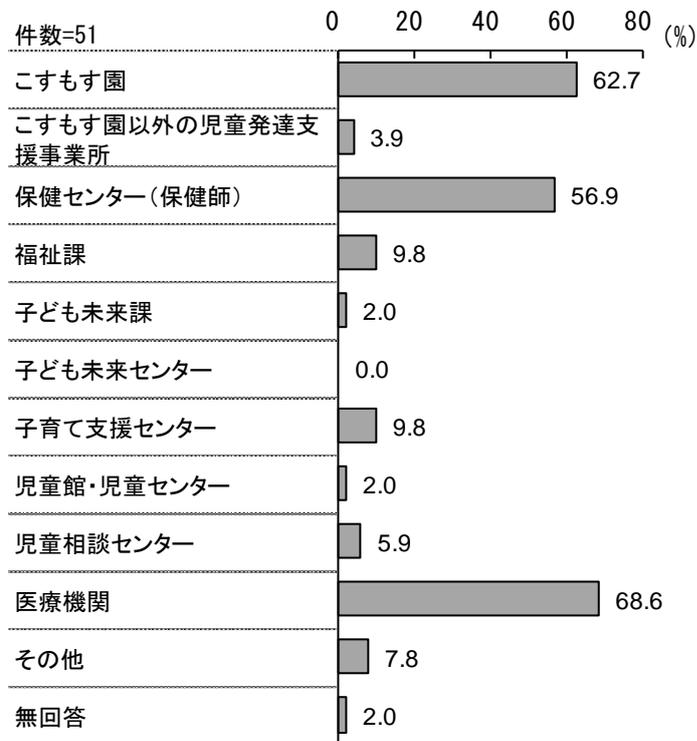


図 2-10 子どもの発達に関する相談先

年齢別でみると、「医療機関」は4歳が76.5%で高くなっています。

表 2-10 子どもの発達に関する相談先(年齢別)

		件数	こすもす園	こすもす園以外の児童発達支援事業所	師(保健センター(保健	福祉課	子ども未来課	子ども未来センター	子育て支援センター	児童館・児童センター	児童相談センター	医療機関	その他	無回答
(件、%)														
全	体	51	62.7	3.9	56.9	9.8	2.0	-	9.8	2.0	5.9	68.6	7.8	2.0
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	5	60.0	-	60.0	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-
	3歳	8	37.5	-	37.5	-	-	-	12.5	12.5	-	62.5	-	-
	4歳	17	70.6	-	70.6	5.9	-	-	-	-	-	76.5	11.8	-
	5歳	16	68.8	12.5	56.3	12.5	-	-	18.8	-	18.8	75.0	12.5	6.3
	6歳以上	5	60.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-	-	80.0	-	-

3 児童発達支援(こすもす園など)について

3-1 児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだこと

問10 児童発達支援(こすもす園など)に通園を決めるまでに悩んだこと等がありましたか。
(すべて)

児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだことについては、「申請手続きがいろいろあり面倒だった(訪問調査、相談員との面談等)」が50.0%で最も高く、次いで「障害があるとまわりから見られるのではないかと不安になった」が36.7%、「児童発達支援の内容が分からず、本当に通う必要があるのか疑問だった」が26.7%などとなっています。

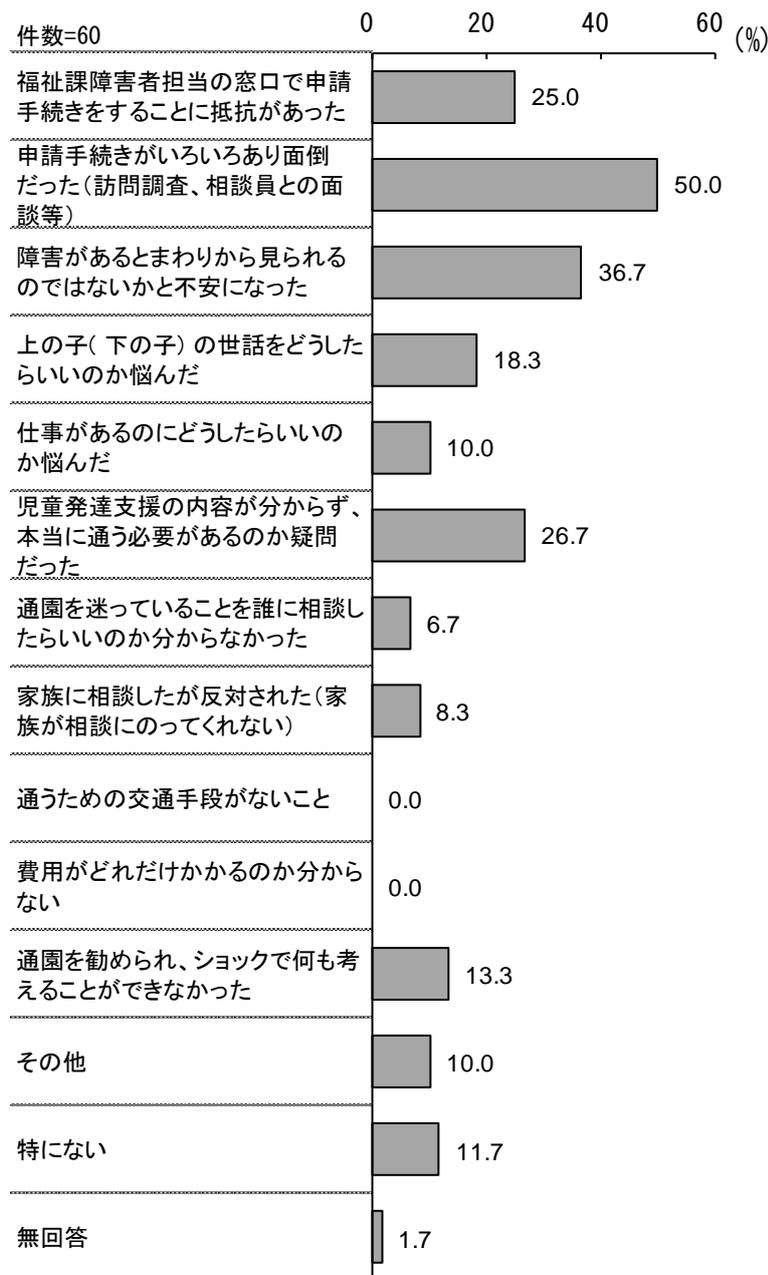


図 3-1 児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだこと

年齢別でみると、「障害があるとまわりから見られるのではないかと不安になった」は3歳（54.5%）が高くなっています。

表 3-1 児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだこと(年齢別)

		件数	た 手 続 き を す る こ と に 抵 抗 が あ つ	福 祉 課 障 害 者 担 当 の 窓 口 で 申 請 面 談 等	申 請 手 続 き が い ろ い ろ あ り 面 倒 だ つ た （ 訪 問 調 査 、 相 談 員 と の	障 害 が あ る と ま わ り か ら 見 ら れ る の で は な い か と 不 安 に な つ た	ど う し た ら い い の か 悩 ん だ	上 の 子 （ 下 の 子 ） の 世 話 を	の 仕 事 が あ る の に ど う し た ら い い の か 悩 ん だ	疑 問 だ つ た	児 童 発 達 支 援 の 内 容 が 分 か ら な か つ た	た 談 し た ら い い の か 分 か ら な か つ た	通 園 を 迷 つ て い る こ と を 誰 か と 相 談 し た ら い い の か 分 か ら な か つ た
全 体		60	25.0	50.0	36.7	18.3	10.0	26.7	6.7				
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-				
	2歳	7	14.3	71.4	14.3	28.6	-	-	-				
	3歳	11	36.4	36.4	54.5	-	18.2	36.4	18.2				
	4歳	20	30.0	55.0	45.0	25.0	10.0	25.0	5.0				
	5歳	17	23.5	47.1	23.5	23.5	11.8	35.3	5.9				
	6歳以上	5	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-				
		件数	い （ 家 族 に 相 談 し た の つ て 反 対 さ れ な か つ た	通 う た め の 交 通 手 段 が な い こ と	費 用 が ど れ だ け か か る の か 分 か ら な い	も 通 園 を 勧 め ら れ 、 シ ョ ツ ク で 何 も 考 え る こ と が で き な か つ た	そ の 他	特 に な い	無 回 答				
全 体		60	8.3	-	-	13.3	10.0	11.7	1.7				
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-				
	2歳	7	-	-	-	14.3	-	-	-				
	3歳	11	18.2	-	-	36.4	9.1	27.3	-				
	4歳	20	5.0	-	-	10.0	10.0	10.0	5.0				
	5歳	17	11.8	-	-	-	17.6	5.9	-				
	6歳以上	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-				

3-2 児童発達支援に対する満足度

問11 あなたは児童発達支援(こすもす園など)に対して、どれくらい満足していますか。
(1つだけ)

児童発達支援に対する満足度については、「満足している」が56.7%で、これに「どちらかといえば満足している」(36.7%)を合わせた『満足している』が93.4%となっています。一方、「どちらかという満足していない」が1.7%で、これに「満足していない」(0.0%)を合わせた『満足していない』が1.7%となっています。

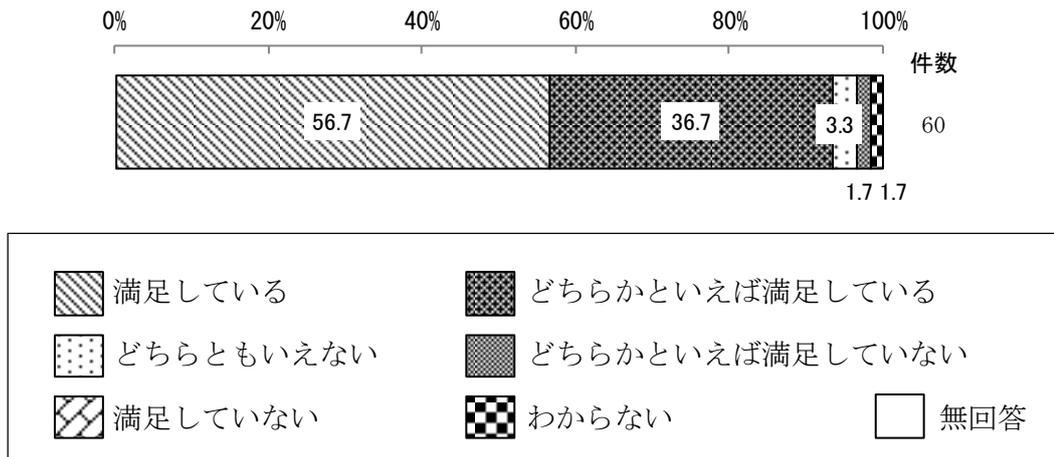


図 3-2 児童発達支援に対する満足度

表 3-2 児童発達支援に対する満足度(年齢別)

	件数	満足している	足	ど	足	満	わからない
			ど	ち	ど	満	
(件、%)			ち	ら	ち	満	
			ら	か	ら	足	
			か	と	か	し	
			い	い	て	て	
			え	え	い	い	
			ば	ば	え	え	
			ば	ば	ば	ば	
			満	満	満	満	
全 体	60	56.7	36.7	3.3	1.7	-	1.7
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-
	2歳	7	42.9	42.9	14.3	-	-
	3歳	11	45.5	27.3	9.1	9.1	9.1
	4歳	20	65.0	35.0	-	-	-
	5歳	17	64.7	35.3	-	-	-
	6歳以上	5	40.0	60.0	-	-	-

3-3 児童発達支援に通園して良かったこと

問12 児童発達支援(こすもす園など)に通園して、良かったと思えることはありますか。(すべて)

児童発達支援に通園して良かったことについては、「言語や作業訓練を受けることができた」が76.7%で最も高く、次いで「療育を受けることができた」が66.7%、「専門的な指導が受けられるようになった」「相談できる人ができた(先生等)」がそれぞれ63.3%、「ことばがでるようになった」が48.3%などとなっています。

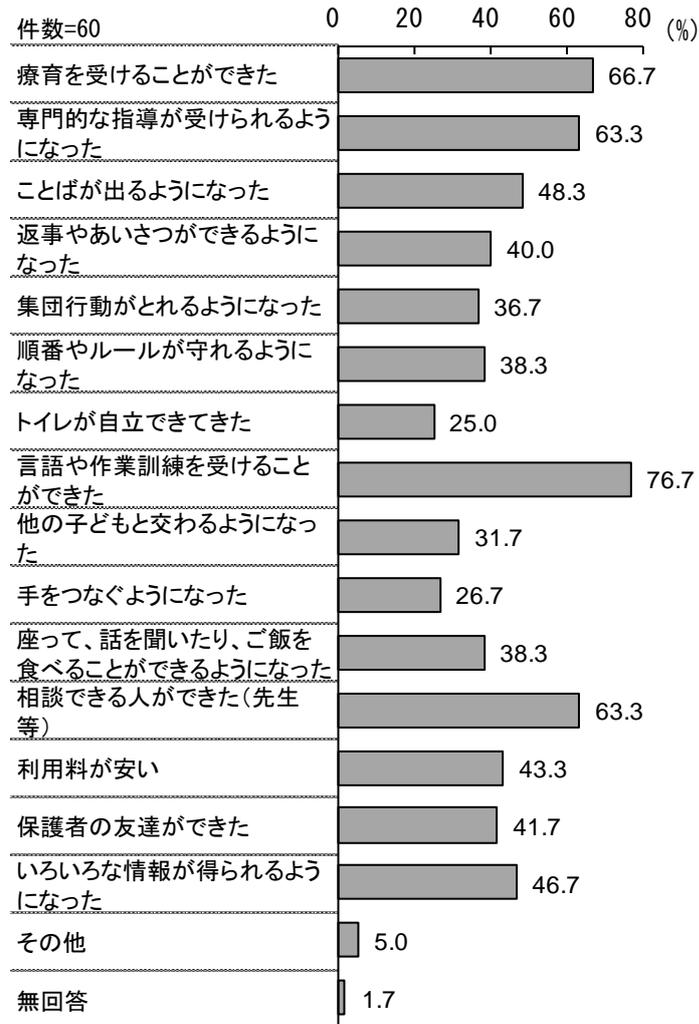


図 3-3 児童発達支援に通園して良かったこと

表 3-3 児童発達支援に通園して良かったこと(年齢別)

		件数	療育を受けることができた	専門的な指導が受けられるようになった	ことばが出るようになった	返事やあいさつができるようになった	集団行動がとれるようになった	順番やルールが守れるようになった	トイレが自立できてきた	言語や作業訓練を受けることができた	他の子どもと交わるようになった
(件、%)											
全	体	60	66.7	63.3	48.3	40.0	36.7	38.3	25.0	76.7	31.7
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	7	28.6	57.1	71.4	42.9	-	28.6	-	57.1	28.6
	3歳	11	54.5	72.7	36.4	36.4	36.4	27.3	27.3	63.6	36.4
	4歳	20	70.0	65.0	55.0	40.0	45.0	45.0	25.0	80.0	30.0
	5歳	17	88.2	64.7	41.2	41.2	47.1	41.2	35.3	82.4	29.4
	6歳以上	5	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	100.0	40.0

		件数	手をつなぐようになった	ご飯を食べることができるようになった	座って、話を聞いたり、ご飯を食べることができた	相談できる人ができた(先生等)	利用料が安い	保護者の友達ができた	いろいろな情報が得られるようになった	その他	無回答
全	体	60	26.7	38.3	63.3	43.3	41.7	46.7	5.0	1.7	
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2歳	7	-	28.6	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	
	3歳	11	9.1	27.3	81.8	54.5	18.2	54.5	-	9.1	
	4歳	20	40.0	50.0	50.0	40.0	40.0	35.0	-	-	
	5歳	17	35.3	41.2	76.5	58.8	76.5	70.6	11.8	-	
	6歳以上	5	20.0	20.0	60.0	-	40.0	40.0	-	-	

3-4 児童発達支援に通園して困ったこと

問13 児童発達支援(こすもす園など)に通園して、困っていることはありますか。(すべて)

児童発達支援に通園して困ったことについては、「言語や作業訓練の回数が少ない」が40.0%で最も高く、次いで「駐車場が少ない」が23.3%、「上の子(下の子)を預ける場所がない」が18.3%などとなっています。

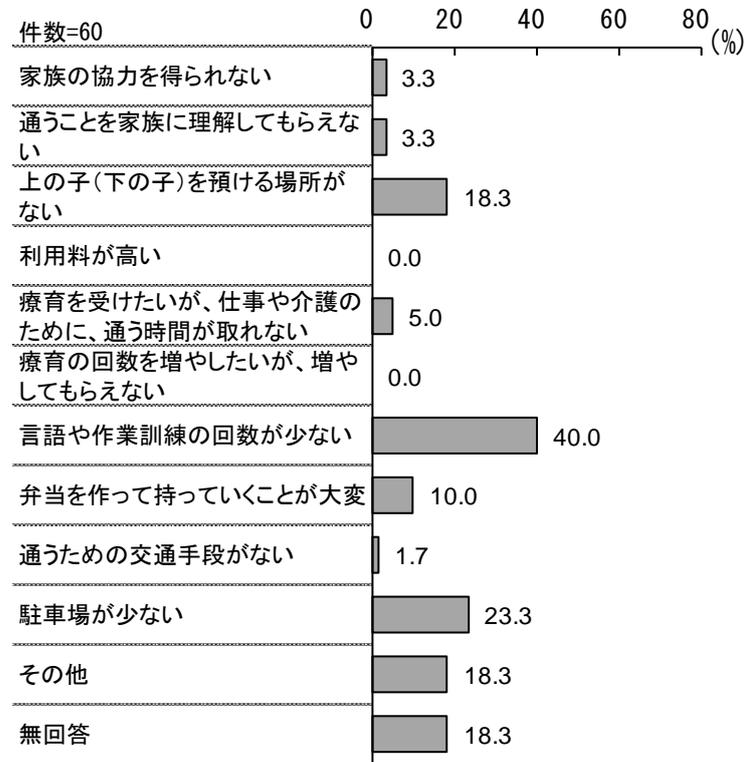


図 3-4 児童発達支援に通園して困ったこと

年齢別でみると、「言語や作業訓練の回数が少ない」は4歳（50.0%）が高くなっています。

表 3-4 児童発達支援に通園して困ったこと(年齢別)

(件、%)		件数	家族の協力を得られない	通うことを家族に理解してもらえない	上の子(下の子)を預ける場所がない	利用料が高い	ない	療育を受けたいが、仕事や介護のために、通う時間が取れない	療育の回数を増やしたいが、増やしてもらえない	い	言語や作業訓練の回数が少ない	が大変	弁当を作って持っていくことが大変	通うための交通手段がない	駐車場が少ない	その他	無回答
全	体	60	3.3	3.3	18.3	-	5.0	-	40.0	10.0	1.7	23.3	18.3	18.3			
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	7	-	-	42.9	-	-	-	42.9	28.6	-	42.9	-	-	-	-	-
	3歳	11	-	9.1	9.1	-	9.1	-	27.3	9.1	-	18.2	9.1	27.3			
	4歳	20	-	-	25.0	-	-	-	50.0	10.0	5.0	25.0	20.0	10.0			
	5歳	17	5.9	5.9	11.8	-	11.8	-	35.3	5.9	-	23.5	35.3	23.5			
	6歳以上	5	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0

3-5 療育や支援で充実してほしいこと

問14 療育や支援などについて、さらに充実させてほしいと思うことはありますか。(すべて)

療育や支援で充実してほしいことについては、「子ども未来園等でも療育が受けられるように専門職員の配置」が45.0%で最も高く、次いで「継続して言語や作業訓練を行う施設等の増設」が43.3%、「療育を受けている間の上の子（下の子）の支援」が38.3%、「専門医師等が配置され療育の指導・相談等総合的に受けられる施設」が36.7%、「療育を行う施設の増設（児童発達支援施設等）」が33.3%などとなっています。

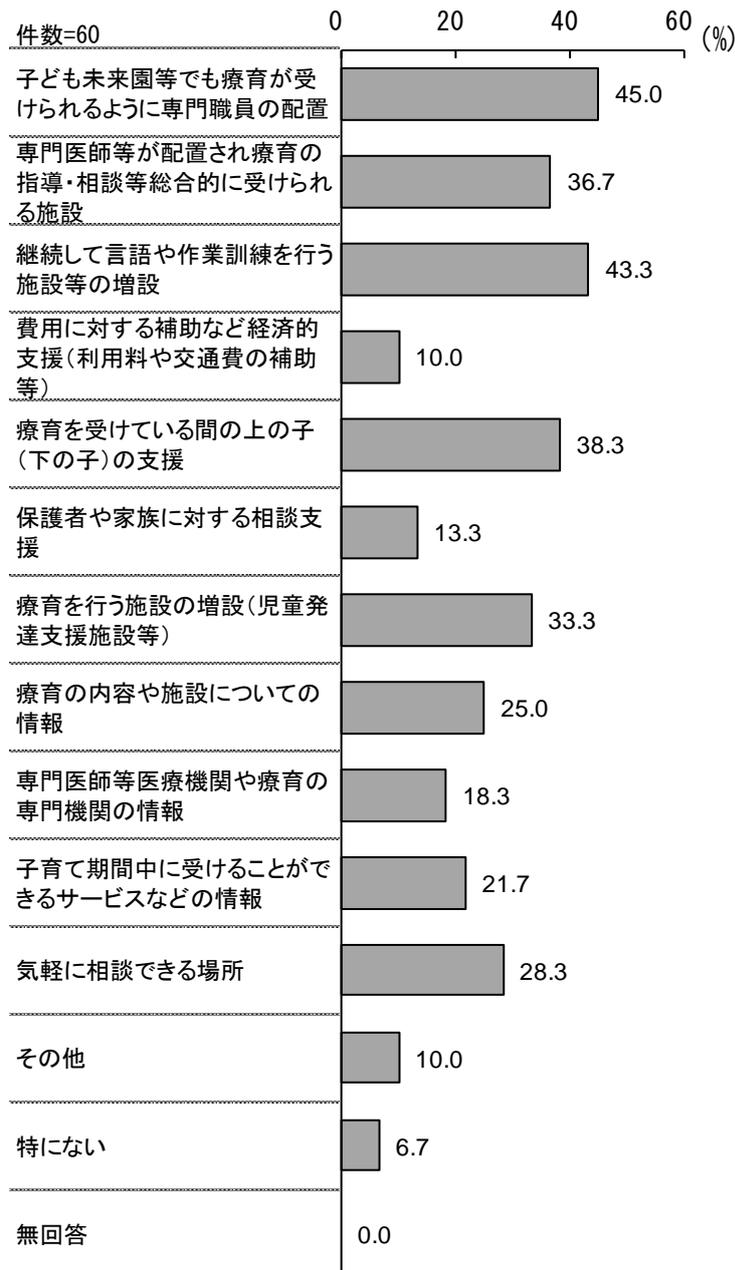


図 3-5 療育や支援で充実してほしいこと

年齢別で見ると、「子ども未来園等でも療育が受けられるように専門職員の配置」は5歳で58.8%と高くなっています。

表 3-5 療育や支援で充実してほしいこと(年齢別)

(件、%)		件数	子ども未来園等でも療育が受けられるように専門職員の配置	指導・相談等総合的に受けられる施設	専門医師等が配置され療育の指	設等増設	継続して言語や作業訓練を行う施設	(費用に対する補助など経済的支援(利用料や交通費の補助等)	療育を受けている間の子(下の療育)の支援	保護者や家族に対する相談支援	療育を行う施設の増設(児童発達支援施設等)
全	体	60	45.0	36.7	43.3	10.0	38.3	13.3	33.3		
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2歳	7	28.6	57.1	42.9	-	42.9	14.3	-		
	3歳	11	54.5	9.1	18.2	18.2	45.5	9.1	18.2		
	4歳	20	40.0	40.0	35.0	10.0	45.0	15.0	30.0		
	5歳	17	58.8	35.3	58.8	11.8	35.3	11.8	52.9		
	6歳以上	5	20.0	60.0	80.0	-	-	20.0	60.0		

		件数	療育の内容や施設についての情報	機関の情報	専門医師等医療機関や療育の専門	子育て期間中に受けることができるサービスなどの情報	気軽に相談できる場所	その他	特にな
全	体	60	25.0	18.3	21.7	28.3	10.0	6.7	
年 齢 別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	
	2歳	7	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	
	3歳	11	27.3	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	
	4歳	20	20.0	25.0	25.0	20.0	10.0	10.0	
	5歳	17	35.3	17.6	29.4	41.2	17.6	-	
	6歳以上	5	20.0	20.0	-	60.0	-	-	

3-6 子どもの進路についての相談経験

問15-1 お子さんの今後の進路(入園・入学など)のことで相談したことがありますか。
(1つだけ)

子どもの進路についての相談経験については、「ある」が55.0%、「ない」が26.7%となっています。

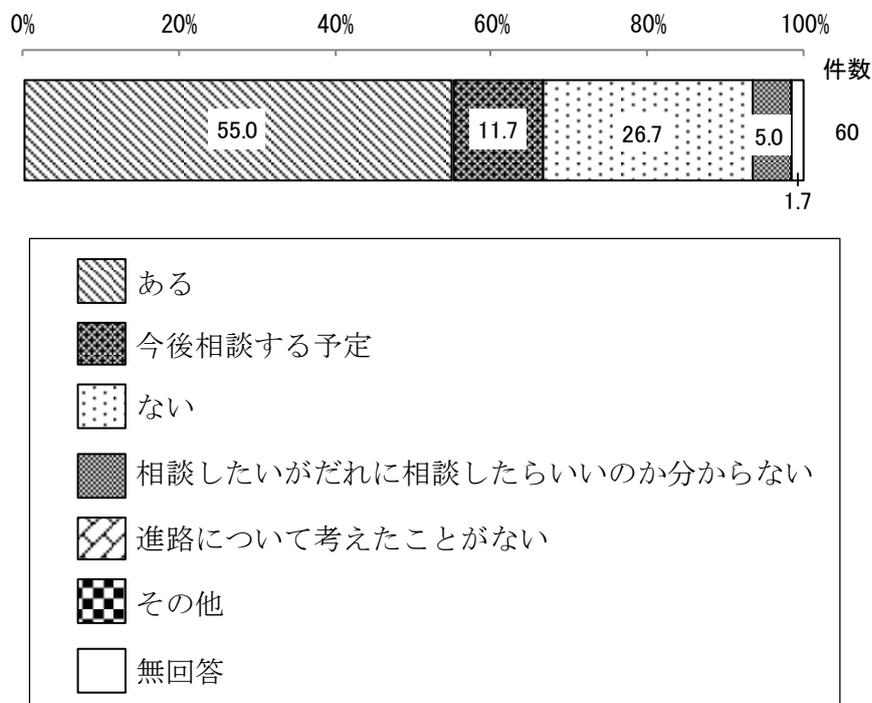


図 3-6 子どもの進路についての相談経験

3-7 子どもの進路についての相談機関

問15-2 問15-1で「1・2」に○をされた方にお聞きします。
どこに相談しましたか(相談する予定ですか)。(すべて)

子どもの進路についての相談機関については、「こすもす園」が85.0%で最も高く、次いで「医療機関」が37.5%、「子ども未来園」が27.5%、「市内の小学校」が17.5%、「保健センター（保健師）」「児童相談センター」がそれぞれ10.0%などとなっています。

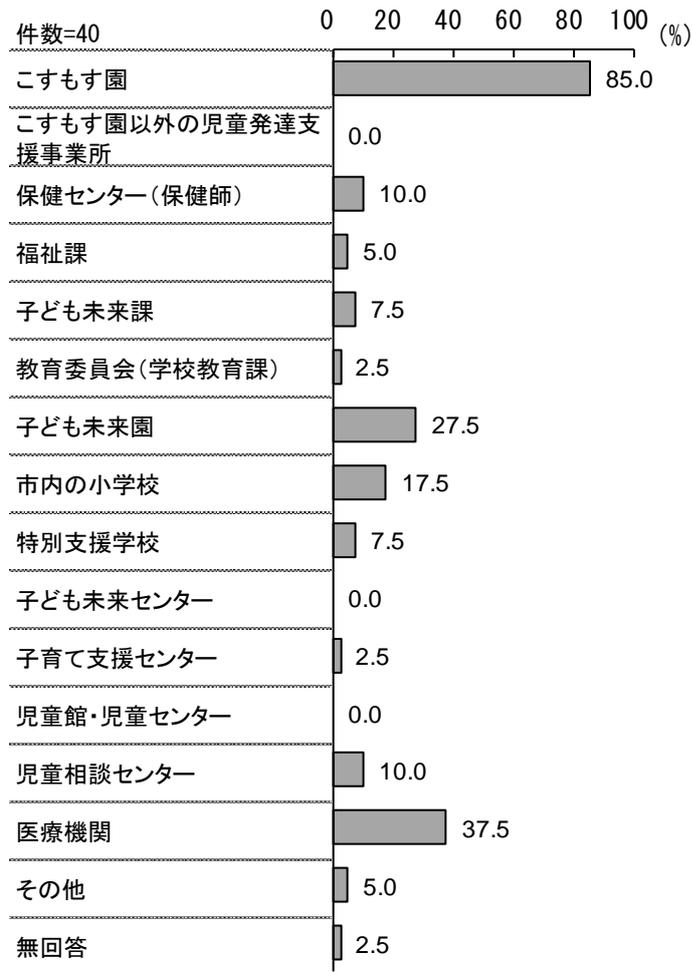


図 3-7 子どもの進路についての相談機関

表 3-7 子どもの進路についての相談機関(年齢別)

		件数	こすもす園	こすもす園以外の児童発達支援事業所	保健センター(保健師)	福祉課	子ども未来課	教育委員会(学校教 育課)	子ども未来園	市内の小学校
全体		40	85.0	-	10.0	5.0	7.5	2.5	27.5	17.5
年齢別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	5	100.0	-	20.0	-	-	-	-	-
	3歳	5	100.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0	-
	4歳	12	75.0	-	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	5歳	14	85.7	-	7.1	7.1	7.1	-	35.7	35.7
	6歳以上	4	75.0	-	-	-	-	-	75.0	25.0

		件数	特別支援学校	子ども未来センター	子育て支援センター	児童館・児童センター	児童相談センター	医療機関	その他	無回答
全体		40	7.5	-	2.5	-	10.0	37.5	5.0	2.5
年齢別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	5	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	3歳	5	-	-	-	-	-	60.0	-	-
	4歳	12	8.3	-	8.3	-	16.7	33.3	-	-
	5歳	14	14.3	-	-	-	14.3	57.1	-	7.1
	6歳以上	4	-	-	-	-	-	-	-	-

3-8 子どもの進路についての相談内容

問15-3 問15-1で「1・2」に○をされた方にお聞きします。
何を相談しましたか（相談する予定ですか）。（すべて）

子どもの進路についての相談内容については、「入園時期について（年少から、年中から等）」が62.5%で最も高く、次いで「進学先を決定するための情報（通常学級、支援学級、特別支援学校等）」が40.0%、「進路を決めるために「いつ」「何を」しなければいけないのか」が37.5%などとなっています。

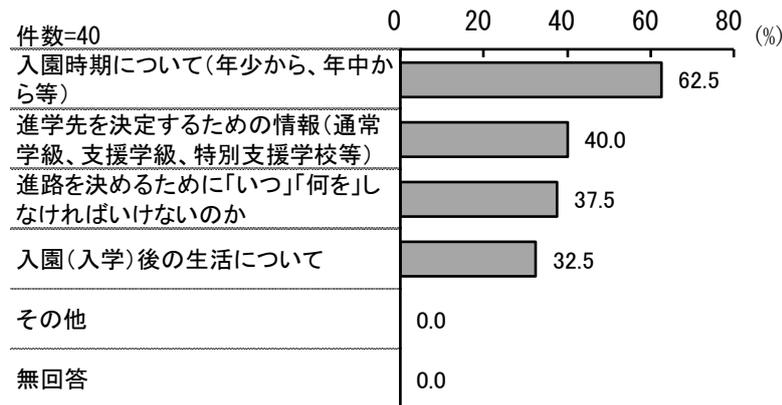


図 3-8 子どもの進路についての相談内容

表 3-8 子どもの進路についての相談内容(年齢別)

	件数 (件、%)	入園時期について (年少から、年中から等)	進学先を決定するための情報 (通常学級、支援学級、特別支援学校等)	進路を決めるために「いつ」「何を」しなければいけないのか	入園(入学)後の生活について	その他	
							件数
全体	40	62.5	40.0	37.5	32.5	-	
年齢別	1歳以下	-	-	-	-	-	
	2歳	5	100.0	-	20.0	20.0	-
	3歳	5	60.0	20.0	80.0	40.0	-
	4歳	12	66.7	33.3	33.3	41.7	-
	5歳	14	50.0	64.3	35.7	28.6	-
	6歳以上	4	50.0	50.0	25.0	25.0	-

3-9 子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況

問16 お子様のサポートブック「あゆみ」を作成していますか。(1つだけ)

子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況については、「作成した」が53.3%で最も高く、次いで「あゆみ」を知らない」が30.3%、「今度作成する予定」が10.0%などとなっています。

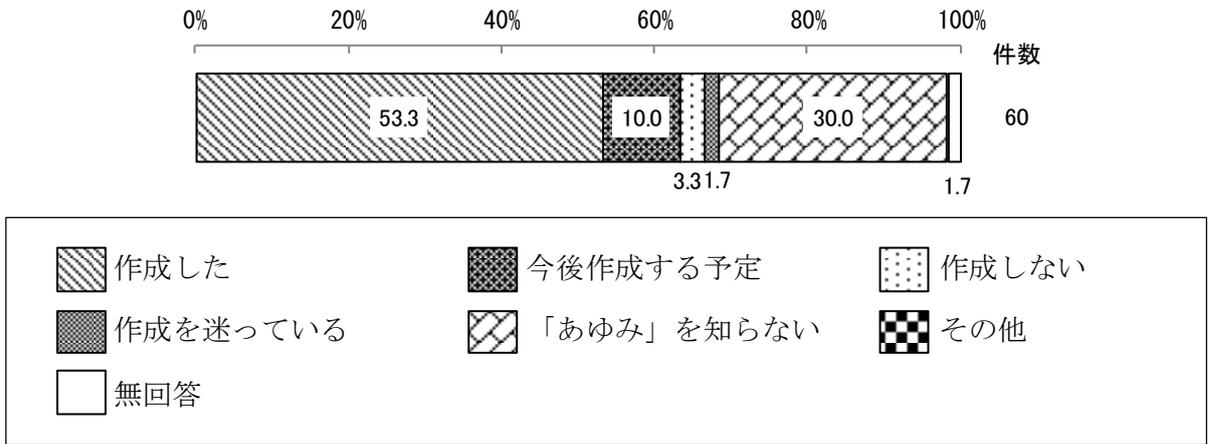


図 3-9 子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況

表 3-9 子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況(年齢別)

	件数	作成した	今後作成する予定	作成しない	作成を迷っている	「あゆみ」を知らない	その他	無回答
全体	60	53.3	10.0	3.3	1.7	30.0	-	1.7
年齢別	1歳以下	-	-	-	-	-	-	-
	2歳	7	-	14.3	-	-	85.7	-
	3歳	11	27.3	-	-	-	63.6	9.1
	4歳	20	35.0	25.0	10.0	5.0	25.0	-
	5歳	17	100.0	-	-	-	-	-
	6歳以上	5	100.0	-	-	-	-	-

IV 調査結果（一般）

1 ご自身のことについて

1-1 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(いずれかに○)

性別については、「男性」が42.6%、「女性」が55.9%となっています。

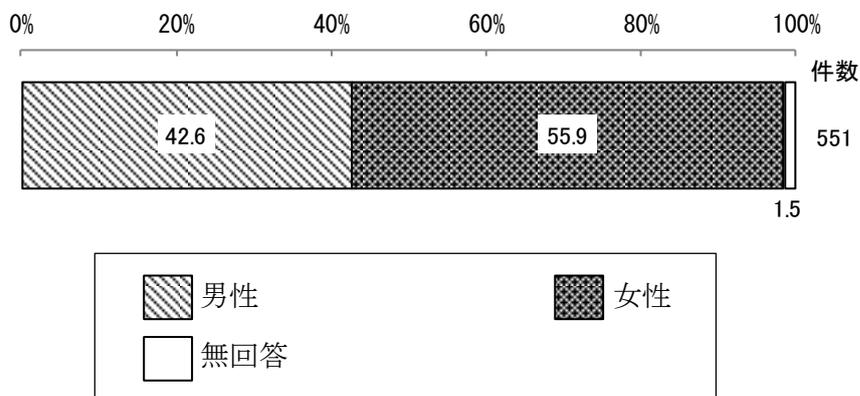


図 1-1 性別

1-2 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年9月1日現在)

年齢については、「70歳以上」が26.1%で最も高く、次いで「60歳代」が21.8%、「40歳代」が18.9%、「50歳代」が12.3%、「30歳代」が11.8%などとなっています。

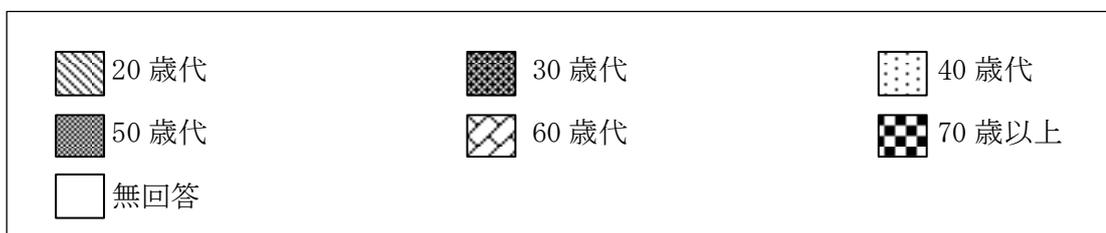
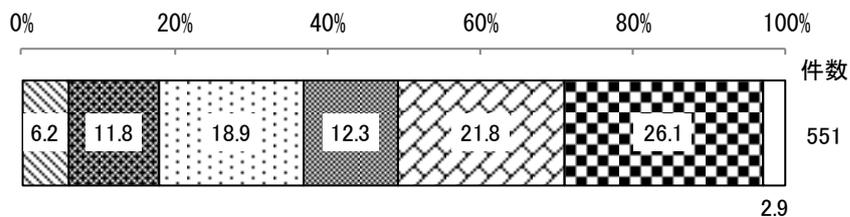


図 1-2 年齢

1-3 居住地区

問3 あなたの住んでいる地区をお答えください。(1つだけ)

居住地区については、「犬山地区」が45.9%で最も高く、次いで「城東地区」が20.3%、「羽黒地区」が17.8%、「楽田地区」が12.7%などとなっています。

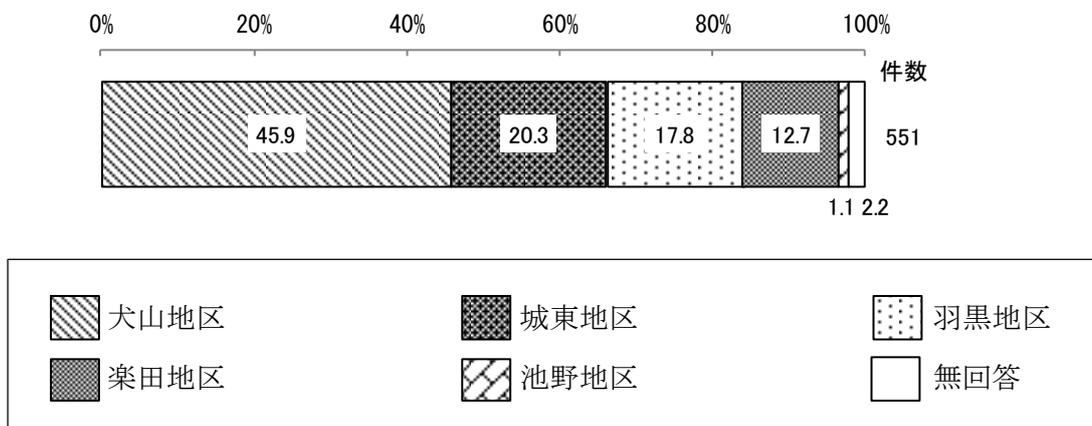


図 1-3 居住地区

1-4 居住形態

問4 あなたは今、どなたと暮らしていますか。(1つだけ)

居住形態については、「家族と暮らしている」が86.2%、「一人で暮らしている」が11.6%などとなっています。

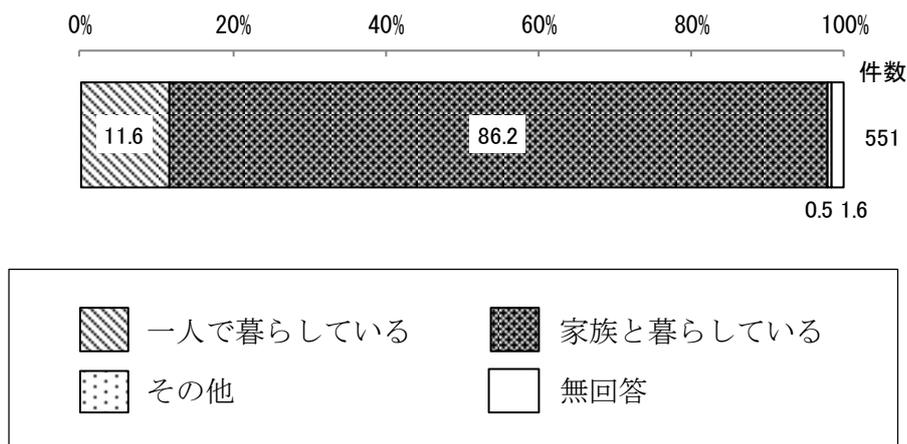


図 1-4-1 居住形態

【同居家族】

同居家族については、「配偶者」が77.5%で最も高く、次いで「子ども」が52.6%、「父母」が18.7%などとなっています。

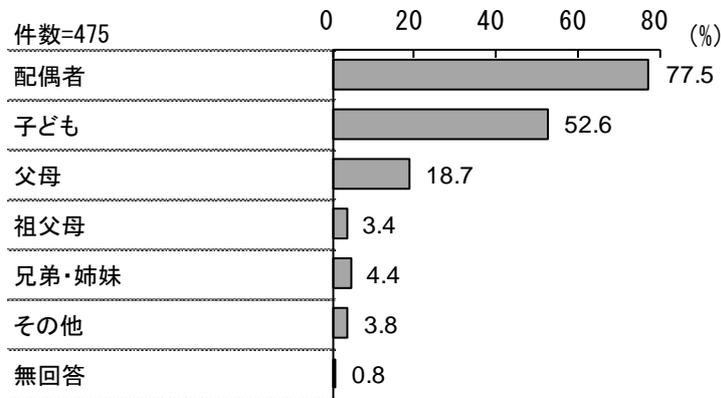


図 1-4-2 同居家族

1-5 職業

問5 あなたのお仕事は何ですか。(1つだけ)

職業については、「会社員」が26.9%、「パート・アルバイト」が16.2%、「専業主婦・夫」が15.1%などとなっています。

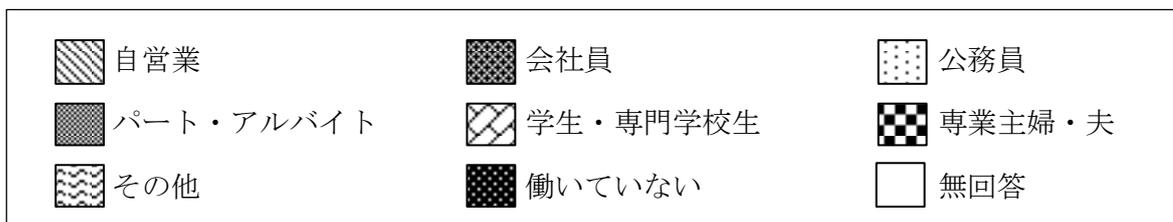
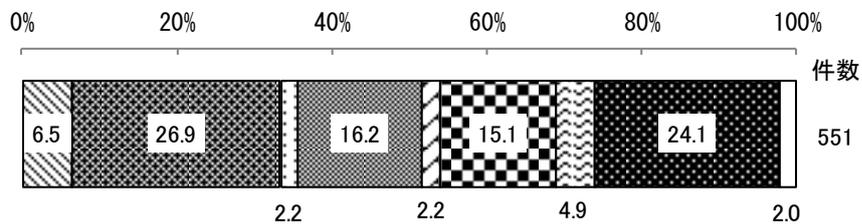


図 1-5 職業

1-6 障害者との接点

問6 あなたはこれまでに障害のある方と一緒に暮らしたり、遊んだり、学んだり、仕事をした経験がありますか。(すべて)

障害者との接点については、「一緒に生活したことがある」が20.0%、「職場で一緒に仕事をしたことがある」が16.5%、「学校や塾などで一緒に学んだことがある」が15.2%などとなっています。一方、「いずれもない」は37.2%で最も高くなっています。

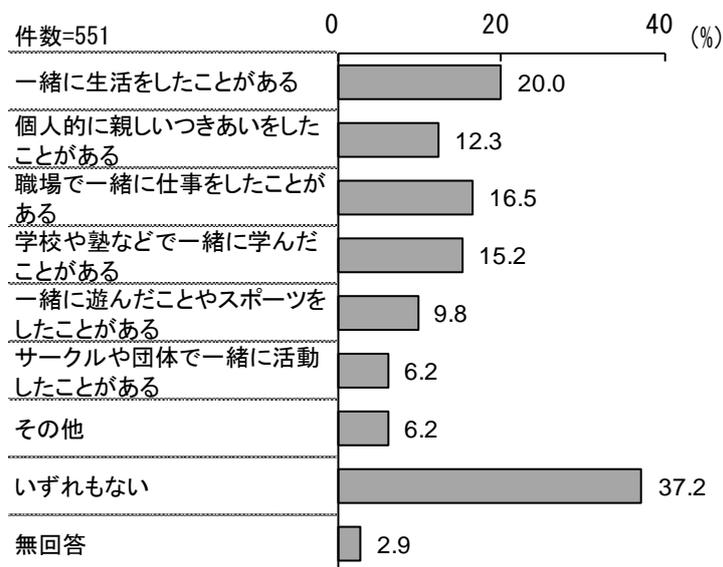


図 1-6 障害者との接点

性別・年齢別で見ると、性別では「職場で一緒に仕事をしたことがある」は男性（21.7%）が女性（13.0%）より8.7ポイント高くなっています。

年齢別では「学校や塾などで一緒に仕事をしたことがある」は20歳代（50.0%）、30歳代（33.8%）で高く、「職場で一緒に仕事をしたことがある」は50歳代が29.4%で高くなっています。

表 1-6 障害者との接点(性別・年齢別・地区別)

		件数	一緒に生活をしたことがある	個人的に親しいつきあいをしたことがある	職場で一緒に仕事をしたことがある	学校や塾などで一緒に学んだことがある	一緒に遊んだことやスポーツをしたことがある	サークルや団体と一緒に活動したことがある	その他	いずれもない	無回答
(件、%)											
全 体		551	20.0	12.3	16.5	15.2	9.8	6.2	6.2	37.2	2.9
性別	男性	235	22.1	13.2	21.7	20.0	9.8	4.7	2.6	34.0	0.9
	女性	308	18.8	11.7	13.0	12.0	10.1	7.5	9.1	40.6	2.3
年齢別	20歳代	34	14.7	11.8	11.8	50.0	11.8	2.9	2.9	14.7	-
	30歳代	65	16.9	7.7	20.0	33.8	12.3	4.6	1.5	30.8	-
	40歳代	104	25.0	12.5	21.2	18.3	13.5	4.8	6.7	32.7	-
	50歳代	68	20.6	16.2	29.4	11.8	5.9	8.8	10.3	32.4	-
	60歳代	120	25.8	10.8	14.2	9.2	9.2	5.8	7.5	40.0	2.5
	70歳以上	144	15.3	13.9	10.4	2.1	6.9	6.9	4.9	51.4	4.2
地区別	犬山地区	253	18.6	11.9	16.6	16.6	8.7	7.1	5.5	36.4	1.6
	城東地区	112	23.2	16.1	19.6	12.5	13.4	8.9	4.5	35.7	0.9
	羽黒地区	98	23.5	12.2	14.3	18.4	9.2	3.1	6.1	42.9	1.0
	楽田地区	70	17.1	10.0	18.6	10.0	7.1	4.3	11.4	40.0	4.3
	池野地区	6	16.7	16.7	-	50.0	33.3	-	16.7	-	-

1-7 障害者福祉に対する関心

問7 あなたは障害者福祉に対して関心がありますか。(1つだけ)

障害者福祉に対する関心については、「ある程度関心がある」が46.8%で、これに「とても関心がある」(12.2%)を合わせた『関心がある』が59.0%、一方、「あまり関心がない」が23.4%で、これに「全く関心がない」(2.5%)を合わせた『関心がない』が25.9%となっています。

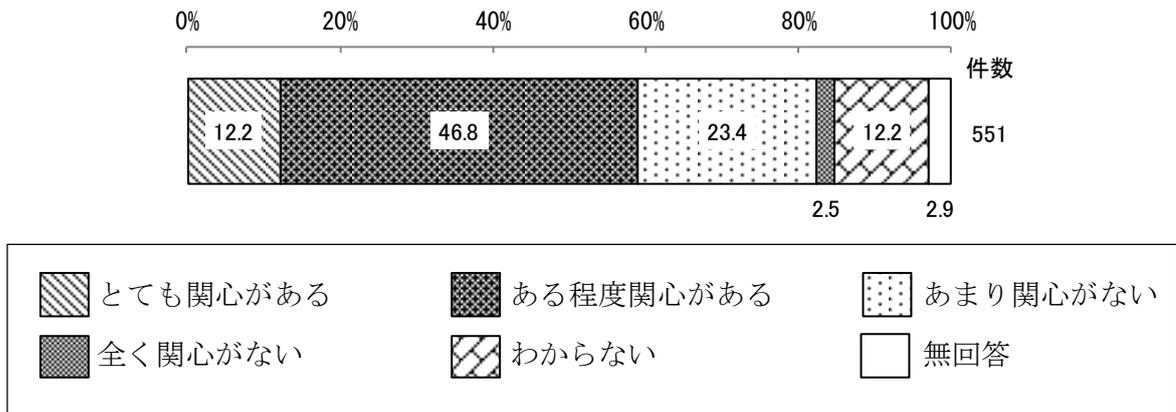


図 1-7 障害者福祉に対する関心

性別・年齢別でみると、性別では『関心がない』は男性(33.2%)が女性(20.8%)より12.4ポイント高くなっています。

年齢別では『関心がない』は30歳代(38.4%)、40歳代(35.6%)で高くなっています。

表 1-7 障害者福祉に対する関心(性別・年齢別)

		件数	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
		(件、%)						
全体		551	12.2	46.8	23.4	2.5	12.2	2.9
性別	男性	235	11.5	43.4	29.4	3.8	10.2	1.7
	女性	308	12.3	50.0	19.2	1.6	14.0	2.9
年齢別	20歳代	34	11.8	50.0	23.5	8.8	5.9	-
	30歳代	65	4.6	44.6	33.8	4.6	12.3	-
	40歳代	104	12.5	39.4	34.6	1.0	8.7	3.8
	50歳代	68	13.2	51.5	20.6	4.4	10.3	-
	60歳代	120	15.0	52.5	18.3	2.5	9.2	2.5
	70歳以上	144	12.5	47.2	15.3	0.7	20.1	4.2

1-8 障害者福祉に関心がある理由

問7-1 問7で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から関心がありますか。(すべて)

障害者福祉に関心がある理由については、「自分の身内や近所、知り合いに障害のある方がいるから」が54.2%で最も高く、次いで「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」が43.1%、「障害者福祉の制度に興味があるから」が13.8%、「自分自身が福祉に関する職業についているから」が11.7%、「県や市の広報で障害のある方に関することを目にするから」が10.8%などとなっています。

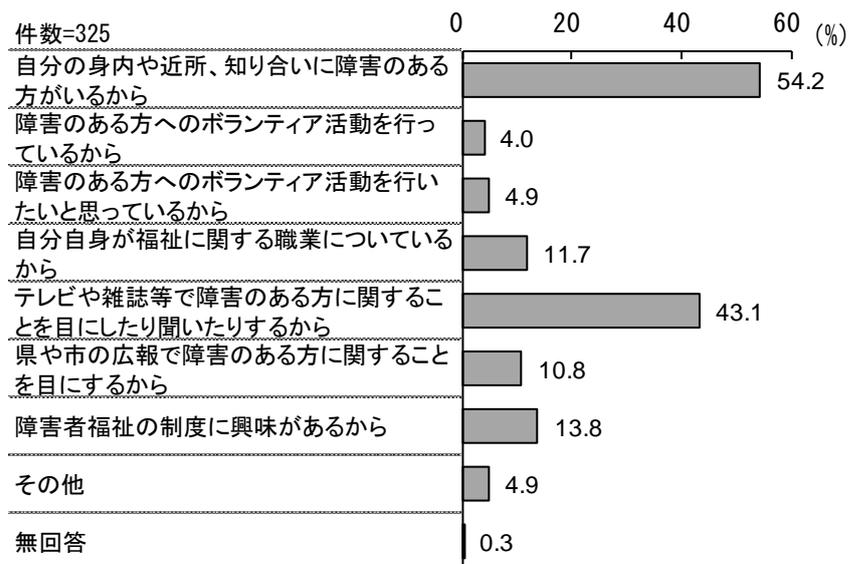


図 1-8 障害者福祉に関心がある理由

性別・年齢別でみると、性別では「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」は男性（46.5%）が女性（41.7%）より4.8ポイント高くなっています。

年齢別では「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」は70歳以上が58.1%で6割弱と高くなっています。

表 1-8 障害者福祉に関心がある理由(性別・年齢別・地区別)

		件数	に自分の身内や近所、知り合い	障害のある方へのボランティア	障害のある方へのボランティア	自分自身が福祉に関する職業	聞いたりするから	テレビや雑誌等で障害のある方	に県や市の広報で障害のある方	障害者福祉の制度に興味があるから	その他	無回答
		(件、%)										
全体		325	54.2	4.0	4.9	11.7	43.1	10.8	13.8	4.9	0.3	
性別	男性	129	53.5	2.3	3.1	10.1	46.5	10.9	14.0	4.7	-	
	女性	192	54.7	4.7	5.7	12.5	41.7	10.9	13.5	4.7	0.5	
年齢別	20歳代	21	38.1	9.5	4.8	23.8	28.6	-	9.5	4.8	-	
	30歳代	32	50.0	-	9.4	6.3	46.9	3.1	9.4	9.4	-	
	40歳代	54	59.3	5.6	9.3	16.7	37.0	5.6	16.7	1.9	-	
	50歳代	44	61.4	4.5	2.3	11.4	36.4	-	6.8	6.8	-	
	60歳代	81	54.3	3.7	3.7	12.3	38.3	13.6	16.0	2.5	1.2	
	70歳以上	86	54.7	2.3	2.3	7.0	58.1	23.3	16.3	4.7	-	
地区別	犬山地区	144	50.7	3.5	3.5	11.1	39.6	9.7	12.5	7.6	0.7	
	城東地区	75	56.0	4.0	2.7	13.3	45.3	18.7	14.7	1.3	-	
	羽黒地区	56	50.0	3.6	7.1	7.1	53.6	5.4	12.5	5.4	-	
	楽田地区	43	65.1	4.7	7.0	14.0	41.9	9.3	18.6	2.3	-	
	池野地区	3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	

1-9 健康診断の受診状況

問8 あなたは毎年、健康診断を受けていますか。また、受けていないと答えた方は、その理由は何か。

健康診断の受診状況については、「受けている」が74.4%、「受けていない」が23.2%となっています。

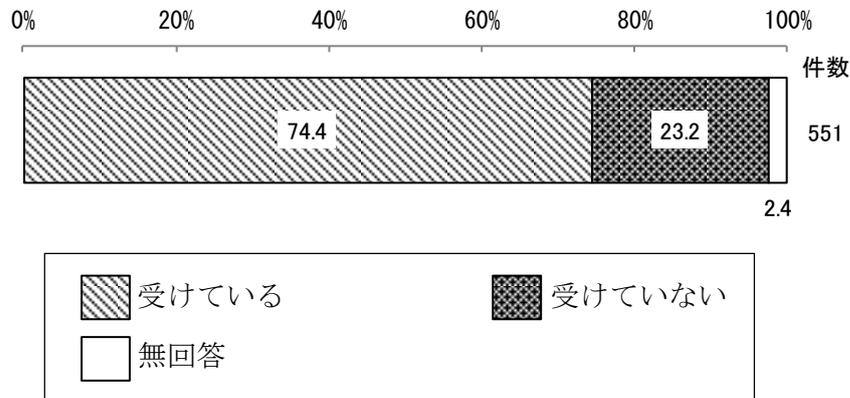


図 1-9-1 健康診断の受診状況

性別・年齢別で見ると、性別では「受けている」は男性（81.3%）が女性（69.8%）より11.5ポイント高くなっています。

年齢別では「受けている」は50歳代が88.2%で約9割と高くなっています。

表 1-9-1 健康診断の受診状況(性別・年齢別)

		件数	受けている (%)	受けていない (%)	無回答 (%)
		(件、%)			
全体		551	74.4	23.2	2.4
性別	男性	235	81.3	17.9	0.9
	女性	308	69.8	27.6	2.6
年齢別	20歳代	34	67.6	32.4	-
	30歳代	65	72.3	27.7	-
	40歳代	104	74.0	21.2	4.8
	50歳代	68	88.2	11.8	-
	60歳代	120	70.8	26.7	2.5
	70歳以上	144	75.7	22.9	1.4

【健康診断を受けていない理由】

健康診断を受けていない理由については、「自覚症状がないため」が43.0%で最も高く、次いで「既に病院にかかっているため」が28.1%、「費用を負担してまで、受けたくないため」が18.0%、「健康診断等の情報がわからないため」が16.4%、「健康診断の時間内にいけないため」が12.5%などとなっています。

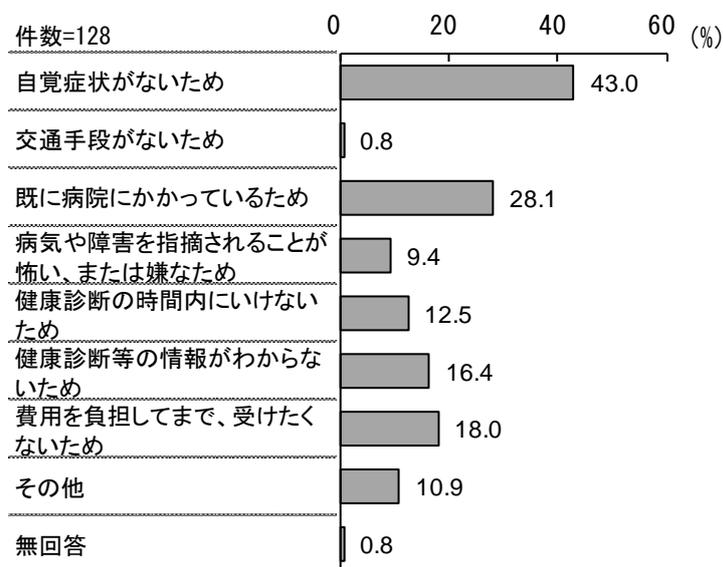


図 1-9-2 健康診断を受けていない理由

性別・年齢別でみると、性別では男性は「既に病院にかかっているため」(35.7%)、「健康診断の時間内にいけないため」(21.4%)で、女性は「自覚症状がないため」(45.9%)、「病気や障害を指摘されることが怖い、または嫌なため」(12.9%)、「健康診断等の情報がわからないため」(18.8%)が高くなっています。

表 1-9-2 健康診断を受けていない理由(性別・年齢別)

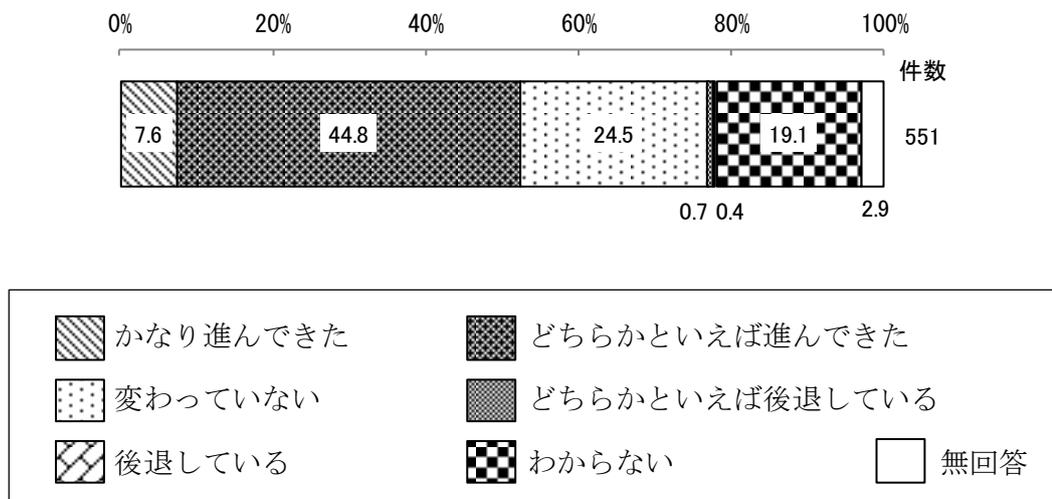
(件、%)		件数	自覚症状がないため	交通手段がないため	既に病院にかかっているため	病気や障害を指摘されることが怖い、または嫌なため	健康診断の時間内にいけないため	健康診断等の情報がわからないため	費用を負担してまで、受けたくないため	その他	無回答
全 体		128	43.0	0.8	28.1	9.4	12.5	16.4	18.0	10.9	0.8
性別	男性	42	35.7	2.4	35.7	2.4	21.4	11.9	19.0	11.9	-
	女性	85	45.9	-	23.5	12.9	8.2	18.8	17.6	10.6	1.2
年齢別	20歳代	11	54.5	-	-	9.1	9.1	18.2	18.2	27.3	-
	30歳代	18	27.8	-	-	5.6	27.8	50.0	33.3	5.6	-
	40歳代	22	22.7	4.5	13.6	18.2	13.6	18.2	18.2	9.1	-
	50歳代	8	50.0	-	12.5	-	37.5	25.0	25.0	25.0	-
	60歳代	32	59.4	-	37.5	6.3	9.4	3.1	18.8	9.4	-
	70歳以上	33	42.4	-	57.6	12.1	3.0	6.1	6.1	9.1	-

2 障害のある方への意識について

2-1 地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え

問9 あなたは地域社会の中で障害のある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。
(1つだけ)

地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考えについては、「どちらかといえば進んできた」が44.8%で最も高く、これに「かなり進んできた」(7.6%)を合わせた『進んできた』が52.4%となっています。一方、「どちらかといえば後退している」(0.7%)と「後退している」(0.4%)を合わせた『後退している』は1.1%となっています。



性別・年齢別・地区別で見ると、性別では『進んできた』は男性(56.1%)が女性(50.6%)より5.5ポイント高くなっています。

年齢別では『進んできた』は60歳代が60.0%でやや高くなっています。

地区別では『進んできた』は犬山地区が55.3%でやや高くなっています。

表 2-1 地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え(性別・年齢別・地区別)

		件数	かなり進んできた	どちらかといえば進んできた	変わっていない	どちらかといえば後退している	後退している	わからない	無回答
		(件、%)							
全体		551	7.6	44.8	24.5	0.7	0.4	19.1	2.9
性別	男性	235	8.9	47.2	26.0	-	0.4	16.2	1.3
	女性	308	6.8	43.8	23.1	1.3	-	21.8	3.2
年齢別	20歳代	34	8.8	47.1	32.4	-	-	11.8	-
	30歳代	65	3.1	49.2	30.8	-	-	16.9	-
	40歳代	104	1.9	43.3	33.7	1.9	-	16.3	2.9
	50歳代	68	7.4	51.5	23.5	2.9	1.5	13.2	-
	60歳代	120	11.7	48.3	18.3	-	-	19.2	2.5
	70歳以上	144	11.1	41.0	17.4	-	-	25.7	4.9
地区別	犬山地区	253	7.5	47.8	21.7	-	0.4	19.8	2.8
	城東地区	112	8.9	44.6	27.7	1.8	-	14.3	2.7
	羽黒地区	98	6.1	40.8	25.5	1.0	-	23.5	3.1
	楽田地区	70	7.1	45.7	25.7	1.4	-	20.0	-
	池野地区	6	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-

2-2 地域社会の障害者に対する差別

問10 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由とする差別があると思いますか。
(いずれかに○)

地域社会の障害者に対する差別については、「ある」が64.2%、「ない」が29.6%となっています

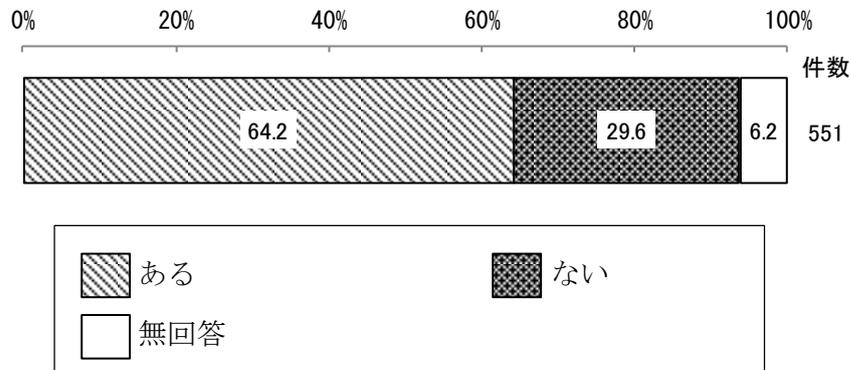


図 2-2 地域社会の障害者に対する差別

性別・年齢別・地区別で見ると、年齢別では「ある」は30歳代（81.5%）が8割以上で高くなっています。

表 2-2 地域社会の障害者に対する差別（性別・年齢別・地区別）

		件数	ある	ない	無回答
(件、%)					
全体		551	64.2	29.6	6.2
性別	男性	235	66.8	28.9	4.3
	女性	308	62.7	30.5	6.8
年齢別	20歳代	34	76.5	23.5	-
	30歳代	65	81.5	18.5	-
	40歳代	104	68.3	28.8	2.9
	50歳代	68	77.9	17.6	4.4
	60歳代	120	69.2	25.8	5.0
	70歳以上	144	41.0	46.5	12.5
地区別	犬山地区	253	65.2	30.4	4.3
	城東地区	112	67.0	26.8	6.3
	羽黒地区	98	59.2	31.6	9.2
	楽田地区	70	65.7	30.0	4.3
	池野地区	6	50.0	33.3	16.7

2-3 差別を感じる時

問10-1 問10で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。
(すべて)

差別を感じる時については、「仕事や収入」が73.2%で最も高く、次いで「まちなかでの視線」が50.8%、「人間関係」が43.2%、「交通機関の利用」が32.5%、「教育の場」が28.8%などとなっています。

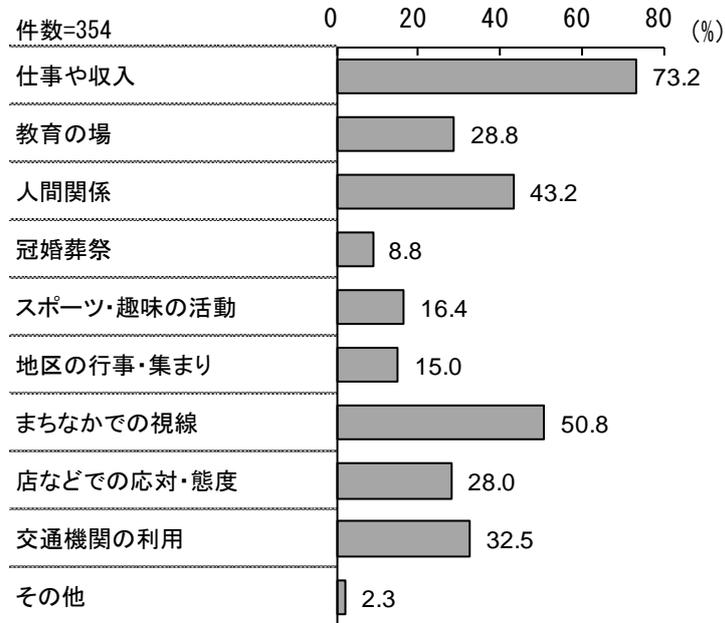


図 2-3 差別を感じる時

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「スポーツ・趣味の活動」は男性（21.7%）が女性（11.9%）より9.8ポイント高くなっています。

年齢別では「まちなかでの視線」は30歳代で、「仕事や収入」「人間関係」は40歳代で、「交通機関の利用」は50歳代でそれぞれ高くなっています。

地区別では「仕事や収入」は城東地区で、「人間関係」「店などでの対応・態度」「交通機関の利用」は羽黒地区で高くなっています。

表 2-3 差別を感じる時(性別・年齢別・地区別)

		件数	仕事や収入	教育の場	人間関係	冠婚葬祭	スポーツ・趣味の活動	地区の行事・集まり	まちなかでの視線	店などでの対応・態度	交通機関の利用	その他
		(件、%)										
全体		354	73.2	28.8	43.2	8.8	16.4	15.0	50.8	28.0	32.5	2.3
性別	男性	157	76.4	29.3	47.8	12.7	21.7	15.3	52.2	27.4	31.8	1.9
	女性	193	70.5	28.5	39.9	5.7	11.9	15.0	49.7	29.0	33.7	2.6
年齢別	20歳代	26	50.0	42.3	46.2	-	7.7	7.7	57.7	30.8	19.2	-
	30歳代	53	75.5	39.6	45.3	7.5	11.3	13.2	60.4	34.0	32.1	3.8
	40歳代	71	84.5	36.6	54.9	11.3	19.7	16.9	49.3	35.2	32.4	-
	50歳代	53	75.5	28.3	37.7	15.1	17.0	13.2	43.4	26.4	43.4	1.9
	60歳代	83	78.3	24.1	36.1	9.6	20.5	14.5	43.4	26.5	33.7	2.4
	70歳以上	59	61.0	13.6	44.1	5.1	13.6	20.3	55.9	18.6	30.5	5.1
地区別	犬山地区	165	66.7	29.7	41.2	8.5	13.9	16.4	46.1	26.7	27.3	2.4
	城東地区	75	84.0	22.7	49.3	10.7	18.7	14.7	56.0	26.7	36.0	-
	羽黒地区	58	81.0	29.3	53.4	10.3	22.4	13.8	53.4	41.4	46.6	1.7
	楽田地区	46	69.6	37.0	34.8	6.5	13.0	15.2	56.5	21.7	28.3	4.3
	池野地区	3	100.0	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	66.7	-

2-4 障害者に対する支援の考え

問11 障害のある方に対する支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(1つだけ)

障害者に対する支援の考えについては、「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」が40.8%で最も高く、次いで「できる範囲で支援したい」が27.6%、「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」が15.6%などとなっています。

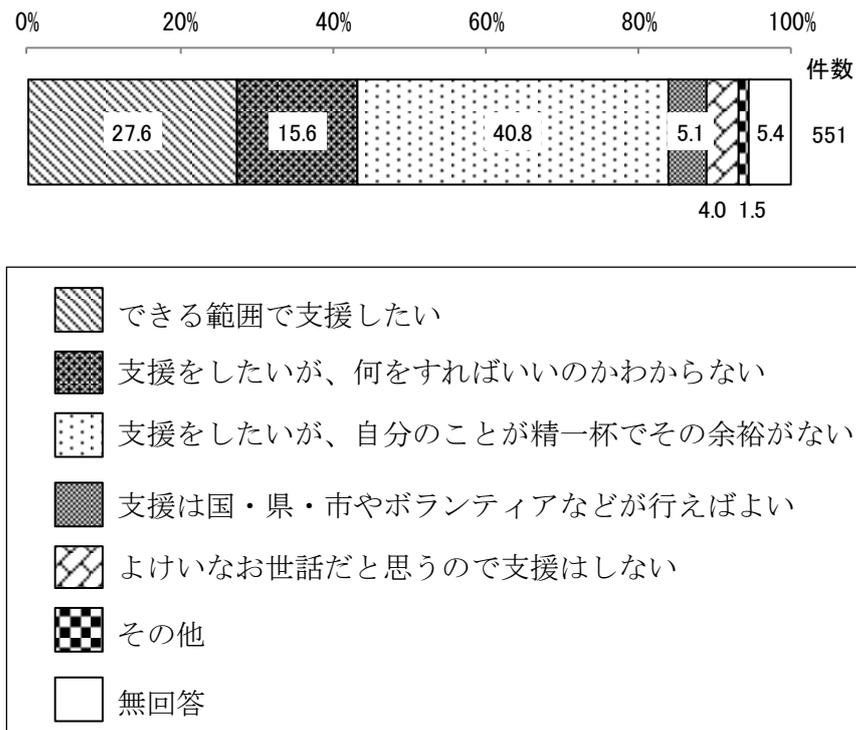


図 2-4 障害者に対する支援の考え

性別・年齢別・地区別でみると、年齢別では「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」は20歳代が29.4%で約3割と高くなっています。

表 2-4 障害者に対する支援の考え(性別・年齢別・地区別)

(件、%)		件数	できる範囲で支援したい	いいのかわからないが、何をすれば	が支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない	支援は国・県・市やボランティアなどが行えばよい	よけいな世話だと思うので支援はしない	その他	無回答
全 体		551	27.6	15.6	40.8	5.1	4.0	1.5	5.4
性別	男性	235	26.8	14.9	40.4	6.0	6.0	2.6	3.4
	女性	308	27.6	16.6	41.9	4.5	2.6	0.6	6.2
年齢別	20歳代	34	23.5	29.4	29.4	11.8	5.9	-	-
	30歳代	65	20.0	18.5	43.1	7.7	7.7	-	3.1
	40歳代	104	31.7	14.4	35.6	3.8	5.8	2.9	5.8
	50歳代	68	33.8	23.5	27.9	5.9	4.4	-	4.4
	60歳代	120	32.5	12.5	42.5	5.0	2.5	-	5.0
	70歳以上	144	21.5	11.8	51.4	3.5	2.1	3.5	6.3
地区別	犬山地区	253	28.9	17.0	40.3	4.3	4.7	1.6	3.2
	城東地区	112	29.5	15.2	41.1	6.3	2.7	0.9	4.5
	羽黒地区	98	18.4	15.3	44.9	6.1	2.0	2.0	11.2
	柴田地区	70	28.6	14.3	40.0	5.7	5.7	1.4	4.3
	池野地区	6	50.0	-	33.3	-	16.7	-	-

3 障害のある方との関わりについて

3-1 障害者を手助けした経験

問12 あなたは日常生活の中で、障害のある方の手助けをしたことがありますか。
(いずれかに○)

障害者を手助けした経験については、「ある」が40.8%、「ない」が54.3%となっています。

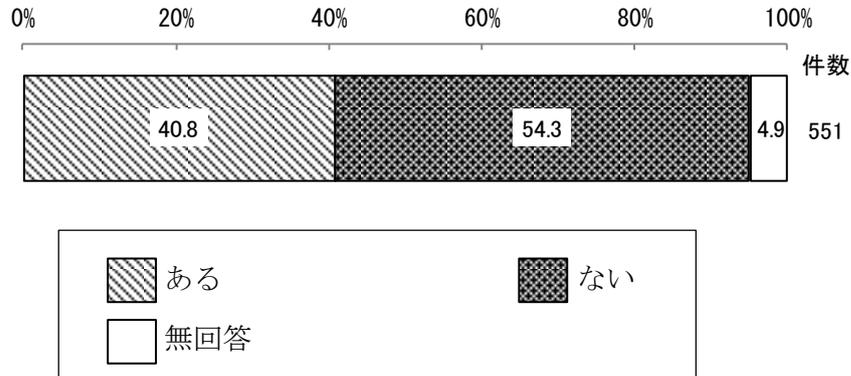


図 3-1 障害者を手助けした経験

性別・年齢別・地区別で見ると、「ある」は20歳代（52.9%）のみ5割以上で「ない」より高くなっています。

表 3-1 障害者を手助けした経験(性別・年齢別・地区別)

		件数	ある	ない	無回答
		(件、%)			
全 体		551	40.8	54.3	4.9
性別	男性	235	38.3	56.6	5.1
	女性	308	42.9	52.9	4.2
年齢別	20歳代	34	52.9	47.1	-
	30歳代	65	38.5	53.8	7.7
	40歳代	104	49.0	49.0	1.9
	50歳代	68	42.6	51.5	5.9
	60歳代	120	45.8	52.5	1.7
	70歳以上	144	29.9	61.8	8.3
地区別	犬山地区	253	42.7	51.4	5.9
	城東地区	112	42.0	56.3	1.8
	羽黒地区	98	35.7	60.2	4.1
	楽田地区	70	37.1	57.1	5.7
	池野地区	6	83.3	16.7	-

3-2 手助けの内容

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたが実際に行った手助けは何ですか。(すべて)

手助けの内容については、「車いすを押す」が46.7%で最も高く、次いで「外出時の援助(送迎を含む)」が41.8%、「身体的な介助(着替え・食事など)」が36.4%、「話し相手」が36.0%、「家事の援助(掃除・洗濯・調理・育児など)」が28.4%などとなっています。

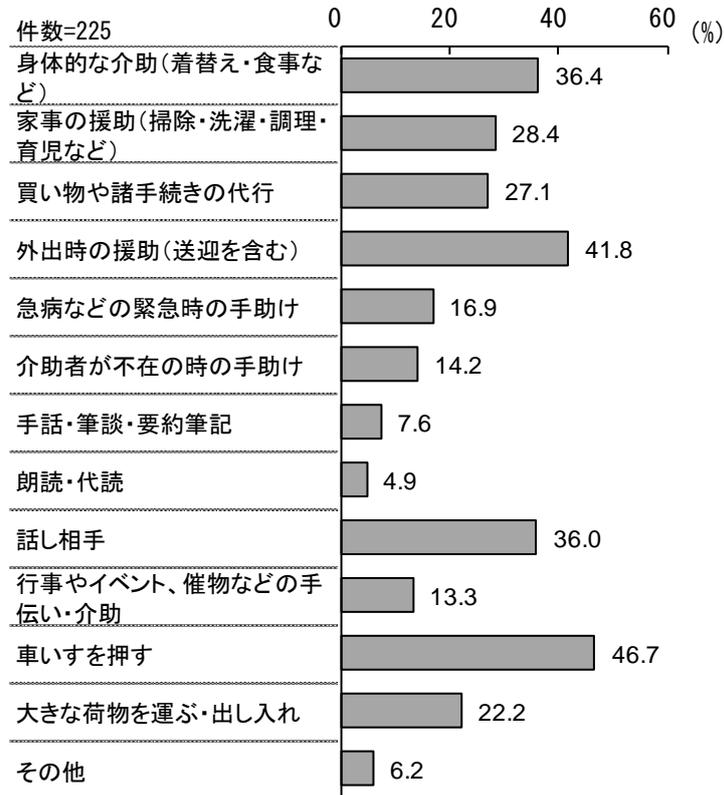


図 3-2 手助けの内容

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「外出の援助（送迎を含む）」（47.8%）、「大きな荷物を運ぶ・出し入れ」（32.2%）は男性が、「身体的な介助（着替え・食事など）」（40.9%）、「車いすを押す」（51.1%）は女性が高くなっています。

年齢別では「身体的な介助（着替え・食事など）」「車いすを押す」は60歳代で5割以上と高く、「外出の援助（送迎を含む）」「急病などの緊急時の手助け」は70歳以上で高くなっています。

表 3-2 手助けの内容(性別・年齢別・地区別)

		件数	身体的な介助（着替え・食事など）	家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）	買い物や諸手続きの代行	外出時の援助（送迎を含む）	急病などの緊急時の手助け	介助者が不在の時の手助け	手話・筆談・要約筆記	朗読・代読	話し相手	行事やイベント、催物などの手伝い・介助	車いすを押す	大きな荷物を運ぶ・出し入れ	その他
		(件、%)													
全体		225	36.4	28.4	27.1	41.8	16.9	14.2	7.6	4.9	36.0	13.3	46.7	22.2	6.2
性別	男性	90	30.0	25.6	27.8	47.8	18.9	14.4	5.6	3.3	35.6	14.4	40.0	32.2	4.4
	女性	132	40.9	30.3	26.5	38.6	15.9	14.4	9.1	6.1	36.4	12.1	51.5	15.2	7.6
年齢別	20歳代	18	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	11.1	22.2	-	50.0	5.6	33.3	22.2	5.6
	30歳代	25	24.0	20.0	16.0	24.0	8.0	12.0	8.0	4.0	44.0	12.0	32.0	44.0	4.0
	40歳代	51	41.2	33.3	31.4	43.1	17.6	13.7	9.8	7.8	37.3	13.7	49.0	27.5	3.9
	50歳代	29	24.1	37.9	34.5	48.3	10.3	13.8	10.3	3.4	27.6	20.7	48.3	17.2	10.3
	60歳代	55	52.7	32.7	30.9	47.3	20.0	12.7	1.8	3.6	40.0	9.1	58.2	9.1	1.8
	70歳以上	43	37.2	25.6	25.6	53.5	27.9	20.9	4.7	7.0	25.6	14.0	44.2	23.3	11.6
地区別	犬山地区	108	34.3	25.0	23.1	37.0	12.0	17.6	6.5	5.6	35.2	13.0	42.6	25.0	6.5
	城東地区	47	31.9	38.3	29.8	44.7	23.4	10.6	12.8	8.5	40.4	17.0	48.9	19.1	4.3
	羽黒地区	35	42.9	22.9	25.7	42.9	20.0	14.3	8.6	-	28.6	11.4	51.4	14.3	5.7
	楽田地区	26	46.2	30.8	42.3	61.5	26.9	7.7	3.8	3.8	38.5	7.7	46.2	23.1	11.5
	池野地区	5	40.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	60.0	20.0	100.0	40.0	-

3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向

問13 今後、障害のある方にかかわるボランティア活動に参加したいと思いますか。
(1つだけ)

障害者に関わるボランティア活動への参加意向については、「参加したい」が18.1%、「参加したいとは思わない」が23.4%となっています。また、「わからない」が54.6%で最も高くなっています。

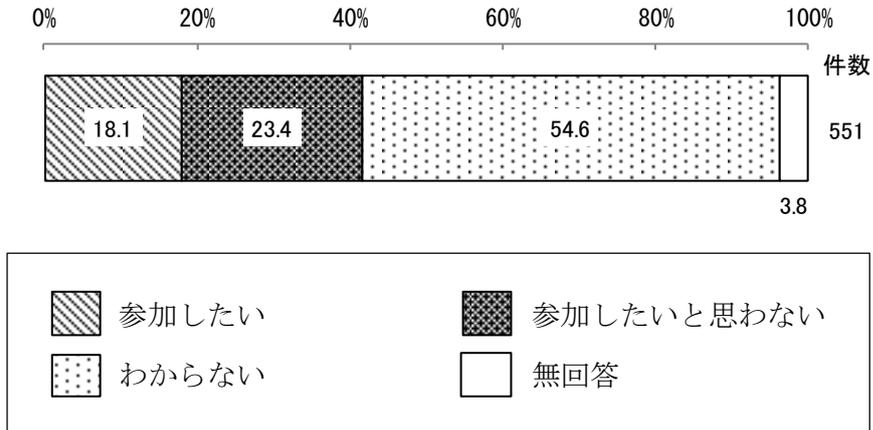


図 3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向

性別・年齢別・地区別で見ると、性別では「参加したいと思わない」は男性（28.5%）が女性（19.8%）より8.7ポイント高くなっています。

年齢別では「参加したい」は50歳代（26.5%）、60歳代（24.2%）がやや高く、「参加したい」が「参加したいと思わない」を上回っています。

表 3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向(性別・年齢別・地区別)

		件数	参加したい	参加したいと思わない	わからない	無回答
(件、%)						
全 体		551	18.1	23.4	54.6	3.8
性別	男性	235	17.4	28.5	51.9	2.1
	女性	308	18.2	19.8	57.5	4.5
年齢別	20歳代	34	23.5	32.4	41.2	2.9
	30歳代	65	7.7	26.2	60.0	6.2
	40歳代	104	17.3	21.2	58.7	2.9
	50歳代	68	26.5	17.6	48.5	7.4
	60歳代	120	24.2	20.8	54.2	0.8
	70歳以上	144	11.8	27.8	56.9	3.5
地区別	犬山地区	253	20.2	24.1	51.4	4.3
	城東地区	112	16.1	17.0	66.1	0.9
	羽黒地区	98	14.3	24.5	59.2	2.0
	楽田地区	70	18.6	28.6	45.7	7.1
	池野地区	6	16.7	50.0	33.3	-

3-4 参加したいボランティア活動

問13-1 問13で「1. 参加したい」と答えた方にお聞きします。どのようなボランティア活動に参加したいですか。(すべて)

参加したいボランティア活動については、「話し相手」が55.0%で最も高く、次いで「スポーツ・イベントなどの手伝いや介助」が42.0%、「学習活動・趣味活動などの介助」「災害時の援助」がそれぞれ38.0%、「外出時の援助（送迎を含む）」が27.0%などとなっています。

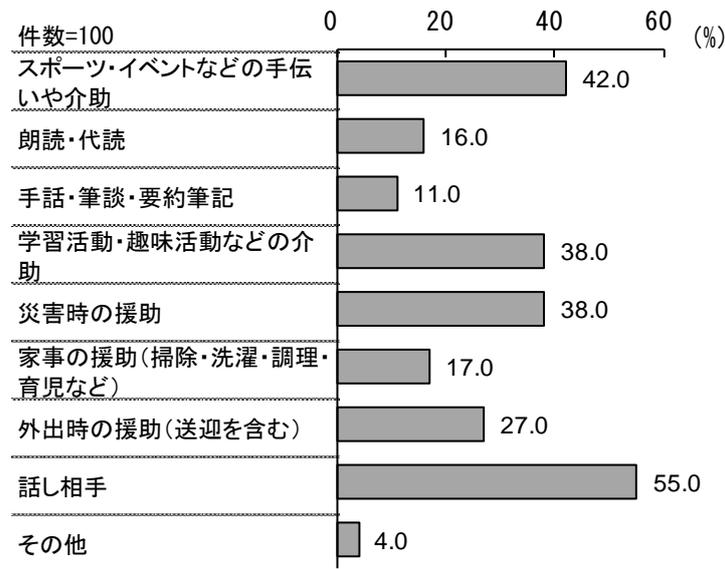


図 3-4 参加したいボランティア活動

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「スポーツ・イベントなどの手伝いや介助」以外は男女の差が大きく、「学習活動・趣味活動などの介助」「災害時の援助」「外出時の援助（送迎を含む）」は男性が高く、「朗読・代読」「手話・筆談・要約筆記」「家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）」「話し相手」は女性が高くなっています。

表 3-4 参加したいボランティア活動(性別・年齢別・地区別)

		件数	スポーツ・イベントなどの手伝いや介助	朗読・代読	手話・筆談・要約筆記	学習活動・趣味活動などの介助	災害時の援助	家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）	外出時の援助（送迎を含む）	話し相手	その他
(件、%)											
全体		100	42.0	16.0	11.0	38.0	38.0	17.0	27.0	55.0	4.0
性別	男性	41	43.9	4.9	4.9	43.9	53.7	9.8	34.1	48.8	4.9
	女性	56	41.1	25.0	16.1	32.1	25.0	23.2	23.2	58.9	3.6
年齢別	20歳代	8	62.5	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	62.5	-
	30歳代	5	20.0	-	-	80.0	-	-	-	20.0	-
	40歳代	18	50.0	22.2	33.3	55.6	61.1	16.7	33.3	61.1	-
	50歳代	18	50.0	16.7	16.7	27.8	44.4	22.2	27.8	50.0	5.6
	60歳代	29	37.9	10.3	3.4	34.5	34.5	24.1	27.6	55.2	3.4
	70歳以上	17	29.4	23.5	5.9	35.3	29.4	11.8	47.1	58.8	11.8
地区別	犬山地区	51	37.3	21.6	9.8	35.3	41.2	17.6	27.5	54.9	2.0
	城東地区	18	55.6	11.1	11.1	44.4	27.8	5.6	16.7	61.1	11.1
	羽黒地区	14	57.1	-	-	42.9	35.7	14.3	50.0	57.1	-
	楽田地区	13	30.8	23.1	30.8	30.8	38.5	38.5	23.1	38.5	7.7
	池野地区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

4 情報収集や通信機器の利用について

4-1 福祉サービスに関する情報の入手先

問14 福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか。(すべて)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市や県の広報・パンフレット」が50.3%で最も高く、次いで「新聞・雑誌・本」が36.7%、「テレビ・ラジオ」が36.3%、「家族・友人・知人」が15.4%、「インターネット（市のホームページ以外）」「病院・診療所・クリニック」がともに14.5%などとなっています。

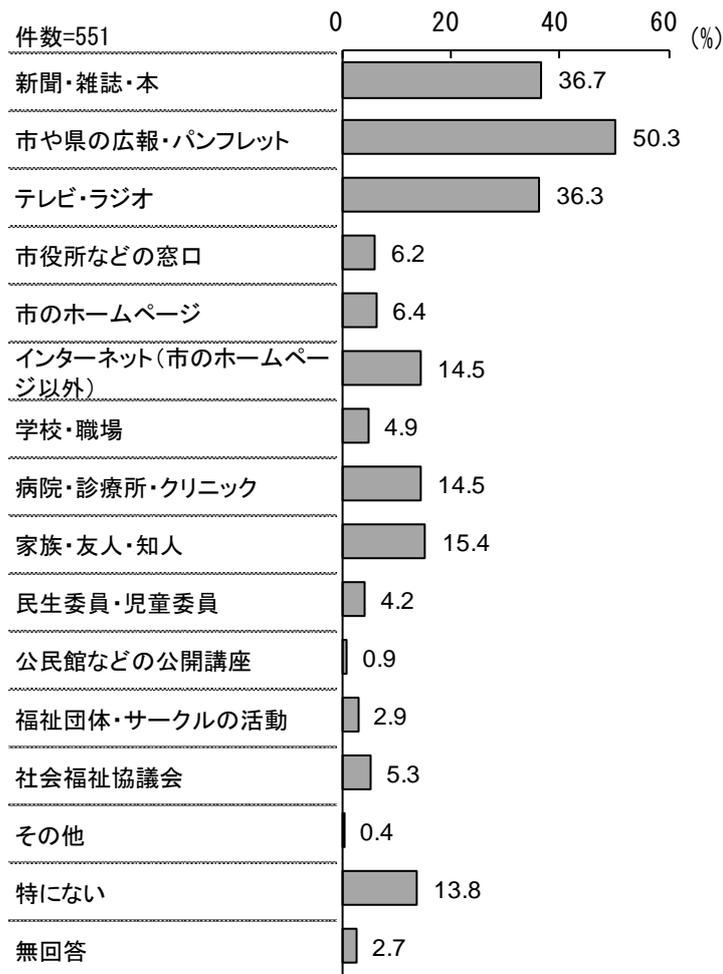


図 4-1 福祉サービスに関する情報の入手先

性別で見ると、「家族・友人・知人」は女性（19.8%）が男性（9.8%）より10.0ポイント高くなっています。

表 4-1-1 福祉サービスに関する情報の入手先(性別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
性別	男性	235	38.7	46.4	37.9	5.1	9.4	18.3	5.1	11.5
	女性	308	34.7	53.2	35.7	7.1	4.2	12.0	4.9	17.2
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
性別	男性	235	9.8	4.7	1.3	4.3	5.5	0.4	13.6	1.3
	女性	308	19.8	3.9	0.6	1.9	5.2	0.3	14.3	3.2

年齢別でみると「新聞・雑誌・本」は60歳代が50.0%で5割以上と高く、「市や県の広報・パンフレット」は60歳代、50歳代で6割以上と高くなっています。また、「特にない」は20歳代（26.5%）、30歳代（27.7%）で2割以上と高くなっています。

表 4-1-2 福祉サービスに関する情報の入手先(年齢別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
年齢別	20歳代	34	8.8	23.5	26.5	2.9	8.8	23.5	8.8	5.9
	30歳代	65	21.5	24.6	35.4	3.1	7.7	23.1	3.1	15.4
	40歳代	104	27.9	45.2	35.6	6.7	6.7	23.1	11.5	9.6
	50歳代	68	35.3	63.2	30.9	4.4	5.9	20.6	7.4	19.1
	60歳代	120	50.0	61.7	40.0	6.7	5.8	8.3	1.7	18.3
	70歳以上	144	45.8	57.6	41.0	9.0	6.3	5.6	0.7	16.0
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
年齢別	20歳代	34	23.5	2.9	-	-	-	-	26.5	-
	30歳代	65	10.8	1.5	-	-	-	-	27.7	4.6
	40歳代	104	17.3	1.9	1.0	4.8	3.8	-	13.5	1.9
	50歳代	68	14.7	1.5	2.9	2.9	4.4	1.5	5.9	4.4
	60歳代	120	13.3	5.0	-	3.3	7.5	0.8	10.8	2.5
	70歳以上	144	16.7	8.3	1.4	3.5	9.0	-	10.4	1.4

地区別でみると「新聞・雑誌・本」は城東地区が47.3%で高くなっています。

表 4-1-3 福祉サービスに関する情報の入手先(地区別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット(市のホームページ以外)	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
地区別	犬山地区	253	32.0	44.3	33.6	5.5	7.9	17.8	4.0	11.5
	城東地区	112	47.3	56.3	43.8	8.9	4.5	12.5	8.9	19.6
	羽黒地区	98	35.7	55.1	39.8	3.1	4.1	9.2	3.1	11.2
	楽田地区	70	41.4	57.1	35.7	5.7	5.7	15.7	4.3	22.9
	池野地区	6	-	50.0	16.7	33.3	-	16.7	16.7	16.7
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
地区別	犬山地区	253	16.6	3.6	0.8	4.0	6.3	0.8	16.2	3.6
	城東地区	112	12.5	5.4	0.9	2.7	6.3	-	8.0	-
	羽黒地区	98	18.4	4.1	-	1.0	2.0	-	15.3	3.1
	楽田地区	70	11.4	4.3	1.4	2.9	4.3	-	11.4	1.4
	池野地区	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-

5 障害のある方を取り巻く環境について

5-1 障害に関する言葉の認知

問15 あなたは次にあげる言葉などをご存知ですか。(すべて)

障害に関する言葉の認知については、「身体障害者手帳」が85.1%で最も高く、次いで「パラリンピック・スペシャルオリンピックス」が80.8%、「障害福祉サービス」が39.9%、「自立支援医療」が29.9%、「ユニバーサルデザイン」が29.6%などとなっています。

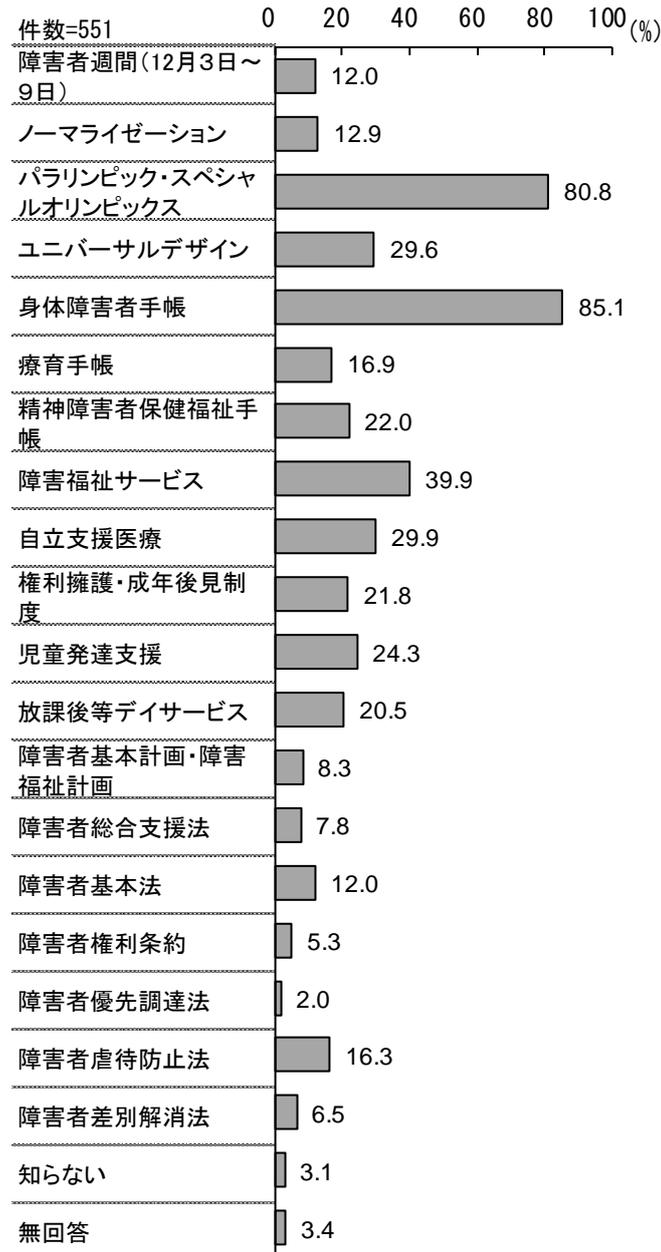


図 5-1 障害に関する言葉の認知

性別で見ると「児童発達支援」は女性（27.9%）が男性（20.4%）より7.5ポイント高くなっています。

表 5-1-1 障害に関する言葉の認知(性別)

		件数	障害者週間（12月3日～9日）	ノーマライゼーション	パラリンピック・スペシャル	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援
(件、%)													
全 体		551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3
性別	男性	235	14.9	10.2	80.9	29.4	85.5	12.8	18.3	40.9	28.5	19.6	20.4
	女性	308	10.1	14.9	81.2	30.5	85.4	19.8	24.7	39.6	30.8	23.7	27.9
		件数	放課後等デイサービス	画 障害者基本計画・障害福祉計	障害者総合支援法	障害者基本法	障害者権利条約	障害者優先調達法	障害者虐待防止法	障害者差別解消法	知らない	無回答	
全 体		551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4	
性別	男性	235	18.7	8.9	7.7	11.9	5.1	1.7	13.6	8.1	3.8	2.6	
	女性	308	22.1	7.5	8.1	12.3	5.5	2.3	18.5	5.5	2.6	3.6	

年齢別でみると「ノーマライゼーション」「ユニバーサルデザイン」「障害福祉サービス」「放課後等デイサービス」は20歳代が最も高くなっています。また、「ユニバーサルデザイン」「放課後等デイサービス」は40代で高く、「ユニバーサルデザイン」「身体障害者手帳」は50歳代で高くなっています。

表 5-1-2 障害に関する言葉の認知(年齢別)

	件数 (件、%)	障害者週間 (12月3日～9日)	ノーマライゼーション	パラリンピック スペシャル	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援
全体	551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3
年齢別	20歳代	34	14.7	38.2	82.4	67.6	79.4	17.6	20.6	50.0	35.3	29.4
	30歳代	65	6.2	12.3	89.2	27.7	87.7	23.1	20.0	26.2	9.2	32.3
	40歳代	104	15.4	15.4	84.6	47.1	83.7	26.0	30.8	40.4	23.1	30.8
	50歳代	68	16.2	14.7	86.8	41.2	95.6	17.6	19.1	35.3	33.8	30.9
	60歳代	120	11.7	10.0	79.2	23.3	90.0	16.7	20.8	47.5	35.8	26.7
	70歳以上	144	10.4	4.9	72.9	7.6	78.5	6.3	19.4	40.3	27.1	21.5
全体	551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4	
年齢別	20歳代	34	32.4	5.9	5.9	17.6	2.9	2.9	8.8	5.9	-	-
	30歳代	65	20.0	4.6	4.6	9.2	4.6	-	13.8	7.7	1.5	4.6
	40歳代	104	30.8	11.5	12.5	15.4	9.6	4.8	15.4	7.7	1.0	1.9
	50歳代	68	25.0	8.8	10.3	17.6	4.4	2.9	14.7	5.9	-	4.4
	60歳代	120	16.7	6.7	5.8	8.3	3.3	0.8	19.2	6.7	4.2	-
	70歳以上	144	11.1	7.6	6.9	7.6	5.6	1.4	18.1	5.6	6.9	6.3

地区別でみると「障害福祉サービス」は城東地区が46.4%で4割以上と高くなっています。

表 5-1-3 障害に関する言葉の認知(地区別)

	件数 (件、%)	障害者週間 (12月3日～9日)	ノーマライゼーション	パラリンピック・スペシャルオリンピックス	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援	
													放課後等デイサービス
全体	551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3	
地区別	犬山地区	253	11.9	14.6	83.4	28.9	85.4	17.0	20.6	41.5	30.0	24.5	
	城東地区	112	19.6	14.3	79.5	32.1	86.6	20.5	28.6	46.4	32.1	33.0	
	羽黒地区	98	5.1	7.1	79.6	30.6	85.7	11.2	17.3	27.6	18.4	17.3	
	楽田地区	70	11.4	12.9	75.7	28.6	82.9	17.1	21.4	41.4	41.4	22.9	21.4
	池野地区	6	-	16.7	83.3	50.0	83.3	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0
全体	551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4		
地区別	犬山地区	253	22.1	5.9	8.3	11.1	5.9	1.6	17.4	5.5	4.3	3.2	
	城東地区	112	20.5	11.6	8.0	15.2	4.5	1.8	14.3	8.9	2.7	1.8	
	羽黒地区	98	18.4	5.1	5.1	8.2	2.0	2.0	15.3	4.1	2.0	4.1	
	楽田地区	70	17.1	14.3	11.4	15.7	10.0	4.3	20.0	11.4	1.4	4.3	
	池野地区	6	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	

5-2 発達障害の認知

問16 あなたは、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）など）について、知っていますか。（1つだけ）

発達障害の認知については、「聞いたことはある」が59.0%で、これに「よく知っている」（17.2%）を合わせた『知っている』は76.2%となっています。一方、「ほとんど知らない」は21.4%となっています。

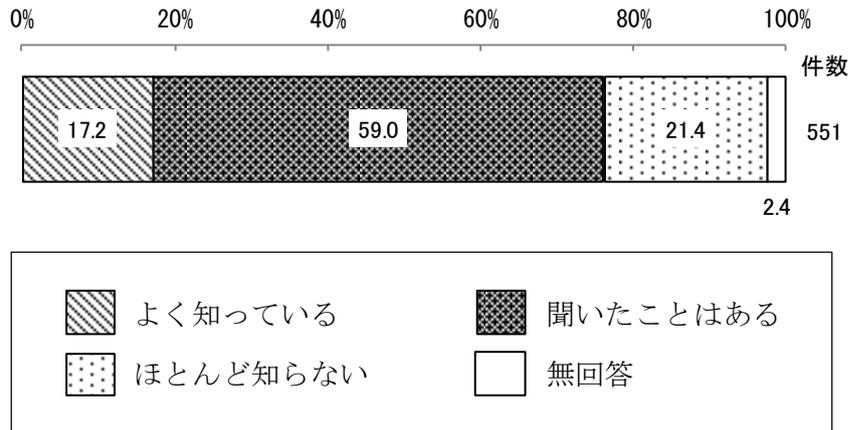


図 5-2 発達障害の認知

5-3 障害福祉サービスの認知

問17 あなたは次にあげる障害福祉サービスをご存知ですか。(すべて)

障害福祉サービスの認知については、「居宅介護」が56.3%で最も高く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が43.9%、「自立訓練（機能訓練）」が36.8%、「短期入所」が33.4%、「生活介護」が33.0%などとなっています。

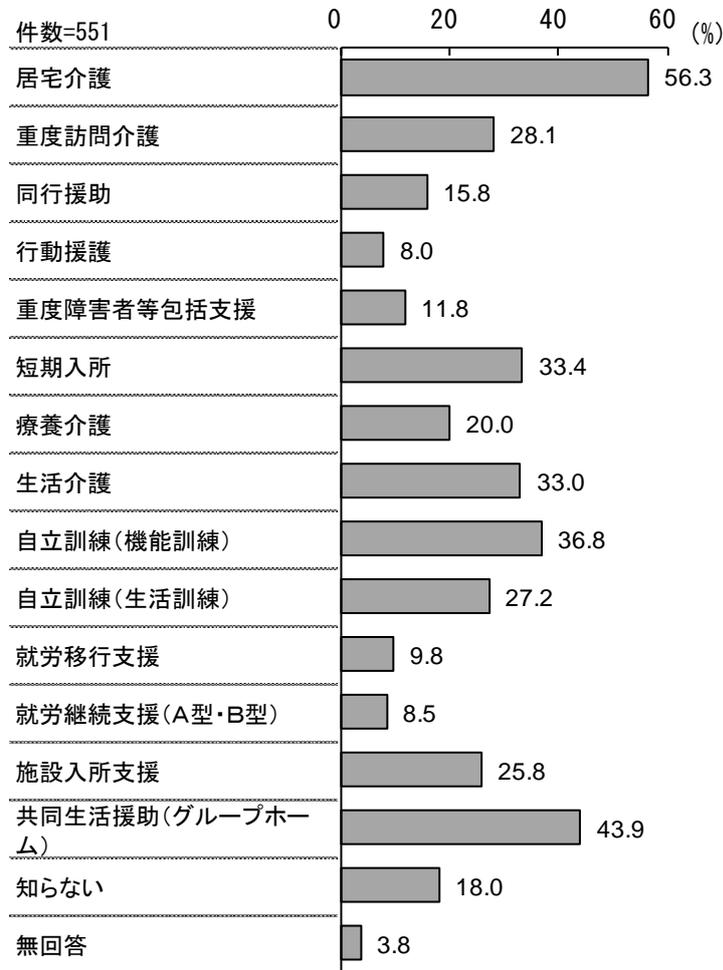


図 5-3 障害福祉サービスの認知

性別でみると「施設入所支援」は女性（31.8%）が男性（18.3%）より13.5ポイント高く、「短期入所」も女性（39.0%）が男性（26.4%）より12.6ポイント高くなっています。

表 5-3-1 障害福祉サービスの認知(性別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
		(件、%)								
全 体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
性別	男性	235	55.7	26.8	11.1	8.5	9.4	26.4	21.7	33.2
	女性	308	56.5	29.5	19.5	7.5	13.3	39.0	19.2	32.8
		件数	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	型) 就労継続支援 (A型・B型)	施設入所支援	ム) 共同生活援助 (グループホーム)	知らない	無回答
全 体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
性別	男性	235	34.9	25.1	12.8	8.9	18.3	38.7	19.1	3.4
	女性	308	38.6	29.2	7.8	8.1	31.8	48.4	17.5	3.2

年齢別でみると「共同生活援助（グループホーム）」は40歳代で最も高くなっています。

表 5-3-2 障害福祉サービスの認知(年齢別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援助	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
(件、%)										
全体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
年齢別	20歳代	34	61.8	17.6	14.7	8.8	11.8	26.5	14.7	29.4
	30歳代	65	50.8	16.9	10.8	3.1	9.2	20.0	13.8	35.4
	40歳代	104	43.3	26.9	18.3	11.5	14.4	36.5	26.9	30.8
	50歳代	68	55.9	32.4	22.1	13.2	13.2	38.2	17.6	38.2
	60歳代	120	64.2	33.3	16.7	5.0	9.2	34.2	20.0	33.3
	70歳以上	144	61.1	31.9	13.2	7.6	12.5	37.5	20.8	31.3
		件数	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	（型）就労継続支援（A型・B型）	施設入所支援	（ム）共同生活援助（グループホーム）	知らない	無回答
全体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
年齢別	20歳代	34	32.4	23.5	2.9	11.8	11.8	47.1	20.6	-
	30歳代	65	33.8	24.6	10.8	12.3	18.5	33.8	24.6	1.5
	40歳代	104	40.4	35.6	18.3	12.5	27.9	49.0	23.1	1.0
	50歳代	68	39.7	33.8	13.2	8.8	30.9	45.6	14.7	5.9
	60歳代	120	36.7	23.3	8.3	7.5	24.2	45.8	15.0	4.2
	70歳以上	144	35.4	25.7	5.6	4.2	30.6	43.1	16.7	4.9

地区別でみると「居宅介護」は羽黒地区が63.3%でやや高くなっています。

表 5-3-3 障害福祉サービスの認知(地区別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援助	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
		(件、%)								
全体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
地区別	犬山地区	253	53.4	31.6	15.0	8.7	13.4	32.0	18.6	36.0
	城東地区	112	56.3	33.9	18.8	7.1	9.8	33.9	24.1	32.1
	羽黒地区	98	63.3	16.3	11.2	7.1	8.2	34.7	19.4	29.6
	楽田地区	70	58.6	24.3	21.4	7.1	14.3	38.6	18.6	28.6
	池野地区	6	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	50.0
		件数	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	型) 就労継続支援 (A型・B型)	施設入所支援	ム) 共同生活援助 (グループホーム)	知らない	無回答
全体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
地区別	犬山地区	253	37.5	27.7	11.1	7.9	27.3	44.7	17.8	3.6
	城東地区	112	42.0	33.0	12.5	8.0	30.4	42.0	21.4	2.7
	羽黒地区	98	35.7	23.5	5.1	7.1	19.4	49.0	15.3	4.1
	楽田地区	70	27.1	22.9	8.6	11.4	25.7	38.6	17.1	2.9
	池野地区	6	66.7	50.0	16.7	33.3	33.3	66.7	16.7	-

5-4 地域生活支援事業の認知

問18 あなたは次にあげる地域生活支援事業をご存知ですか。(すべて)

地域生活支援事業の認知については、「訪問入浴サービス」が61.3%で最も高く、次いで「相談支援」が26.9%、「成年後見制度利用支援」が24.5%、「生活サポート」が23.0%、「地域活動支援センター」が22.5%などとなっています。一方、「知らない」は24.1%となっています。

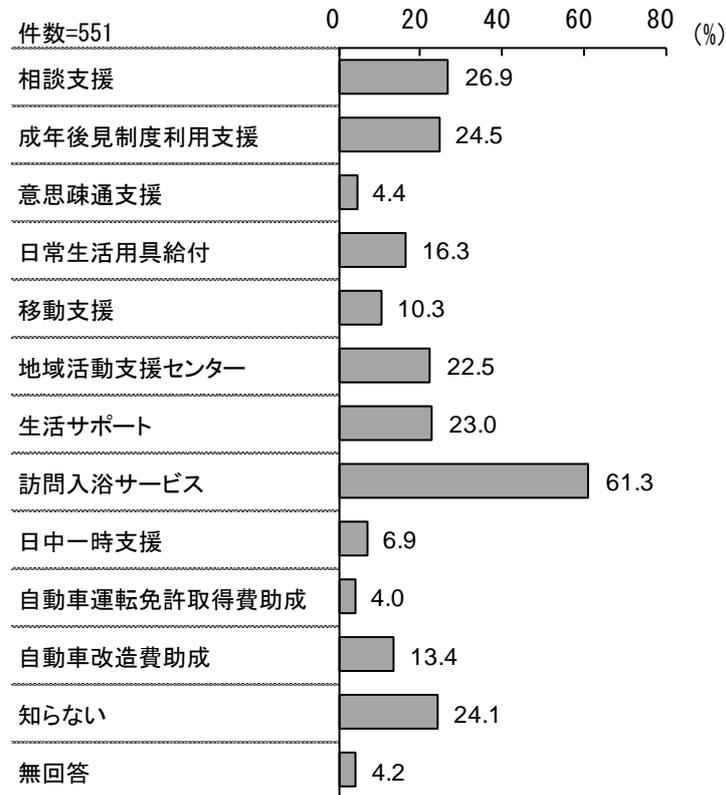


図 5-4 地域生活支援事業の認知

性別・年齢別・地区別で見ると、性別では「日常生活用具給付」は女性（20.5%）が男性（11.1%）より9.4ポイント高くなっています。

年齢別では「訪問入浴サービス」は60歳代が71.7%で7割以上と高くなっています。また、「知らない」は年齢が低いほど概ね高く、50歳以上では約2割であるのに対し、20歳代（38.2%）では約4割となっています。

表 5-4 地域生活支援事業の認知(性別・年齢別・地区別)

		件数	相談支援	成年後見制度利用支援	意思疎通支援	日常生活用具給付	移動支援	地域活動支援センター	生活サポート	訪問入浴サービス	日中一時支援	自動車運転免許取得費助成	自動車改造費助成	知らない	無回答
(件、%)															
全体		551	26.9	24.5	4.4	16.3	10.3	22.5	23.0	61.3	6.9	4.0	13.4	24.1	4.2
性別	男性	235	25.5	20.4	4.3	11.1	9.4	20.0	21.7	57.0	5.1	5.1	12.3	26.0	2.6
	女性	308	28.6	27.9	4.5	20.5	11.0	24.4	24.7	65.3	8.4	3.2	14.6	22.7	4.5
年齢別	20歳代	34	11.8	17.6	5.9	8.8	2.9	17.6	14.7	47.1	-	2.9	2.9	38.2	-
	30歳代	65	13.8	15.4	3.1	4.6	7.7	13.8	21.5	55.4	3.1	4.6	10.8	33.8	3.1
	40歳代	104	29.8	23.1	7.7	18.3	14.4	25.0	26.0	58.7	8.7	3.8	18.3	29.8	1.0
	50歳代	68	26.5	23.5	4.4	19.1	17.6	26.5	25.0	69.1	11.8	2.9	13.2	19.1	4.4
	60歳代	120	30.0	30.8	5.0	17.5	7.5	20.8	22.5	71.7	8.3	5.8	18.3	19.2	1.7
	70歳以上	144	33.3	27.8	1.4	20.8	9.7	24.3	22.2	57.6	6.3	3.5	10.4	19.4	8.3
地区別	犬山地区	253	26.9	24.1	5.1	16.2	11.1	21.7	24.5	60.9	7.1	2.8	11.5	22.9	4.3
	城東地区	112	31.3	29.5	4.5	19.6	11.6	25.9	23.2	65.2	7.1	5.4	18.8	25.9	1.8
	羽黒地区	98	21.4	18.4	-	10.2	6.1	16.3	20.4	59.2	5.1	4.1	10.2	23.5	3.1
	楽田地区	70	28.6	25.7	5.7	20.0	10.0	28.6	22.9	64.3	8.6	5.7	17.1	25.7	5.7
	池野地区	6	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-

5-5 障害児サービスの認知

問19 あなたは次にあげる障害児のサービスをご存知ですか。(すべて)

障害児サービスの認知については、「児童発達支援(療育)」が23.4%、「放課後等デイサービス」が22.5%などとなっています。一方、「知らない」は57.0%と高くなっています。

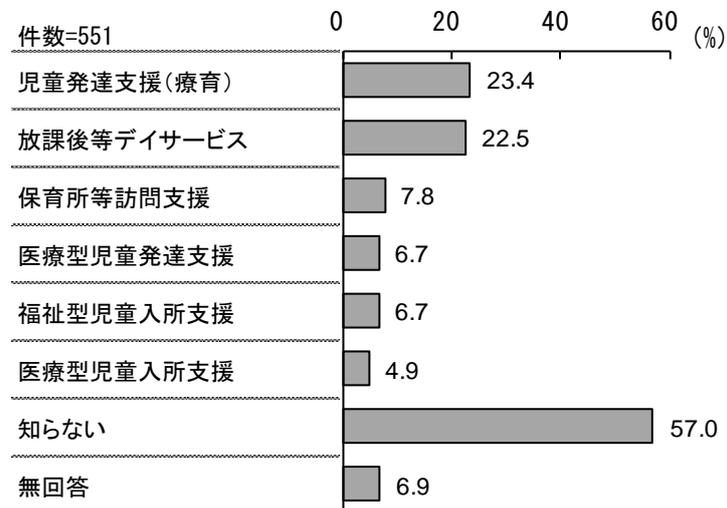


図 5-5 障害児サービスの認知

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「児童発達支援（療育）」は女性（26.6%）が男性（19.1%）より7.5ポイント高くなっています。

年齢別では「放課後等デイサービス」は20歳代（35.3%）、40歳代（32.7%）が3割以上と高くなっています。

表 5-5 障害児サービスの認知（性別・年齢別・地区別）

		件数	児童発達支援（療育）	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援（医療的ケアの必要な児童の療育）	福祉型児童入所支援	医療型児童入所支援	知らない	無回答
		(件、%)								
全体		551	23.4	22.5	7.8	6.7	6.7	4.9	57.0	6.9
性別	男性	235	19.1	19.6	8.5	4.3	6.8	3.4	61.3	6.8
	女性	308	26.6	25.0	7.5	8.8	6.8	6.2	54.2	6.5
年齢別	20歳代	34	26.5	35.3	5.9	2.9	5.9	-	52.9	-
	30歳代	65	30.8	26.2	7.7	7.7	9.2	4.6	50.8	1.5
	40歳代	104	30.8	32.7	10.6	8.7	11.5	8.7	50.0	1.9
	50歳代	68	20.6	25.0	7.4	8.8	4.4	4.4	54.4	8.8
	60歳代	120	20.0	19.2	6.7	5.8	4.2	3.3	65.8	6.7
	70歳以上	144	16.7	10.4	8.3	6.3	6.3	5.6	61.8	13.2
地区別	犬山地区	253	24.1	24.1	8.3	6.7	6.7	5.1	54.5	6.3
	城東地区	112	28.6	23.2	7.1	8.0	5.4	6.3	53.6	7.1
	羽黒地区	98	16.3	21.4	5.1	3.1	5.1	3.1	63.3	8.2
	楽田地区	70	21.4	18.6	11.4	10.0	11.4	4.3	62.9	5.7
	池野地区	6	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	66.7	-

5-6 サービスや支援事業の利用意向

問20 あなたは、自分自身やご家族が病気や事故などで障害をもった時、障害福祉サービスや障害児のサービス、または地域生活支援事業を利用したいと思いますか。（1つだけ）

サービスや支援事業の利用意向については、「利用したい」が78.4%、「利用したいと思わない」が0.4%となっています。

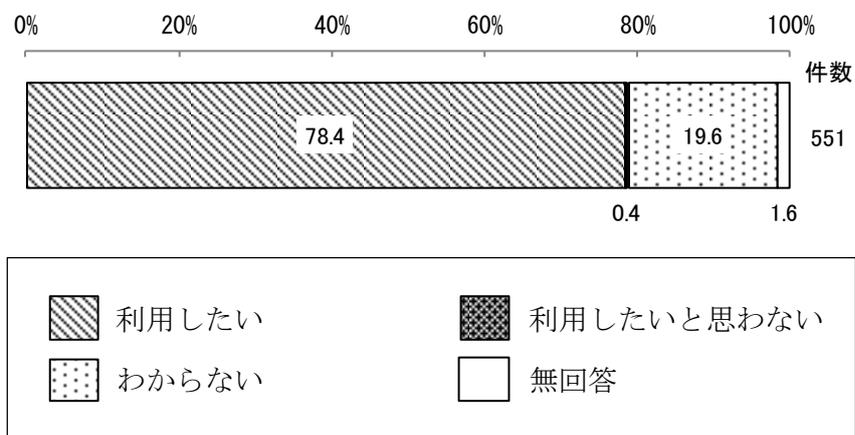


図 5-6 サービスや支援事業の利用意向

年齢別でみると、「利用したい」は30歳代（84.6%）でやや高くなっています。

表 5-6-1 サービスや支援事業の利用意向(年齢別)

		件数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
(件、%)						
全 体		551	78.4	0.4	19.6	1.6
性別	男性	235	77.0	0.4	21.7	0.9
	女性	308	79.9	0.3	18.2	1.6
年齢別	20歳代	34	76.5	2.9	20.6	-
	30歳代	65	84.6	-	15.4	-
	40歳代	104	77.9	-	21.2	1.0
	50歳代	68	73.5	-	25.0	1.5
	60歳代	120	76.7	0.8	21.7	0.8
	70歳以上	144	80.6	-	16.7	2.8
地区別	犬山地区	253	76.3	0.4	21.7	1.6
	城東地区	112	82.1	-	17.0	0.9
	羽黒地区	98	76.5	-	21.4	2.0
	楽田地区	70	82.9	1.4	15.7	-
	池野地区	6	100.0	-	-	-

5-7 子どもの発達に関する不安

問21 就学前のお子さんをお持ちの方にお聞きします。あなたは、お子さんが「同じ年齢の子どもに比べて発達が遅れている」と思いますか。(1つだけ)

子どもの発達に関する不安については、「発達に気になるところがあると感じている」が14.0%で、これに「発達に遅れがあると感じている」(5.3%)を合わせた『発達の遅れや気になるところがあると感じている』が19.3%となっています。一方、「発達に遅れや気になるところがあるとは感じていない」は80.7%となっています。

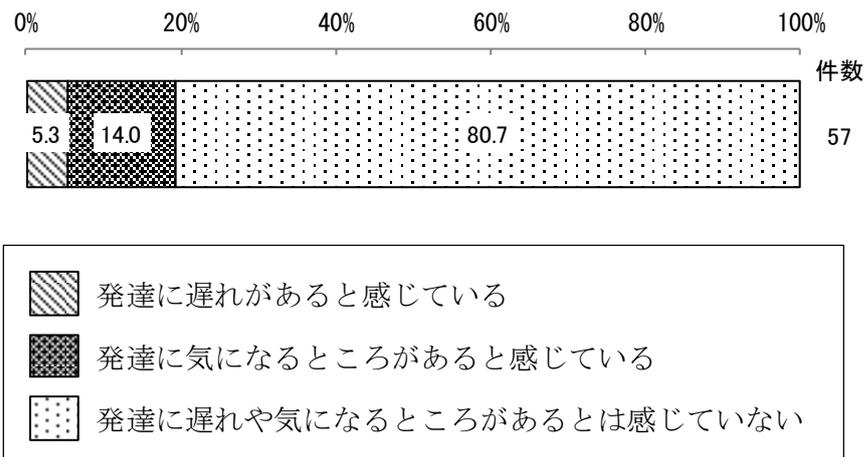


図 5-7 子どもの発達に関する不安

5-8 子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援

問22 就学前の、発達に遅れの見られる子どもや、子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援として、どのような事業や取り組みがあると良いと思いますか。(すべて)

子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援については、「不安を感じる親が専門家等に気軽に相談できる事業」が51.0%で最も高く、次いで「不安を感じる親同士が交流し、悩みを話し合ったり情報交換したりできる事業」が39.7%、「不安を感じる親が障害児の子育て経験のある親に相談できる事業」が31.4%、「子どもの子育て支援事業に発達の遅れのある子が参加しやすくなるよう配慮する事業」が29.6%、「発達に遅れの見られる子と発達に遅れのない子が一緒に交流できる事業」が27.4%などとなっています。

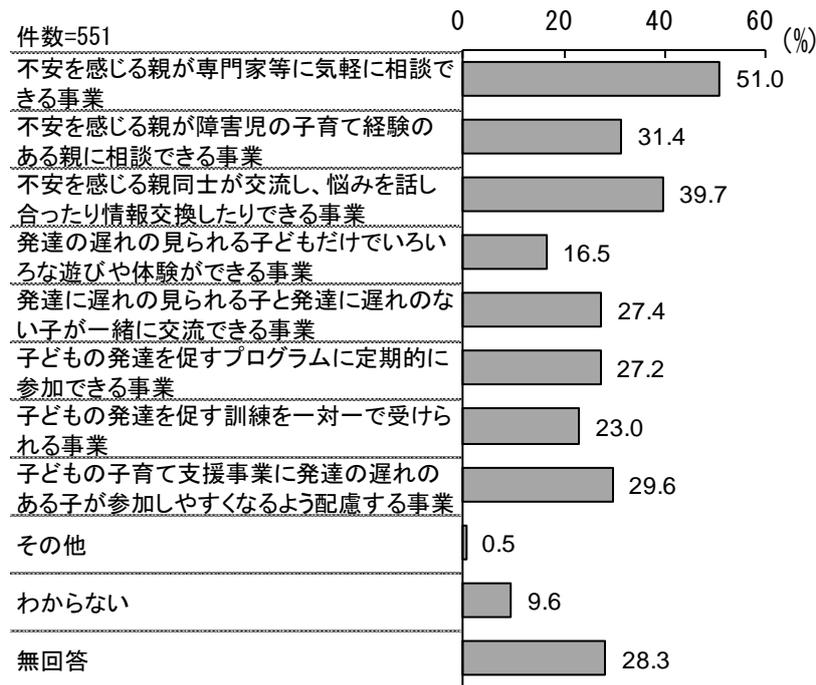


図 5-8 子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援

5-9 「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知

問23 あなたは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」では、事業主に対して、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率以上になるように義務づけられていることを知っていますか。（いずれかに○）

「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知については、「はい」が52.8%、「いいえ」が43.2%となっています。

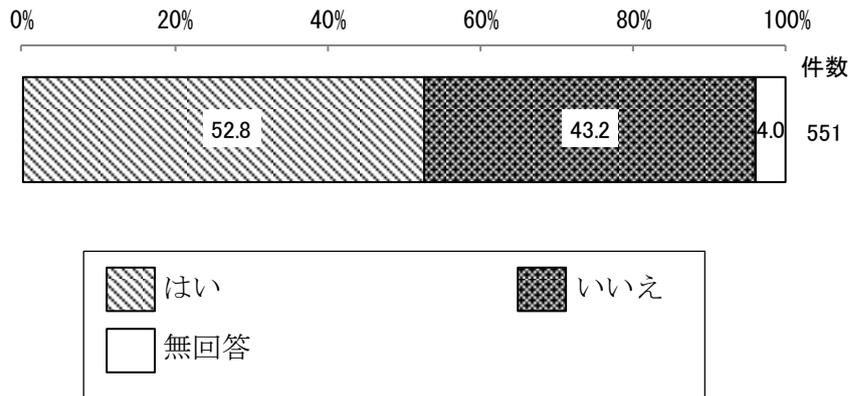


図 5-9 「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知

5-10 障害者の法定雇用率の引き上げについての認知

問24 あなたは、平成25年4月から、障害者の法定雇用率が（民間企業 1.8%から 2.0%へ、国・地方公共団体 2.1%から 2.3%へ、都道府県等の教育委員会 2.0%から 2.2%へ）引き上げられたことを知っていますか。（いずれかに○）

障害者の法定雇用率の引き上げについての認知については、「はい」が14.7%、「いいえ」が81.9%となっています。

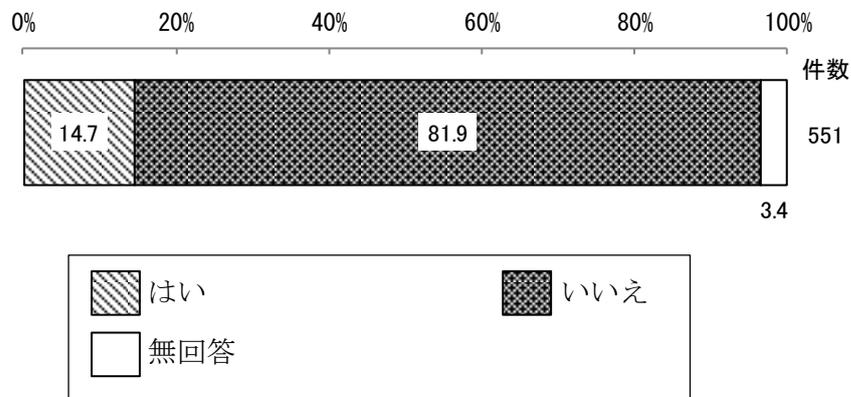


図 5-10 障害者の法定雇用率の引き上げについての認知

5-11 障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ

問25 犬山市では100人のうち5人の方が障害者手帳を持っています。あなたは、障害のある方にとって犬山市は暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけ)

障害者にとっての犬山市の暮らしやすさについては、「やや思う」が15.6%で、これに「思う」(2.2%)を合わせた『思う』が17.8%となっています。一方、「あまり思わない」(25.2%)と「思わない」(10.7%)を合わせた『思わない』は35.9%となっています。また、「わからない」が43.6%で最も高くなっています。

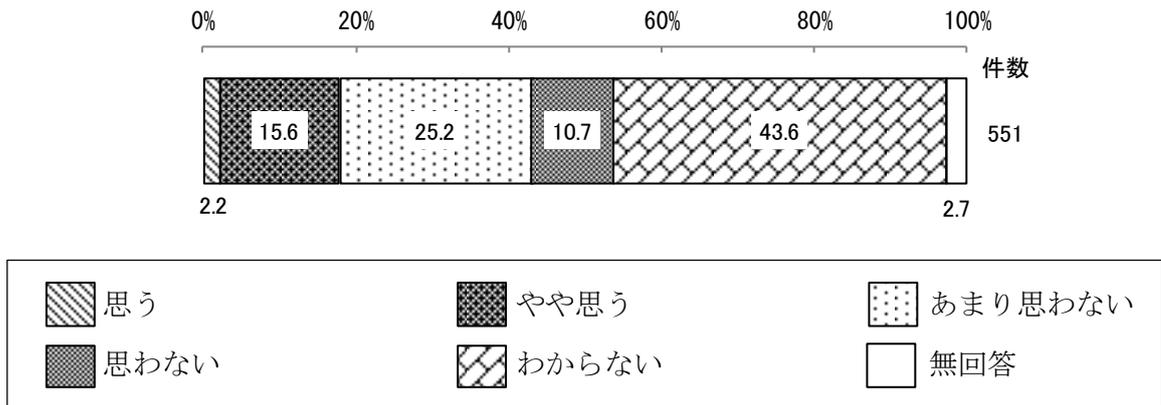


図 5-11 障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ

5-12 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと

問26 あなたは、障害のある方にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だとお考えですか。(5つまで)

障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくる」が51.9%で最も高く、次いで「障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす」が40.1%、「障害のある方が働ける場所をつくる」が35.8%、「道路・建物などを利用しやすくする」が29.9%、「リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する」が24.7%などとなっています。

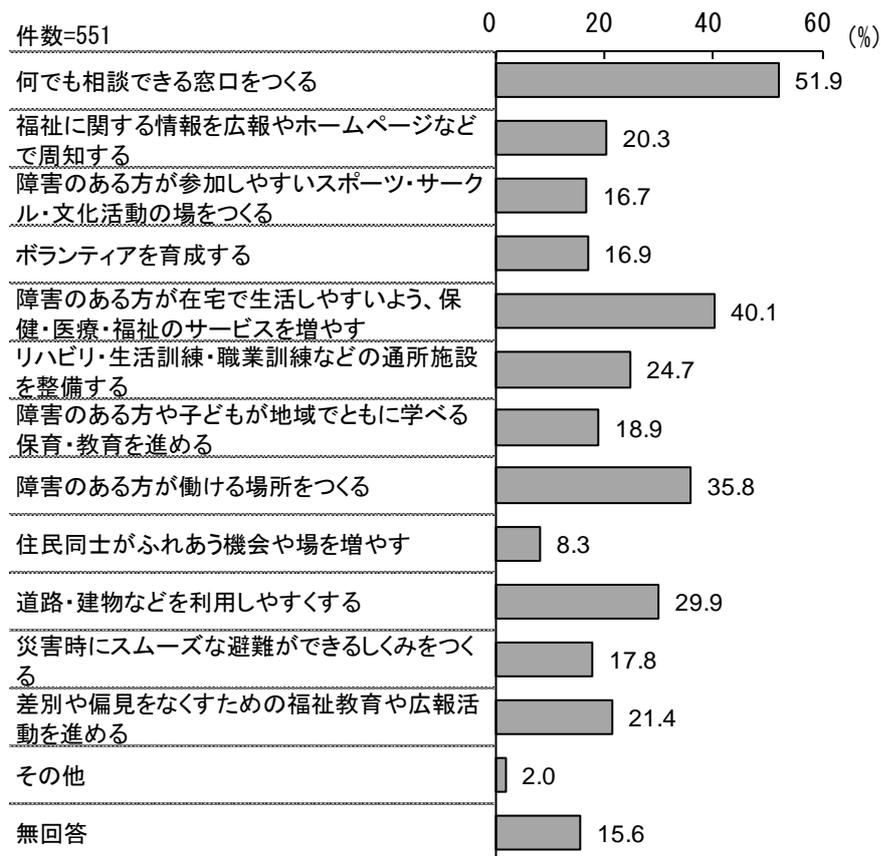


図 5-12 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと

性別でみると「障害のある方が働ける場所をつくる」は男性（40.4%）が女性（32.5%）より7.9ポイント高くなっています。

表 5-12-1 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(性別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	ボランティアを育成する	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	障害のある方が生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	リハビリ・生活訓練・職業訓練	障害のある方や子どもが地域で学べる保育・教育を進める
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
性別	男性	235	51.9	20.0	18.7	18.3	41.3	25.5	17.9	
	女性	308	52.3	20.5	15.3	15.3	39.9	23.7	19.8	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすい	災害時にスムーズな避難ができる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
性別	男性	235	40.4	8.1	27.7	14.5	20.9	2.6	12.3	
	女性	308	32.5	8.8	32.1	20.5	22.1	1.6	17.5	

年齢別でみると「障害のある方や子どもが地域とともに学べる保育・教育を進める」は30歳代（36.9%）が高く、「障害のある方が働ける場所をつくる」は40歳代（51.0%）が高くなっています。

表 5-12-2 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(年齢別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	ボランティアを育成する	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	障害のある方が在籍する施設を整備する	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	障害のある方や子どもが地域とともに学べる保育・教育を進める
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
年齢別	20歳代	34	44.1	14.7	20.6	11.8	32.4	23.5	26.5	
	30歳代	65	41.5	15.4	15.4	6.2	38.5	16.9	36.9	
	40歳代	104	52.9	22.1	17.3	16.3	37.5	26.0	17.3	
	50歳代	68	52.9	26.5	11.8	29.4	55.9	26.5	23.5	
	60歳代	120	51.7	12.5	15.0	14.2	40.8	25.8	16.7	
	70歳以上	144	59.7	27.1	19.4	18.8	38.9	24.3	11.1	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすくする	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
年齢別	20歳代	34	41.2	8.8	47.1	23.5	26.5	2.9	14.7	
	30歳代	65	29.2	9.2	33.8	20.0	20.0	-	18.5	
	40歳代	104	51.0	6.7	37.5	17.3	22.1	2.9	8.7	
	50歳代	68	30.9	7.4	41.2	23.5	19.1	1.5	7.4	
	60歳代	120	36.7	7.5	29.2	13.3	24.2	1.7	20.0	
	70歳以上	144	29.2	10.4	14.6	16.0	19.4	2.8	17.4	

地区別でみると「何でも相談できる窓口をつくる」が高くなっています。

表 5-12-3 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(地区別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	ボランティアを育成する	サービスの増やす	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉の	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	障害のある方や子どもが地域でともに学べる保育・教育を進める
(件、%)										
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
地区別	犬山地区	253	55.7	20.6	15.4	17.8	38.3	28.5	19.8	
	城東地区	112	51.8	24.1	20.5	16.1	46.4	26.8	20.5	
	羽黒地区	98	43.9	16.3	14.3	9.2	35.7	14.3	16.3	
	楽田地区	70	54.3	14.3	17.1	18.6	42.9	21.4	15.7	
	池野地区	6	16.7	50.0	16.7	33.3	50.0	33.3	50.0	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすくする	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
地区別	犬山地区	253	39.5	10.3	30.0	20.6	21.3	1.6	11.9	
	城東地区	112	34.8	8.0	27.7	15.2	23.2	0.9	17.0	
	羽黒地区	98	29.6	5.1	36.7	19.4	14.3	3.1	22.4	
	楽田地区	70	31.4	8.6	21.4	11.4	28.6	4.3	18.6	
	池野地区	6	16.7	-	83.3	16.7	16.7	-	-	

V 參考資料

V 参考資料

調査票（身体・知的・精神障害者）

犬山市障害者支援に関するアンケート調査へのお願い

日頃より本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本市では、「犬山市障害者基本計画及び障害福祉計画」を策定し、障害のある方もない方も互いの人権を認め合い「共に生きる社会」の実現を目指し、総合的で効果的な事業を推進しています。

この計画の次期策定に向け、障害をお持ちの皆様様の生活実態や支援施策に関するご意見などを伺い計画に反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。このアンケート調査にあたっては、障害に関わる手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）のいずれかをお持ちの方全員にお願います。

なお、このアンケート調査は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしませんので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。ご多用のところ誠に恐れますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年9月 犬山市長 山田拓郎

記入上のおお願い

- このアンケート調査は、出来る限りご本人がお答えください。なんらかの事情でご本人がお答えできない場合は、ご家族の方もしくは介護者の方が、ご本人の意思に従って代わりにお答えください。
- 質問ごとに、あてはまると思う番号に○をつけてください。
- 答えがその他にあてはまる場合は、() の中に出来るだけ具体的に記入ください。
- ホールペン、えんぴつなどで記入していただいても結構です。
- ご記入いただいた調査票は、無記名の上、同封した返信用封筒に入れて、切手を貼らずに10月●●日(●)までにご返送ください。

何らかの事情により、回答ができない場合は、下記のいずれかか○で囲み、返送してください。

1. 入院中
2. 施設入所中
3. その他()

※ 記入に際してご不明な点、調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

犬山市役所 健康福祉部 福祉課 障害者担当
 電話 0568 (44) 0321
 FAX 0568 (44) 0364

【1. 調査の回答者について】

問1 この調査に答えていただく方はどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 本人
2. 配偶者
3. 子ども(子どもの配偶者を含む)
4. 父母
5. 祖父母
6. 兄弟・姉妹
7. その他の親族
8. 隣人・知人
9. 施設職員
10. その他()

【2. ご自身(障害のある方)のことについて】

問2 あなたの性別はどちらですか。(いずれかに○)

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年9月1日現在)

満()歳

問4 あなたの住んでいる地区をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 大田地区
2. 城東地区
3. 羽黒地区
4. 桑田地区
5. 池野地区

問5 あなたは今どなたと暮らしていますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 一人で暮らしている
2. 家族と暮らしている
3. 施設などに入所している
4. 病院に入院している
5. その他()

(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 子ども
3. 父母
4. 祖父母
5. 兄弟・姉妹
6. その他()

(あてはまるもの1つに○)

1. 入所施設で暮らしている
2. グループホーム・ケアホームで暮らしている
3. その他()

問6 あなたは次の障害に関わる手帳を所持していますか。(あてはまるものすべてに○)

また、それぞれの手帳について、その判定・等級もお答えください。

1. 身体障害者手帳	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. わからない
2. 療育手帳	1. A判定 2. B判定 3. C判定 4. わからない
3. 精神障害者保健福祉手帳	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. わからない

問7 あなたの障害の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障害	2. 聴覚・平衡機能障害
3. 音声・言語・そしゃく障害	4. 内部障害(心臓、腎臓、呼吸器など)
5. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、脳原性運動機能など)	7. 精神障害
6. 知的障害	9. 高次脳機能障害
8. 難病	10. 発達障害(アスペルガー症候群、自閉症、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)など)

【3. 日常生活について】

問8 あなたはどの程度、医療機関にかかっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 年に数回	2. 月に1回程度	3. 月に2~3回程度
4. 週に1回程度	5. 週に2~4回程度	6. 週5回以上
7. かかっていない		

問9 あなたは毎年、健康診断を受けていますか。また、受けていないと答えた方は、その理由は何かですか。

(いずれかに○)	(あてはまるものすべてに○)
1. 受けている	1. 自覚症状がないため
2. 受けていない	2. 介助者がいないため
	3. 交通手段がないため
	4. 既に病院にかかっているため
	5. 病気や障害を指摘されることが怖い、または、嫌なため
	6. 健康診断の時間内にいけないため
	7. 健康診断等の情報がわからないため
	8. 費用を負担してまで、受けたくないため
	9. その他(具体的に)

問10 あなたを主に介助する人はどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

「1. 同居の家族」に○をつけた方は、その家族の続柄について、【 】内のあてはまるものにさらに1つ○をつけてください。

1. 同居の家族【配偶者・子ども・父母・祖父母・兄弟姉妹・その他()】	3. 近所の人・ボランティア
2. 別居の家族(配偶者・親族)	5. 施設・病院の職員
4. ホームヘルパー	7. 介助者はいない
6. その他(具体的に)	
8. 介助者は必要ない	

問11 あなたが困った時に相談している(したことがある)機関はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所・保健センター等の窓口	2. 相談支援事業所
3. 社会福祉協議会	4. 障害福祉サービス事業所
5. 介護保険事業所・ケアマネジャー	6. 病院・診療所・クリニック
7. 学校・幼稚園・保育園	8. 障害者相談員
9. 民生委員・児童委員	10. 保健所
11. その他(具体的に)	12. 相談している(した)機関はない

【4. 入院について】

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方のお答えください

問12 あなたは病院・診療所に入院したことがありますか。(いずれかに○)

1. ある 2. ない

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお聞きします。入院に関して何か困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入院費の自己負担が大変である 2. 退院後の行き先が見つからない
 3. 入院生活を繰り返してしまおう 4. 入院生活が苦痛である
 5. その他(具体的に) 6. 特にない

【5. 住まい・暮らし・生計について】

問13 あなたの住まいは次のどれに当たりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 持ち家(家族名義を名む) 2. 民間の賃貸住宅 3. 公営・公団の賃貸住宅
 4. 会社の寮・社宅 5. 施設 6. その他()

問14 あなたはこれからの暮らしについてどのようなように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の暮らしのままよい 2. 施設やグループホームなどに入所したい
 3. 自宅で暮らしたい 4. その他(具体的に)
 5. わからない

問15 あなたの収入で最も多いものは何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 給料・自営収入・農業収入等 2. 公的年金等
 3. 障害年金・障害者手当等 4. 生活保護
 5. その他() 6. 収入はない

【6. 外出状況について】

問16 あなたの外出回数はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回
 4. 年に数回 5. ほとんど外出しない

問17 問16で「1. ほぼ毎日」～「4. 年に数回」のいずれかと答えた方にお聞きします。

あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤・通学・通所 2. 訓練やリハビリに行く
 3. 医療機関へ行く 4. 散歩をする
 5. 買い物をする 6. スポーツや趣味の活動をする
 7. 友だちに会いに行く 8. 地域の行事に参加する
 9. 障害者団体などの活動に参加する 10. その他(具体的に)
 11. 特に目的はない

問18 あなたが外出したいと思うときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 交通手段がない 2. 道路や歩道が整備されていない
 3. 介助者がない 4. 障害者用のトイレが整備されていない
 5. 自分の意思を理解してもらえない 6. 交通費などの費用がかかる
 7. 人の目が気になる 8. その他(具体的に)
 9. 特に困ることはない

【7. 余暇・社会参加について】

問19 あなたは1年以内にどのような活動をしましたか。介助者・援助者が一緒の場合も含みます。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツやレクリエーション 2. 旅行
 3. 買い物 4. ボランティア活動
 5. 障害者団体の活動 6. 趣味などのサークル活動
 7. 講座や講演会などへの参加 8. 地域の行事やお祭
 9. その他(具体的に) 10. 特に何もしていません

問20 あなたは今後、どのような活動をしたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツやレクリエーション 2. 旅行
 3. 買い物 4. ボランティア活動
 5. 障害者団体の活動 6. 趣味などのサークル活動
 7. 講座や講演会などへの参加 8. 地域の行事やお祭
 9. その他() 10. 特に何もしたくない

問2 1 あなたは就労（作業所も含む）もしくは就学をしていますか。
 （あてはまるもの1つに○）「1. 仕事をしている」に○をつけた方は、その仕事について、【 】内のあてはまるものをさらに1つ○をつけてください。

1. 仕事をしている
 【 会社員・公務員・自営業・パート・アルバイト・内職・派遣・その他（ ） 】
2. 障害福祉サービス事業所（作業所など）に通所している
3. 職業の訓練をしている
4. 学校・幼稚園・保育園に通学・通園している
5. 障害児通園施設（こすもす園など）に通園している
6. 施設入所・医療機関入院している
7. いずれにも該当せず自宅にいる

【8. 地域社会との関わりについて】

問2 2 あなたは地域社会の中で障害のある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。
 （あてはまるもの1つに○）

1. かなり進んできた
2. どちらかといえば進んできた
3. 変わっていない
4. どちらかといえば後退している
5. 後退している
6. わからない

問2 3 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由とする差別を受けたと感じることはありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 常にある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. わからない

問2 3-1 問2 3で「1. 常にある」「2. 時々ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事や取引
2. 教育の場
3. 人間関係
4. 冠婚葬祭
5. スポーツ・趣味の活動
6. 地区の行事・集まり
7. まちなかでの視線
8. 店などでの心対・態度
9. 交通機関の利用
10. その他（具体的に）

問2 4 障害に対する理解を深めるために、今後どのようなことに力を入れますかと思えますか。
 （あてはまるものすべてに○）

1. スポーツ・レクリエーション、文化活動を通して地域の人々との交流を深める
2. 障害のある方が気軽に参加できるイベントを充実する
3. 市民対象の福祉講座や講演会を開催する
4. 障害福祉サービス事業者・福祉施設を地域に開放し、地域住民と交流をはかる
5. グループホームを地域の中につくる
6. 子どもたちに対する福祉教育を充実する
7. 障害者団体や関係グループの活動をPRする
8. ボランティアの育成をはかる
9. 障害のある方も利用しやすい施設をつくる
10. 障害のある方が出かけやすい整備を進める
11. 障害のある方自身が積極性を持つ
12. その他（具体的に）
13. 特になし

【9. 災害発生時の対応について】

問2 5 あなたは災害が発生した時に、ひとりで避難できると思いますか。
 （あてはまるもの1つに○）

1. ひとりで避難できる
2. ひとりでは避難できない
3. わからない

問2 5-1 問2 5で「2. ひとりでは避難できない」「3. わからない」と答えた方にお聞きします。その理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 緊急時の情報がわからない
2. 避難を手助けしてくれる人が必要
3. 避難場所がわからない
4. 避難場所が遠い
5. その他（具体的に）

問26 あなたが避難所で困ると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 周りの人とコミュニケーションが取れない
2. 被害状況や食糧の配給などの情報が入手できない
3. 投薬や治療を受けることが難しい
4. 障害者用トイレなど障害者が生活できる環境が整っていない
5. その他(具体的に)
6. 特に困ることはない

問27 あなたは普段から災害に備えてどのような対応をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 災害時の避難方法や場所の確認
2. 家具の転倒防止
3. 消火器や非常持出袋などの準備
4. 近所への依頼(緊急時の家族への連絡など)
5. 医師から処方されている薬の予備などの確保
6. その他(具体的に)
7. 特に何もしていない

問28 あなたは災害の情報を携帯電話やパソコンのメールで受け取ることができ、「大山市安心情報メール」の配信サービスに登録をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. すでに登録している
2. 登録したいが携帯やパソコンが利用できない
3. 大山市安心情報メールの配信サービスを知らなかった
4. 必要がないため登録していない
5. その他(具体的に)

【10. 情報収集や通信機器の利用について】

問29 福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 新聞・雑誌・本
2. 市や県の広報・パンフレット
3. テレビ・ラジオ
4. 市役所などの窓口
5. 市のホームページ
6. インターネット(市のホームページ以外)
7. 学校・職場
8. 病院・診療所・クリニック
9. 家族・友人・知人
10. 民生・児童委員
11. 公民館などの公開講座
12. 福祉団体・サークルの活動
13. 社会福祉協議会
14. その他(具体的に)
15. 特にない

問30 あなたは、インターネットを利用できるパソコンやその他の通信機器(スマートフォン(多機能携帯電話)など)を使っていますか。(いずれかに○)

1. 使っている
2. 使っていない

問31 問30で「1.使っている」と答えた方にお聞きします。パソコンなどを使う際に困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 画面の表示やデザインがわかりにくい
2. ほしい情報を探すことが難しい
3. キーボードなどの操作がしづらい
4. 操作のしかたなどについて教えてくれる人が身近にいない
5. 機器や通信にかかる費用が高い
6. コンピュータウイルスへの感染
7. 個人情報の流出
8. その他(具体的に)
9. 特にない

【1-1. 障害福祉サービス・地域生活支援事業について】

問3-2 あなたは、次にあげる障害福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(①②それぞれについて、いづれかに○)

サービスの内容	①サービスを利用していますか	②今後、利用したいですか
(1) 居宅介護 自宅で入浴、排泄、食事の介護や通院の介助をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(2) 重度訪問介護 重度の肢体不自由で常時介護を必要とする方に、自宅で介護や外出時の移動などを総合的に支援するサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(3) 同行支援 視覚障害により、移動に介護を必要とする方の外出に同行し、必要な支援をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(4) 行動支援 自己判断能力が制限されている方が行動するときに、危険を回避するため外出支援などをとするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(5) 重度障害者等包括支援 介護の必要性が高い方に、居宅介護など複数のサービスを包括的に行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(6) 短期入所 介護する方が病気の時に、短期間、施設で介護をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(7) 療養介護 医療と常時介護を必要とする方に、機能訓練や介護、日常生活の世話をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

サービスの内容	①サービスを利用していますか	②今後、利用したいですか
(8) 生活介護 常時介護が必要な方に、日中介護を行うとともに、生産活動などの機会を提供するサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(9) 自立訓練（機能訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間必要な機能訓練をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(10) 自立訓練（生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間必要な生活訓練をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(11) 就労移行支援 就労企業などへの就労を希望する方に、一定期間必要な訓練をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(12) 就労継続支援 就労企業などでの就労が困難な方に、働く場の提供や必要な訓練をするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(13) 施設入所支援 施設に入所する方に、夜間や休日、介護などをするサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(14) 共同生活援助（グループホーム） グループホームで、相談や日常生活上の援助を提供するサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

問3-3 あなたは障害福祉サービスに対して、どれくらい満足していますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	6. わからない

問 3 4 あなたは、次にあげる地域生活支援事業を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思えますか。(①②それぞれについて、いずれかに○)

事業の内容	①事業を利用して いますか	②今後、利用したい ですか
(15) 相談支援 相談に申し、必要な情報の提供などの便宜を 供与することや、権利擁護のために必要な援助を 行う事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(16) コミュニケーション支援 聴覚障害や言語機能障害などにより、意思疎通 をはかることに支障がある方に、手話通訳者、 要約筆記者などを派遣し意思疎通の円滑化をは かる事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(17) 日常生活用具給付 重度の障害のある方などに、日常生活用具を 給付又は貸与する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(18) 移動支援 屋外での移動が困難な障害のある方に、円滑に 外出できるように、移動を支援する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(19) 地域活動支援センター 日中、生産活動や社会との交流などを行う場 を提供する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(20) 生活サポート 介護給付決定者以外の障害のある方に、家事 援助を行う事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(21) 訪問入浴サービス 身体に重度の障害のある方の生活を支援するた め、訪問により居宅において入浴サービスを 提供する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

事業の内容	①事業を利用して いますか	②今後、利用したい ですか
(22) 日中一時支援 日中における活動の場を確保し、日常訓練を 行い介護している家族の負担を一時的に軽減す る事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(23) 自動車運転免許取得費助成 身体に障害のある方が、就労などの社会活動へ の参加を目的として自動車運転免許を取得する 費用の一部を助成する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(24) 自動車改造費助成 身体に障害のある方が、自ら運転する自動車の 改造に要する費用の一部を助成する事業	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

問 3 5 あなたは、大山市の地域生活支援事業に対して、どれくらい満足していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	6. わからない

【12. 障害児のサービスについて】

<問36～問40は、18歳未満の対象者の方についてお聞きします。>

問36 あなたは、次にあげる障害児のサービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(①②それぞれについて、いずれかに○)

サービスの内容	①サービスを利用していますか	②今後、利用したいですか
(25) 児童発達支援（療育） 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(26) 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や休校日に、児童発達支援センターなどの施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(27) 保育所等訪問支援 保育所などを訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(28) 医療型児童発達支援 (医療的ケアが必要な児童の療育) 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(29) 福祉型児童入所支援 福祉型児童入所施設に入所する障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
(30) 医療型児童入所支援 障害児入所施設や指定医療機関に入所などを希望する障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

問37 あなたは犬山市の障害児のサービスに対して、どれくらい満足していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	6. わからない

問38 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 幼稚園・保育園や市立小中学校の通常学級に通っている
2. 小中学校の特別支援学級に通っている
3. 近隣の特別支援学校に通っている
4. 障害児通園施設（こすもす園など）に通園している
5. 自宅にいる
6. その他（具体的に）

問39 あなたは将来、どこで暮らしたいですか。(記入者が対象者ではない場合、対象者は将来どこで暮らしてほしいですか。(あてはまるもの1つに○))

1. 自宅で家族と暮らしたい（暮らしてほしい）
2. 自立して、アパートやマンションを借りるなどして暮らしたい（暮らしてほしい）
3. グループホームなどの共同生活の場で支援を受けて暮らしたい（暮らしてほしい）
4. 障害者入所施設などで暮らしたい（暮らしてほしい）
5. その他（具体的に）
6. わからない

問40 障害児に対する療育や支援について、さらに充実させてほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 送迎など通園・通学に対する支援	2. 会話やトイなど日常生活に対する支援
3. 費用に対する補助など経済的支援	4. 学習に対する支援
5. 友達など人との関わり方に対する支援	6. 保護者に対する支援
7. 療育を行う施設の増設	8. 療育の内容や施設についての情報
9. その他（具体的に）	10. 特になし

児童発達支援(こすもす園など)利用に関する

アンケート調査へのお願い

日頃より本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 さて、本市では、児童福祉法の一部改正により平成30年度より「犬山市障害児福祉計画」を策定することになりました。

この計画の策定に向け、児童発達支援(こすもす園など)利用や児童発達支援施策に関するご意見などを伺い計画に反映させるため、アンケート調査を実施することになりました。

このアンケート調査は、現在こすもす園を利用している方にお願ひするものです。
 また、このアンケート調査は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしませんので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

ご多用のところ誠に恐れいりますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年10月 犬山市長 山田拓郎

記入上のお願ひ

- 質問ごとに、あてはまると思う番号に○をつけてください。
- 答えがその他にあてはまる場合には、()の中に出来るだけ具体的にご記入ください。
- ポールペン、えんぴつなど何で記入していただいても結構です。
- ご記入いただいた調査票は、無記名の上、同封した返信用封筒に入れて、切手を貼らずに10月21日(金)までにご返送ください。

※ 記入に際してご不明な点、調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

犬山市役所 健康福祉部 福祉課 障害者担当
 電話 0568(44)0321
 FAX 0568(44)0364

【1. 調査の回答者について】

問1 この調査に答えていただく方はどなたですか。(あてはまるもの1つに○)
 (こすもす園に通園しているお子様との関係)

1. 父 2. 母 3. 祖父 4. 祖母 5. その他の親族
 6. その他()

【2. お子様についてお尋ねします。】

問2 お子様の年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在)

満()歳

問3 お子様の性別はどちらですか。(いずれかに○)

1. 男の子 2. 女の子

問4 お子様の住んでいる地区をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 犬山地区 2. 城東地区 3. 羽黒地区 4. 桑田地区 5. 池野地区

問5-1 こすもす園のほかにお子様の日中通われている施設はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 犬山市子ども未来園 2. 犬山市立犬山幼稚園 3. 私立の幼稚園
 4. 私立の保育園、託児所 5. その他市外の児童発達支援事業所
 6. 犬山市内の児童発達支援事業所(のびひろ園いぬやま、児童サービスハンビ)
 7. 通っていない 8. その他()

問5-2 問5-1で「5・6」に○をされた方にお聞きします。

こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由は何ですか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 療育の回数を増やしたいから 2. 子どもだけで預かってもらえるから
 3. 送迎をしてもらえるから 4. お友達が行っているから
 5. 多様な療育プログラムがあるから 6. 個別療育を受けられるから
 7. その他()

問 13 児童発達支援(こすもす園など)に通園して、困っていることはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 家族の協力を得られない | 2. 通うことを家族に理解してもらえない |
| 3. 上の子(下の子)を預ける場所がない | 4. 利用料が高い |
| 5. 療育を受けたいが、仕事や介護のために、通う時間が取れない | |
| 6. 療育の回数を増やしたいが、増やしてもらえない | |
| 7. 言語や作業訓練の回数が少ない | 8. 弁当を作って持っていくことが大変 |
| 9. 通うための交通手段がない | 10. 駐車場が少ない |
| 11. その他() | |

問 14 療育や支援などについて、さらに充実させてほしいと思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 子ども未来園等でも療育が受けられるように専門職員の配置 |
| 2. 専門医師や訓練士等が配置されていて療育に関する指導・相談等総合的に受けられる施設 |
| 3. 継続して言語や作業訓練を行う施設等の増設 |
| 4. 費用に対する補助など経済的支援(利用料や交通費の補助等) |
| 5. 療育を受けている間の子(下の子)の支援 |
| 6. 保護者や家族に対する相談支援 |
| 7. 療育を行う施設の増設(児童発達支援施設等) |
| 8. 療育の内容及施設についての情報 |
| 9. 専門医師等医療機関や療育の専門機関の情報 |
| 10. 子育て期間中に受けられることができるサービスなどの情報 |
| 11. 気軽に相談できる場所 |
| 12. その他() |
| 13. 特にない |

問 15-1-1 お子さんの今後の進路(入園・入学など)のことで相談したことがありますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------------------------|-------------|-------|
| 1. ある | 2. 今後相談する予定 | 3. ない |
| 4. 相談したいがだれに相談したらいいのか分からない | | |
| 5. 進路について考えたことがない | 6. その他() | |

問 15-2 問 15-1で「1・2」に○をされた方にお聞きします。

どこに相談しましたか(相談する予定ですか)。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|----------------------|-----------|
| 1. こすもす園 | 2. こすもす園以外の児童発達支援事業所 | |
| 3. 保健センター(保健師) | 4. 福祉課 | 5. 子ども未来課 |
| 6. 教育委員会(学校教育課) | 7. 子ども未来園 | |
| 8. 市内の小学校 | 9. 特別支援学校 | |
| 10. 子ども未来センター | 11. 子育て支援センター | |
| 12. 児童館・児童センター | 13. 児童相談センター | |
| 14. 医療機関 | 15. その他() | |

問 15-3 問 15-1で「1・2」に○をされた方にお聞きします。

何を相談しましたか(相談する予定ですか)。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 入園時期について(年少から、年中から等) |
| 2. 進学先を決定するための情報(通常学級、支援学級、特別支援学校等) |
| 3. 進路を決めるために「いつ」「何を」しなければいけないのか |
| 4. 入園(入学)後の生活について |
| 5. その他() |

問 16 お子様のサポートブック「あゆみ」を作成していますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 作成した | 2. 今後作成する予定 | 3. 作成しない |
| 4. 作成を迷っている | 5. 「あゆみ」を知らない | |
| 6. その他() | | |

◎大山市の児童発達支援施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

犬山市障害者支援に関するアンケート調査へのお願い

日頃より本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、本市では、「犬山市障害者基本計画及び障害福祉計画」を策定し、障害のある方もない方も互いの人権を認め合い「共に生きる社会」の実現を目指し、総合的で効果的な事業を推進しています。

この計画の次期の策定に向け、障害をお持ちの皆様様の生活実態や支援施策に関するご意見などを伺うと同時に、市民の皆様のご意見も計画に反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケート調査にあたっては、市内に在住する20歳以上の方から無作為に抽出した1,000名の方にお願います。

また、このアンケート調査は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしませんので、貴重なご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご多用のところ誠に恐れいたしますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年9月 犬山市長 山田拓郎

記入上のお願

- このアンケート調査は、出来る限りご本人がお答えください。
なんらかの事情でご本人がお答えできない場合は、ご家族の方がご本人の意思に従って、代わりにお答えください。
- 質問ごとに、あてはまると思う番号に○をつけてください。
- 答えがその他にあてはまる場合には、() の中に出来るだけ具体的に記入ください。
- ポールペン、えんぴつなどで記入していただいても結構です。
- ご記入いただいた調査票は、無記名の上、同封した返信用封筒に入れて、切手を貼らずに10月●●日(●)までにご返送ください。

何らかの事情により、回答ができない場合は、下記のお知らせを○で囲み、返送してください。

1. 入院中 2. 施設入所中 3. その他 ()

※ 記入に際してご不明な点、調査についての質問などは、下記までお問い合わせください。

犬山市役所 健康福祉部 福祉課 障害者担当
電話 0568 (44) 0321
FAX 0568 (44) 0364

【1. ご自身のことについて】

問1 あなたの性別はどちらですか。(いずれかに○)
1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年9月1日現在)
満()歳

問3 あなたの住んでいる地区をお答えください。(あてはまるもの1つに○)
1. 犬山地区 2. 城東地区 3. 羽黒地区 4. 柴田地区 5. 池野地区

問4 あなたは今、どなたと暮らしていますか。
(あてはまるもの1つに○) (あてはまるものすべてに○)

1. 一人で暮らしている	1. 配偶者 2. 子ども
2. 家族と暮らしている	3. 父母 4. 祖父母
3. その他 ()	5. 兄弟・姉妹
	6. その他(具体的に)

問5 あなたのお仕事は何ですか。(あてはまるもの1つに○)
1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員
4. パート・アルバイト 5. 学生・専門学校生 6. 専業主婦・夫
7. その他(具体的に) 8. 働いていない

問6 あなたはこれまでに障害のある方と一緒に暮らしたり、遊んだり、学んだり、仕事をした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一緒に生活をしたことがある 2. 個人的に親しいつきあいをしたことがある
3. 職場と一緒に仕事をしたことがある 4. 学校や塾などで一緒に学んだことがある
5. 一緒に遊んだことやスポーツをしたことがある
6. サークルや団体で一緒に活動したことがある
7. いずれもない
8. その他(具体的に)

問7 あなたは障害者福祉に対して関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. とても関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない
5. わからない

問7 1へ

問7-1 問7で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の身内や近所、知り合いに障害のある方がいるから
2. 障害のある方へのボランティア活動を行っているから
3. 障害のある方へのボランティア活動を行いたいと思っているから
4. 自分自身が福祉に関する職業についているから
5. テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから
6. 県や市の広報で障害のある方に関することを目にするから
7. 障害者福祉の制度に興味があるから
8. その他(具体的に)

問8 あなたは毎年、健康診断を受けていますか。また、受けていないと答えた方は、その理由は何ですか。

1. 受けている
2. 受けていない

(あてはまるものすべてに○)

1. 自覚症状がないため
2. 交通手段がないため
3. 既に病院にかかっているため
4. 病气や障害を指摘されることが怖い、または、嫌なため
5. 健康診断の時間内にいけないため
6. 健康診断等の情報がわからないため
7. 費用を負担してまで、受けたくないため
8. その他(具体的に)

【2. 障害のある方への意識について】

問9 あなたは地域社会の中で障害のある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. かなり進んできた
2. どちらかといえば進んできた
3. 変わっていない
4. どちらかといえば後退している
5. 後退している
6. わからない

問10 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由とする差別があると思いますか。

(いずれかに○)

1. ある → 問10-1へ
2. ない

問10-1 問10で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や収入
2. 教育の場
3. 人間関係
4. 冠婚葬祭
5. スポーツ・趣味の活動
6. 地区の行事・集まり
7. まちなかでの視線
8. 店などの対応・態度
9. 交通機関の利用
10. その他(具体的に)

問11 障害のある方に対する支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

(あてはまるもの1つに○)

1. できる範囲で支援したい
2. 支援をしたいが、何をすればいいのかわからない
3. 支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない
4. 支援は国・県・市やボランティアなどが行えばよい
5. よくないなお世話だと思つので支援はしない
6. その他(具体的に)

【3. 障害のある方との関わりについて】

問12 あなたは日常生活の中で、障害のある方の手助けをしたことがありますか。

(いずれかに○)

1. ある  問12-1ハ 2. ない

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたが実際に行った手助けは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体的な介助（着替え・食事など）
2. 家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）
3. 買い物や諸手続きの代行
4. 外出時の援助（送迎を含む）
5. 急病などの緊急時の手助け
6. 介助者が不在の時の手助け
7. 手話・筆談・要約筆記
8. 朗読・代読
9. 話し相手
10. 行事やイベント、催物などの手伝い・介助
11. 車いすを押す
12. 大きな荷物を運ぶ・出し入れ
13. その他（具体的に)

問13 今後、障害のある方にかかわるボランティア活動に参加したいと思いませんか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 参加したい  問13-1ハ

2. 参加したいと思わない（理由：)
3. わからない

問13-1 問13で「1. 参加したい」と答えた方にお聞きします。どのようなボランティア活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツ・イベントなどの手伝いや介助
2. 朗読・代読
3. 手話・筆談・要約筆記
4. 学習活動・趣味活動などの介助
5. 災害時の援助
6. 家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）
7. 外出時の援助（送迎を含む）
8. 話し相手
9. その他（具体的に)

【4. 情報収集や通信機器の利用について】

問14 福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 新聞・雑誌・本
2. 市や県の広報・パンフレット
3. テレビ・ラジオ
4. 市役所などの窓口
5. 市のホームページ
6. インターネット（市のホームページ以外）
7. 学校・職場
8. 病院・診療所・クリニック
9. 家族・友人・知人
10. 民生・児童委員
11. 公民館などの公開講座
12. 福祉団体・サークルの活動
13. 社会福祉協議会
14. その他（具体的に)
15. 特にない

【5. 障害のある方を取り巻く環境について】

問15 あなたは次にあげる言葉などをご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障害週間（12月3日～9日）
2. ノーマライゼーション
3. パラリンピック・スペシャルオリンピックス
4. ユニバーサルデザイン
5. 身体障害者手帳
6. 療育手帳
7. 精神障害者保健福祉手帳
8. 障害福祉サービス
9. 自立支援医療
10. 権利擁護・成年後見制度
11. 児童発達支援
12. 障害児の医療的ケア
13. 障害基本計画・障害福祉計画
14. 障害者総合支援法
15. 障害者基本法
16. 障害者権利条約
17. 障害者優先調達法
18. 障害者虐待防止法
19. 障害差別撤消法
20. 知らない

VI 自由記述

VI 自由記述

身体障害者

大分類	小分類	小分類 集計	大分類 集計
公共施設・公共交通機関・ 公道について	コミュニティバスについて	8	33
	舗装・整備	7	
	公共施設・公共交通機関・公道の充実について	5	
	設置	5	
	駐車場の充実	2	
	バリアフリー化	2	
	その他	4	
福祉サービスに関すること	補助・助成	13	26
	福祉サービスの充実について	5	
	ボランティアについて	2	
	障害者向けのマーク	1	
	送迎サービス	1	
	その他	4	
市役所について	感謝	6	20
	職員について	3	
	手続きの簡略化	1	
	部署の設置	1	
	その他	9	
施設について	職員について	6	15
	利用条件について	4	
	増設	2	
	その他	3	
アンケートについて	設問について	4	14
	回答が困難	3	
	その他	7	
コミュニティ・サークル活動に ついて	地域との交流	8	11
	介護者・障害者との交流	2	
	コミュニティ・サークルの充実	1	
情報提供について	周知	5	6
	わかりやすく工夫する	1	
障害者支援について	障害者手当の見直し	3	5
	障害者年金の見直し	1	
	等級について	1	
病院・医療費に関すること	医療費負担	2	5
	その他	3	
災害について	備蓄	1	3
	地域との連携	1	
	避難場所	1	
就労について	作業分野の拡大	1	3
	増設	1	
	その他	1	
相談について	相談施設の充実	2	2
偏見や差別に関すること	偏見や差別について	1	1
その他	その他	42	42

身体障害者全文

市のコミュニティバスの本数を増やしてほしい。
バスに乗る時に障害者手帳を見せなくても何か他のチケットを作ってもらう方法に変えてもらいたいです。
犬山市コミュニティバスの充実（土・日運行、1時間に1本運行、夜8時まで運行等）。
車に乗れないのでコミュニティバスが自宅近くに来てくれるとありがたい。
コミュニティバスを図書館、駅、市役所等に利用できるような回路にし、バス停を作してほしい。
城東地区で交通が不便のため、コミュニティバスが火水木金と出ているが、土日月と三日もないため、買い物、外出ができないのがとても苦しいです。
お陰様で今の所友達にささえられコミュニティバスに乗り外出しています。コミュニティバスのおかげです。
コミュニティバスを土・日も運行してほしい。
これから高齢者が増えていきます。高齢になるといろいろな障害がでてきます。買い物難民が増えるとますます障害が増えるでしょう。郊外型の店舗が多い犬山です。高齢者のドライバーの危ない運転も含め、道路交通行政の充実を考慮してください。
犬山文化会館へ行った時、トイレが2～3段の階段になっていたが、車椅子ではなく杖をついている人たちのような軽度の障害者の人たちには入口が狭いし、段差があると不便ではないかと思います。もう少しいろいろな面で障害者に対する配慮があってもいいと思います。障害者だけではなく、高齢者の方たちのことも考えてほしいと思います。
公共施設の新設、増改築時は団体会員のみでの参加でなく、会員関係なく、障害別代表者を選任し、意見、要望を反映してください（特に3級以上の障害者が望ましい）。
もう少しバリアフリーや障害者への対策をしてほしい。近い将来、もっと増えることが予想される今から対応策を、中長期で実施してほしい。税金だけ多くとって、城下町のみ投資するのはいい加減にしてほしい。
少しでも遠くまで外出できるように、もっと交通手段を増やしてほしいです。
すべての信号機（押しボタン式も）を音声付きにしてほしい（視覚障害者）。
主要バス停留所に高齢者が腰かけられる「ベンチ、椅子」を設置する。
市内の大型スーパーにおいて、車椅子の貸し出しを進めてほしい。車椅子は約10kg程度あるため、自家用車から車椅子を出し入れするのは大変。また、体力が弱い障害者にとっては事実上自家用車から車椅子を出し入れすることは不可能。駅前の大型のスーパーには私の記憶では障害者の駐車場スペースはあるが、車椅子の貸し出しはない。犬山市として、大規模小売店舗立地法に該当する程度の店舗について、市として協力を求めている。また、個人事業主には、そこまでは求めません。何とぞよろしく。
駅は乗り降りにホームごとにエレベーターが止まるようになっていませんか。もしなかったらそうしてほしい。今は昔より障害者によい社会だと思う。感謝です。
私は直腸機能障害ですので、出先でトイレがない時・電車になっている時・車での移動中は大変です。

<p>障害者用の駐車場に健常者が普通に止める。法的になんとかならないですか。市役所の駐車場も健常者が止めていました。</p>
<p>買い物、食事等に行っても、大きなスーパー施設以外は駐車するスペースが狭く帰ることが多い。市内の病院など駐車場が少なく困ることが多い。年配者も多くなっていることも配慮してほしい。</p>
<p>道路の段差の所をスロープにしてほしい。</p>
<p>バリアフリーの拡大。</p>
<p>スーパー等に点字ブロックがあるが、カートなどが置いてあり利用できない状況になっている。市の方で目の悪い人が不自由のないようスーパー等に注意してください。</p>
<p>自転車で外出しています。自転車で車道を走っていると大型トラックで危ない。歩道を走っていると段差があり乗りにくい。左手があまり使用できないのでとても怖いです。</p>
<p>車椅子で外出する時道なのでこぼこが心配。</p>
<p>文化会館、スポーツアリーナ等行く時に、犬山方面から五郎丸あたりの歩道はとても車椅子で通れる歩道ではありません。もっと広くしてほしいです。</p>
<p>道路を整備してほしい（歩行者利用があまりにもおそまつです）。</p>
<p>自転車であちらこちらに出かける人に聞く事ですが、歩道の人家がある日の出ニュータウン等車の乗り入れがあり歩道を歩いても、健常者でも障害者等高低のある歩道は本当に歩きにくいです。それと、旧 41（今国道になっている歩道）は雨水マスト（U字溝蓋）が斜めに傾き、車道からの勾配の続きのようで両側とも怖い。ためしに 1 度五郎丸～南へ文化会館まで、もっと南へでも普通に歩けば長く歩けば足の筋肉が悪くなります。杉山新聞店南の歩道 100m 位は草も刈りきれいになってました。自転車で乗って見てください。予算の加減もありまじょうが、足元が一番大切です。一度見てください。新体育館北側は少しの間、車道と歩道ができました。ありがとう。まだまだ順に犬山市がきれいな市・街になるよう環境が良くなることをお願いします。なかなか書きことは難しいです。乱文乱筆お許してください。</p>
<p>コミュニティバスの車いすでの乗降の時、道路縁石が障害になる（犬山中央病院前等）。</p>
<p>携帯の中で、手話通訳者をしたい。例えば、病院、お店、体育館、旅行・観光などに置いてあれば便利だと思います。</p>
<p>ウォーキング時の公園が少ないし、とまり木が少ない。</p>
<p>一番困るのは病院に通院する時で、自分で行きやすい乗り物の場所が近くにあるといい。</p>
<p>楽田駅道路の産廃トラックと分離して、安全・安心な交通路にして下さい。</p>
<p>補装具助成金の対象品の拡充（他市では対象品だが犬山市は対象外のものがある）。</p>
<p>障害による通院などへの助成。</p>
<p>聴覚障害の福祉について、時代の流れとともに人工内耳の人も増えているので、補聴器だけでなく、人工内耳の補助もしてもらいたい。生きていく上で必ず必要なものなので。</p>
<p>名鉄電車利用の補助、名古屋市は半額である。</p>
<p>犬山市の支援、高齢者タクシー補助を障害者まで拡充、拡大する。</p>

足が不自由なため、タクシーチケットを増やしてほしい。
紙オムツの補助があるとうれしい。
介護タクシーの無料化。おむつの補助（支給）。
補聴器の補助金（耳かけ式）のみではなく、全てにおいて補助金を給付してほしいです。なかなか耳穴式補聴器が高額のため購入することができず困っています。耳かけ式が無理な場合はどうしたらよいのでしょうか。
視覚障害のため補助でプレクストーク（デノシーCD再生器）を使っていますが、6年間新規購入不可で、もし6年以内に故障したら高額な自費で修理しなければならず、6年を過ぎればまだ使えるかもしれないのに、高い修理より、新品を買った方が安いということになる。私の場合、購入は1割負担で3,500円、修理12,000円、部品取り換えで7,000円であった。もったいないし、市の財政にもいいと思うが、福祉機器の修理、部品取り換えにちょっと補助が出るらしいけど。
同じように障害者として生活する他の市、町の方と病院で会う機会があるのですが、医療以外にも生活面での補助が犬山市は近隣の市町と比べてダントツに薄いです。例えば、タクシーチケット、食事の宅配の補助などです。もう少し増やしてほしいです。
病院の通院など、家族の車で移動します。本人は運転できません。車椅子生活です（車に移乗させるのが大変です）。家族の車の改造の費用も一部助成していただけるといいのですが、よろしく願います。
今は特に介助など必要はないが、通院回数が増えて自分で運転しての通院ができなくなる時には、とても経済的負担になる。他市のように、交通費の補助やタクシー券の支給をお願いしたい。
今後、年を取った時に身体の状態や家族の状況等変化してくると思うので、サービスや支援事業は続けてほしいと思います。
市内の観光、公共施設の身障者割引、介助手段が他市に比較し相当消極的である（表示が全くされていない）。料金費用を事前に調べてもなかなかわかりにくい。他市の状況を確認して身障者に対するやさしさを充実させてほしい。名古屋市並みまでは期待していない。税金を罪を犯していない市民に使ってください。
高福祉にて、また、サービスも行き過ぎではないですかね。現在で十分なサービスと考えています。中高年の人たちに負担が重すぎて、高齢者には満足と思います。
母が高齢となり、介護保険と障害でのサービス利用の区別がわかりません。介護優先の今、障害のサービスは利用の仕方すらわかりません。現在おおむね自分のことは行っていますが、今後不安があります。現在私自身パート勤務ですが、来年は退職しなければ母の援助はできないのではと思っています。今後さらなる支援をお願いします。
他市に比べて障害者が必要とする器具や物品の支援が少ない。
介助の必要な方は本当に不安になる時もあると思います。安心できるような施設やサポート、ボランティアさん等、市役所の方等大変だと思いますが、よろしく願います。

<p>子ども・孫がいますが家庭があり、長くお手伝いに来てくれません。福祉に頼ることになります。より良い社会に若い人のパートで運営できるよう研修し、訪問先でいい人・働くことをしっかり歓迎してもらえる（真面目な人物を派遣していただきたい）有料ボランティア・気立ての優しい人を望みます。</p>
<p>あまり出かけませんが、二女が千葉の柏市に所帯を持っているので、年に一、二度訪問しています。東京の地下鉄ではインフォメーション（案内所）にて障害者用のワッペン（胸章）を交付しているそうです。他に名古屋へは数度出かけていますが、私のような内部障害には、外見に異常はないので、電車・バスを利用した時、シルバーシートが使用しづらいです。お出かけの時に表象できる何かを工夫していただければありがたいです。</p>
<p>低料金で行きたい所への送迎をしてもらえるような制度があるとありがたいです。</p>
<p>犬山市は障害においてはかなり遅れていると聞きました。“犬山市は観光がメイン”とも周りの人々が口にしています。障害者は一人ひとりの異なった障害を持っています。動ける人もいれば、全く動けず話すこともできない人もいます、そんな障害を持った人にどのようなサービスや環境が必要なのか。障害者は年配の人ばかりではありません。若い年代の人もたくさんいるのだということを知っていただきたいとともに、市長様には観光が大切なのもわかりますが、まずは“人々の暮らし”、障害者に目を向けていただきたいと切に願っております。</p>
<p>現在は主人が医者、買い物等してくれていますが、車に乗れなくなった時に、同居はしていますが、2人とも仕事等で留守が多いので、1人になった時、また、体調が悪くなった時（不自由になった場合）等考えた時、また、現実になった時を思うと不安です。そんな時の支援をお願いしたいと思います。</p>
<p>ボケ防止等+αの部分が悪化しない取り組み。</p>
<p>3級程度の障害者手帳では、福祉のサービスはあまり必要とされないらしく障害者であるという自覚が今の所ない。</p>
<p>総合的に良くしていただいています。大変助かることが多いです。</p>
<p>いつもありがとうございます。住み良い犬山市でありますように。</p>
<p>平成27年度11月より介護保険資格者に認定していただき、いろいろ支援してもらい本当に感謝しております。</p>
<p>相談に対して、対応が親切できびきびして感謝しています。今まで通りをお願いします。</p>
<p>今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>福祉課の皆様はとても温かく、感謝しております。身障者協会の方々も積極的に活動しておられますので、より連携を強めていってください。</p>
<p>高齢化がますます進む中で、種々多様な障害のある方が増加すると思われるので、広く情報を得られるように、組織の簡略化と、行動力のある職員の育成を望みます。</p>

<p>介護家族は市担当者に相談しても、上から目線で自分の体験談を話し、自分はある以上以上の経験をしているし、免許（介護福祉等）を持っているのでわかっていると言われ、とても悔しい思いをした。介護初心者はやさしく聞いてアドバイスがほしいだけなので、若者の市担当者に偉そうな言葉を発してほしくない。今でも市役所でその方を見て不愉快な思いがこみ上げてくる。二度と役人には相談する気がないです。</p>
<p>生活保護課の人の障害者に対する対応が悪すぎます。もちろん誰に対しても厳しいのはよいのですが、時々「何を言っているのか。」と思う言葉があります。</p>
<p>福祉課の窓口では、障害者に対する各種の制度上の補助やサービス・関係団体・ボランティア団体などや、税上・年金等の他課の制度まで含めて説明し、受けられる援助を全て受けられるように対応してほしい。</p>
<p>高齢者への「なんでも修理」する部署の設置。簡単な修理と交換等（電球等）が障害者にはできない。</p>
<p>十分にやっていただいていると思います。市費負担が重くならないよう願います（過剰なサービスのため予算の負担にならないこと）。</p>
<p>犬山市の施策に対してではないが、車の身障者マークの不正利用が多く見られる。100均やホームセンターで安易に購入できてしまうため、手帳発行と同時や市役所でしか発行できないようになればと思う。また、内部障害には身障者マーク（車に貼るもの）がなく、対象外なのも対策を考えてほしい。</p>
<p>課はアンケート以外何をするつもりですか。</p>
<p>このアンケートの主旨に沿った回答ができていないのか分からないけど、いつも自宅にいるから理解不明なことは訪問して確認してみてください。娘（26歳）一人で私（障害の母）として心配ばかりです。介護度の認定時だけの訪問でなく、よろしく願います。他事はないですね。市役所の方々が多忙なので仕方ありません。</p>
<p>介護認定など、福祉に関する手続きなど本人一人では行けないので、市民課のようにとは言いませんが、月に一度、土曜日でもよいので、午前中だけでも受け付けていただけるとありがたいです。</p>
<p>粗大ゴミの扱い変更のお願い。年2回程度、昔の方法で指定場所へ置き、市が処分できる方法を考えてください。</p>
<p>104（電話）無料、車の支援など、障害者本人、家族にわかりやすい本を作ってほしい。すぐに利用できることなどを書いた本、または、絵を通して誰でもわかるようにしてほしい。市役所の方々、皆様方に感謝いたしております。</p>
<p>私は右足が股関節脱臼で、左足が人工関節です。その上脳梗塞にあいました。そのため、右の股関節がうまく歩けません。それで、右足の靴を作りましたが、その時市役所福祉課のお世話になり、今ではその靴がないと遠くへ歩けません。そこで、サンダルやスリッパも作りたいですが、無理でしょうか、知りたいです（脳梗塞のため字が読みにくいと思います）。</p>
<p>長寿社会課へ伺います。まだ元気で頑張ります。今は良いです。よろしく願います。お電話で1人。分位事情をお話しく思います。そんな時がすぐきます。福祉課のご活躍をお祈りします。</p>

<p>親が介助する時に大変だと思うのと同時に、事務所の職員の方々が大変な状況にあることが一番心配です。利用している施設では3人の職員の方が身を粉にして子どもの介護にあたってくださいます。頭が下がるとともに、職員のお体のことを思うと、一刻も早く職員の人員確保をお願いしたいです。</p>
<p>加配の先生を使ったが、障害者二人に対して一人。一人ひとりにつけてほしい。通学になるにあたり、放課後デイサービスを使いたいと思ったけど、有料なのでやめた。お金の問題で働きたいと思っても、学校からの呼び出し、体調が悪かったりと働ける環境がない。時間（病院）的都合で延長することもあるので、保育園に入れたくても働いてないと無理。障害者のサービス無料化と、障害者・保護者への支援をもっとしてほしい。介助の疲れなので親も体調を崩し病院にかかる。悪循環。そしてお金がかかる。</p>
<p>民生委員とは何をしますか。ケアマネによくしてもらっていないのですが（本人より母）。私は耳が聞こえないので、人とあまり話をしないので、食べることは弁当で食べています（1週間夜だけ）。</p>
<p>本人に対し、ケアマネジャーや介護ヘルパーなど数多くしてほしい。</p>
<p>この2年程、障害者に対してケアマネが入ったことはうれしいです。</p>
<p>市の障害者福祉施策についてわかっていないので何とも言えませんが、弱者の唯一の代弁者であり直に接するケアマネさんの対応（単に仕事としてのみ対応するのではなく、弱者の身になって・立場になって対応することが重要）によって弱者は介護サービスに対する満足度・気持ち・印象などは全く変わってきます。そこで福祉に携わる人達の人材育成が非常に重要である。自分は、6年前初めて何もわからない介護サービスを利用することとなり、その時のケアマネさんが親身になって1から全ての事を面倒対応してくださいました。忘れることができません。ところが、介護度が変わり6年ぶりに我が家に戻り、別のケアマネさんが対応してくださいました。介護度が変わってもケアマネさんの対応は変わってはいけないと思いますが全く違います。また、施設にやる時も不愉快なケアマネさんがいました。このケアマネさんは他の家族にも嫌われました。また、数日前には複数の施設とケアマネさんが組んで、悪さをしたニュースが報道されていました。また、ヘルパーさんもしかりです。</p>
<p>尾張旭市は毎日施設を利用できる方がいるようだが（保護者がごねて通しただけだと思うが）、名古屋市は私が知る限り、例外なく月8日を守っている。犬山市は名古屋市のようにはしてほしくない。</p>
<p>70歳を迎えるにあたり、介護施設の空きがなく、順番待ちの状態と以前聞いたことがあり、自分が介護の必要者となった時のことを考えると不安になります。</p>
<p>私は障害者の家族ですが、本人が有料老人施設に入所して4年になります。入所地は犬山市外のため、充実した犬山市障害者福祉施策の恩恵にあずかることが少ないと思います。入所先の施設支払い料金も年々上がり、本人の年金の5割で家族が負担しています。今後経済的にも不安です。</p>
<p>施設利用費が高額であり、入所は望めそうにない。自宅介護は限界があり、介護者が肉体的・精神的におかしくなる。</p>

<p>肢体不自由児が就学前に通える施設が絶対に必要です。知的の子よりも外に出てくる機会も少ないし、活動場所が限られており、病院をハシゴする日々で、たまに施設へ行っても、その活動が「運動遊び」だったりするとかなり厳しい状況です。それぞれに合った療育の受けられる犬山市になってほしいです。</p>
<p>犬山には身体障害者が利用できる施設が限られている。高齢者に対する支援サービスが主で、若い世代の人が利用できる施設が少ない。</p>
<p>私が介護できなくなった時、妻は介護施設でお世話にならざるを得ません。介護施設への入居について早期に担保できれば安心です（所要経費、施設の状況等を考慮し、選択して予約する等）。</p>
<p>犬山市の福祉課の方は日頃から親身になって対応していただき感謝しております。要望といった面では市の問題ではないのですが（病院・短期入所）、身内の葬儀であっても、ケアが必要なため即日の短期入所が認められない（返事が遅い）。遠方での冠婚葬祭で飛行機等の手配をしたくても、直前までわからない。費用を安くすることができない。緊急性のある時は即答できる体制になればと思います。</p>
<p>このアンケートは必要かと思いますが、もっと効率よく、要点をしぼって、記入項目もわかりやすく、このように問いが多いだけでは大変です。黄色の用紙は見にくいです。もっと障害者の負担にならないアンケートにしてください。</p>
<p>障害者で要支援、要介護を受けている方のアンケート（車椅子、ベット、トイレ、手すりなど）項目を。</p>
<p>本人がほとんどわからないという返答のため、回答に”わからない”という項目もほしいです。</p>
<p>このアンケート中の【11. 障害福祉サービス・地域生活事業について】の内「②今後、利用したいですか」の1.はい 2.いいえ欄は「今後」の意味をどう想定するかにより答えが違ってくると思います。例えば、問32の（2）重度訪問介護は現在の状態ではサービスを利用していなくても、「今後」とは自分が現状のままと仮定するか、重度になった場合を想定（「今後」とはこれから死ぬまでのこと。）するかにより正反対の回答になります。また、現在、家族に介護してもらっているから、不要でも家族の状態が変わった場合を想定すれば必要になる場合もあり、回答に迷いました。要は条件を明確にしないと回答がまちまちになり、有効なデータがとれないのではないのでしょうか。</p>
<p>一人で何でもできていますので困ることはありませんが、このアンケートは85歳を過ぎた年寄りには長すぎて一人では難しいようです。家族と一緒に暮らしていれば大丈夫ですが。</p>
<p>内容の意味が難しくわからない所もある。</p>
<p>高齢と言語障害があるため、アンケートに答えるのが難しい。</p>
<p>このアンケート用紙でどのぐらいの進歩があるか疑問。</p>
<p>アンケートだけでは終わりにしないでほしい。</p>
<p>老老介護に重点をおいた行政に取り組む必要があります。心身の疲れが頂点に達している方がいるのでは。結婚を考えると、障害者はひとり者が残されたら、どこへ、どうなるか考えています。そんな時、行政が力、アドバイス、見通しなど教えてほしい。</p>

目に優しいアンケート用紙にしてほしいです。黄色はやめてほしい。
当アンケートの集計、分析、立案のストーリーの後、公報等で具体的にアンケート対象者に方針を伝える手法がなければ、当事者としては何も知りえない上で、市長名でエネルギーを使ったことを評価すべし。
毎年々というのはめんどろです。5年に一度とかにしてほしいです。
個々の状況や具合が違いますので非常に難しいが、老人会等隣人愛を育てると良いし、年代の自然人会しながら隣人愛を育てないと、住み良い社会はまず家族、隣人との和が必要かと思う。
町内の人間関係が非常に嫌な感じがする。家内だけにて二人だけで暮らしたい。
今は自分の身の回りのことは自分でできるので、なるべく気持ちを前向きに、地域の行事に参加したり、少しの畑で野菜作りを楽しんだり、食事など身体の健康を考えています。この状態が少しでも長く続くことを願っています。また、いずれ市の皆様にお世話になるかと思えます。よろしく願いいたします。
母ですが、歌が好きで、下手でも歌って自分がどれだけの力があり、皆様に聞いていただいて自分自身の気持ちがわかるようになれないのか（正直に評価してくださり意見を聞かせたいです）。人とのお付き合いも今のところ私の友達しかありませんので、たくさんのお会いがあって少しずつでも成長して行ってほしいものです。
市の講座に参加していますが、講座料が急に高くなり、参加しづらくなりました。運動はできませんが、一般の方と一緒にいろいろ学び楽しみたいです。
訪問介護支援で余暇のために映画やカラオケなどを本人が介助者とともに（家族では同伴できない時がある）楽しみたいのですが、犬山では同伴支援ができないと言われました。他市町村では、支援できるのに犬山では許可されないのはなぜですか。家族ではない人と交流していくのも、自立支援になるのでは。
若い人が集まる何かをしてほしい（障害のある方等、年代別にでも）。
年齢に関係なく障害者団体の活動に参加できると良いなと思います。人数制限もないと良いです。
私と同じような方々がいると思います。介護者の苦勞、経験など聞きたい。集会や座談会などの集まりをする機会を計画してください。老老介護の苦勞話など伺いたい。十分な回答ができなくて申しわけありません。
アンケートもいいですが、市と介護者・障害者が直接話ができるといいと思います。
ネットワーク（コミュニティ）を充実させてほしい。
ネットでサークル等若い人が参加できる（障害がある方等）情報を聞かせてほしい。
情報が市に行かないとわからないので広報などに記載してほしい。
広報の掲載場所下段に市役所何階と電話番号を記載する。
福祉に関する情報がほしい。
安心して介護ができるよう、広報などでアピールしてください。
福祉、災害等の対処方法を簡単にわかるようにする。
障害者福祉手当の見直しを（アップに）。
一般障害者手当の増額。今の金額では生活補助に不適切な金額。

<p>高齢者と働けない障害者には、給付金や手当などの充実。</p>
<p>内部障害3級でも障害者年金を少しでもいいので支給してほしい。給料はいただいているが、アルバイトだし、将来のことを考えると不安です。独立するのが難しい。今は親が何かあって病院に運ばれたりすると、救急車とか、車で迎えに行けるけど、年を取ってそれも無理になるとアルバイトにも行けなくなる。</p>
<p>私は読みも書くのでもできませんので、できることならもう少し級を上げていただきたく思っております。</p>
<p>障害者の医療費を1割、2割負担にしてください。</p>
<p>医療補助があるだけでもありがたいことと感謝しております。</p>
<p>私は医療に対して不信感を持っています。眼科は犬山市また江南市の医者により、信号の表示が分からなかったのが分かるようになりましたが、難聴は少しも良くなり、障害認定ということでしたが、その治らない理由の説明もありませんでした。また、医者により判断が違うのは何なのでしょう。高齢者など身体全ての状態も含めるべきかと思えます。とにかく良い結果を出せる医療でありたいです。</p>
<p>視覚障害の1級で医療費の自己負担分も無料であり助かっています。現在、昨年10月に骨折し手術を終え、自立歩行できず介助が必要です。介助者の負担軽減のために、デイケア、ショートステイを利用しています。障害者福祉施策は特に利用してなく、あまり関心もありません。いずれにしろ家族の負担は大きいです。</p>
<p>現在月1回レスパイト入院で春日井市内の医療機関を利用していますが、重度化していることもあり、満床で希望が通らなかつたり今後も増える一方で、やはりショート扱いのためなかなか細かな所まで見ていただくことも難しい現状であることもあり、犬山市はショート・レスパイトは他市町に頼っているため、犬山市の医療機関で一床でも利用できる態勢にできないのでしょうか。</p>
<p>補装具の備蓄（小牧市みたいに）。</p>
<p>災害があっても地域でリハビリやサークルに参加できる場所がほしい。</p>
<p>災害時の避難場所について。脊髄損傷ですが、災害時避難場所の体育館で雑魚寝などとてもできません。非被災地市町村のバリアフリー宿泊施設利用ができるような協定をお互いに結んであるのか教えてください。</p>
<p>現在、就労継続支援事業所に通所しているが、もっと幅広い専門分野の仕事があったらよいと思う。単純作業の仕事はあっても当然だが、学びと就労を同時に行えるような作業所もあってよいと思う。</p>
<p>軽度障害者の働きたい人・働ける人に対して、事務所を増やし、また事業所内を利用しやすいように設備する。</p>
<p>障害者の労働を奪わないでほしい。保育園の給食調理民営化により私は29年度は働く場を失うことになる。社会参加ができなくなることはとてもつらい日々をこの先送らなければいけない。障害手帳を持っている方の家へ、一年に一回でも相談員なり民生委員が訪問してほしい。</p>
<p>私は自分が障害者でありながら、障害者の母を介助しています。今後のことが心配でどうしたらよいかわからないので、相談施設を充実させてください。</p>

<p>現在本人は心臓病の幼児で、医療費は全額公費で賄っていただいています。将来成長するにしたがって、高額な医療費のかかってくるのではないかと不安です。医療と福祉両方に知識がある方に将来のことを相談したいが、どこに相談してよいかわかりません。また相談しづらい面もあります。何でも相談できる窓口を作っていただきたいと思っています。</p>
<p>障害者に何を言っても傷つかないと思っているみたいな気がします。電動車いすで乗り物にも乗れないし、どこにも行きたい所に行けない。コーヒー一杯も飲めない。好きな映画さえ借りに行けない。すごい不便さと回りの心無い言葉にこの土地にいることに後悔しています。手が悪いので字が汚くてすいません。とても住みにくいです。</p>
<p>私は今現在年金のみで生活しております。本当は仕事をしたいのですが、なかなか仕事が見つかりません。といっても身体があまり良くないので仕事をするのがそもそも無理なのです。ここで重くのしかかってくるのがNHKの受信料です。年金生活ではNHKの受信料がとても重く感じます。受信料の免除の範囲を拡大してもらいたい。</p>
<p>家の掃除を月に一度お願いしたいです。</p>
<p>本人の意見を聞くことがあったのか。</p>
<p>大変さをどれだけ理解しているか。それには何をすべきか。</p>
<p>ますます身障者対策に力を入れてください。</p>
<p>現在家の中で不自由なく過ごしていますので、週1回ぐらいで買い物やお風呂に入っています。いつまでかわかりませんが。</p>
<p>車の免許を返納してからの生活の便が不安です。</p>
<p>今は7月から介護老人保健施設にお世話になっております。大変感謝しております。私は今一人でおります。主人のことが大変心配です。これからもよろしく申し上げます。</p>
<p>昨年12月に手術して、下肢機能障害5級を認定されましたが、10月には返還します。3年前の法改正でのことですが、友人で8年前に股関節を手術して認定4級を今でも保持しています。バイク、自転車にも乗れてしゃがむこともできます。30年前に股関節（骨きり）手術をしています。私は和式トイレには入れません。自転車も乗れず、靴下も道具を使用しないとはいけません。30年間びっこしていましたが、今回の手術で歩くことだけはできました。3年前からではなくもっと以前から見直しされた法改正をお願いしたいです。</p>
<p>介護していて、他の人から「頑張って」と言われるのがつらいです。これ以上頑張れないので。</p>
<p>障害者の高齢化、単独生活と高齢社会の進行により一人ぼっちな障害者が多くなり、日常生活に支障のある障害者が増えるので、地域社会と健常者で支える仕組みづくりをする。財政負担の軽減策にもなる。</p>
<p>現在のところ、父も私も少々身体のあちこちが痛かったりする程度で、認知もなく、たいては負担（介護の）も感じず過ごせていますが、もっとともに高齢になり、不自由を感じるようになると思います。その時になってみないとわからないと思う。</p>
<p>もう車には乗らない。しかし、近くに買い物する店がない。自転車にて何とか用を足しているが将来は不安です。内田地区に店があると助かると思います。</p>

ケアマネ、リハビリの先生にお世話になり、心配なく看護生活を送っております。
介護する妻は高齢者のためいろいろなことに対して大変です。体の大きい人なので特に困ります（妻は77歳です）。
今自宅の風呂場が壊れかけているので直したいが、どこに相談したらいいか困っている（費用面も）。
どうせ死んでいく身体、自分が飲めなくなったらもうおしまいだと、当たり前のように昼から飲んで、5時まで寝て起きたらすぐ夕食の分を飲むから、飲む時間と寝る時間が多く、起きている時間は6時間ぐらいです。わたしはどこへでも運転できるので、医者も買い物も行くのですが、車の中で待っている始末。医者に行く時も診察にもしぶる状態でほとんど困っています。本人の意思にまかせて今を過ごしています。
等級が低いので仕方ないかもしれませんが、収入源がないので、生活・治療費等に困っています。
ちょいちょい見に来て。
現状特に問題は発生していません。今後とも障害者に対し住み良いまちづくりに向け支援をよろしくお願いします。
現在、介助が必要ありません。
障害者も高齢者も共有できる制度の構築。
今後、本人の介助が必要になった時のことを考えると不安です。
本人は特に今のところ介助を必要としない生活ができています。
介助年数（問45）が記入してありませんが、今は特に介助を要する状態ではありません。障害者の認定を受けたのは平成23年です。
今はまだ自立しているつもりですが、年齢も増し不安は増すばかり。頑張っていくつもりですが、自立が難しくなった時、充分なる対応があるという安心がほしい。
基本的人権を守れるようにしてください。理由はあるが書けない。
現在多くの介護を必要としていないが、今後は多くの介護が必要となってくると思われるが、どのような状態になっていくのかが不安。
働くこともできない親を抱えていると、娘が結婚することもできません。経済的にも障害年金では食べていけませんし、早く死んであげなくちゃと思う毎日です。お金を銀行で借りられないため家を担保にかりていますが年利12%と高く、市や国から借りられないものかと思っています。
誰が問うても答えられるように、常にアンテナが必要です。
とにかく当事者の気持ちになって、全身全霊をかけて一生懸命やれる事を先延ばしにせずやってほしい。
今のところ介護を受けず自分のことはできます。

締切日のないアンケート調査、返信用封筒のバーコード等々でなぜか素直に受け止められない自分に困ったものです。当アンケート調査は「共に生きる社会の実現」とのことですが、私の場合心臓病で平成17年に身体障害3級になり、当時は2/3動いていると言われましたが、今では1/4しか動いてないと医者に言われています。少し動いても息切れがし、寝たきりにならないよう家族の助けを受け生活しています。こんな状況ですので、外とのつながり等はまったくありません。妻を通してだけです。また、役所から今まで何等連絡もありません。スポーツやデイサービス等々は息切れの激しい者にとっては、考えられません。

知的障害者

大分類	小分類	小分類 集計	大分類 集計
施設について	職員について	5	14
	療育施設の増設	4	
	介護施設の増設	2	
	療育施設の利用期間について	1	
	その他	2	
福祉サービスについて	福祉サービスの充実	3	9
	送迎サービス	2	
	ボランティアについて	2	
	その他	2	
情報提供について	周知	4	6
	わかりやすく工夫する	1	
	知る機会がない	1	
障害者支援について	障害者手当の見直し	2	6
	その他	4	
アンケートについて	回答が困難	4	5
	設問について	1	
就労について	就労先について	5	5
市役所について	感謝	1	5
	手続きについて	1	
	その他	3	
相談について	相談窓口の充実	1	3
	その他	2	
コミュニティバスについて	バスの増便	2	2
偏見や差別について	偏見や差別について	2	2
介助者について	介助者について	1	1
コミュニティ・サークル活動について	障害児をもつ親同士の交流	1	1
災害について	障がい者避難支援	1	1
病院・医療費について	障害児の医療費について	1	1
その他	その他	13	13

知的障害者全文

<p>子どもたちはこだわりの強い個性的な性格です。職員にゆとりがないと、子ども一人ひとりに対応するのが難しいと思われます。職員の人員確保をお願いしたいです（親でもゆとりのない時は子どもと向き合えないので）。</p>
<p>毎日大好きなショッピングセンターへ行ったりするのが大変なので、ヘルパーをお願いしたいのですが、人がいないとのこと。毎週主人と電車で出かけますが大変そうです。</p>
<p>加配は余裕をもった人数をつけてください。障害によってはマンツーマンの加配を必要としている子どももいるので。小学校入学までにはいい噂を聞くのを期待しています。中学校の部活はコーチ加配があると聞きました。「できる子をよりできる」ようにすることに力を入れるのは結構ですが、「できない子が少しでも生きやすい社会」にすることをどうかおろそかにしないでください。</p>
<p>就学の時、地域の特別支援学級にするか、近隣市の特別支援学校にするか判断に迷い、地域の学校の体験を何度か体験しました。そのとき痛切に感じたのが、養護教員という先生ではなく、普通教員の方が手探りで教育されていて、その先生方も短期間で交替されているという現実でした。専門の先生の確保と増員を望めたら、就学に対する母子共の不安が少しは解消するのではないかと思いました。</p>
<p>保育園・小学校などに専門の知識を持った職員を増やしてほしい。</p>
<p>学校卒業後にすぐ入れる入所施設（区分関係なく、順番なしで）を作してほしい。できれば犬山北地区など。</p>
<p>療育施設をたくさん増設してほしい。</p>
<p>日ごろからご理解いただきありがとうございます。息子は知的障害者で、養護学校時代特に行動が荒れて、思春期に伴いとても大変な状況で家族共々疲れ、施設入所を希望し春日井市の施設に入所できました。子どもと離れて暮らすことにとっても罪悪感を感じましたが、お互い安心して生活できるように判断し入所し、土・日の週末帰省だけは守り家族との生活をしています。一時期施設解体論などもありとても不安でした。地域での生活、グループホームなどの生活ができれば望ましいですが、それができない子どものための入所施設はどうしても必要です。親も子どもより長生きはできず、親子共々が安心して暮らせる施設。またそれぞれに状況にあったサービスが選択できることが必要だと思います。障害を持つ子どもさんは症状はさまざまです。私たちは子どもが入所し、子どもなりに自分の居場所として職員さんの援助を受けできなかったことができるようになって、元気に生活しています。犬山市の障害者福祉の施策にとっても感謝しております。ありがとうございます。</p>
<p>学校を作してほしい。中学を卒業すると、養護学校か支援のある学校がほとんどと思われませんが、一宮の学校は分かれましたが人数（地域）が広く、一宮に行くほど重度ではないが通常の学校に行くには不安がある、そんな中間的な人が通える学校的な場所があればいい。</p>
<p>介助者が高齢、病気などで介助できなくなった時に障害者の入居施設を確保できるように要望。</p>

<p>家族で世話する人に用事があるとき、お世話をしてくださる方がいらっしやるといい。どこかで一日ぐらい泊りができる施設がほしい。よろしく願い申し上げます。</p>
<p>放課後デイサービスが利用できる施設もできたのはいいですが、日中一時支援を前みたいに4時間利用できたらと思います。特に長期休み、学校代休日が特に利用時間が短いのもあります（仕事、用事があれば時間が足りないと思います）。日中一時の日数もMAX7日ではなくて、15日間とかにしてもらえると助かります。日数増やす時は両親の就労証明書があると聞きました。それをやめて日数を7日間ではなくて、最低でも15日～20日間利用できたらいいなと思います（日にち調整が一番悩みどころです）。</p>
<p>中学は犬山で通学しています。知的障害の子が通学する支援学校は、自力で通学するには遠くて大変です。近くに別の支援学校があるのに、学区の問題で通うことができません。小牧の子たちは通うことができるのに、すごく残念です。どうかしてください。お願いします。高校になってまで学区の問題があるのはおかしいです。</p>
<p>現在、施設に入所しお世話になっておりますが、今後も入所継続をお願いいたします。両親も年老いたため面倒見るのが困難なため。</p>
<p>障害の重い、軽いに関わらず、家庭環境にも踏み込んでサービスを提供してほしい。保護者や介助者が会社勤めをしていて、兄弟、姉妹が障害者、母が他界し、父が要介護認定を受けて施設に入所しています。これでは普段から面倒をみていくのが本当に大変です。もっと保護者、介助者の家庭環境に配慮して、支援、援助してくれるようにしてほしい。</p>
<p>子どもたちに福祉教育の充実を強く希望します。</p>
<p>福祉サービス・利用の充実。親（保護者）がこだわりの強い子どもの体力についていけない時がある。もう少し、福祉サービスの利用の充実・サービスが受け入れやすくなってほしい。福祉への理解。</p>
<p>犬山で入所できる施設がなくて遠くへ行っています。私も年を取り、本人が楽しみにしている犬山への帰宅、私が病気で送迎できない時はどうしたものか、代わりがいません。そんな時頼める代わりの人がいたらどんなに心強いかと思っております。</p>
<p>子どもの施設への送迎ですが、電車に乗っていく場合行きは半額ですが、送り届けて帰りは割引なし。そしてお迎えはその逆で行きは割引なし、帰りは半額というように金銭的にも負担になります。じゃあ徒歩で行ける施設を選択すればいいじゃないかと言われるかもしれませんが、それでは広がりません。少しでも刺激を感じ、慣れていきできるようにする手助けをいただければと思います。</p>
<p>どこの市町村も同じだと思いますが、移動支援や日中一時の支援により母親の負担は少し減り、自分の時間も前よりは持てるようになったと思います。しかし、これを利用するにはおとなしかつたり、大きな声を出したり、人に迷惑をかける人はなかなか利用できない（利用をためらう）のが現状です。障害はひとくくりにはできませんが、困っている人を助けてくれるのが福祉施策だと思うのでその辺を考えてほしいです。例えば、一人で親が連れていくのがままならないから、ヘルパーさんをお願いするのですから、大変な子は1人＋ボランティアとかつけていただけると安心だし、ヘルパーさんも助かると思います。</p>

<p>ボランティア。他の市では、ボランティアによる協力・行事の協力があり、何か子どもたちにイベントをさしてあげようと思っても、親が子どもを見ながらどこかに自分の子どもを預けてのことになるので、イベント参加・主催がやりづらいことがある。</p>
<p>犬山市は障害者福祉について、あまり前向きにはみえない。障害福祉サービス事業所の対応も悪い。家族を不安、不快にさせた。</p>
<p>各種サービス（支援）の有効期間が短いので、1年の間に何回も手続きを行わなければならない。また、市からの手続きの案内もばらばらに来るので、できるだけ纏めて手続きできる方がお互いの仕事が減ると思われる。</p>
<p>災害の情報がほしい。</p>
<p>手当等の情報を市役所の方からも精力的に出してほしい。</p>
<p>作業所に入っていないため、本人の余暇活動がなく、自宅で1日中過ごしている。障害ありでも参加できる活動サークル等情報提供がほしい。</p>
<p>もう少し情報もほしい（災害についてもどのくらい話が進んでいるのかなど）。</p>
<p>どんな支援が受けられるのか、こちらからたずねていかないとわからない。小・中学生の間はいいが、働くようになり、自立していく上で、どんな支援が受けられるのか、わかりやすく見える化してほしい。</p>
<p>療育、保護者向けの講座等、情報が入ってこない。</p>
<p>障害者手当を増額してください。</p>
<p>障害者に対する市からの手当が少なく、会社からの障害者に対する賃金が少ないため、軽度障害者の自立ができないし親がいなくなった後生活ができないと思う。</p>
<p>障害を持っていても生活しやすい学校生活、日常生活ができるようになってほしい。学校でも市の窓口でも、障害に対して精通した方をもっとおいてほしいです。親の方もいろいろな勉強会、講座などに参加し、勉強されている方が多いです。たまにもどかしくなる時があります。</p>
<p>生活介護にて施設通所できており、平日は助かっています。また、月に何度かの移動支援、日中一時短期入所も取り入れ各サービス使用させていただいており満足しています。生まれつき障害児ですすでに28年経ちますが、運動をする機会がなく、一般的に肥満の方が多いようです。幼少の頃より要望を出していましたが、実現に至ってないことがあります。それは障害のある方にプールを開放するか、ハンディーキャップコースを作ってスクールを開催してもらいたい。陸上より水の中の方がより運動できる子が多いので体力アップにつながります。一般の方の中にはとても入れません。指導者の指示の聞けない人、トイレに一人でいけない、衣服着脱の介助等必要だからです。昔は五郎丸のスイミングスクールにハンディーキャップコースがありました。その後、各務原中央プラザにも。今は小牧のVトピアに岡崎の先生を高額の費用を出し合って来てもらっています。犬山の市民が他でお世話になっています。悲しい。</p>
<p>移動支援のしびりがきついのもう少し緩和してほしい（娯楽施設等に行けるようにしてほしい）。</p>

<p>いつもお世話になり、感謝の気持ちです。子どもを名古屋その他どこでも良いのですが、季節感のあるところ等、2か月に一度くらいおさそいを受けられるとうれしいです。おさそい制度ができると参加します。</p>
<p>このアンケート自体が難しかったです。</p>
<p>本人は今回アンケート調査を見て読んでも理解する能力がありません。</p>
<p>本人が知的障害のため、このような質問にも理解できず回答できません。本人に対しての連絡事項、いろいろ連絡していただいておりますが、本人が回答できない場合、本人に不都合なこととなることがあります(本人責任のため)。不都合が起こらなくするため、係の人は何故回答がなかったのか確認していただきたいと思います(追跡調査)。書類等の未提出によって本人が不利益を受けないようお願いいたします(父親書)。</p>
<p>障害者の子どもがアンケートの内容を判断するのが困難。</p>
<p>手帳の種類によってアンケート内容を見直すべき。分かりづらいです。</p>
<p>私はてんかんですが、職場に内緒で働いています。いつてんかん発作が出て会社にばれないか心配です。仕事がなくなって収入がなくなるのが心配です。次の仕事を探すのが大変です。以前ヘルパーの資格を取得しましたが、車の運転ができないので面接だけでみんな不採用でした。仕事が障害に対して少なく中途な障害だとなかなか仕事がありません。職業安定所の人ももう少し親身になって相談にのってほしいです。</p>
<p>うちの子どもは27歳になります。自閉症で人との関わり方が下手で就職したものの1年ぐらいで辞めました。その日以来働いていません。仕事の話をする、イライラ、ムカムカするようで、物にあたり、最後には壊しています。</p>
<p>まだ障害者が増えてくると思うけど、仕事をさせたり、独り立ちのことを考えてほしい。</p>
<p>学校を卒業した後不安があります。地域に働く場あるといいし、地域での障害の理解が進むと思っています。障害のある人・ない人がともに生活できる街づくりを期待します。</p>
<p>障害者との差別をなくして、もっと働ける場所を作ってほしい。保護者も高齢になり、子どもの将来が心配(自分一人では生活できないため)。</p>
<p>各項目の中にも書いたことですが、親がいなくなった後、事柄が自分からできないため、公的な機関の書類が提出していないためできないのではなくて、必要な手続き等があれば、公的な機関まで出向いてでも手続きができるよう、システムを考えてほしい。一番良い方法は現状を継続できるよう、関係書類等の提出が必要ないようにしてほしい(自動更新)。例えば、1年で再提出とか3年で更新とか。</p>
<p>他市から転入してきてとても良くしていただいています。ありがとうございます。</p>
<p>昔に比べると、現在、かなり周りに理解してもらえるようになりました。市役所の方々にもいろいろ話を聞いていただいたり、ありがたく思っています。神奈川県のようなことが再び起きないように心より願っています。</p>
<p>犬山市の福祉課からいろいろな福祉施策(サービス)について記入の書類が送付されますが、わかりにくいので、福祉課まで直接持っていく、話を聞きながら記入し提出します。毎年とのことなので、もう少しわかりやすくなりませんか。</p>

<p>初めて療育手帳を作る時、何課に行けばよいかわからず、こども未来課に行ったら、「療育手帳って何ですか」と言われた。療育が必要なこどもには未来はないんだと感じた。総合案内に行っても「何ですか」と聞かれた。まだ、子どもの障害を受け入れきれていないのに、説明をさせられて、もう作らずに帰ろうかと思った。そして、なぜか年金課に行くよう言われた。弱者にきびしい市役所だと思った。こども未来園について、こども未来課に説明を受けに行ったら、「働いてないなら入れなくていいんじゃない」と言われた。障害があるからこそ一刻も早く社会生活をさせる必要があるのに、障害児の実情が全くわかってないと感じた。公立の園は信用できないと感じ、私立や市外への引っ越しも真剣に検討したが、経済的に難しく、まだ滞っているが、実際に子どもに悪影響が出たら、実家もろとも2世帯引っ越す心の準備はできている。この上希望の未来園に入れなかったら本気で考える。手当を支給されている障害者より、納税している健常児の共働き世帯の方が優遇されていることは仕方ないと思いつつ、だからといって肩身の狭い思いを強いられるいわれもないと思っているので、「障害者支援に力を入れる市」をうたうつもりがあるなら、立場の弱い人間への優遇を考えてください。</p>
<p>介助者がいなくなった時の不安が宿命的にあり、あと何年今の生活が続けられるか心配である。介助できなくなった時には相談できる窓口、組織の充実を希望しています。</p>
<p>保護者が高齢になり、面倒を見られなくなった時、どのようにしたらいいか、相談窓口がわかりません。今から何かしておくことはないのかと不安を感じています。グループホームという所を名前は知っていても、どんな所か、我が子はそこが適当なのか、全くわからずにいます。年に1回医療機関に行っていますが、相談しても思うような答えは得られず困っています。</p>
<p>37歳の娘ですが、5年前に知的障害と判定されました。娘には39歳の姉はいますが、私はあなたの世話はしないから自分で考えておいてよと言われていています。私は娘に姉だからそんなこと言っているけど、ほっておかないと思うよとは言っているのですが、私は73歳、主人は66歳ですが、年々体もあっちこっちおかしくなるので、この先娘のこともすごく心配です。家は自分の家ですが、この先私たちがいなくなったらどうしたらいいのか毎日考えています。こういう娘を助ける手立てはあるのでしょうか。娘はできればこの家で住んでいたいというのですが、障害保険と少しの貯金でやっていけるかすごく心配です。こういう人たちは多くいるのではないのでしょうか。そんな人たちを集めて、何らかの会を開いてこの先のことを話し合える場所を作ってくださいるか、各家を訪問して相談にのってほしいです。</p>
<p>バスをもう少し増やしてほしい。</p>
<p>駅近くに無料かお手軽な駐車場、コミュニティバスが毎日駅まで出てくれると良いです。今は商業施設の駐車場を利用しています。</p>
<p>障害者という言葉がなくしてほしい。障害者の言葉があるだけで仕事とか生活に壁が増えることが多くなる。新しい言葉に変えてほしい（種類別で）。</p>
<p>障害者の人間にあまり子どもに話しかけるような口調で話さない方がいいと思います。人によっては成人された方にもそういう話し方をする人もいますから、それは福祉に関わっている人であっても差別に思えます。</p>

<p>介助者が年に1回くらい、解放させていただける機会がほしい。子どもの面倒を見ることが嫌ということではありません。自分のやりたいことを気兼ねなくやってみたい。それで、子どもにも気持ちよく接したい。</p>
<p>たくさん講座や障害児を持つ親同士の交流会を作してほしい。</p>
<p>大地震が起きた際、自閉症児（知的障害者）がいる家族はとても避難所にいられる環境ではないとTVでやっていました。現にうちも避難所に行くことは無理だと思います。そういう時に状況の確認や物資を運んでくれるネットワークが必要だと思います。もしくは、障害者担当窓口があれば安心できると思います。</p>
<p>通常犬山市の子どもは18歳まで医療費が無料になりましたが、精神通院の支援を受給している者は、15歳で終わってしまいます。この先長く医療の世話をかけなければならない者が、その病気（治療のみ無料）で他は有料になる。健常者は18歳まで無料ですが、その3年間同じように通院したりしなければならぬことが多いはずであるのに、負担をしなければならないのがどうかと思います。（行った先の医療の受付で説明しなければならない・18歳まで無料だと思っている）</p>
<p>親亡き後の子どもの将来を案じております。現実には兄妹の家庭には負担をかけられないから、障害者の立場はかわいそうですね。</p>
<p>障害が軽度で現在は本人ができていますが、一人になった時を思うと不安はあります（親）。</p>
<p>本人への助力、自分が75歳で病気もち、自分が死んだら誰も面倒をみれない。自分は現在75歳ガンなど病気もち、妻は8年前に死んで、自分が死んだ後、また、病気で動けなくなったら障害者の子どもの面倒をみることができるか心配で仕方ない。</p>
<p>仕事が休みの時に、定例会の議会、臨時議会、委員会、全協の傍聴や犬山市体育館（エナジーサポートアリーナ）のトレーニングルーム、ジムに通っています。</p>
<p>親の元気な時はお世話をおかけしなくてもいいのですが、私に何かがあった時の心配が大きいです。とにかく元気でいなくてはと思っています。</p>
<p>自分も病気、母もペースメーカーと人口膝、パーキンソン病です。</p>
<p>本人と二人暮らしなので、夜とか休日に私に何か起きた時に連絡の手段がないのが心配です。本人に質問に対しての理解能力がないので親の気持ちが混同しております、というかほとんどです。</p>
<p>障害（自閉症）の娘と2人で住んでいます。母の死後のことを考えると心配です。今は娘は元気に頑張っています。</p>
<p>義姉も高齢ですので書類とか身の回りのことがおっくうになってきたので何とかしてほしい。</p>
<p>障害によって違い、こだわりがあり、他の人に頼むのは大変だと思います。</p>
<p>何でも、同じことを繰り返して話をするのが本当に大変です。</p>
<p>市の施策等に感謝はしていますが、その一方で言った者勝ち、ゴリ押しした者勝ち、と思われる時を感じます。要望を聞いてくれるのはありがたいことかもしれませんが、一方、基準はほしいと思います（障害の度合いが人それぞれなのは十分承知していますが）。</p>
<p>必要な時に行きたい。</p>

精神障害者

大分類	小分類	小分類 集計	大分類 集計
福祉サービスについて	福祉サービスの充実	4	10
	タクシー券の発行	3	
	ボランティアについて	1	
	その他	2	
市役所について	手続きについて	3	9
	感謝	3	
	その他	3	
障害者支援について	障害者手当の見直し	3	7
	障害者年金の見直し	2	
	等級について	1	
就労について	就労先	4	6
	手続きについて	1	
	給与	1	
アンケートについて	アンケートについて	4	4
公共施設・公共交通機関・公道について	充実	2	4
	コミュニティバスについて	1	
	駐車場について	1	
施設について	増設	2	4
	職員について	1	
	利用条件について	1	
情報提供について	周知	4	4
病院・医療費について	医療費について	4	4
相談について	相談場所がほしい	1	3
	その他	2	
偏見や差別について	偏見や差別について	2	2
介助者について	介助者について	1	1
コミュニティ・サークル活動について	地域との交流	1	1
その他	その他	18	18

精神障害者全文

<p>障害者に対して手厚いサービスを充実させてほしい。</p>
<p>もっと援助をしてほしい。</p>
<p>アンケートにお金をかけるのではなく、援助料を増やすなどしてほしい。</p>
<p>日頃のご支援には感謝しております。当方はメンタル面での困りごとを相談し始めたのが、約7～8年前、さまざまなサービスが手厚くなったと感じています。</p>
<p>タクシー、年齢に関係なく低価格で利用したい。</p>
<p>精神障害者2級もタクシー券を発行してください。</p>
<p>現在、自家用車を病院に行く時利用していますが、今後、高齢のため自分で車の運転ができなくなった場合、タクシー、市のチケットは出ないか。</p>
<p>ボランティア、有償（手弁当、交通費自己負担）の所が多いので、せめて交通費や参加費は無料にして、ボランティアに参加しやすい状態にしてほしい。</p>
<p>重度の精神障害でコミュニケーションがとれない状態で長期入院していますが、医療費以外にどのような福祉施策があるか分かりません。</p>
<p>現在、犬山市役所でどのような福祉サービスを行っていますか。教えてください。</p>
<p>サービス利用手続きをわかりやすくしてほしい。福祉課で人が替わるにつれて違った説明はやめてほしい。精神障害者は特にそういうことがあると混乱してしまいます。</p>
<p>手続きを簡単にしてほしい。</p>
<p>各種手続きで窓口で足を運ぶ回数が多いと感じていて、自分自身の社会参加がしにくいとも思っています（遠距離別居のため）。</p>
<p>良くしていただいていると思います。</p>
<p>お世話になり、誠にありがとうございます。</p>
<p>頑張ってください。</p>
<p>「障害者手帳があるから、コミュニティバスもタダだからいいだろう」、これは実際に市役所福祉課の職員の発言です。市役所（主）、障害者（従）の主従関係ではありません。どんな障害者も好んで障害者になったものではありません。福祉課に籍を置く職員でありながら、障害者軽視の発言は一生の心の傷となりました。障害者を支えてくださるのが自治体職員のはずです。今一度自分自身の仕事の内容をよく理解し、福祉についてしっかり勉強してから福祉課の仕事をしてください。もしこれがマスコミに流れたら犬山市役所のイメージは丸つぶれです。どういう職員教育をしているのかと、全国から問われることになるでしょう。これからは福祉課の職員としてふさわしい態度で市民に接してください。</p>
<p>身内が実際入院するようになり、忙しい日々を過ごしていき、何か月もしてから、人づてに市からの障害者への支援がいろいろあることを初めて知りました。正直生活を回すので手一杯な中、市がどれほどのことをしていただけるか、自分がどの状況に立っているというのがわからなかったので、できれば病院等と情報を密にとっていただけるとありがたいと思いました。</p>

<p>(精神障害で) 発症して 10 年になるが、現在は親が 2 人で介助をしているが、その先の考えでは大変になると思います。市役所の福祉で時々相談していますが、良い方向の話が聞けないのが残念ですが、福祉係に障害者専用のしっかりした方を、なんでも話し合える方を要望したいです。</p>
<p>3 月と 9 月に支給される支援金の増額をしていただきたい。</p>
<p>障害者手当金、月 1,500 円はあまりにも安すぎる。子どものおこづかいよりも少ない、ゼロに等しい。障害はいつだれでも遭遇するかもしれない。好き好んで障害者になる人はいない。</p>
<p>精神障害 3 級でも、月にもらえる障害者手当がほしい。</p>
<p>精神障害 3 級で障害者年金の対象にならないのはおかしい。私は仕事がしたくても、不安とめまいで働くことができず困っている。何とかしてほしい。</p>
<p>障害者年金を 1、2 級のみならず、3 級にも広げていっていただけたら幸いです。</p>
<p>重度と軽度の差が大きい。</p>
<p>A 型、B 型以外の就労先の支援をしてほしい。</p>
<p>働くことができる場もあるとよい。</p>
<p>犬山市内の一般企業で、障害者枠で働ける所が少ないので、増やしてほしい。</p>
<p>仕事がなかなか見つからない。</p>
<p>障害者による職業施設への手続きを簡単にしていただきたい。本人、また、家族の高齢化により困ることが多いので配慮してほしい。</p>
<p>障害者枠の給料が安いので、将来の生活が不安です。障害者枠の採用がないため、仕方なく、人手不足の業界で働かざるをえない状況です。</p>
<p>福祉課様のアンケート調査ありがとうございました。我々は少しでも情報の入手が必要であります。本アンケート調査票も勉強になりました。今後も我々は弱い立場にあり、ぜひ情報等はよろしく願いいたします。</p>
<p>今回のアンケートには賛成ですが、送っていただいた封筒が大きすぎて、ポストからはみだし近所の方に見られ、少し嫌でした。これからもっと小さな封筒に入れて送ってもらいたいです。</p>
<p>多用のため、10 月 26 日に開封しましたので、返送が遅れました。</p>
<p>このアンケート用紙について。健常者にとってはこの色は良いかもしれませんが、緑内障が進行している私にとって非常に見にくいです。白にできないのでしょうか。</p>
<p>精神障害者が公共交通機関を利用することに不安が残る。人に迷惑をかけないようにするために、マイカー利用が主になる。車購入や高速道路、鉄道利用料金の軽減。</p>
<p>公共交通機関（バス）がもっと充実してくれたらいいと思う。現在は、家族の車で移動できるが将来を考えたら不安。そして全てのことにおいて、今はいいが家族のいなくなった後を思うと不安。</p>
<p>コミュニティバスを毎日走行させてほしい。</p>
<p>障害者（精神）でも、車椅子マークの所に車をとめられるようにしてほしい。</p>
<p>病院以外で、安くリハビリや生活訓練ができる場所があるといい。病院でのプログラム以外も体験できるといいと思いました。</p>

<p>精神障害者が、親が亡き後、安心して暮らせるグループホームを犬山市に作ってください。一生病院ではあまりに悲惨です。</p>
<p>市内の小学校に通学しているが、特別支援学級の先生が2人に対して、児童が9人も在籍していて異年齢のため、付添いの先生がいれば普通学級で学ぶことができる場合でも、先生が少ないため、機会が失われていると感じる。</p>
<p>民間の施設料金を安く提供願いたい。</p>
<p>今後もしろいろ情報がほしい。</p>
<p>役所の窓口で具体的な情報が得られない。役所の担当者が地域に出向いて現状をしっかりと把握したり、わかりやすく情報を提供するようにお願いします。</p>
<p>障害福祉ガイドブックのどこかのページに、あるいは専用の冊子に、障害のある人が災害により避難した場合の流れ、避難するまでのメール通知がどのように得られるかをもっと広く認知できるようにしてほしい。避難準備情報はただ準備すればいいと思っていた。</p>
<p>一般の人は知っているが、発達障害の人が知らない一般常識的なことや苦手なことを改善させる情報がほしい。</p>
<p>医療費無料はとてもありがたいです。私は今年の5月いじめにあい、うつ状態が長く続き、1日おきに名古屋のクリニックに点滴に通う日々であり、今度このような状態になったら退社をしなければなりません。本当に犬山市、国はありがたいです。ありがとうございます。退社は会社から言われています。</p>
<p>精神障害3級でも内科にかかる場合無料にしてほしい。</p>
<p>自立支援の医療費の負担0というのは、今後とも続けていってほしいと思います。</p>
<p>いつも大変お世話になっております。特に精神障害者医療費受給など医療費の援助は助かっています。引き続き福祉関係に力を入れていただければ助かります。</p>
<p>実家が熊本で離れているので、知り合いもほとんどいなくて、旦那がいなくて外出もできないので、災害があった時にすごく不安だし、犬山のこともまだよく場所とかわからないので、手助けがほしい。避難所とかでも人の目が気になったり、災害で精神的にまいっているのに眠れなかったり、不安な思いが強くと自分自身の制御ができなくなってしまいそうで怖いです。そういった不安とかを病院以外で相談できる場所がほしい。相談できる人がほしいです。</p>
<p>土地を所持していると、雑木や雑草の管理をしないといけないが、身体の障害や金銭がないため、放っておくと年々植物が大きくなってしまい、困っています。一緒に仕事をしてくれる人や、木・草を捨てる場所、古くなった施設の解体・撤去、重い物の移動など、病気・事故前にはできたことができなくなり、どうしたらいいかわかりません。こんな現状でも、町会長・各役員はいつも回ってきます。そんな時にアドバイスや手助けをしていただければ、やることはしっかりとやろうと思っていますが、この状態ではできません。どうしたらいいのでしょうか。</p>
<p>親身になって相談してくれてありがたいと思いました。</p>
<p>障害者に対する偏見や差別がなくなるよう尽力していただきたい。</p>

<p>家族すべてが障害をもっているのです、ご近所からの差別や、偏見をもたれたら、私たちはこれからこの地域でどのように生活するのかわかりません。健常の人たちには理解できない問題をもって生活しております。まずは一般の人たちが理解をしていただけるようお願いいたします。</p>
<p>本人、家族のストレス軽減のため、例えば、公共の宿、ビジネスホテルを利用した時の援助を年数回でもよい、してもらえると助かる（リフレッシュできるので現に利用している、時には家族とは別に過ごしたい時がある）。</p>
<p>地域参加への活動があれば、交流もうまくいき、病気への理解も考えてくれるきっかけになると思います。</p>
<p>市に対するというよりも、国の施策になるが、財産、資産（現金）等があることを理由に、種々利用料、保険料負担の見直しが話題になっている。しかし、妻は交通事故の賠償金であり、将来一人になった時に入居することになる準備金であり、国の施策に疑問と不安を感じる。</p>
<p>楽な暮らしがいいだろう。</p>
<p>もう少し親切にしてほしい。</p>
<p>郵便で届くのは個人情報もれるので「障害者担当」と書くのはやめてほしい。</p>
<p>アンケートを的確に答えられず申しわけないです。</p>
<p>私は84歳という高齢になっているので、将来のことをいつも心配している。</p>
<p>生保のお金をたくさんいただきましてありがとうございます。</p>
<p>障害を持ちながら一人で暮らしています。金銭的な問題や労働に不安があります。住んでいる所の家賃やその他ライフラインのお金の支援などがあると喜ばしく思います。移動手段で車を利用していますが、金銭面での負担が大きいです。田舎なので自家用車がないと、仕事に行くのも、買い物をするのも不便です。</p>
<p>どんなこともハート、心が大切です。本当に心から障害者の身になって考えてくださる方はまだまだです。健康な人の考えが変わらないと進みません。よろしく申し上げます。</p>
<p>精神病、ガン、緑内障の病気になっている。人間関係が怖くて働くことができない。体が不調でなかなかお風呂に入れたい。お金の計算ができない。簡単な漢字もわからない。</p>
<p>いい家族がいる。</p>
<p>本人が60歳になり（なった時）、どこかのホームに入れてもらえたらいいなあと思い、それまで元気でいたいと願っています。</p>

<p>学生時は成績、運動能力、人間性で評価され、社会人は収入、資格、対応力など評価される部分が多く、いつまでも気にしなくてはならない。幼い時は家庭が貧しく、家はボロボロ、栄養のある食事が取れず、同級生からは虐げられたが学問とスポーツに磨きかけた。だけど、貧しいため高校進学が絶望的であり、なりたい職業も諦め、生きるために自分の意とは全く違う道を進むしかなかった。社会に出ても親の生活が苦しいというだけで結婚できなかつたり、1人の収入では親の面倒や生活、葬儀をカバーできない。病気になって入院費、治療費が高く、会社では異動になり、車の運転を許可されなくなつたりと強制的に入院させられ、私財がなくなり、行政に助けていただいたが、世の人たちは生活保護だと冷たい意見。働くと考えても収入的なことや家事による労働、健康管理が頭をよぎり、困難。パート・アルバイトに定年はなく、死ぬ寸前まで頑張れというような社会制度。同じ頑張っている、でも軽蔑、評価されない人生。命を絶とうと思ってもまずは父命社会。金がないというだけで虐げられる人間社会、身体に障害があるから制限される世の中、仕方ないから助けてあげるよみたいな精神での医療と福祉。あなたも心のどこかで思ってますか。私は大丈夫っていう自信ありますか。</p>
<p>障害者就業・生活支援センターにメールを送っても返信がないばかりか、メールが届かず返ってくる。本部にメールを送信しても返答がない。愛知県も発達障害者支援センターも、障害者職業センターも同様に連絡を試しつつも無回答であり、全く機能していないため怒りをおぼえる。特にセンターとは「メールで連絡を取り合う」ということを、犬山市役所の福祉課職員の立ち会いのもとで合意したはずなのに、メールを送信しても何の返答、応答もない。しかも、近頃は以前のメールアドレスにメールを送ってもそのままメールが戻ってくる。「メールによる連絡をする」ことで合意したのであれば、当然返信、応答をすべきであるし、もしメールアドレスを変更したのであれば、その旨を私に通知すべきであるが、そのようなことも一切ないので、怒りを感じている。</p>
<p>本人は施設に入所していますが、当初から入所することを嫌がりました。本人はもう言葉で表現できない状況になってしまいました。施設での行動を知らされると、現在も変わらない精神状況であると思われれます。しかしどうしようもありません。</p>
<p>よく知らない</p>
<p>本人 80 歳の双極性障害 1 型。介助者はその子で双極性障害 2 型。介護はその他の家族も手伝ってくれている。</p>
<p>よろしくお願い申し上げます。</p>

こすもす園

大分類	小分類	小分類 集計	大分類 集計
施設について	職員について	6	15
	増設	4	
	支援級について	2	
	少人数教室	2	
	その他	1	
療育支援について	訓練について	5	10
	障害ごとの療育について	1	
	手続きの簡略化	1	
	その他	3	
障害児への支援について	発達障害児(グレーゾーン)への支援	2	2
情報提供について	療育施設で提供してほしい	1	2
	療育の周知	1	
市役所について	行政との連携	1	1
介助者について	介助者について	1	1
その他	その他	2	2

こすもす園全文

小学校の支援学級の内容を統一してほしい（小学校でいろいろ違うため）。
主要な課目（授業）は支援クラスのない学校（小学校）でも適切な支援を受けられるようになってほしい。
こすもす園に通園し、とても成長できました。何をやるにも時間のかかる子ですが、丁寧に対応してもらえました。未来園に入園して加配の先生がついても、午後の少人数の療育に通いたいです。
年少から加配をつけてもらえると、保護者の負担が少なくなってよい。また、療育中に兄弟の預け場がもう少し充実するとよいと思った。他の施設の存在をよく知らなかったが、あのような場があると親としては助かる（少人数で預かってもらえる場）。
こすもす園の先生方には大変お世話になっていますが、支援を必要としている児童に対して先生の数が少なく、その負担は想像以上かと思われまます。犬山市には待遇面などでがんばってもらい、先生の人員確保に励んでいただきたいです。
専門職員の増員
保育園、幼稚園、小学校に専門の知識を持った職員を配置してほしい。
こすもす園の先生の人数が足りないと思います。できることなら人員を増やしてもらって療育の時間を延ばしてほしい。母子通園には賛成だが、母子分離の時間も増やしてほしい（子どもが1人でどれぐらいのことができるようになったのか確かめたい）。
幼稚園の専門職員を配置してほしい。
こすもす園の先生方には大変お世話になりました。子どもにも保護者にも愛情をもって接していただき嬉しい限りです。私が通い始めてから先生の数が減り、先生の負担が増えているように思います。現在は通所しておりませんが通われる方々が納得のいく療育をこれまで通り受けられればと思います。激務で先生方が体を壊されませんように市の方で人員を考えていただきたいです。
子どものみで通える療育施設があるとありがたいです。
もっと専門的な療育が受けられる施設を犬山市にも作ってもらって、こすもす園と並行で通えたりできると良い。（こすもす園がパワーアップしても良い）
子ども未来園のように同じ生活ができるこすもす園のような所を作ってもらえたら同じ悩みを持つ親同士安心して預けられると思う。
上の子を預かる施設を作ってほしい。
近所の子ども未来園へ入園させるつもりだったが来年から障害児保育を行わないとのことで少し遠い園へ変更せざるをえなくなった。福祉の後退を感じます。予算が足りないのでしょうか。
訓練ももっと気軽に受けさせられる仕組みになると嬉しいです（現状は回数も少なく、日時の変更等が難しい）。
言語訓練させるためにいろいろな手続きをしてこすもす園に通っているのに3カ月に1回しか受けることができず、それで効果があるのか疑問です。少なくとも週1は受けられるようにしてほしいです。

<p>言語訓練が毎月受けられないのは、残念。30分の内容には満足しているのでせめて月1回受けたい。</p>
<p>言語、作業訓練の回数を増やしてほしい。</p>
<p>小学校に上がってからも言語や作業訓練を継続して受けられるようにしてほしい。</p>
<p>知的と身体とではやれることが異なるので、これをわけたそれぞれの療育を受けられる場所を早急に作るべきである。こすもすへ行ってもできる活動、できない活動があり、行ってみないと何をやるかわからないし、できない日は行っても無駄とまではいかないが、その1日がもったいなく思える。</p>
<p>申請や手続き等いろいろなことに時間がかかりすぎる。言語訓練を受けたくて、通園申請をしたが、福祉課の面談から3カ月経ってやっと通園になった。また、通園後もすぐには訓練の時間が空いておらず（日程表では3か月後になっていた）、頼んで早い日程に入れてもらった。通園に対して不安な気持ちでいるのに、すごく待たなければいけないのは、より不安が増す。新規通園者は、訓練を早いうちに一度受けられるようにしてもらおうと安心できるのではと思う（実際に訓練を受けて、どういう風にすれば良いかわかり、すごく希望が持てたので）。</p>
<p>療育に関しては、先生方が熱心に取り組んでくださって毎日楽しく通っています。また、園交流はとてもよい経験になっています。お昼のお弁当作り、忙しい時、ワンパターンになったりと悩むことがあります。週に1回でよいので給食があると助かります。子どもとしても、友達と同じ物を食べる練習もでき就園後にも生きてくると思います。</p>
<p>他の市（江南、各務原）（交代制の親子教室で、2～3回通ったらおしまい、こすもす等へがほとんど紹介されない）などでは、療育に対する意識が違い、良いイメージを持っているが、犬山市ではマイナスのイメージが強い。それは、犬山が他市よりも療育に力を入れているから保健センターの方々も他市よりも厳しいためだと思う。力を入れつつ、療育を受けている子たちへのイメージ（こすもす園に対するイメージ）が良くなるようにしてほしいです。</p>
<p>先生方やボランティアさんにはとても感謝しています。希望としては、月一くらいで、お弁当（給食）を用意していただけると嬉しいです。何はともあれ、こすもすに通わせていただき、本当にありがたいです。</p>
<p>3歳児健診（市）では発達について相談しても「男の子はこんなもの」で済まされ、保育園でも「大丈夫だと思うよ。」と言われましたが気になって発達相談を申し込んだところADHDと言われ、病院に受診し診断されましたが、加配の保育士さんも不要判定でした。今は、こすもす園にできる限り通いながらフルタイムで働き、一宮市内の病院に作業療法や受診に通っています。仕事を子どものために辞めた方が良いのか、引っ越しをしたら良いのか迷っています。グレーゾーンの子どもの育てやすい市にしてほしいです。</p>
<p>いわゆるグレーゾーンの子どもの達に、もう少し支援がほしい。どっちにも行けず、子どもにも辛い思いをさせてしまっている（普通の子どもの中ではうまくやれず悪目立ちしてしまう。しかし障害のある子どもの中では割とできるように見えてしまう。かなり辛い）。</p>

<p>こすもす園での療育のこと、場所や料金、手続きのことなどをもっと認知してもらえるように、健診のときだけではなく、未来園や小学校でも、講演やパンフレットなど療育を受けたお子さんを持つ保護者の感想などを知ってもらう機会が増えて、こすもす園に通園することへのハードルが下がると思います。第一子の子ももちろん、第二子以降でも選択の幅が広がると、子ども（保護者）の未来（特に小学生以降）が変わるかもしれません。こすもす園へ親子で通園できて、本当に良かったです（通園後の未来（期間や連絡）加配のことなども）。</p>
<p>こすもす園に通園して本当に良かったです。ただ、周囲の「療育」というイメージがあまり良なくて（当初の私も含めて）迷いました。もう少したくさんの方々に認知されるようになってほしい。</p>
<p>こすもす園に通うことは、母にとって精神的な負担がすごくあると思います。母に対するサポートをもっと強くしたほうが良いと思いました。</p>
<p>受給証を受けるにあたって、子どもの様子を見にきてもらったのですが、福祉課の方・保健センターの方・計画書作成の方と日程がバラバラになってしまったので、まとめて（チームになって）きてもらった方が良いかなと思いました。同じ内容を何回かしゃべるよりも一回で済ませた方が効率的かなと。あとは、「あゆみ」作成したのですが、保育園の先生だけの所見よりも「こすもす園」の先生の所見もほしかったのですが、（都合上）手を加えられないとのことだったので、その点も工夫してほしいと思います。</p>
<p>いつもありがとうございます。</p>
<p>こすもすの用紙で、障害児と書かれています。この子は障害児なのかと思います。</p>

一般

大分類	小分類	小分類 集計	大分類 集計
公共施設・公共交通機関・ 公道について	コミュニティバスについて	5	9
	舗装・整備	4	
情報提供について	周知	7	9
	情報公開	1	
	災害時の情報について	1	
就労について	就労先	5	7
	雇用促進	2	
	その他	1	
福祉サービスについて	福祉サービスの充実	3	6
	福祉サービスの差	2	
	ボランティアについて	1	
コミュニティ・サークル活動に ついて	健全者と障害者の交流	4	6
	交流場所について	1	
	交流区分について	1	
障害者支援について	発達障害者(児)への支援	2	6
	自立支援について	2	
	障害者年金の見直し	1	
	その他	1	
アンケートについて	アンケートの廃止	1	5
	その他	4	
偏見や差別について	偏見や差別について	3	3
市役所について	職員について	1	2
	その他	1	
病院・医療費について	病院の診断書について	1	2
	医療費について	1	
介助者について	介助者について	1	1
施設について	障害児施設の増設	1	1
その他	暮らしやすい町づくり	7	23
	その他	16	

一般全文

犬山市にもコミュニティバスはじめ、もう少し親切心が感じられる策がほしい気がする。
高齢となり目の病気も加わり免許証を返納しました。コミュニティバスが頼りの生活です。財政的に大変だと思いますが、より充実していただきたいと願っています。
コミュニティバスは障害者のある方は無料ですので、外での行動が多くなるのでいいと思います。
犬山市の循環バスは、今後も続けてほしい。
障害者もいるサークルに入っています。福祉バスが年に1回しか使えないのはなぜでしょうか。外出や交流のために使いたいと思っていますが、駐車場の地図を添えるや、名簿が必要など、使う時も不便を感じます。県大会などに参加しても、市や町のバスで移動している所がたくさんあります。ご検討ください。
道路の狭い道が多く見られます。スペースのある道で車いすの方でも余裕を持って通れるようになると思います。
目の見えない方がスクランブル交差点で困っているのを見かけ声をかけ一緒に渡ったことがある。視覚障害者でもスクランブル交差点とわかるような工夫をしてほしいと思う。
歩道の舗装が悪い。歩道が狭い。
観光客が増えすぎたせいで車いすの人や手押し車を使うお年寄りが歩道を歩きづらくなってきている気がする。
ネット社会ですが、ネット利用しない方のためにも求人情報やサークル活動場所などの情報が見られるチラシなど投函を各、家庭にするなど、もっと情報が広がればいいと思います。
急には多くの課題に対処できないと思います。少しずつ確実に周知できる仕組みを作り取り組みましょう。
広報等で障害のある方に住み良いまちに改善された事例、内容をもっとPRしてほしい。
障害を持っていても、働きたいと思っても情報が手に入らない。新聞や回覧板等、家にも手にとって読めるものに障害者が働ける求人載せてほしい。企業の門に小さく書かれていても読みに行けないし、探そうと思っても探し方がわからない。
障害者の内容が多くあり、軽度・重度等が解りにくいため家庭訪問も大切ですが近所住民・会社・友人等多くからの情報を得ることが最も大切だと思います。また経過年月によって変化するため定期的な情報収集も大切だと考えます。
設問ごとに、条文を見て、何と分からないことばかりで、全く無知というほかありません。やはり情報がないからだと思います。これは自分なりの主観で、あるいは、どんどん情報が流布しているのかも知れませんが、こんなにも考えてくださって涙が出そうになりました。いや、涙が出ました。
障害者のいる家族ほどいろいろな情報が得られないものです。そんな家族にたくさんの知識や情報が伝えることができれば、介護する人も受ける人も過ごしやすくなると思います（家の中にこもりがちだから）。

<p>地域で障害者が何人いるのかが地域の人たちにわかっていない。そのため援助をしたくてもできない。個人情報として開示しないのでは援助をしたいと思っても人が動けない。不特定多数の人に開示するのではなく、町会長や民生児童委員には開示しても良いのでは。</p>
<p>熊本地震の時に、福祉避難所のこと話題になりました。市のどこに避難するのか、避難所のマークは知っていますが、どのような目的の避難所かはわかりません。もし一般の方向け、障害のある方向けなどの住み分けを想定されているのなら、その他災害時の想定も含めて市民に周知していただければと思います。何か配慮、お手伝いできることもあるかもしれません。</p>
<p>高校卒業後（特別支援学校）の進路について、作業所が少ないかなと思います。今、小・中学校の子が増えてきているのでうちの子も高1ですが作業所しかないと思ってるのでA・B型問わずに増やしてくれると助かるかな。と思います。このままじゃ1つのところに偏り、下の子達も増えてきているので。</p>
<p>障害者が働ける場所を増やしてほしい。支援してくださる方が積極的に相談にのって今何ができるかを家族と共に考えていけるようにしてほしい。</p>
<p>障害を持った方たちが可能な限り自立した生活ができるように働ける場所が必要だと思います。</p>
<p>精神障害者が働ける場所を増やしてほしい。いろいろな職種で選べて、短時間（2～3時間）で働ける職場があったらと思う。</p>
<p>障害者の就労先（施設の充実・企業の雇用）確保</p>
<p>もう少し事業主は障害者の雇用を増やしてほしいと思います。</p>
<p>障害者の雇用を促進し、障害者の家族が安心できるような社会になるとよい。</p>
<p>暇な高齢者の人たちをシルバー人材等で使用してどんどん活性化させるべき。障害者雇用促進法の法律の義務付け（問23）、法定雇用率の引き上げ（問24）に関しては私の会社では専用、もしくはひどい扱いをしている。かわいそうだと思う。</p>
<p>お年寄りの方への支援を充実させていただきたい。</p>
<p>今現在自分が直接犬山市にお世話になっていないからまだ実感がないが母親の世話で、尾張旭市に世話になっているが、とてもきめ細なサービス等で充実していると思う。妹も18年間寝たきりで可児市に世話になっているが、それなりに充実して毎日を過ごしている。</p>
<p>観光ばかりに力を入れないで、もっと福祉に力を入れた方が良いと思う。</p>
<p>別居の身内に軽度の障害者がいますが、私も忙しく、頼まれた時しか手助けできません。市単位ではなく近隣市町村でサービス等に差が出ないようにしてほしい。</p>
<p>名古屋市の方が福祉が充実しているから名古屋市に籍を置いて、住んでいるのは犬山市という人がいるので犬山市は充実していないのかなと思いました。具体的な内容はわかりませんが。</p>

<p>5年前、東北の津波被災地にクレーン付トラックを駆って、お手伝いに行きました。そこで感じたのも、被災者ご自身の遠慮深さ。そして、世間の片隅から出かけてきた膨大な数の善意。災害時のボランティア活動を調整するボランティアを支援するようなシステムを障害者に限らず、社会弱者に対しても構築してほしい。</p>
<p>健全者と障害者が一緒に会話をしながら手を動かしたり足を使ったりする場所、交通の便利な市役所、上の階が使用できたらいいと思います。</p>
<p>障害者をお持ちの家庭は少しでも、皆の集まる場所に出向き自立の道など努力や勉強をしてほしいし、また、障害を持っていることで支援が当たり前だと思わず進んでほしい（一部の住民）。</p>
<p>普通の子どもと園の方達が交流できる場があるといいと思います。</p>
<p>私は福祉関連の教員をしています。障害のある方とない方の共有できる場をたくさん増やしていただきたいと思っています。</p>
<p>現在私が住んでいる部落に集会する場所がない。集会する場所の設置を望む。</p>
<p>地域別にコミュニティを作る。</p>
<p>発達障害（大人）の方と一緒に仕事をするすることがあり、そのトラブルメーカーぶりに気が狂いそうになることが多いです。本人達に自覚がないので何も改善しません。しかも発達障害を持っているような人ほどプライドが高く障害者を非難する言動が多いです。学校教育現場では認知されている発達障害が実社会ではまだまだ理解されておらず迷惑をかけられてノイローゼに追い込まれる人達が気の毒です。何とかならないものでしょうか。</p>
<p>障害までは認められないグレーゾーンの子ども達への支援を考えてほしい。（たくさんいるはず。）周り、本人とも困っていると思う。</p>
<p>自立支援できる環境づくり。</p>
<p>無駄な箱物を作るのではなく、自立できる支援策を。とにかくたとえ障害があっても働いて自立できる支援策を施すのが、自立と思う。変な恩情・温情よりも自立してゆこうという施策を。</p>
<p>高齢者なので障害を持っている子どもを養なっているので、障害年金をいただける制度を見直していただきたい。</p>
<p>障害者支援制度（特に金銭につながるもの）の悪意利用をなくし、善意不利用をなくすために市役所は何に注意すべきかをきちんと議論する。研究することが大切だと思っています。</p>
<p>このコスト自体がもったいなく思う。民間人にはこのようなアンケートに協力したところでアウトカムを感じられない。</p>
<p>市民のアンケート調査依頼は大変意義のあることと思います。障害の”害”の字が漢字で表記されているのには納得がいきません。”子ども”から”こども”と表記されるようになっていきます。市役所から変えてください。</p>

私が意見を言わせていただく訳にはいかないですが、このアンケートは大変すばらしいと思いました。初めてアンケートに答えたいと思いました。是非頑張ってください。ありがとうございました。

今回のようなアンケートはとても重要だと思います。特に障害福祉サービス（問 17）・地域生活支援事業（問 18）・障害児サービス（問 19）・障害者の法定雇用率の引き上げ（問 24）については、このアンケートで初めて存在を知りました。認知を広めるためにも、活動の継続を望みます。健常者・障害者という枠組みを意識を要することなく、住みよい市政を目指されることを望みます。

この度は、このようなアンケートをいただき、この年齢になるまで何の知識もない自分を知りました。障害者の方とは直接接したことはなく、家近所のお名前も知らない娘さんとお母様が施設に通っていらっしゃる時、たまにお目にかかり“いってらっしゃい。頑張っってね”と手を振るくらいでした。このたびのアンケートの内容を拝見して、無感心な訳でもないのですが本当に知識のなさを知り、恥ずかしくなりました。これから高齢の私にできることがあれば、何かお役に立てばと思っております。

健康であれば気にもしません。ただし、大きな事故・病気（心筋・脳梗塞・癌）などになると少し考えること。かわいそうと思って接すると嫌われることがあった。障害者でもプライドがあるのかな。そういう体験があったから近づけない。私はまだ高校の頃で内容は良く覚えていませんが。

障害者の手助けをしようとしても、逆ギレされたりするのが嫌なので、手助けするには、ある程度知識がいると思うが、その知識を身につけるまでの時間がないので、本当に困っているな、と思う人しか助けることが現状ではできない。どうしたらいいのか。

差別や偏見をなくすためには、子どもの頃から学ぶことが必要だと思います。学校等で障害のある子どもとふれあい、遊びながら学ぶことが定期的であればよいのではないのでしょうか。大人になってからはなかなか、ボランティアなどはできません。少なからず、偏見を持ってしまうから。（はれものにふれるような接し方しかできずに傷つけてしまいそうで怖いです。）だから、子どものうちに教育をお願い致します。

自身の意見や気持ちを伝えたくても伝えることの手段として言葉が障害された時、他の手段でコミュニケーションをとる方々がいることを役所の方が理解してください。

私の母 93 才です、4 年前大腸ガン後右左大腿骨骨折、今年 4 月に圧迫骨折などしています。腸閉塞でストマを付けてその世話など大変な毎日です。私も 68 才なので老老介護です。母も今は車イスの生活なので先日病院で身体障害者の診断書をお願いをしましたが診断書類もらうことができませんでした。がっかりしています。

私の聞いた所によりますと、大口町では（丹羽郡）精神障害 2 級以上の人は医療費が免除と聞きました。考える力がない人は働くことができなく家族が大変だと思います。犬山市でも参考にしては。

<p>障害者に対するいろいろなサービスや活動があるのはいい事だと思いますが、その障害者を介護している者は全く1日中自由がなく、大変な思いをして生活していることを理解してほしいです。</p>
<p>未就学児について。障害児が通う児童発達支援施設には精神障害児が多く、身体（肢）に障害がある児は極々わずかです。小牧や名古屋まで通うのはとても大変です。</p>
<p>住み良い町作りは大事にして（障害もつ人・高齢者でも誰でも）この世の中、皆が考えることでしょうね。</p>
<p>犬山市民全員が安心して暮せるようよろしくお願い致します。</p>
<p>すべての人が住みやすいと思える町づくりをしてください。</p>
<p>若いので詳しくはわからないのですが、障害者の方と共に暮らせるようになるのはとても良いことだと思います。</p>
<p>みんなが幸せな生き方ができますように祈念します。</p>
<p>障害者の方が住みよい町作りをしてもらいたいですね。身内に障害者がいますので、よろしくお願ひしたいです。</p>
<p>「障害者が住みやすい街」がどういう街なのか、明確なビジョンが浮かばない。まずは犬山市がこんな街にしたいというビジョンを打ち出してみしてほしい。それに賛同したいと思えば、積極的に活動に取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>障害があってもなくても同じ人間。優しい心で接すれば相手も優しい心になるはず”心に余裕をもって優しい心で生きやすい町づくりを”。</p>
<p>障害者について何も知らないし、身近にいないのでわかりません。すみません。</p>
<p>重度でなければ小学生くらいまで一緒に過ごした方が良いと思う。その子達が大人になった時に障害のある人・子どもを受け入れることができるから。</p>
<p>犬山市の障害者に対する取り組みは、他の市町村と比較してもそれほど劣っているとは思えません。しかし細部をよく見ればこれぐらいはというような所が目につきます。例えば、福祉会館では視力の弱い人がボランティアルームへ行くのに「おもちゃ図書館」の前を通られます。幼い子ども達が遊んでいる廊下を「白い杖」を持った方がその間を縫うように歩行しています。こんな些細なことですがこれが現実です。市の職員の方やボランティアの方、もう少し回りに気を付けてあげればもっと住み良い犬山市になると思います。時々こんな場面に出会いますが、このような意見はどこへ提案すれば良いのでしょうか。</p>
<p>あまり知識がないため、少し勉強が必要だと感じました。</p>
<p>あまり、はっきりした施策は感じられません。体育館や市役所の建て替え等、市の職員の自己満足の改革が多く、悲しく感じます。</p>
<p>関連する方々は大変ですが良く活動されていると思います。</p>
<p>市役所の福祉課の方をお願いします。障害者の中には本当はうそをついて障害認定を取得し、不正にお金をもらったり税金をまぬがれたりしていることが少なからずあると思います。きちんと判定し、私たち健税者の税金を無駄に使わないでください。障害者はかわいそう、何とかしてあげなくちゃという考え方より、健常者と同じように生活できる町づくりが必要なのではないのでしょうか。</p>

<p>障害者法定雇用率 2.0%はあまりにも低すぎます。日本が先進国ならばもっともっと上げなければいけない。</p>
<p>どこの市町村の福祉計画も基本計画も目標は設定されるも、それに対する具体的施策がありません。そして目標に対するコミット力も不足しています。民間の事業所と本気でタッグを組んで取り組むべきと考えます。私は全国で就労移行支援をする会社のエリアトレーナーをしております。市民の一人としても一緒に施策を考えたい想いがあります。犬山の障害福祉が目指すべき方向が進みますこと心より願います。</p>
<p>健全者に理解を求める・不満を持たせない活動も同時に行うと全ての人が気持ちよく、障害者への見方も悪くなると思う。</p>
<p>“弱者（精神的、肉体的、経済的）にやさしい犬山市”を市民に啓蒙を図ってください。</p>
<p>良い回答ができずに申し訳ありませんでした。</p>
<p>身体の不自由なお年寄りのゴミ出しは大変です。良い方法を考えてください。</p>
<p>障害の子どもたちが一般の子どもたちと同じになるのは大変です。でも障害があるからと言って親が生きる厳しさを教えなければ、一生障害を持って生きていかなければならない。親の心がすさむ前に生きた福祉政策が、子ども達に支援してもらえるようにしてほしい。小学校・中学校・高等学校で出産する、できることの大切さの教育を多く時間を取って小さい時から自分の体の大切さを教えてもらい、子どもを産み、ことの大事を強く授業で話をし、障害の子どもを作らないよう教育してほしい。</p>
<p>障害者といってもさまざま。等級を細かく分類されている通り、それぞれに当てはまる施策を望みます。不平等のおこらない公平な施策を望みます。過去に障害があったが、現状問題なく働いている人が手当てを受けている方（不正受給）多く耳にします。対策を望みます。</p>

犬山市障害者支援に関するアンケート調査結果報告書

発行年月 平成 29 年 3 月

発行 愛知県犬山市

編集 犬山市 健康福祉部 福祉課

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑 36 番地

TEL 0568-44-0321

FAX 0568-44-0364